

😊 別冊：資料編

福岡市における アジア政策の 過去・現在・未来 1

—福岡市のアジア政策の成果を検証し
「国際都市・福岡」に向けた方向性・アプローチを探る—

【中間報告：基礎調査—過去と現在—】

2009年3月

財団法人 福岡アジア都市研究所

Eyes on ASIA

- 1979 世界初 アジアの近代現代美術に着目した **アジア美術展** を開催
- 1987 福岡市基本構想 **活力あるアジアの拠点都市** を目指すことを宣言
- 1989 日本初 アジアを冠につけた 地方博 **アジア太平洋博覧会** 開催
世界唯一 **アジア太平洋こども会議 IN 福岡** 開始
- 1990 **アジア太平洋都市宣言**
アジアに浸る1ヶ月 **アジアマンス** 開始
世界唯一 アジアの知性を顕彰する **福岡アジア文化賞** 開始
アジアを表現する空間 **アジア太平洋フェスティバル** 開始
- 1991 世界初 アジアの映画祭 **アジアフォーカス・福岡国際映画祭** 開始
- 1992 アジアの学術・文化情報拠点 **アジア太平洋センター** 設立
- 1994 アジアの市長が集う **アジア太平洋都市サミット** 開始
- 1996 世界初 アジアの映像文化財アーカイブ **映像ホール・シネラ** 設立
- 1997 世界最大のまちづくり組織 **国連ハビタットアジア太平洋事務所** 開設
- 1999 世界初 アジアの現代美術に特化した **福岡アジア美術館開館**
世界初 **福岡アジア美術トリエンナーレ** 開始
- 2009 福岡には **アジアの創造的知の資産** が蓄積されている

We are Proud of Asian FUKUOKA

目 次

I. 都市イメージ調査結果	1
1. 都市イメージ調査の概要	1
2. 中国3都市を対象とした都市イメージ調査	2
1) 回答者属性	2
2) 行ってみたくなるイメージ写真	3
3) 特に行ってみたくなるようなイメージ写真	6
4) 聞いたことがある韓国の都市	7
5) 聞いたことがある韓国の都市に持っているイメージ	7
6) 聞いたことがある日本の都市・地域	11
7) 聞いたことがある日本の都市に持っているイメージ	11
8) ここ数年の間に訪れてみたい都市(知っている都市に関して)	17
9) 訪れてみたい都市のイメージ	18
10) 住んでみたい都市のイメージ	18
11) 福岡市と聞いて連想する言葉(自由記述 281 名が回答)	19
12) 福岡市の訪問経験	23
13) 福岡市への訪問回数	24
14) 福岡への訪問目的	24
15) 福岡を訪問しての印象	24
16) 福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(自由記述 15 名)	25
17) 福岡に関するキーワードで知っているもの	26
18) 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住みやすい都市 2008」に選出された 25 都市に関して)	27
3. 韓国 2都市を対象とした都市イメージ調査	28
1) 回答者属性	28
2) 行ってみたくなるイメージ写真	29
3) 特に行ってみたくなるようなイメージ写真	32
4) 聞いたことがある中国の都市	33
5) 聞いたことがある中国の都市に持っているイメージ	33
6) 聞いたことがある日本の都市・地域	37
7) 聞いたことがある日本の都市に持っているイメージ	37
8) ここ数年の間に訪れてみたい都市(知っている都市に関して)	43
9) 訪れてみたい都市のイメージ	44
10) 住んでみたい都市のイメージ	44
11) 福岡市と聞いて連想する言葉(自由記述 282 名が回答)	45
12) 福岡市の訪問経験	49
13) 福岡市への訪問回数	50
14) 福岡への訪問目的	50
15) 福岡を訪問しての印象	50
16) 福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(自由記述 50 名)	51
17) 福岡に関するキーワードで知っているもの	53
18) 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住みやすい都市 2008」に選出された 25 都市に関して)	54

4. 日本2都市を対象とした都市イメージ調査	55
1) 回答者属性	55
2) 行ってみたくなるイメージ写真	56
3) 特に行ってみたくなるようなイメージ写真	59
4) 聞いたことがある韓国の都市	60
5) 聞いたことがある韓国の都市に持っているイメージ	60
6) 聞いたことがある中国の都市	64
7) 聞いたことがある中国の都市に持っているイメージ	64
8) ここ数年の間に訪れてみたい都市(知っている都市に関して)	68
9) 訪れてみたい都市のイメージ	69
10) 住んでみたい都市のイメージ	69
11) 福岡市と聞いて連想する言葉(自由記述 424 名が回答)	70
12) 福岡市の訪問経験(広島市居住者)	72
13) 福岡市への訪問回数(広島市居住者)	72
14) 福岡への訪問目的(広島市居住者)	73
15) 福岡を訪問しての印象(広島市居住者)	74
16) 福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(広島市居住者自由記述 186 名)	75
17) 福岡に関するキーワードで知っているもの	79
18) 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住みやすい都市 2008」に選出された 25 都市に関して)	81
II. ヒアリング調査の結果	82
1. 福岡市ベテラン職員ヒアリング調査	82
1) 事前に示したヒアリング項目	82
2) ヒアリング発言録(一部要約・補足)	82
2. その他のヒアリング調査(掲載略)	103
III. シビックプライド勉強会の概要	104
1. シビックプライド勉強会の案内チラシ	104
2. 参加者の感想	105

I. 都市イメージ調査結果

1. 都市イメージ調査の概要

- ・ 目的：福岡市が、今後対外的なシティプロモーションを効果的に進めて行くために、福岡市の認知度やイメージ、好きなフォトイメージなどについて、アンケート調査を行った。対象地域の選定に当たっては福岡市と友好関係にある都市がどの程度福岡市のことを認知理解しているのかを把握するために、交流の実績がある中国の3都市、韓国の2都市を選んだほか、日本国内の都市における福岡の魅力要素の認知理解度の目安を得るために福岡市と広島市も対象に加えた。
- ・ 方法：インターネット調査会社に委託し、オンラインアンケート調査を実施
- ・ 調査委託機関：株式会社イード
- ・ 対象：中国3都市（広州、青島、大連）、韓国2都市（ソウル、釜山）、日本2都市（福岡、広島）に居住する20歳以上59歳以下の男女
- ・ サンプル数：広州（173S）・青島（176S）・大連（180S）、ソウル（176S）・釜山（170S）、福岡（210S）・広島（213S）
- ・ サンプル割付：性年代別8カテゴリにて割付回収目標を設定したが、海外都市各160S・日本都市各200Sの全体回収数を確保するために、割付については柔軟に対応した。したがって、割付が不完全な都市も有る。
- ・ 期間：2009年2月～3月

2. 中国3都市を対象とした都市イメージ調査

1) 回答者属性

Q1 性・年齢

合 計	男性 2 0 — 2 9 歳	男性 3 0 — 3 9 歳	男性 4 0 — 4 9 歳	男性 5 0 — 5 9 歳	女性 2 0 — 2 9 歳	女性 3 0 — 3 9 歳	女性 4 0 — 4 9 歳	女性 5 0 — 5 9 歳
	529 100.0	77 14.6	70 13.2	66 12.5	48 9.1	88 16.6	77 14.6	71 13.4

N1 性別

	男性	女性
合 計		
529 100.0	261 49.3	268 50.7

Q2 年齢

合 計	2 0 — 2 9 歳	3 0 — 3 9 歳	4 0 — 4 9 歳	5 0 — 5 9 歳
	529 100.0	165 31.2	147 27.8	137 25.9

Q2 居住都市

	広 州	青 島	大 連
合 計			
529 100.0	173 32.7	176 33.3	180 34.0

Q3 最終学歴

合 計	小学校	中学校	高校・高等専門学校	短大・専門学校	大学・大学院
529 100.0	2 0.4	6 1.1	52 9.8	201 38.0	268 50.7

Q4 未婚

合 計	未 婚	既 婚	そ の 他 (死 別・ 離 別)	答 え た く な い
529 100.0	155 29.3	350 66.2	17 3.2	7 1.3

Q5 職業

合 計	外 資 系 社 会 社 役 員	内 資 系 社 会 社 役 員・ 団 体	外 資 系 社 会 社 員	内 資 系 社 会 社 員	契 約 社 員、 パ ー ト、 ア ー ラ イ ズ	自 営 業・ 自 由 業	学 生	専 業 主 婦	年 金 受 給 者	無 職	そ の 他
529 100.0	62 11.7	103 19.5	43 8.1	119 22.5	5 0.9	63 11.9	30 5.7	12 2.3	15 2.8	19 3.6	58 11.0

Q6 世帯年収

	20 ,000 元 及 以 下	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上	20 ,000 元 以 上
合 計											
	529 100.0	50 9.5	77 14.6	92 17.4	73 13.8	76 14.4	66 12.5	20 3.8	49 9.3	26 4.9	26 4.9

Q7 海外旅行頻度

Q7 海外旅行頻度								
合 計	3 年 に 1 回 未 満	3 年 に 1 回 程 度	2 年 に 1 回 程 度	1 年 に 1 回 程 度	半 年 に 1 回 程 度	3 ヶ 月 に 1 回 程 度	3 ヶ 月 に 1 回 以 上	海 外 旅 行 に は 行 っ た こ と が な い
529 100.0	60 11.3	42 7.9	44 8.3	98 18.5	55 10.4	26 4.9	9 1.7	195 36.9

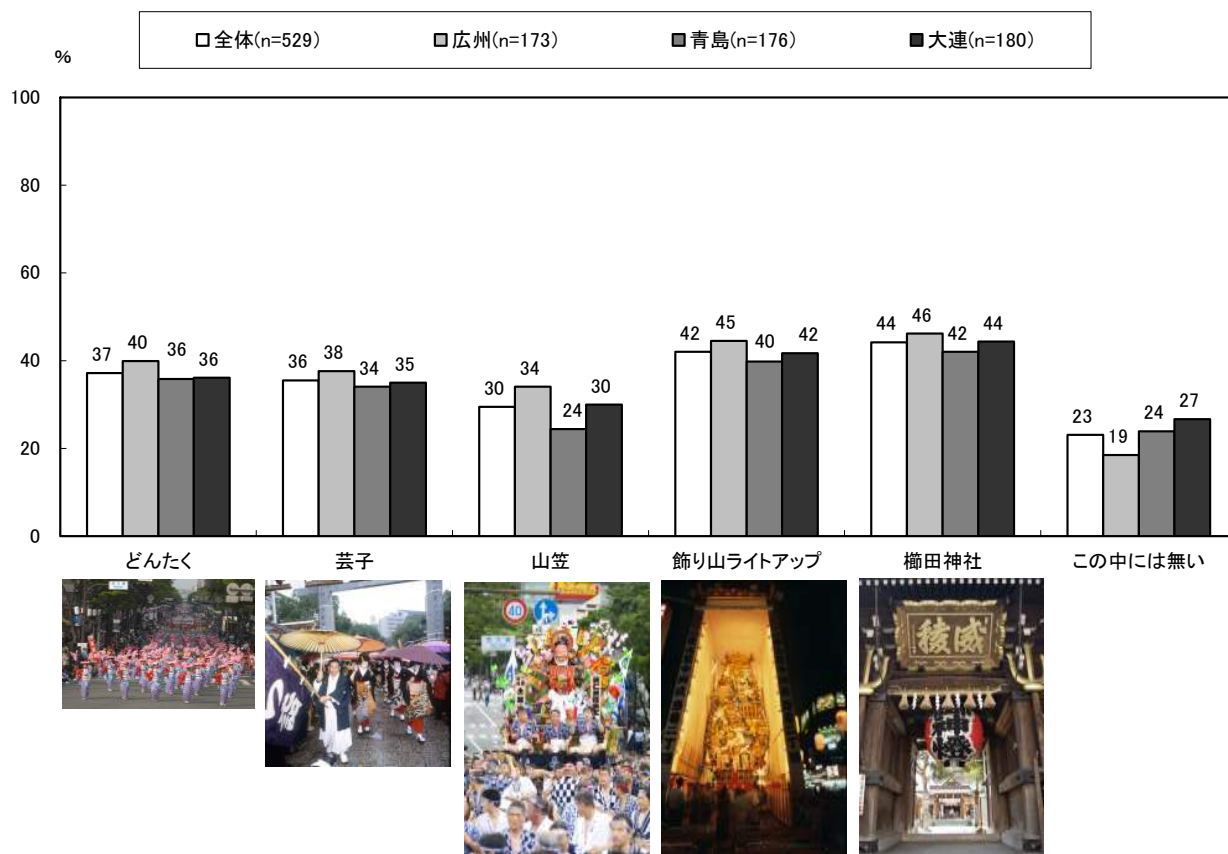
2) 行ってみたいくなるイメージ写真

Q8. 次の写真のなかに、「そこに行ってみたくなるようなイメージ」がありますか。

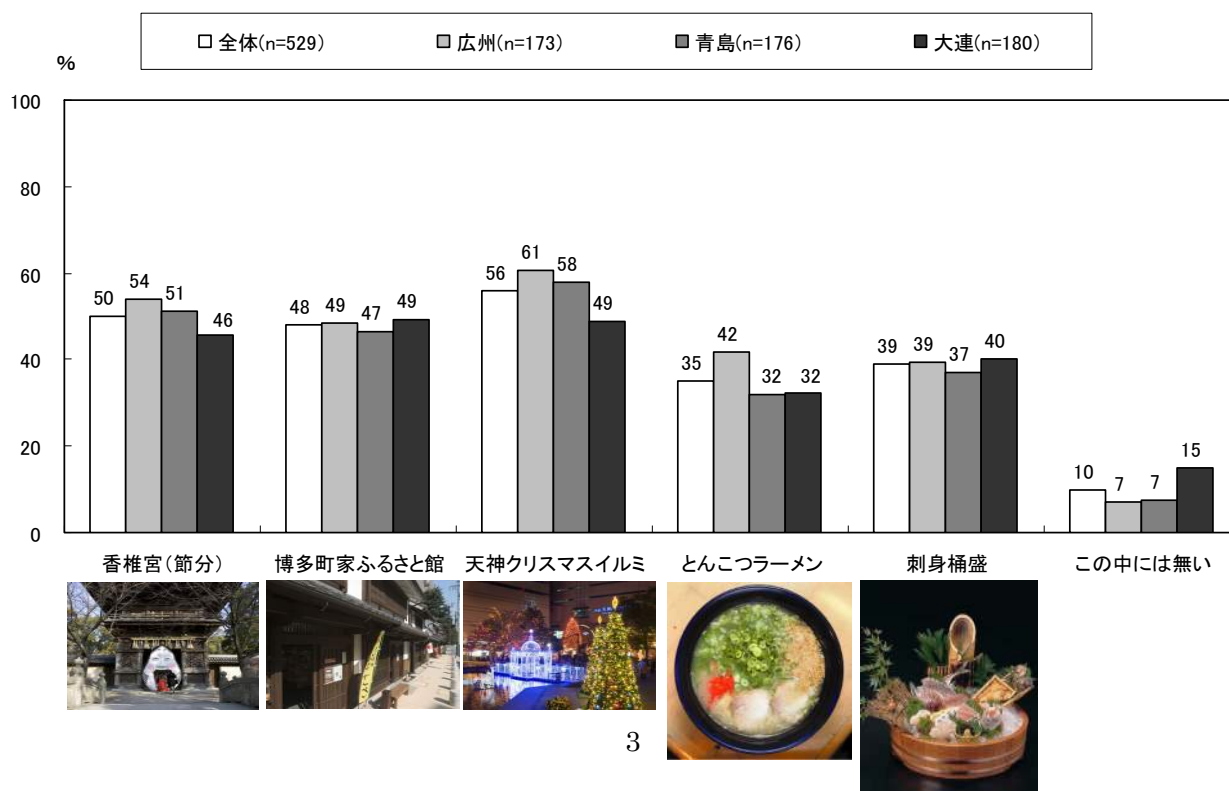
あてはまるもの総てお選び下さい。

【注】調査では写真のみを表示し、適宜順番を入れ替えバイアスの出現を抑えながら実施し、30 枚の写真を6グループに分け、5枚の写真を1グループとし、WEB 画面上に表示し、1 枚ごとにチェックして選んでもらった。

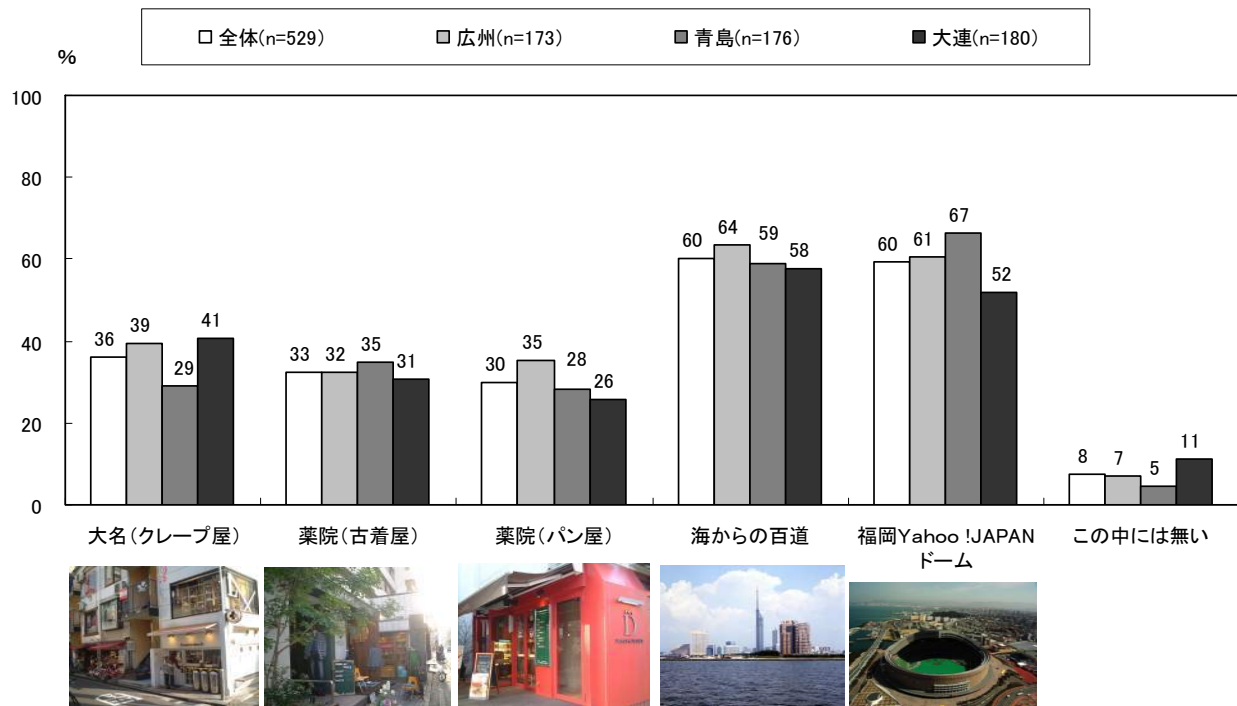
Q8-1 都市のイメージ Group-1 MA【都市別】



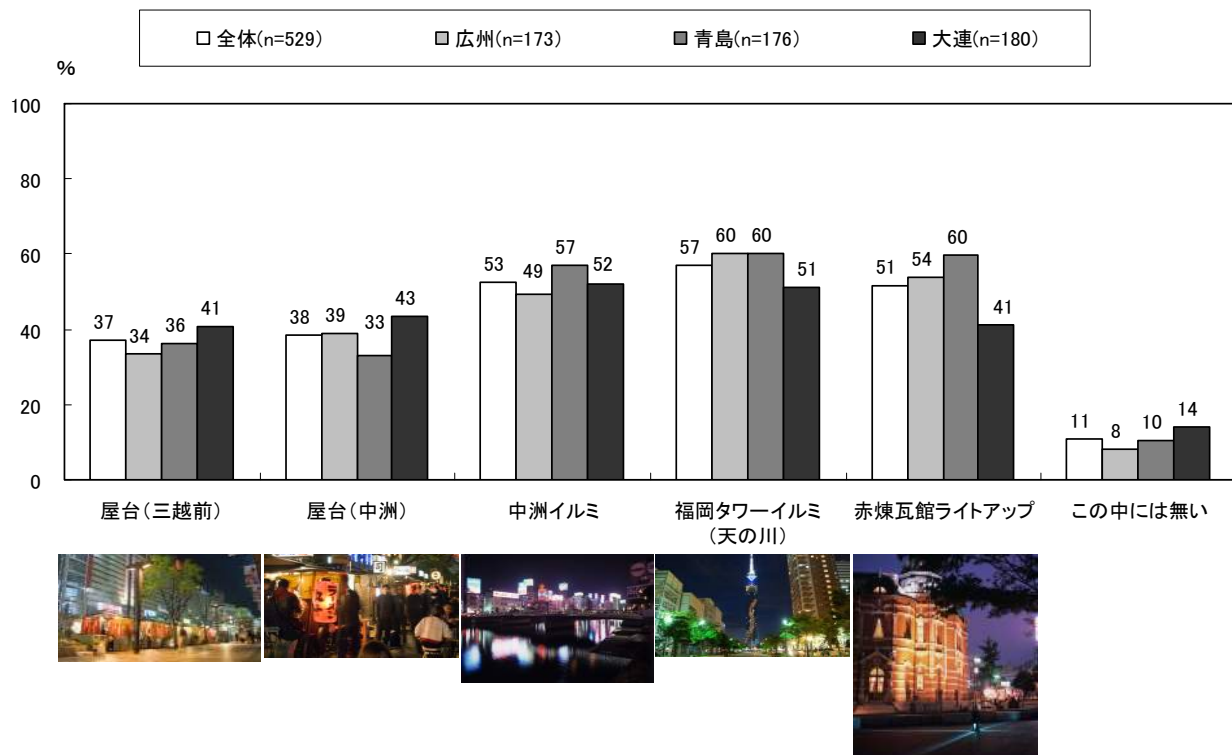
Q8-2 都市のイメージ Group-2 MA【都市別】



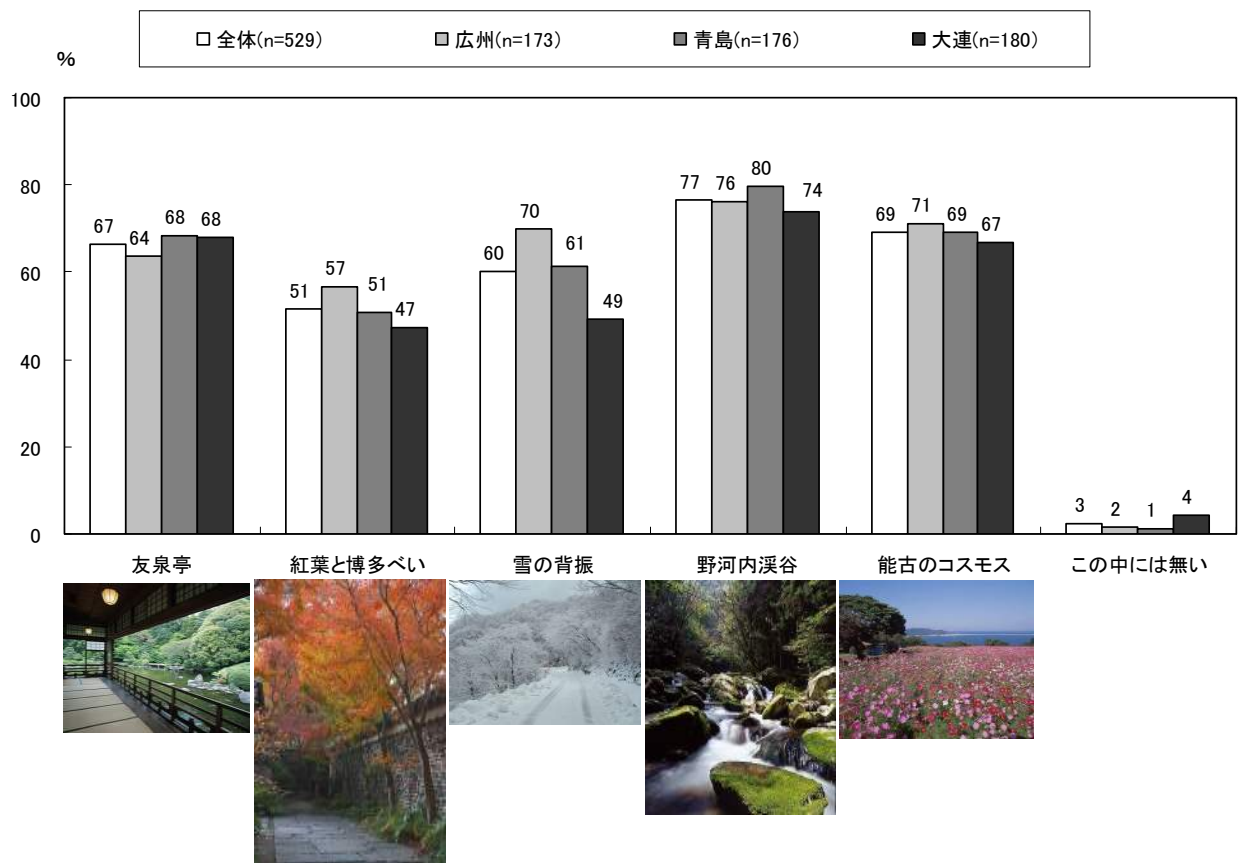
Q8-3 都市のイメージ Group-3 MA【都市別】



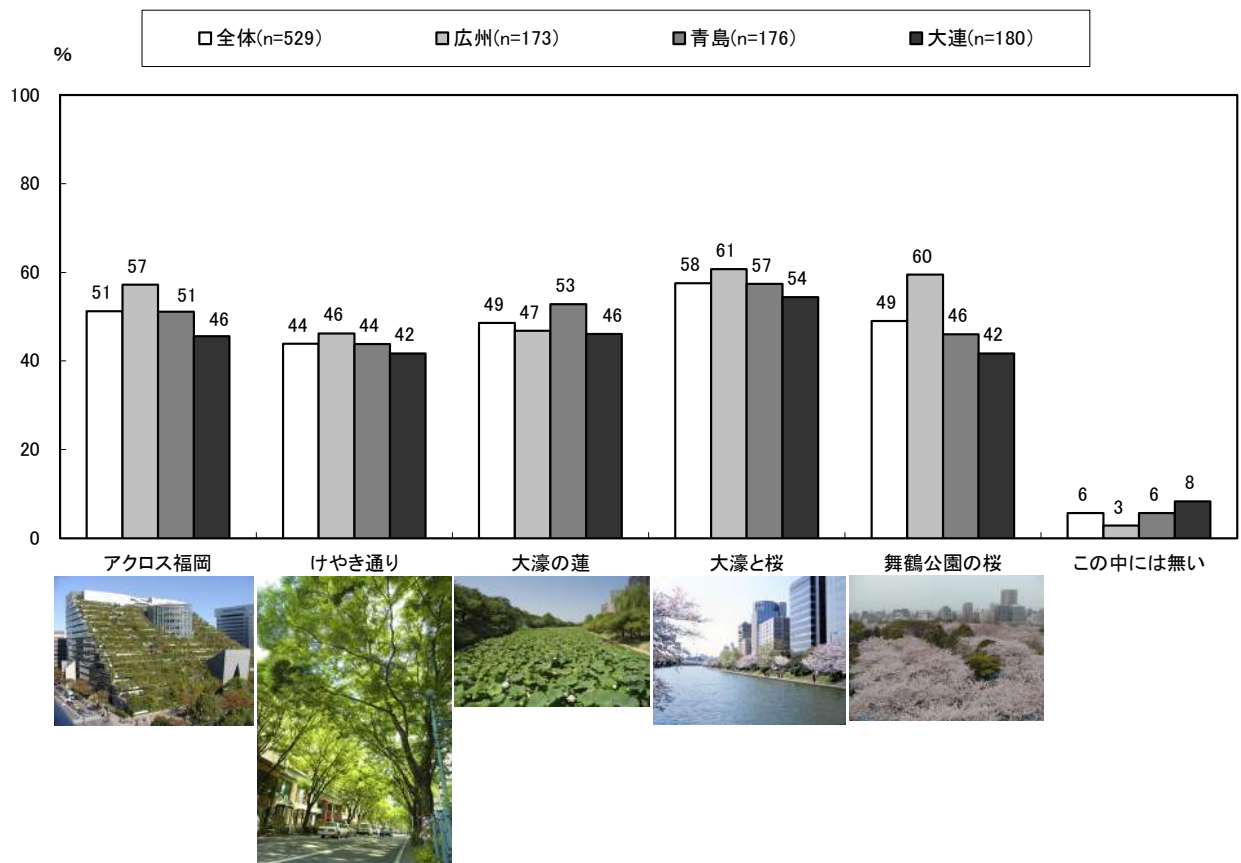
Q8-4 都市のイメージ Group-4 MA【都市別】



Q8-5 都市のイメージ Group-5 MA【都市別】



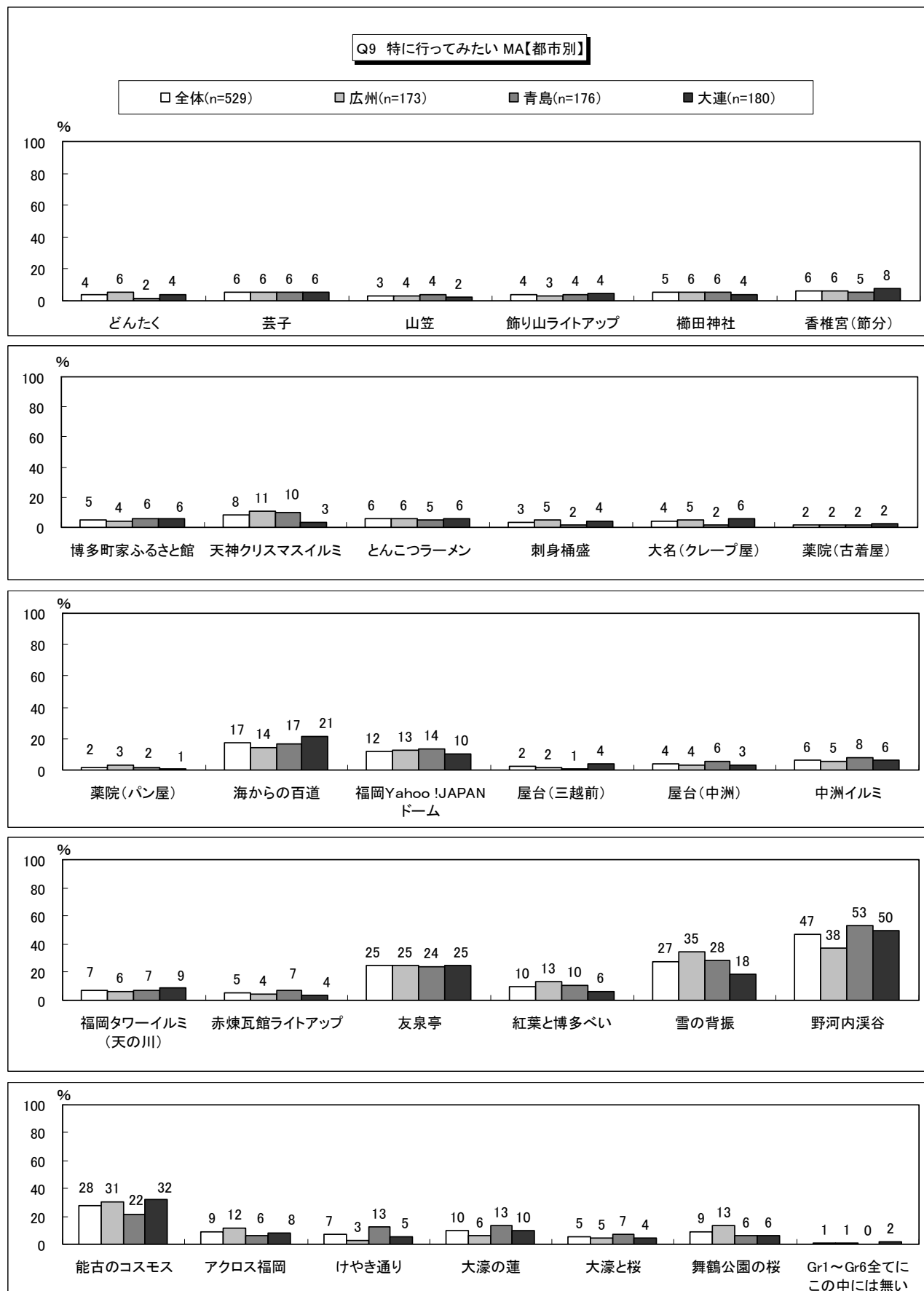
Q8-6 都市のイメージ Group-6 MA【都市別】



3) 特に行ってみたくなるようなイメージ写真

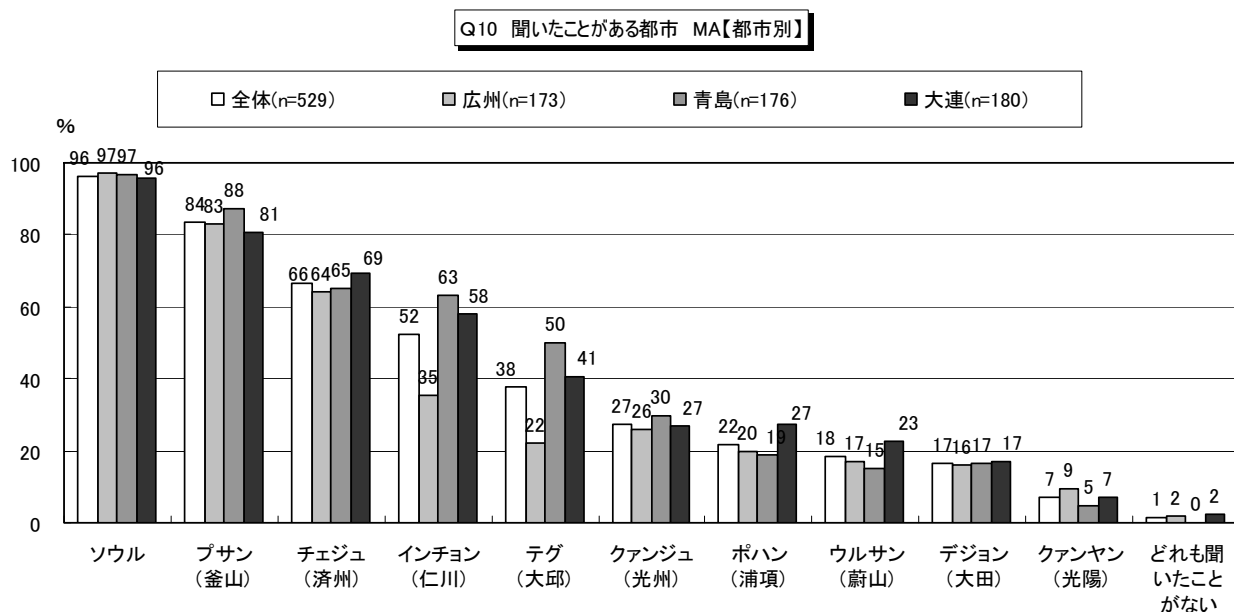
Q9. Q8 であなたが選んだ「そこに行ってみたくなるようなイメージ」のうち、特に「行ってみたい」と思ったものを3つまで選んで下さい。

【注】WEB 画面上には Q8 で選んだ写真のみが現れる。



4) 聞いたことがある韓国の都市

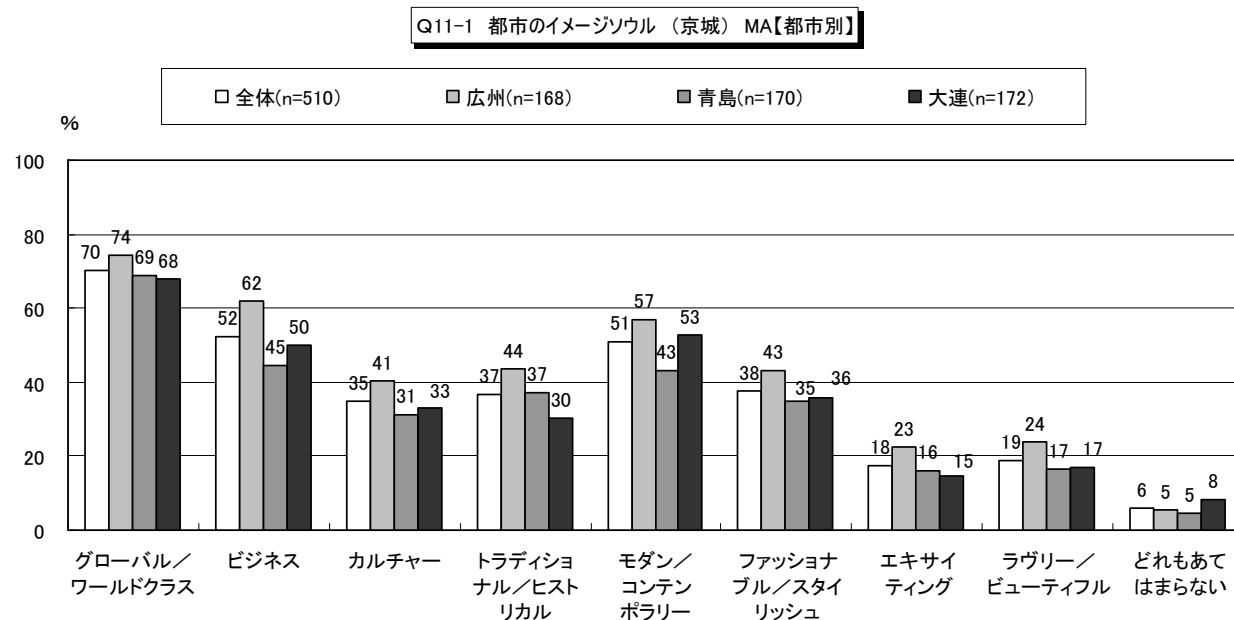
Q10. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるもの総て)



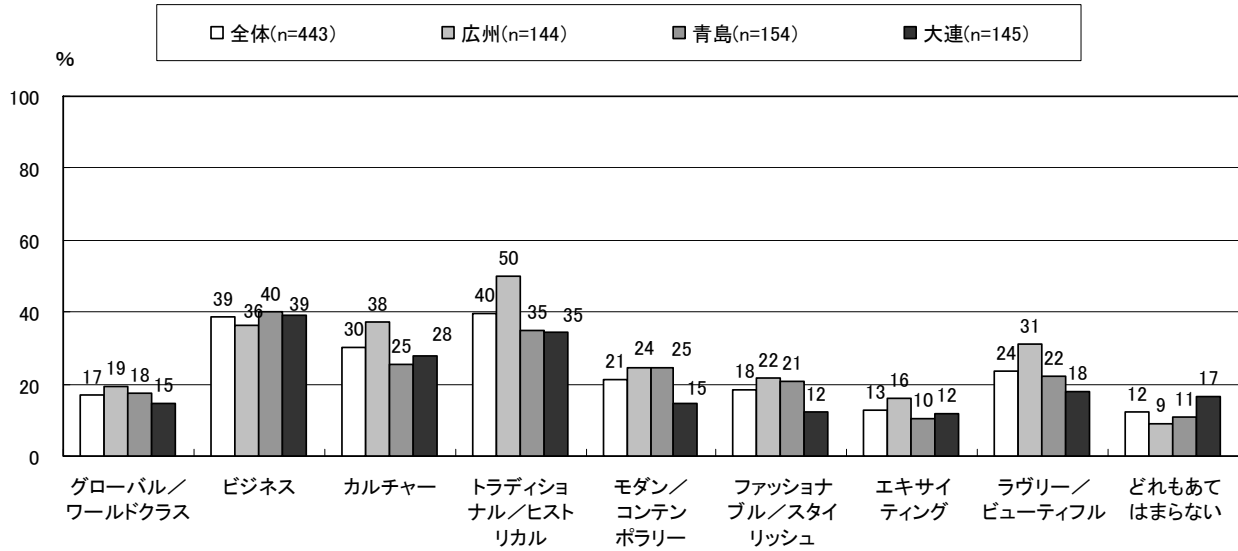
5) 聞いたことがある韓国の都市に持っているイメージ

Q11. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

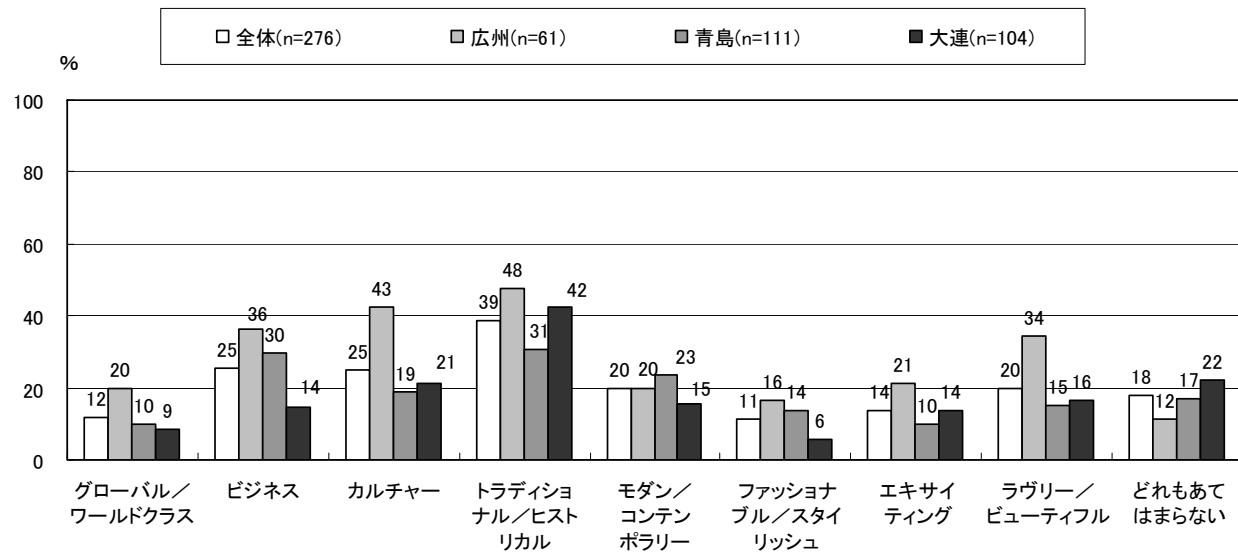
【注】WEB画面上にはQ10で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



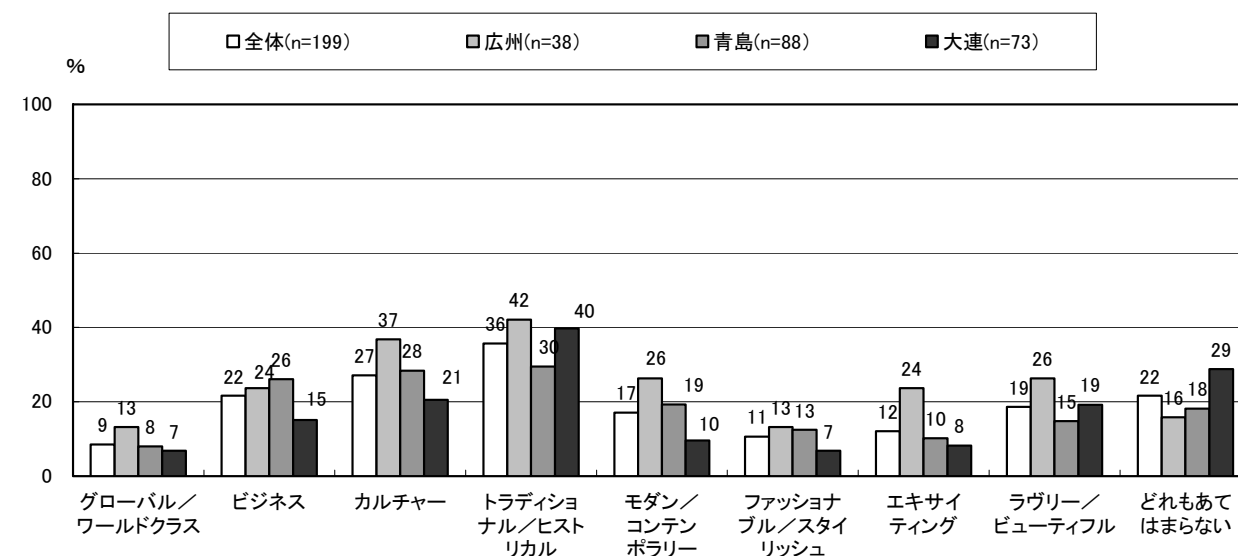
Q11-2 都市のイメージ プサン(釜山) MA【都市別】



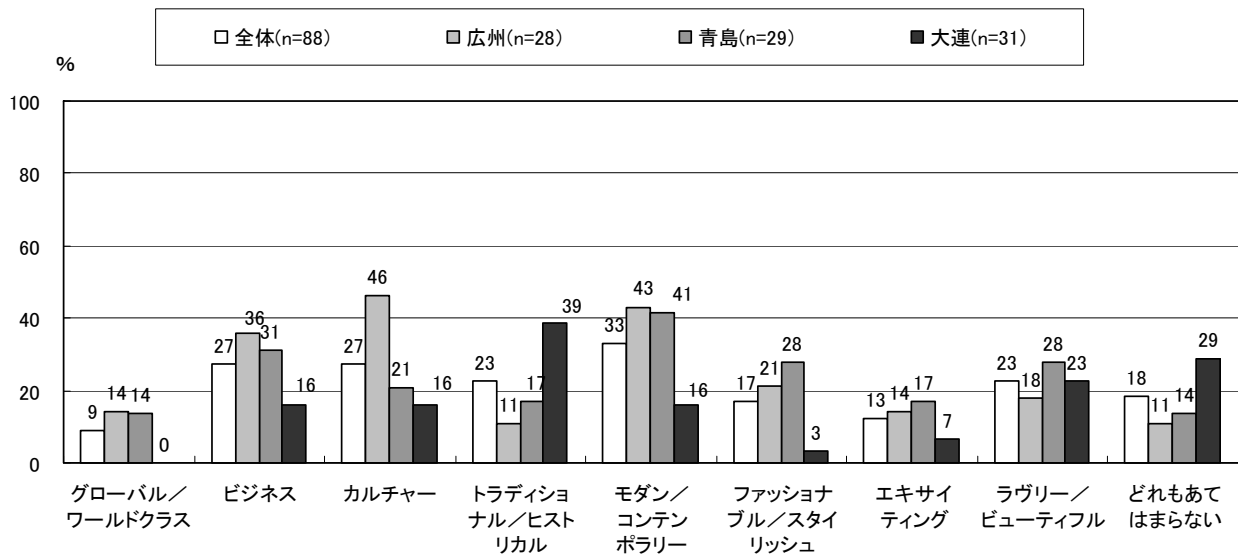
Q11-3 都市のイメージ インチョン(仁川) MA【都市別】



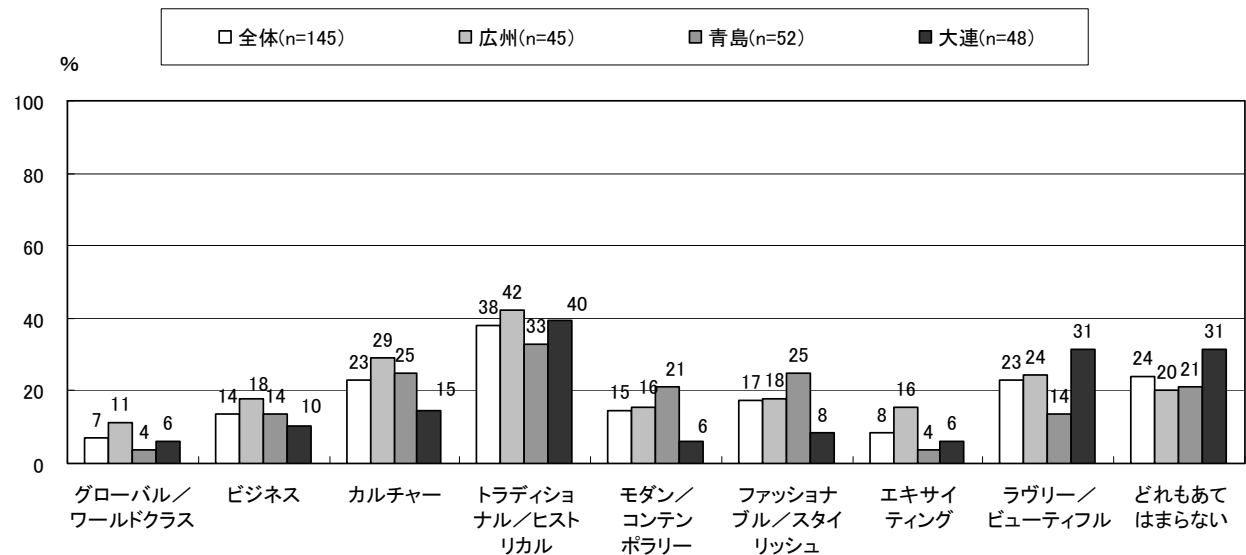
Q11-4 都市のイメージ テグ(大邱) MA【都市別】



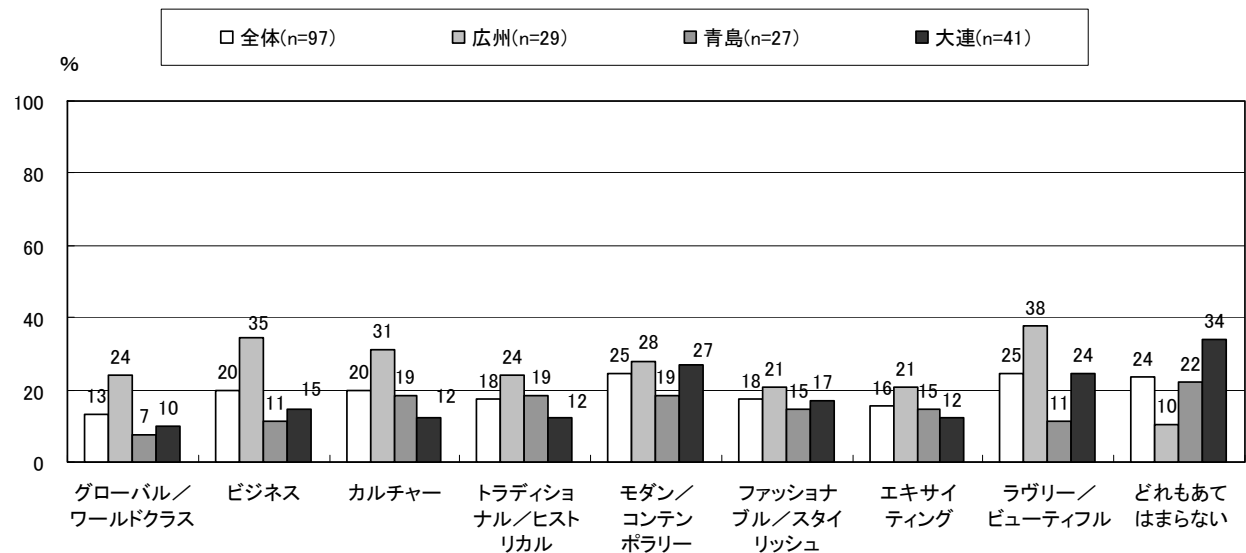
Q11-5 都市のイメージ デジョン(大田) MA【都市別】



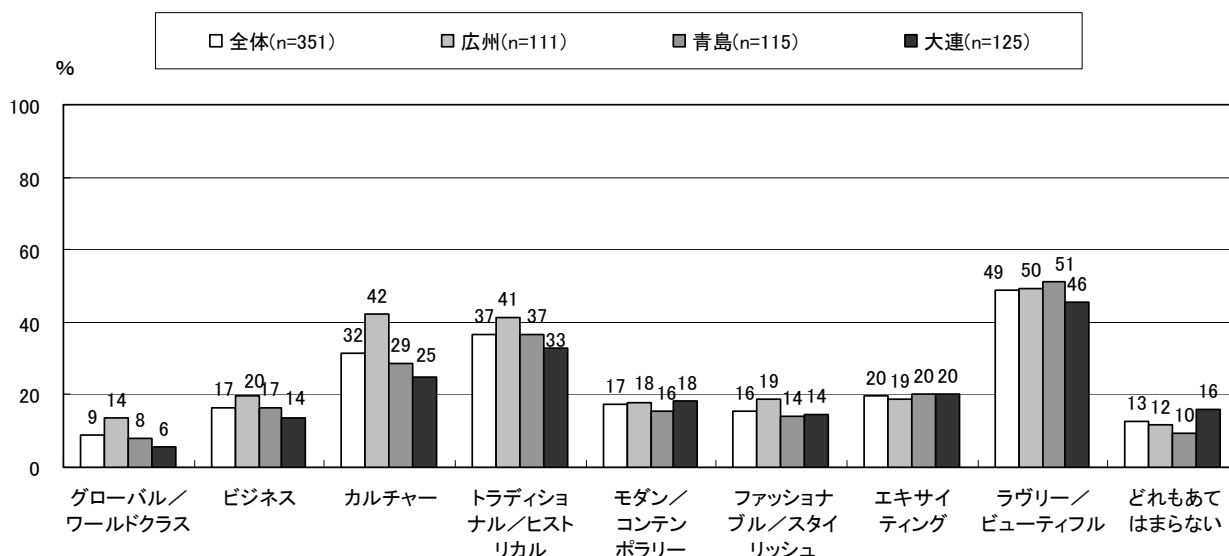
Q11-6 都市のイメージ クアンジュ(光州) MA【都市別】



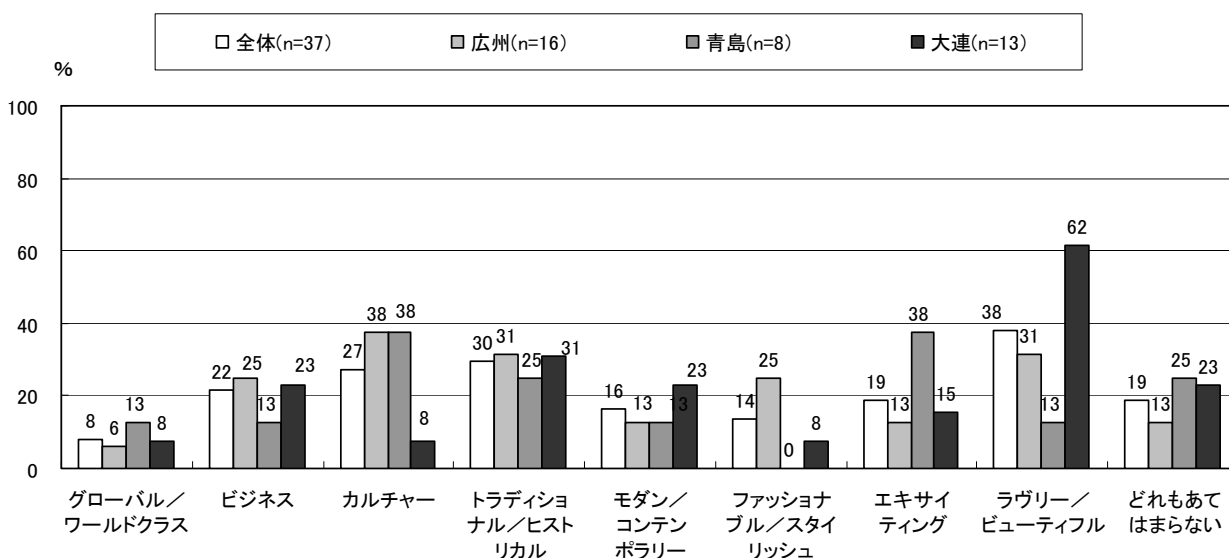
Q11-7 都市のイメージ ウルサン(蔚山) MA【都市別】



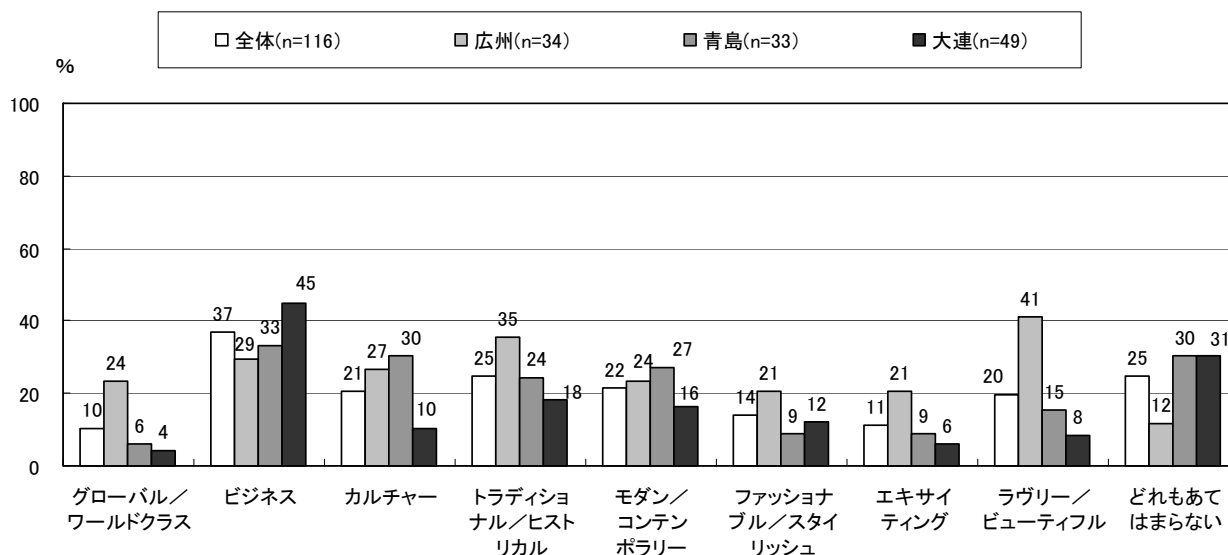
Q11-8 都市のイメージ チェジュ(済州) MA【都市別】



Q11-9 都市のイメージ クアンヤン(光陽) MA【都市別】

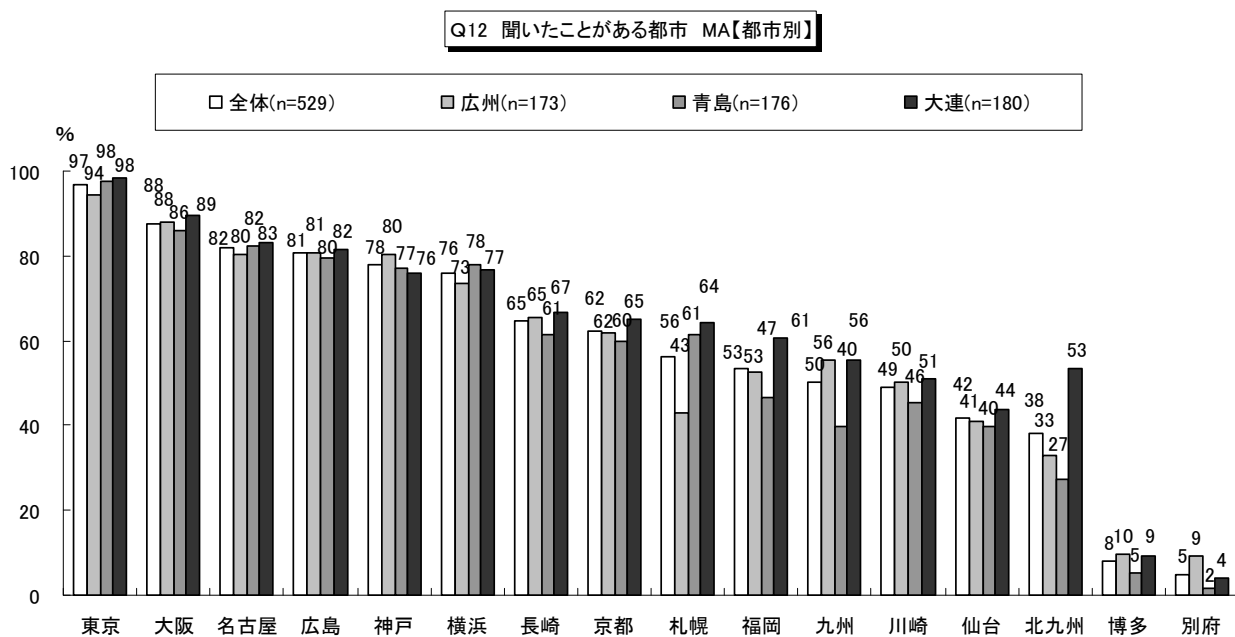


Q11-10 都市のイメージ ポハン(浦項) MA【都市別】



6) 聞いたことがある日本の都市・地域

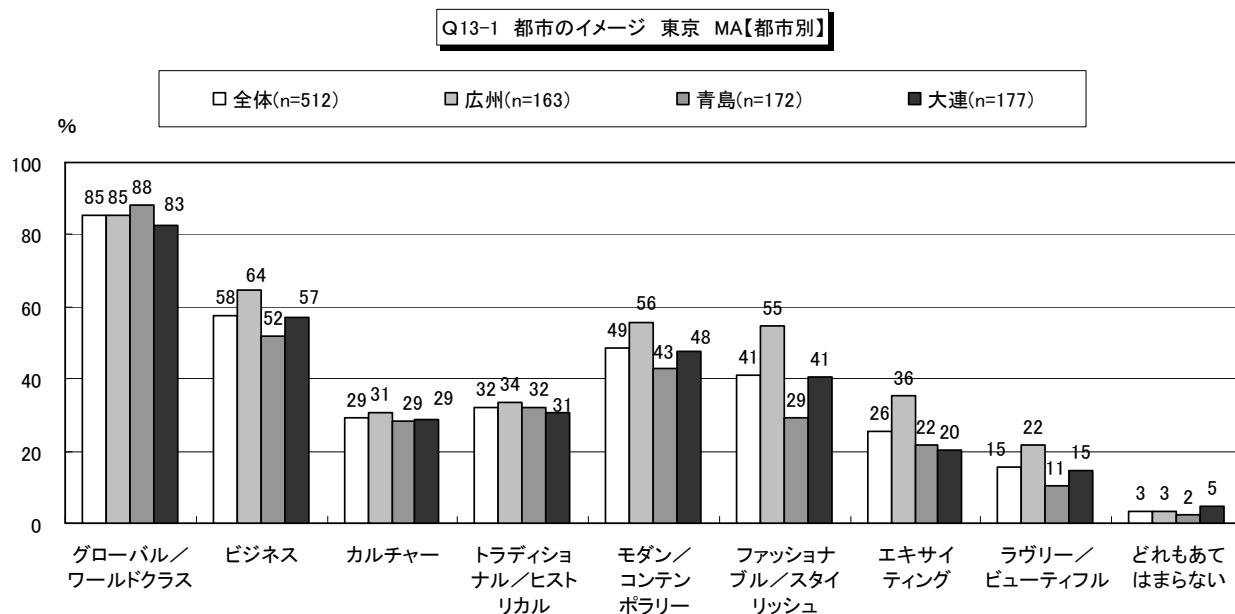
Q12. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるもの総て)



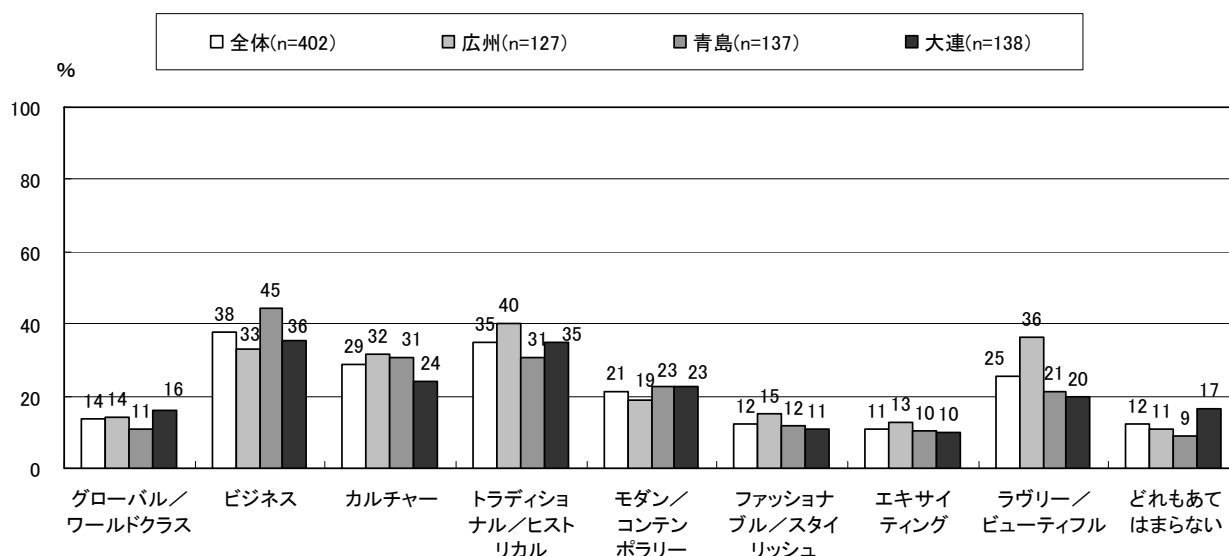
7) 聞いたことがある日本の都市に持っているイメージ

Q13. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

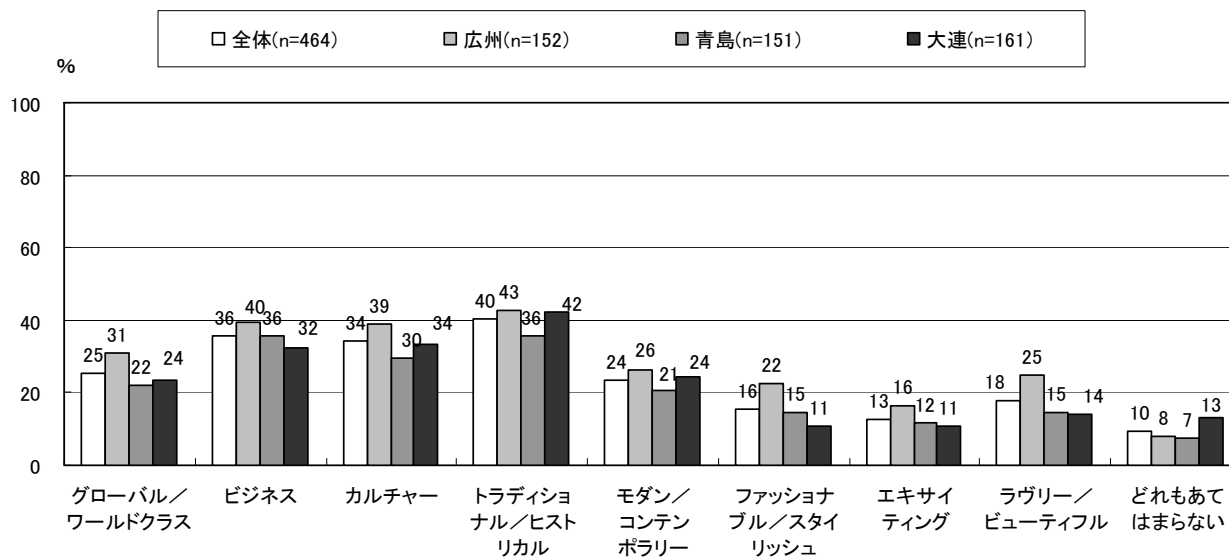
【注】WEB 画面上には Q12 で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



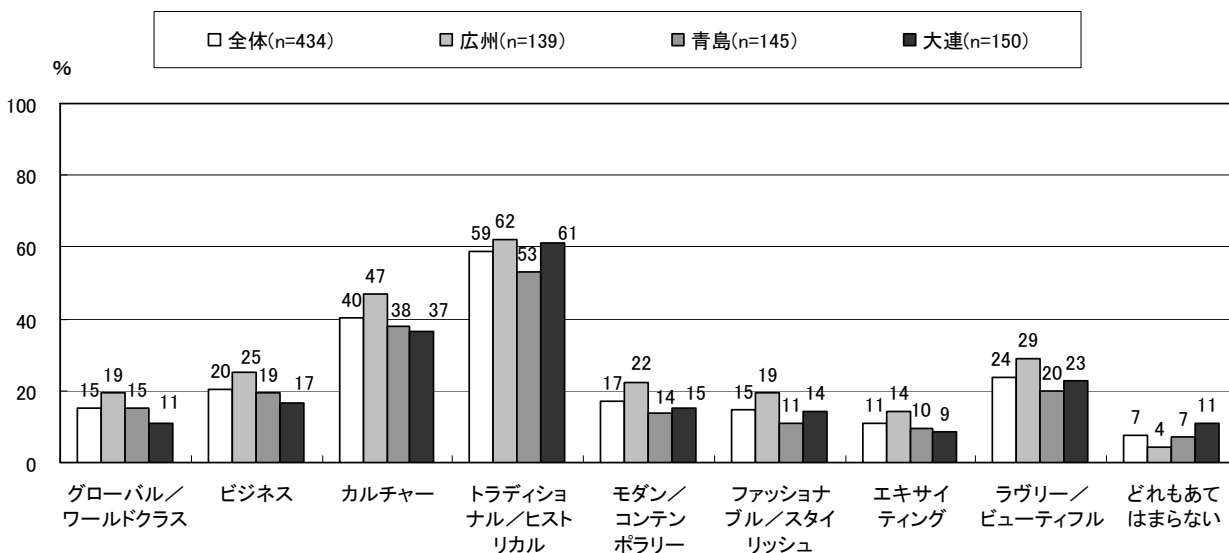
Q13-2 都市のイメージ 横浜 MA【都市別】



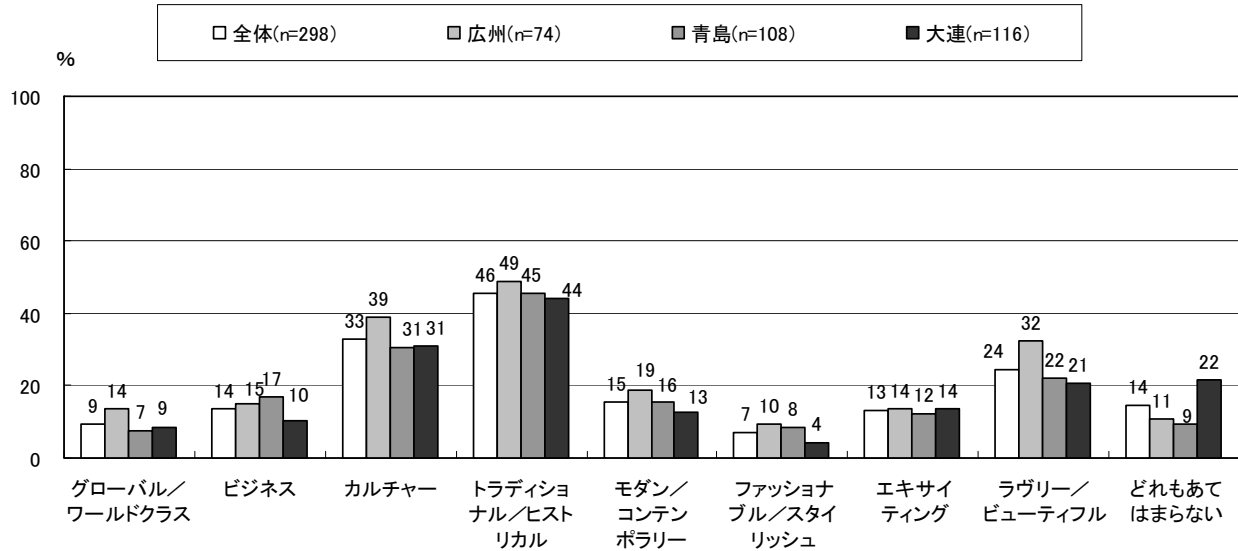
Q13-3 都市のイメージ 大阪 MA【都市別】



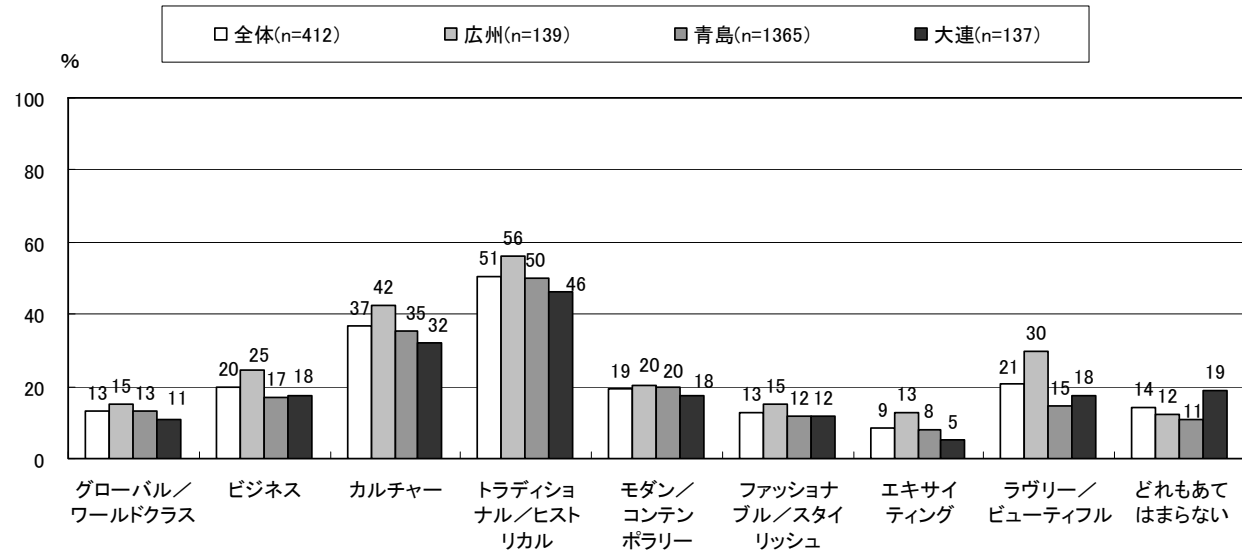
Q13-4 都市のイメージ 名古屋 MA【都市別】



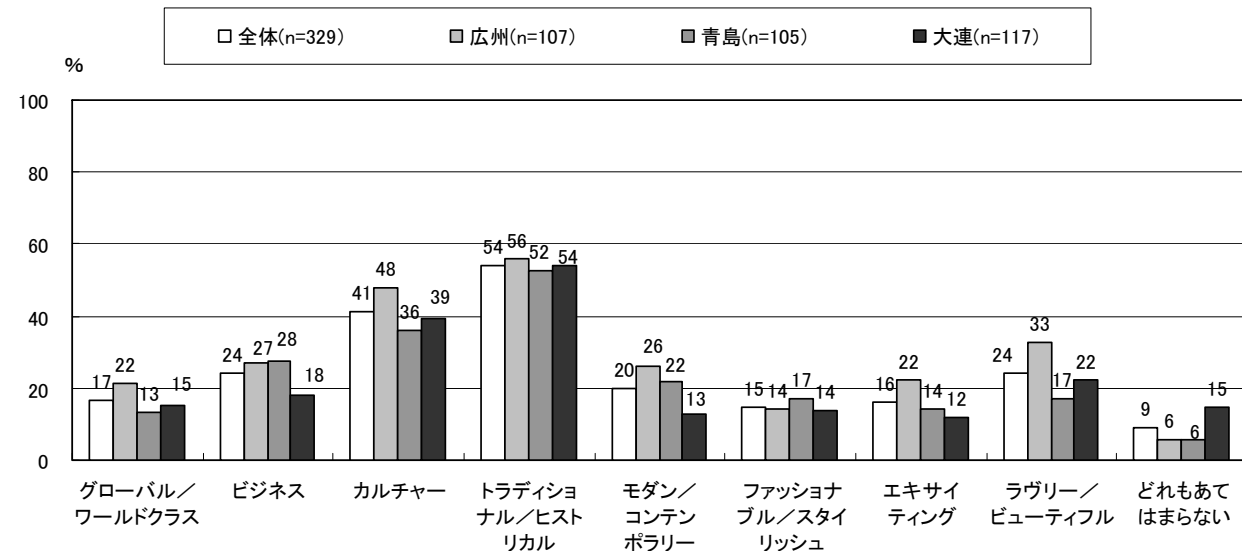
Q13-5 都市のイメージ 札幌 MA【都市別】



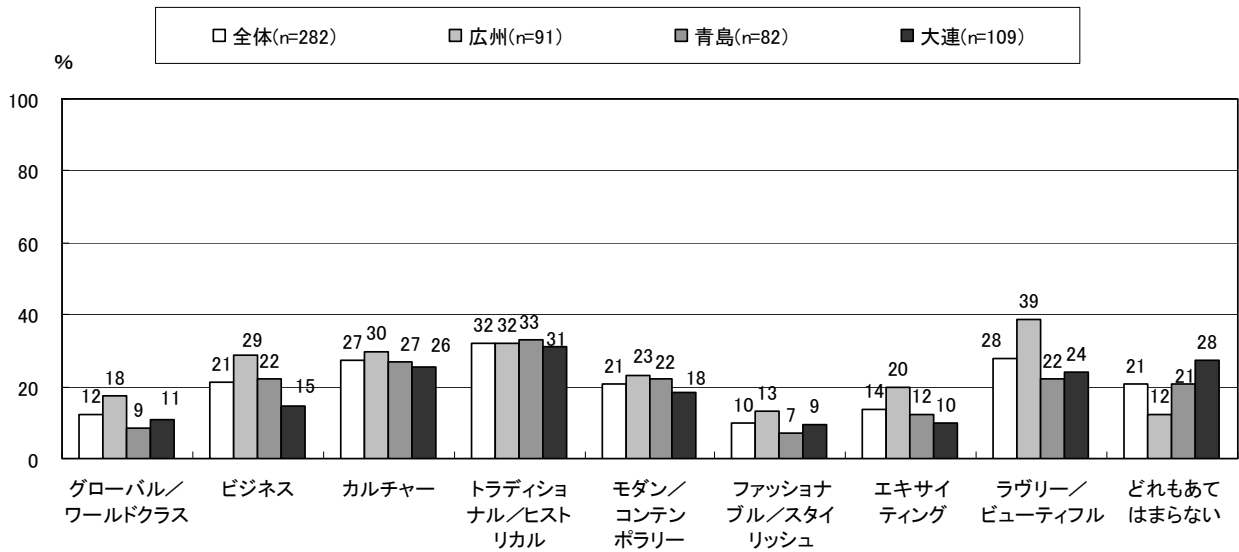
Q13-6 都市のイメージ 神戸 MA【都市別】



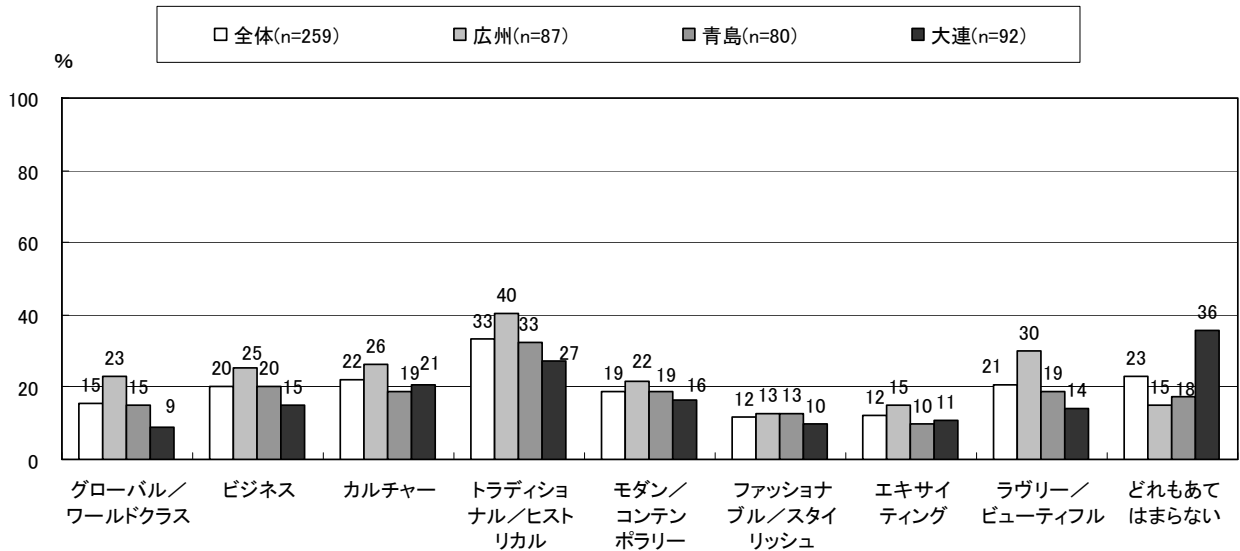
Q13-7 都市のイメージ 京都 MA【都市別】



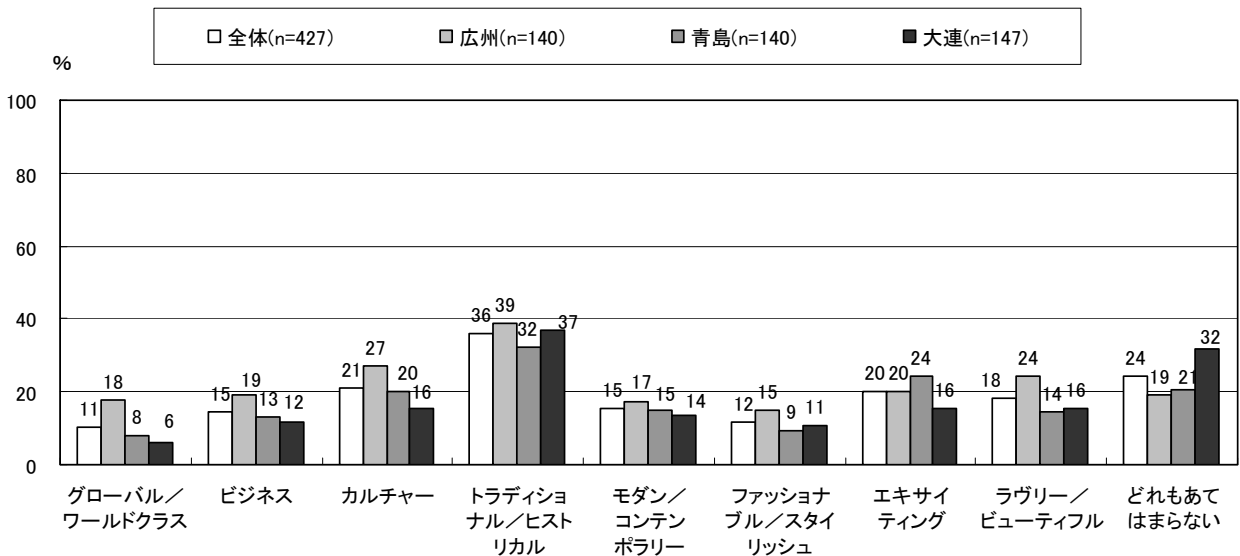
Q13-8 都市のイメージ 福岡 MA【都市別】



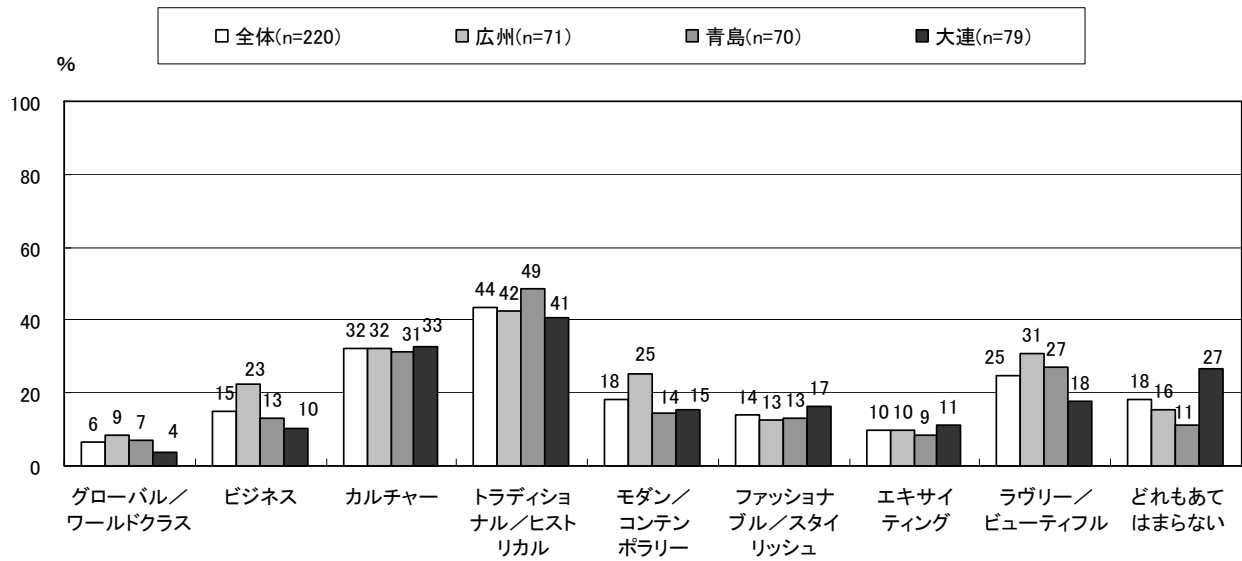
Q13-9 都市のイメージ 川崎 MA【都市別】



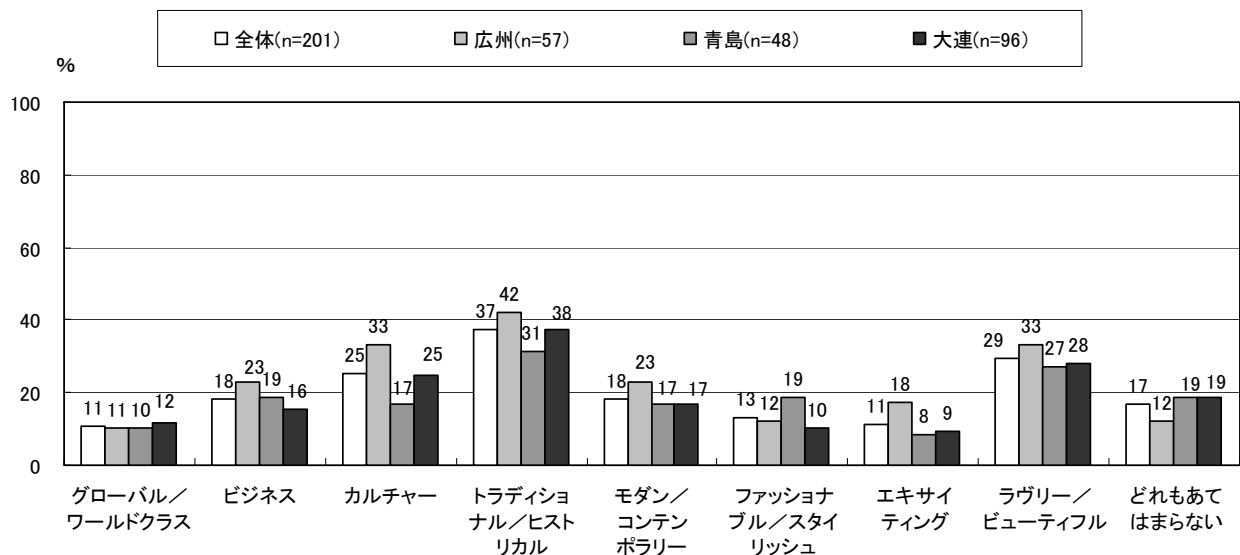
Q13-10 都市のイメージ 広島 MA【都市別】



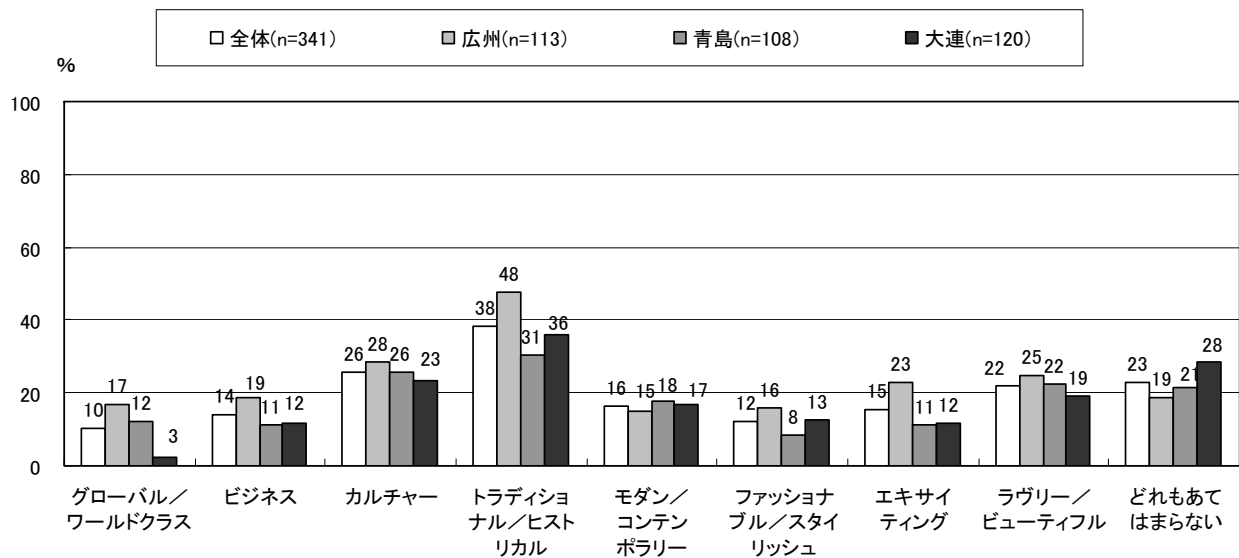
Q13-11 都市のイメージ 仙台 MA【都市別】



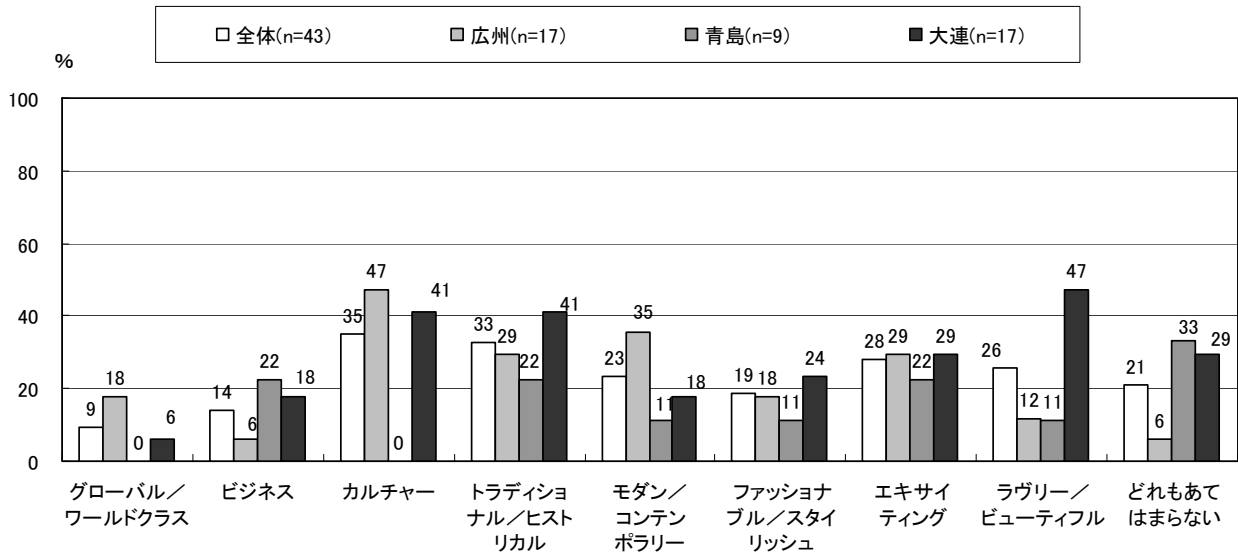
Q13-12 都市のイメージ 北九州 MA【都市別】



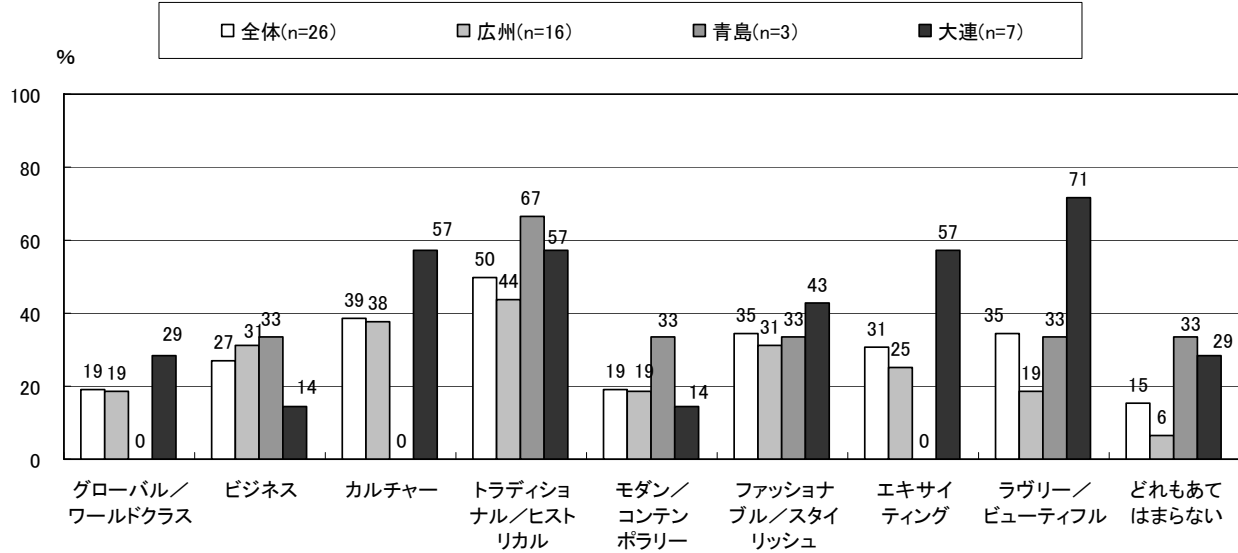
Q13-13 都市のイメージ 長崎 MA【都市別】



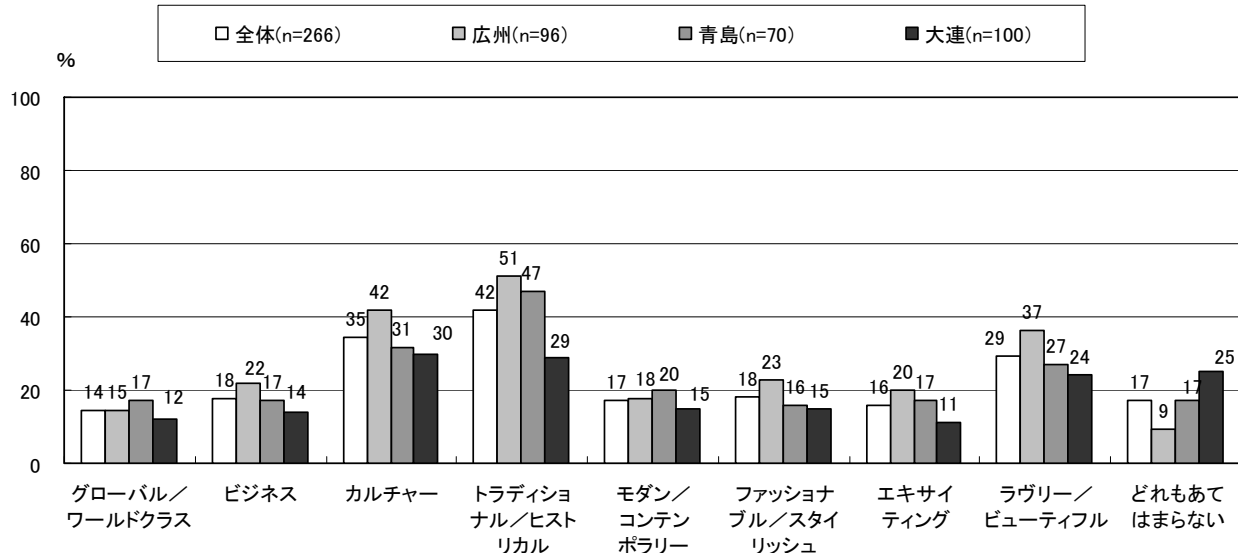
Q13-14 都市のイメージ 博多 MA【都市別】



Q13-15 都市のイメージ 別府 MA【都市別】



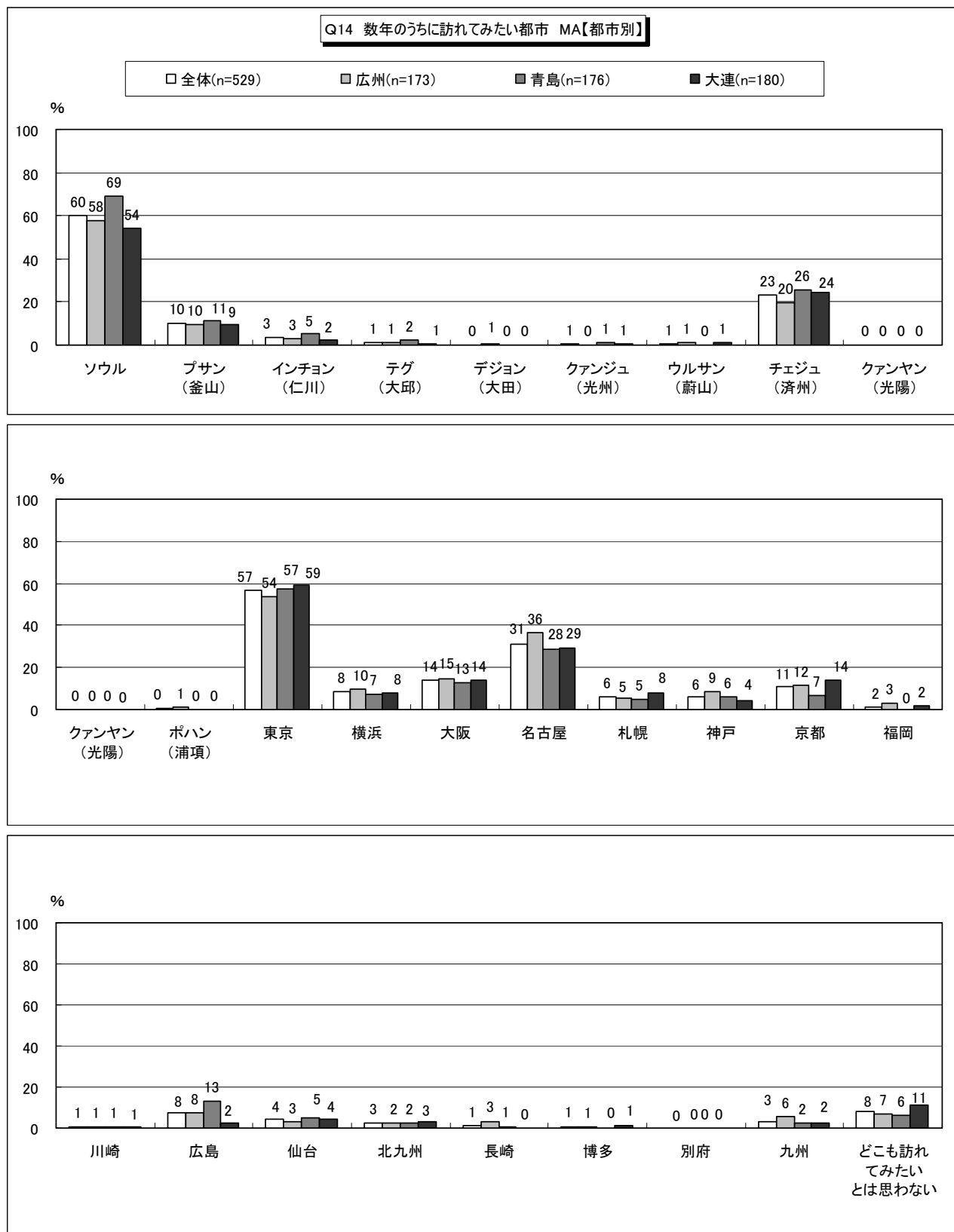
Q13-16 都市のイメージ 九州 MA【都市別】



8) ここ数年の間に訪れてみたい都市（知っている都市に関して）

Q14. 次にあげる都市の中で、あなたがここ数年の間にぜひ訪れてみたい(再訪も含む)都市はありますか。訪れてみたい都市を3つまで選んでください。

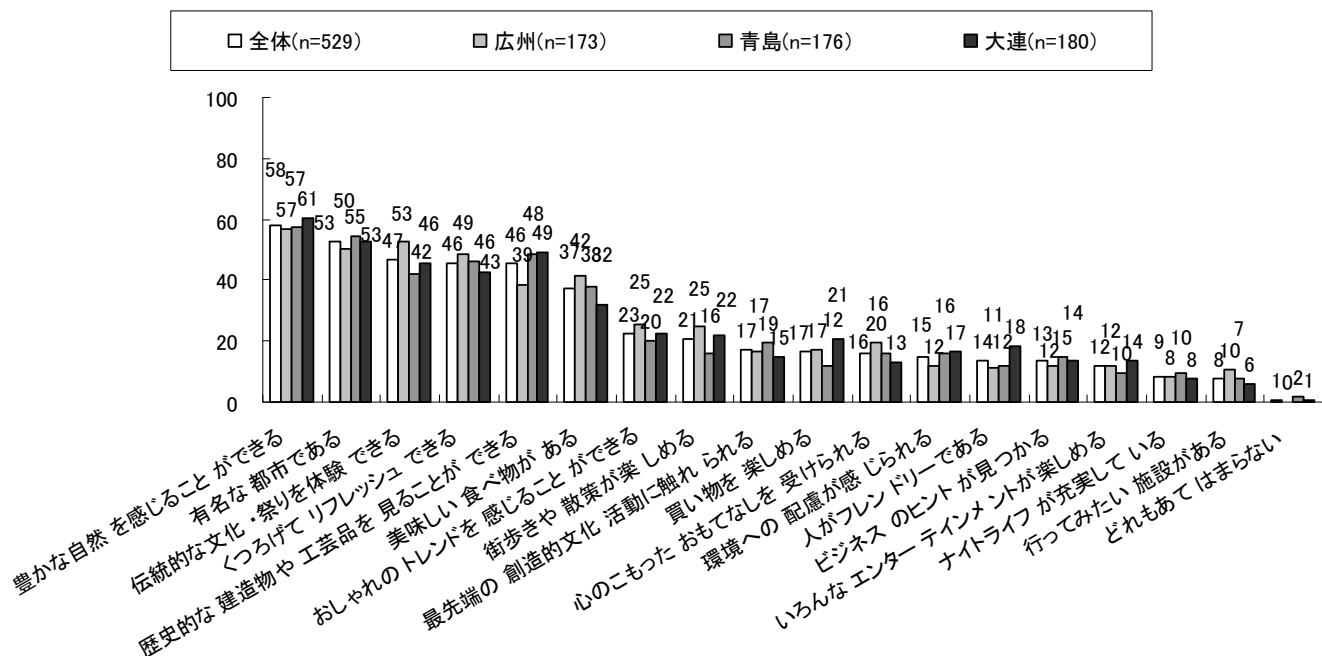
【注】WEB画面上にはQ10. Q12で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



9) 訪れてみたい都市のイメージ

Q15. あなたにとって「訪れてみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

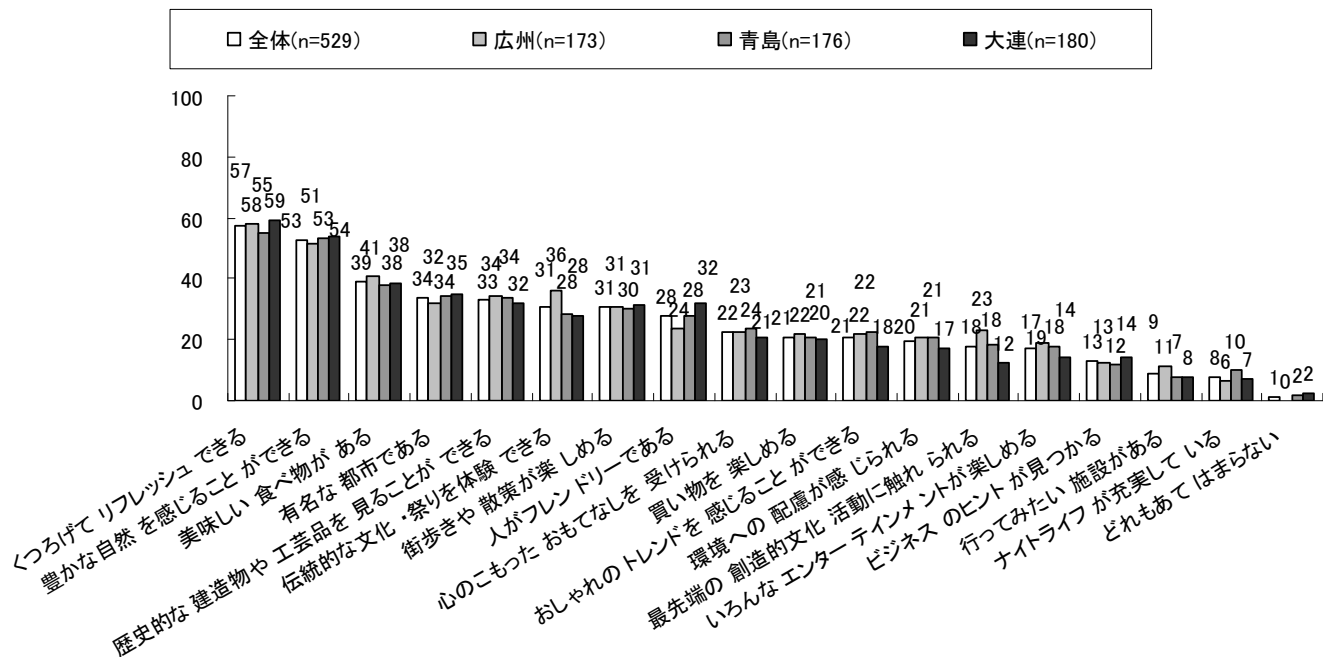
Q15 訪れてみたい都市 MA【都市別】



10) 住んでみたい都市のイメージ

Q16. あなたにとって「住んでみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

Q16 住んでみたい都市 MA【都市別】



11) 福岡市と聞いて連想する言葉（自由記述 281 名が回答）

Q17. 福岡市と聞いて連想する言葉を、キーワードで1つお答えください。

【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

Q17	Q17FAの翻訳
日本	日本
工業	工業
悠闲	ゆったり
历史悠久	悠久の歴史
优雅	優雅
没有	なし
不知道	わからない
温情	温情
现代时尚	現代ファッション
大连的友好城市	大連の友好都市
新鲜活力	新鮮な活力
活力	活力
什么都想不到	思いつかない
是一个有浓厚文化的城市	濃厚な文化がある都市
食之都	グルメの都
旅游	旅行
传统	伝統
海	海
不知道	わからない
徐福	徐福伝説
想不出来	思いつかない
历史悠久	悠久の歴史
GOOD	良い
海边	海辺
只听过这个城市, 对日本整体都没好印象	都市名を聞いたことはあるが日本全体に対してよい印象がない。
不知道	わからない
环保	環境保護
历史古迹	史跡
友好	友好
猪骨拉面	豚骨ラーメン
美食	グルメ
古迹	史跡
亲切	親切
新潮	最新流行
没感觉	わからない
博多	博多
平安时代	平安時代
日本内相对低的消费	日本の中では割安
日本	日本
不知道	わからない
广州友好城市	広州の友好都市
陌生	わからない
可爱	かわいい
活力	活力
好吃	おいしい
国际化	国際化
漂亮	美しい
国际化	国際化
温泉	温泉
体育	スポーツ
美丽	美しい
发达	発達
不知道	わからない
陌生	わからない
美丽	美しい
幸福的港湾	幸せの港
美丽	美しい

可爱	かわいい
没	なし
现代时尚	現代ファッション
历史悠久	悠久の歴史
现代	現代
友谊城市	友好都市
民俗	民俗
商业	商業
友好城市	友好都市
新鲜	新鮮
电视剧	ドラマ
日本的一个城市	日本の一都市
广州市的友好城市	広州市の友好都市
美食	グルメ
现代	現代
日本	日本
不知道	わからない
夜生活	ナイトライフ
历史	歴史
不了解	わからない
大自然	大自然
山	山
舒适	快適
不知道	わからない
悠久	悠久
魅力	魅力
很美	美しい
不知道	わからない
日本	日本
日本	日本
无	なし
历史悠久	悠久の歴史
日本	日本
历史	歴史
没	なし
没有	なし
南部城市	南部の都市
博多	博多
新奇	目新しい
优美	優美
福田康夫	福田康夫
宁静	静か
美丽	美しい
历史悠久	悠久の歴史
食之都	食の都
文化气息	文化の薫り
景色怡人	景色がよい
美丽	美しい
美丽	美しい
可爱	かわいい
传统	伝統
文化	文化
碧海蓝天	青い海と空
现代	現代
美食	グルメ
鲤鱼旗	こいのぼり
无	なし
在北九州	九州北部にある
繁华	にぎわい
原子弹	原子爆弾

没有	なし
传统	伝統
想不到	思いつかない
姐妹城市	姉妹都市
美丽	美しい
人文	文化
美丽	美しい
自然	自然
亲切	親切
没印象	思いつかない
适合居住的环境	居住に適した環境
太宰府	太宰府
历史有机	歴史の営み
大自然的美丽	大自然の美しさ
广州市的姐妹城市	広州市の姉妹都市
景色优美	景色の優美さ
想不起来	思い出せない
政府	政府
日本人	日本人
古典	古典
日本城市	日本の都市
无	なし
现代化	現代化
大自然的美丽与大都市的魅力共存	大自然の美しさと大都市の魅力は共存している
可爱	かわいい
友好	友好
美丽	美しい
古老	古い歴史
福田	福田
福岡机场	福岡空港
美丽	美しい
友好	友好
干净	清潔
充满活力	活気を満たす
GOOD	良い
日本	日本
度假胜地	リゾート地
日本	日本
传统	伝統
新潮	時流に乗った
广州	広州
只是听过	聞いたことがあるだけ
fukuyama	福山？
历史悠久	悠久の歴史
历史	歴史
新潮	時流に乗った
景色诱人	魅力的な景色
卫生	清潔
美丽	美しい
美丽	美しい
传统	伝統
没有	ない
我们的友好城市	私たちの友好都市
一个日本的城市, 美丽的城市, 古老而又年轻的 城市。	日本の都市、美しい都市、古さと近代性をもつ都 市。
吸引	引き付ける
美丽	美しい
福	福
是广州的友好城市	広州の友好都市
没	なし
大海	海

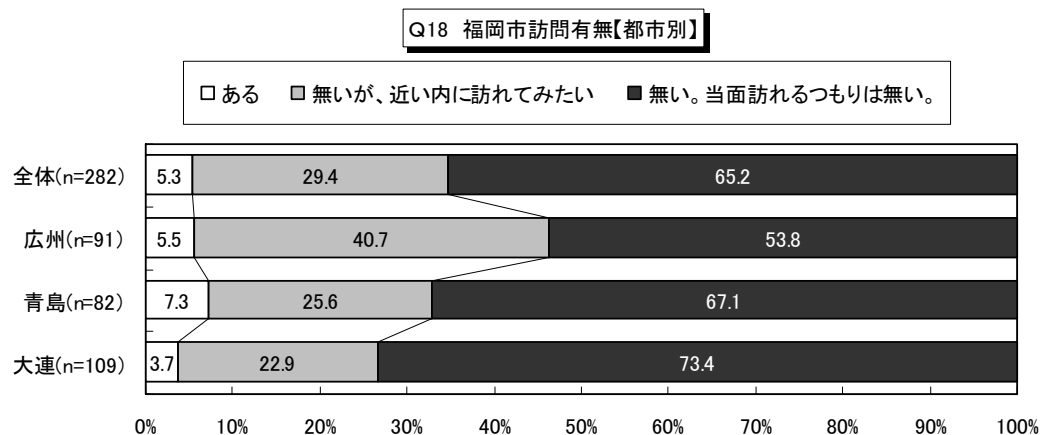
不知道	わからない
不	違う
没有	ない
松树	松の木
很美的城市。展览馆。	美しい都市。展覧館。
大自然的.美丽与大都市的魅力共存	大自然の美しさと大都市の魅力は共に存在する
港口	港
没有	ない
港口	港
美食之都	グルメの都市
活力 现代	活力 現代
传统文化	伝統文化
福气	幸運
文化节目丰富的城市	文化的なお祝いが豊かな都市
北九市	北九市
广州友好城市	広州の友好都市
历史悠久	悠久の歴史
小巧玲珑	小さくてかわいい
不知道	わからない
历史悠久	悠久の歴史
现代化	現代化
日本小城	日本の小さな町
漂亮	きれい
风情	風情
寿司	寿司
没有什么	別に
不清粗	よくわからない
文化	文化
干净	清潔
不知道	わからない
幸福	幸福
小城	小さな町
历史背景	歴史背景
不知道	わからない
大都市	大都市
古老新潮	古くて、モダンさもある
海滨城市	海辺の都市
北面	北の方
小城市	小さな町
没有	なし
想不起来	思い出せない
祝福	祝福
没有想到 对不起	すみません、考えられませんでした。
遣唐使	遣唐使
福气	幸せ
天然城市	大自然の都市
历史	歴史
魅力无限	無限の魅力
不会说	言えない
与大连友好城市	大連とは友好都市
不知道	わからない
美丽	美しい
福岡市博物馆	福岡市博物館
美丽	美しい
没有	ない
广州	広州
友好	友好的
热	熱い
日本小说	日本小説
可爱, 漂亮。	かわいくてきれい

历史	歴史
无	なし
传统	伝統
机场	空港
想不起来	思い出せない
不知道	わからない
美食	グルメ
美丽的城市, 博多塔, 展览馆, 黄蜂,	美しい都市、博多タワー、展覧館、スズメバチ。
不了解	わからない
一座充满活力的城市	活気にあふれた都市
不清楚	わからない
博多	博多
地震	地震
友好城市	友好都市
一个古老城市	古い都市
美丽	美しい
脑中一片空白	頭の中は空っぽです
没去过	行ったことはない
日本	日本
优美迷人	景色はきれいで、うっとりさせる
日本	日本
魅力	魅力
说不上	そうでもない
平淡无奇	平凡で、特徴はなし
普通	普通
福气	幸運
不很繁华	にぎやかではない
有名的地区	有名な地区
亲人	家族
商业	商業
大海	海
不太了解	あまりわからない
工业	工業
历史悠久	悠久の歴史
历史悠久	悠久の歴史
美食	グルメ
年轻	若さ
文化特色	文化的特色
中国人比较多, 大连的人更多一些	中国人は多い、特に大連は人口が多い
现代	現代的
没印象	印象に残っていない
学习	学習
时髦	おしゃれ
不知道, 只是听说过福岡	わからない、福岡は聞いたことがあるだけ

12) 福岡市の訪問経験

Q18. あなたは福岡市を訪れたことがありますか

【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】



13) 福岡市への訪問回数

Q19. あなたは福岡市をこれまで何回訪れましたか。

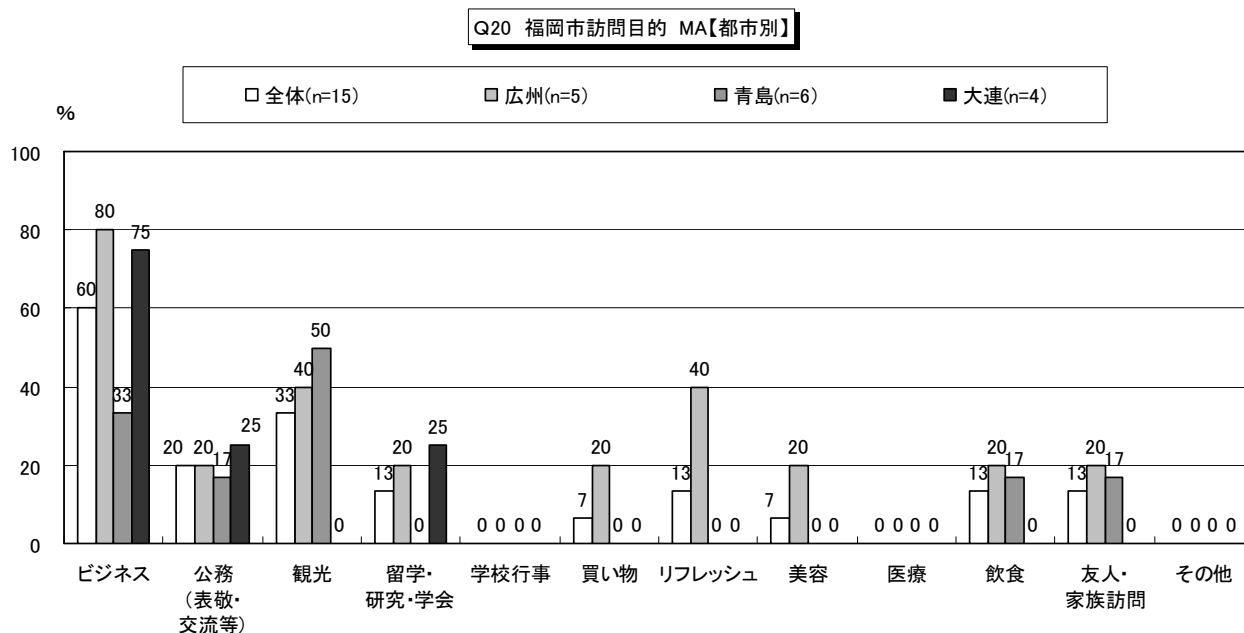
【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

		%	
上: %/下: 実数	合計	1回	2回
全体(n=15)	15	73.3	26.7
広州(n=5)	5	60.0	40.0
青島(n=6)	6	83.3	16.7
大連(n=4)	4	75.0	25.0

14) 福岡への訪問目的

Q20. あなたは福岡市にどのような目的で訪れたことがありますか。(あてはまるもの総て)

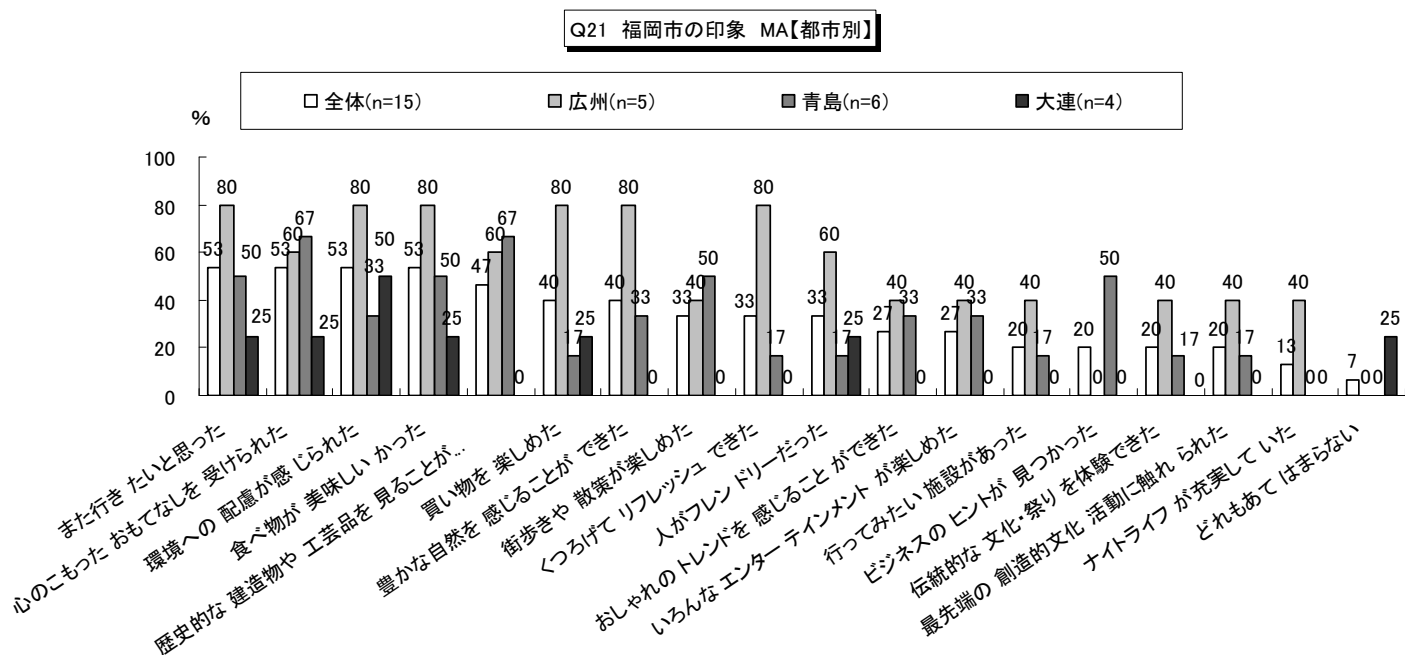
【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】



15) 福岡を訪問しての印象

Q21. 福岡市の印象はいかがでしたか。次の中から当てはまるものをすべてお選びください。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】



16) 福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(自由記述 15 名)

Q22. あなたが福岡で出会った最も「好きなもの・よかったこと」は何でしたか。ご自由にお書きください。【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

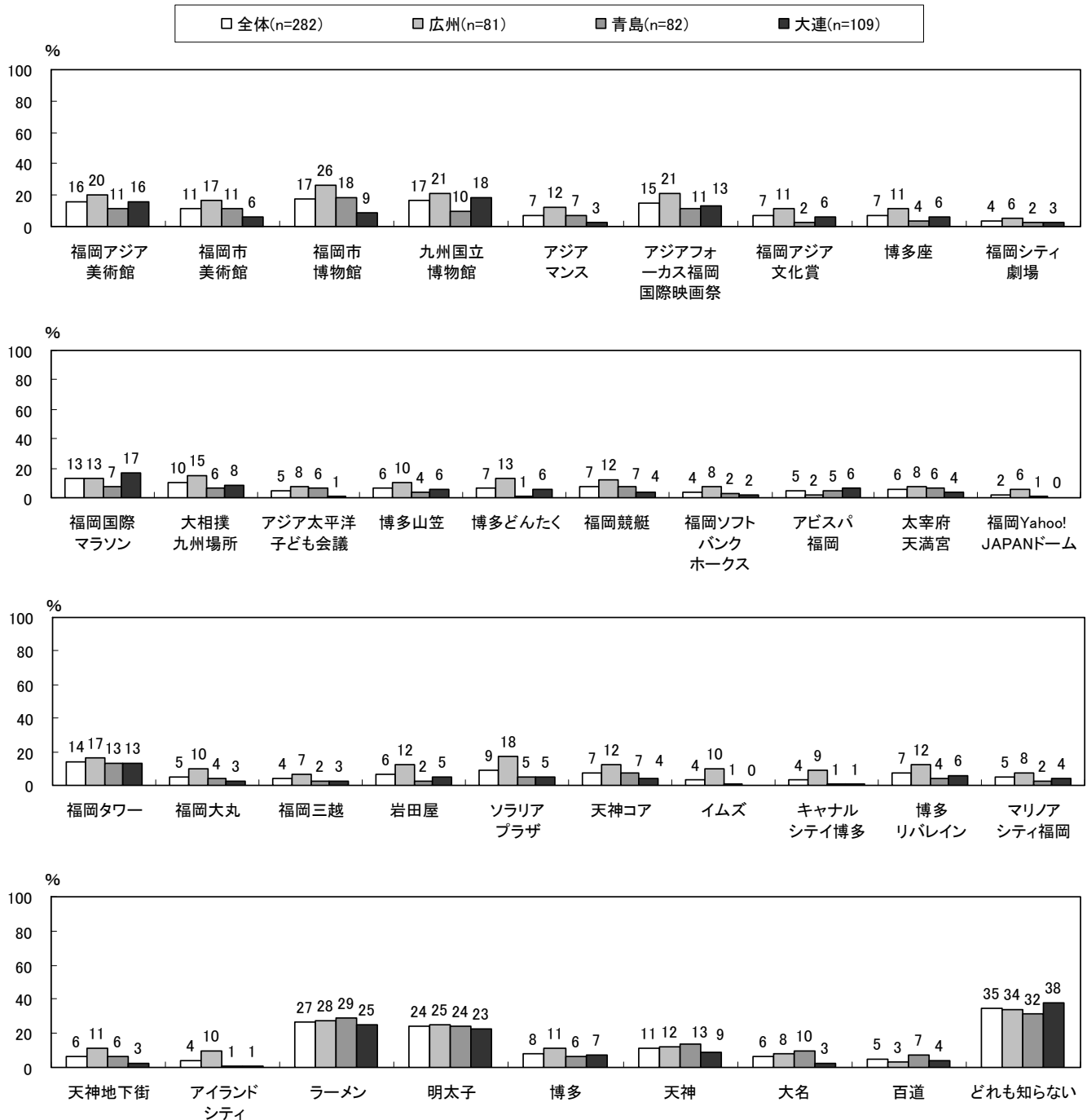
Q22	Q22FAの翻訳
古迹、美食	史跡、グルメ
人文	文化
古迹、公園、景点以及饭店，让我流连忘返。	史跡、公園、景勝地やホテルが帰るのを忘れさせる。
人们很友善 地方很干净	人々はとても友好的、地方はとてもきれい
最喜欢那里的食物，比如博多的拉面和明太子	当地の食べ物がとても好き。博多のラーメンなら明太子など。
美食	グルメ
历史悠久的古迹、草木葱翠的公园、为数众多的游乐景点、以及接连落成开张的购物中心、饭店，福岡是一座充满活力的城市	悠々たる歴史遺跡、草木が青々と茂る公園、たくさんの観光名所、次から次へつくりられているショッピングセンター、レストラン。福岡は活気に満ちた都市です。
我最喜欢的是美食和当地宜人的气候	一番のお気に入りはその地方のグルメと気持ちいい気候
环境和美食	環境とグルメ
建筑 饮食 夜生活	建築、飲食、夜の生活
不记得了.	覚えていない
美食	グルメ
自然与现代完美结合	自然と現代の完璧な組み合わせ
没有感觉	何も感じない
漂亮的风景，文明的态度	きれいな風景、礼儀正しい

17) 福岡に関するキーワードで知っているもの

Q23. 福岡に関するキーワードで以下の中からあなたがご存知のものをお答え下さい。(あてはまるもの総て)

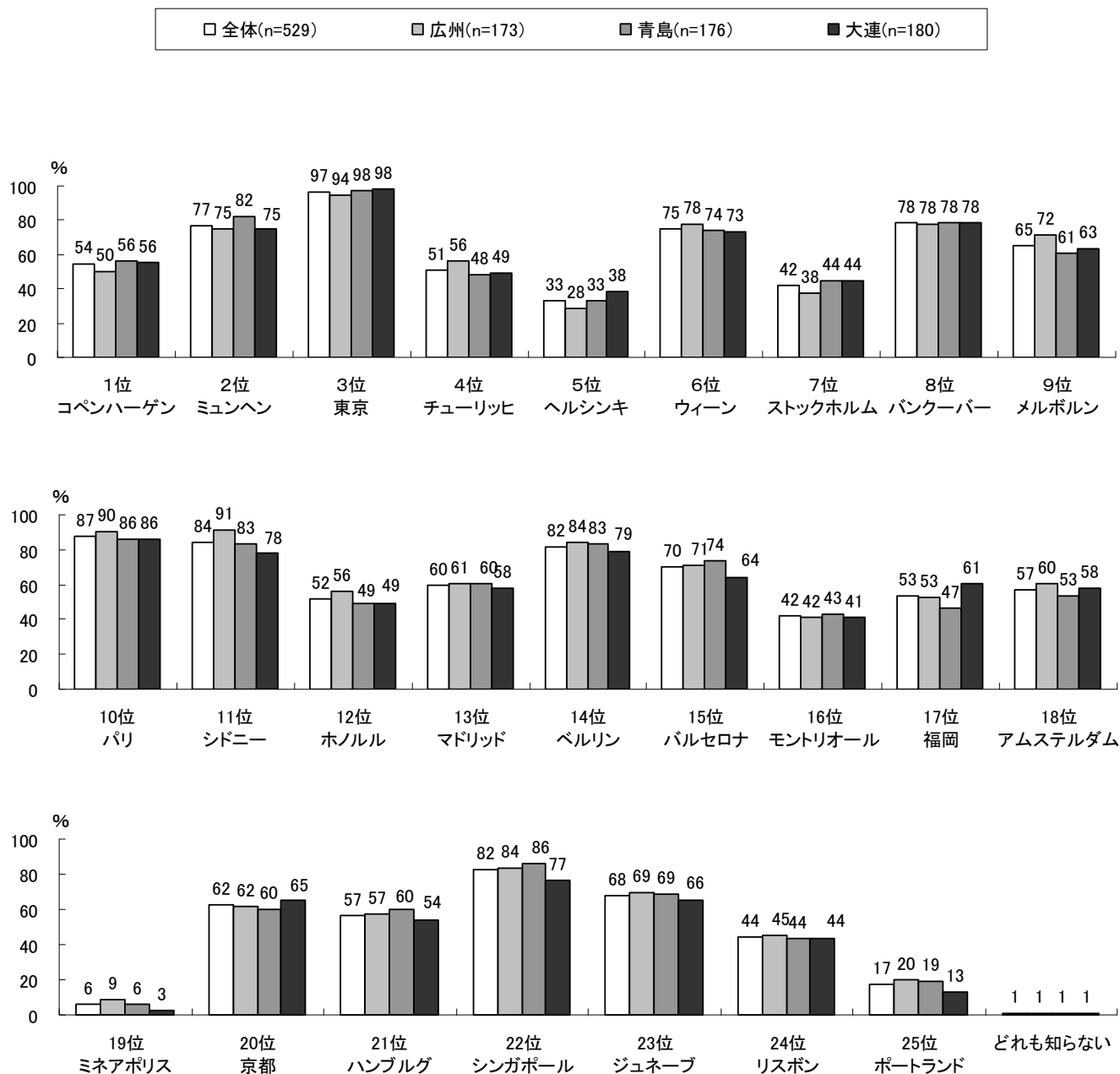
【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

Q23 福岡キーワード認知 MA【都市別】



18) 聞いたことがある都市（英雑誌モノクル「住みやすい都市2008」に選出された25都市に関して）
 Q24. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。（あてはまるもの総て）
 【Q24では、日本の3都市は除外して尋ねているが、ここではQ12における日本都市のデータも加味して表示している。】

Q24 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住みやすい都市2008」上位25都市に関して) MA【都市別】



3. 韓国 2都市を対象とした都市イメージ調査

1) 回答者属性

Q 1 性・年齢

	男性 20 — 29 歳	男性 30 — 39 歳	男性 40 — 49 歳	男性 50 — 59 歳	女性 20 — 29 歳	女性 30 — 39 歳	女性 40 — 49 歳	女性 50 — 59 歳
合 計	43 12.4	42 12.1	50 14.5	42 12.1	42 12.1	44 12.7	42 12.1	41 11.8

N 1 性別

	男性	女性
合 計	177 51.2	169 48.8

N 2 年齢

	20 — 29 歳	30 — 39 歳	40 — 49 歳	50 — 59 歳
合 計	85 24.6	86 24.9	92 26.6	83 24.0

Q 2 居住都市

	ソウル	釜山
合 計	176 50.9	170 49.1

Q 3 最終学歴

	小学校	中学校	高校・高等専門学校	短大・専門学校	大学・大学院
合 計	2 0.6	2 0.6	54 15.6	153 44.2	135 39.0

Q 4 未婚

	未婚	既婚	その他（死別・離別）	答えたくない
合 計	140 40.5	197 56.9	7 2.0	2 0.6

Q 5 職業

	外資系会社役員	役員 内資系会社役員・団体	外資系会社社員	内資系会社社員	契約社員、パート、アルバイト	自営業・自由業	学生	専業主婦	年金受給者	無職	その他
合 計	— —	16 4.6	6 1.7	137 39.6	22 6.4	44 12.7	29 8.4	47 13.6	1 0.3	15 4.3	29 8.4

Q 6 世帯年収

	満1,000万円未満	未上1,000万円未満	未上2,000万円未満	未上3,000万円未満	未上5,000万円未満	未上6,000万円未満	未上8,000万円未満	1億ウォン以上	わからない・答えたくない
合 計	23 6.6	38 11.0	55 15.9	91 26.3	49 14.2	42 12.1	22 6.4	14 4.0	12 3.5

Q 7 海外旅行頻度

	3年に1回未満	3年に1回程度	2年に1回程度	1年に1回程度	半年に1回程度	3ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回以上	と海外旅行には行っていない
合 計	61 17.6	34 9.8	48 13.9	82 23.7	46 13.3	13 3.8	10 2.9	52 15.0

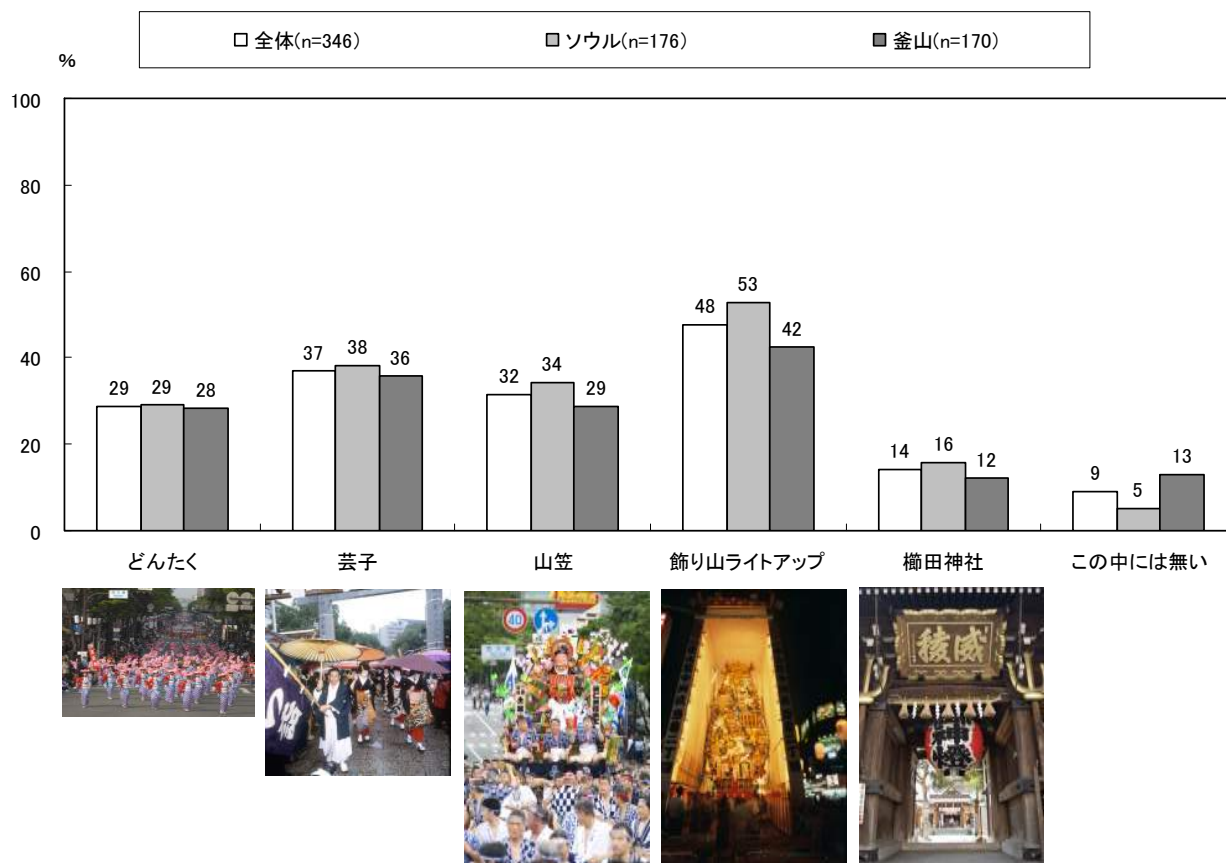
2) 行ってみたくなるイメージ写真

Q8. 次の写真のなかに、「そこに行ってみたくなるようなイメージ」がありますか。

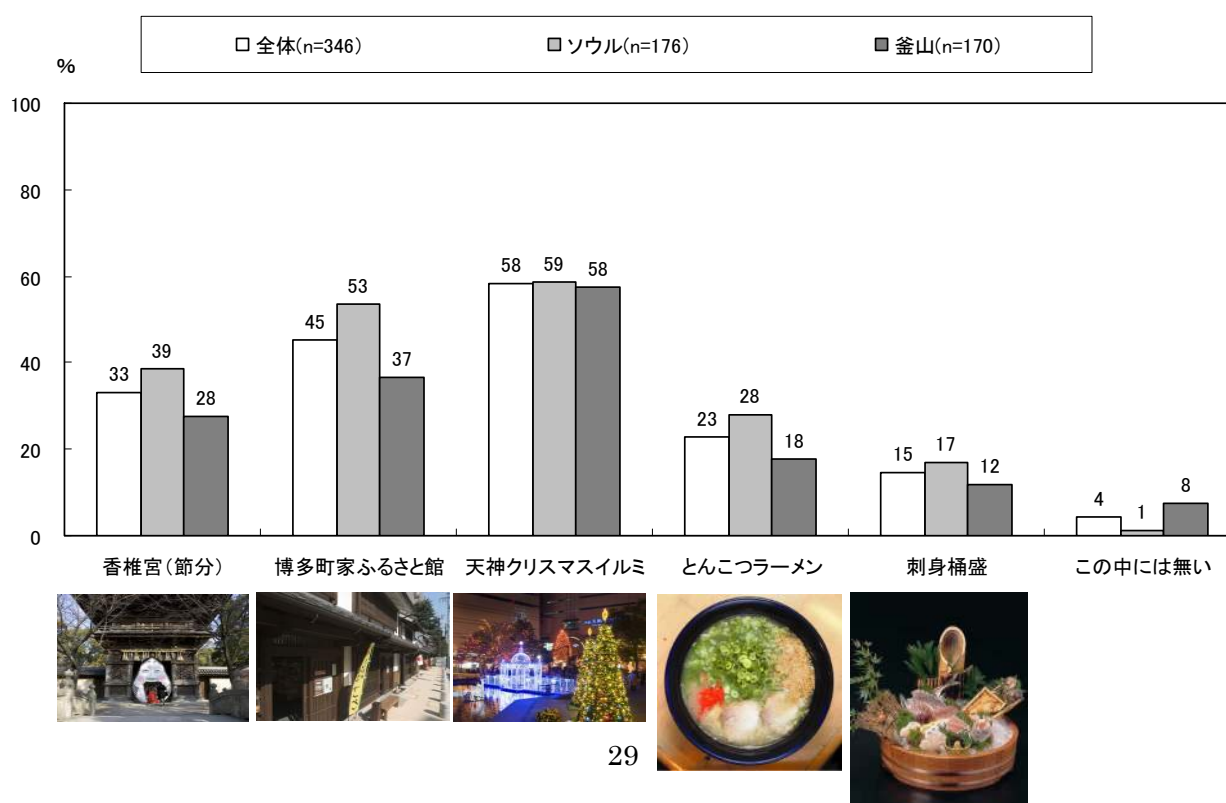
あてはまるもの総てお選び下さい。

【注】調査では写真のみを表示し、適宜順番を入れ替えバイアスの出現を抑えながら実施し、30 枚の写真を6グループに分け、5枚の写真を1グループとし、WEB 画面上に表示し、1 枚ごとにチェックして選んでもらった。

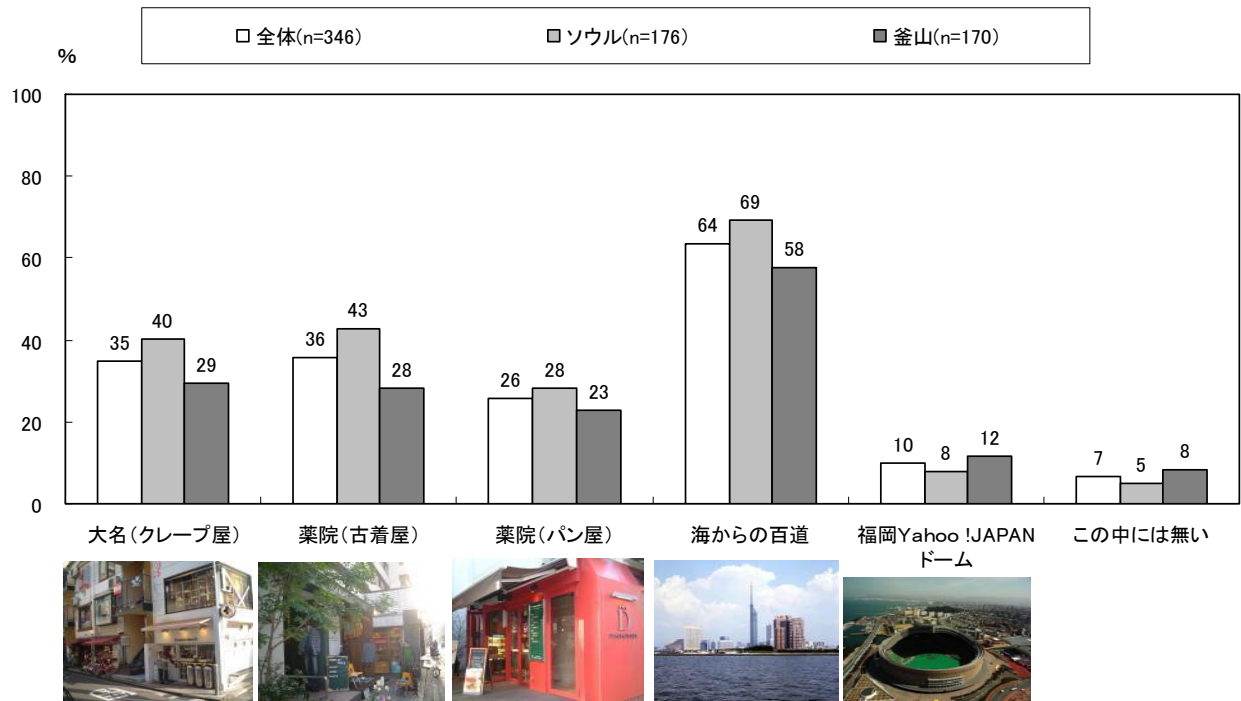
Q8-1 都市のイメージ Group-1 MA【都市別】



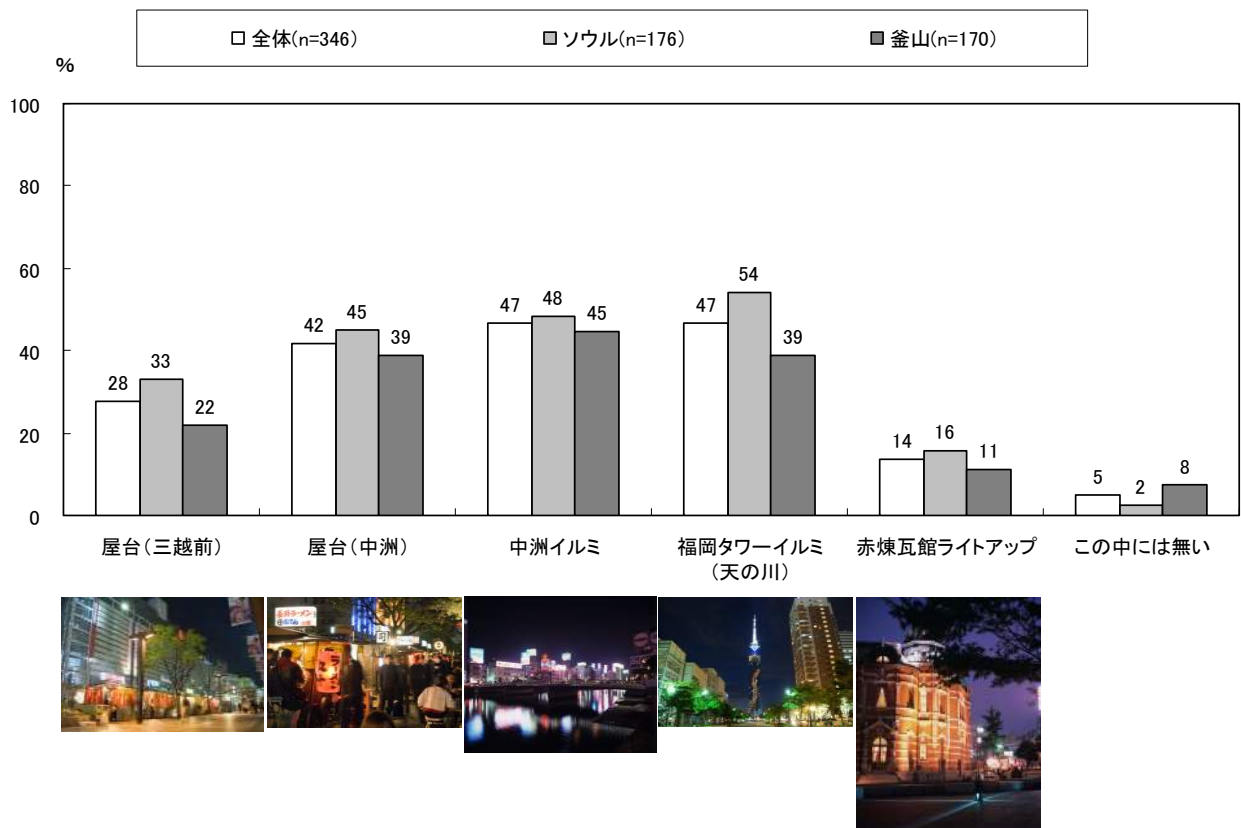
Q8-2 都市のイメージ Group-2 MA【都市別】



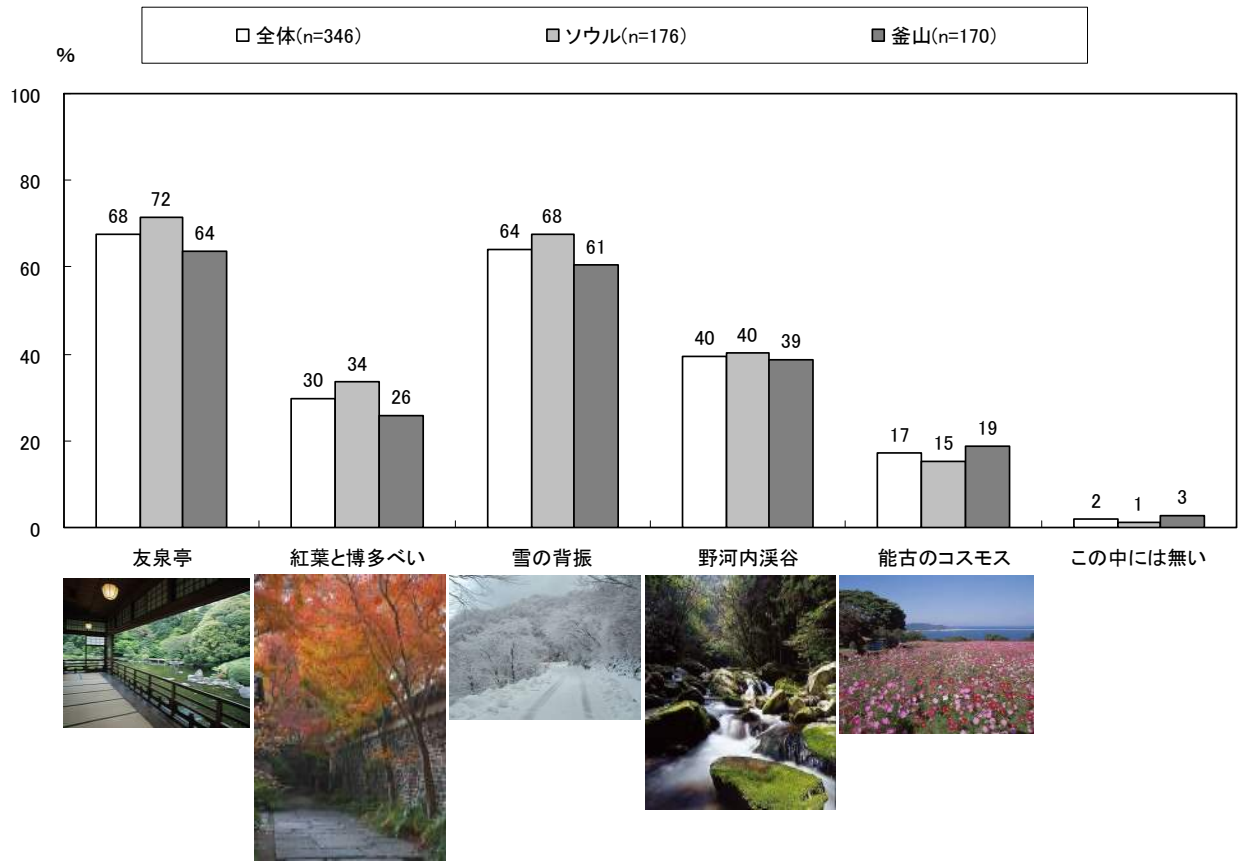
Q8-3 都市のイメージ Group-3 MA【都市別】



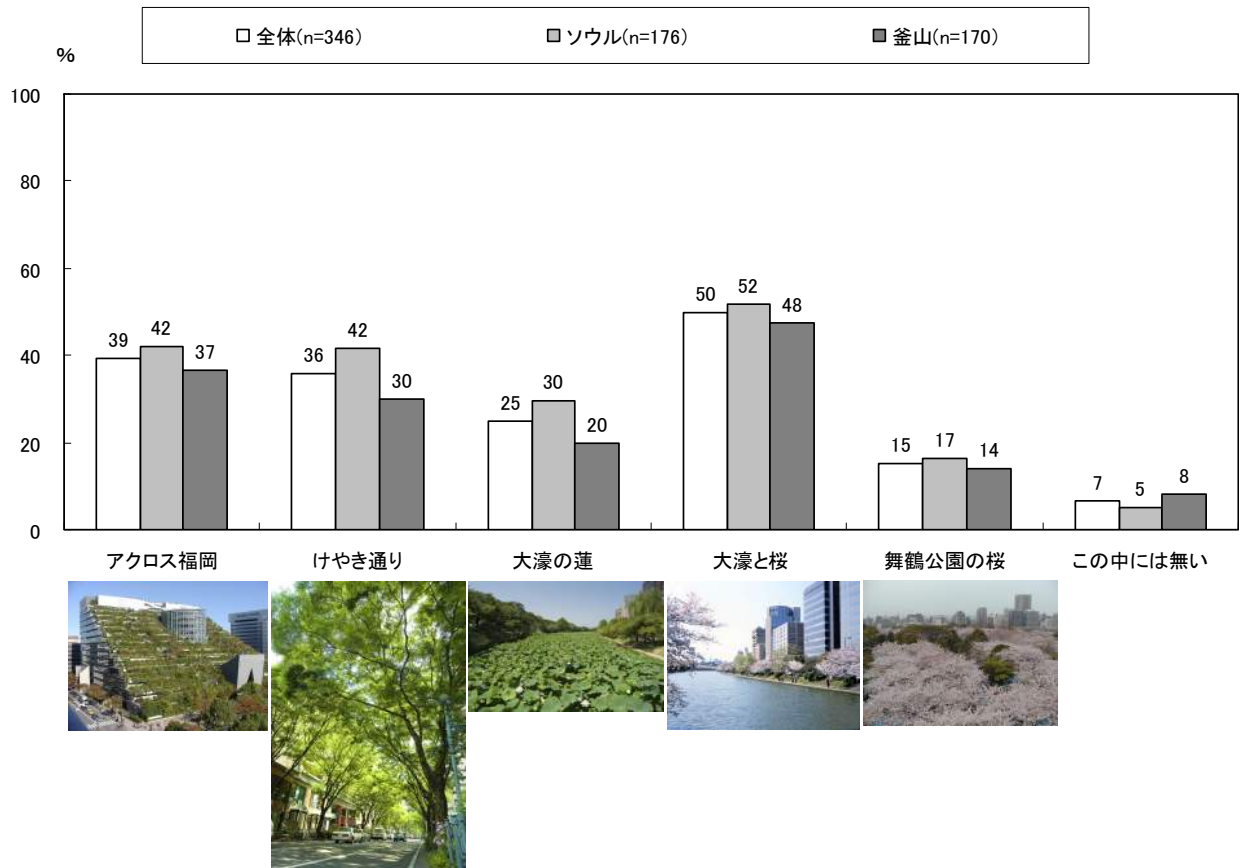
Q8-4 都市のイメージ Group-4 MA【都市別】



Q8-5 都市のイメージ Group-5 MA【都市別】



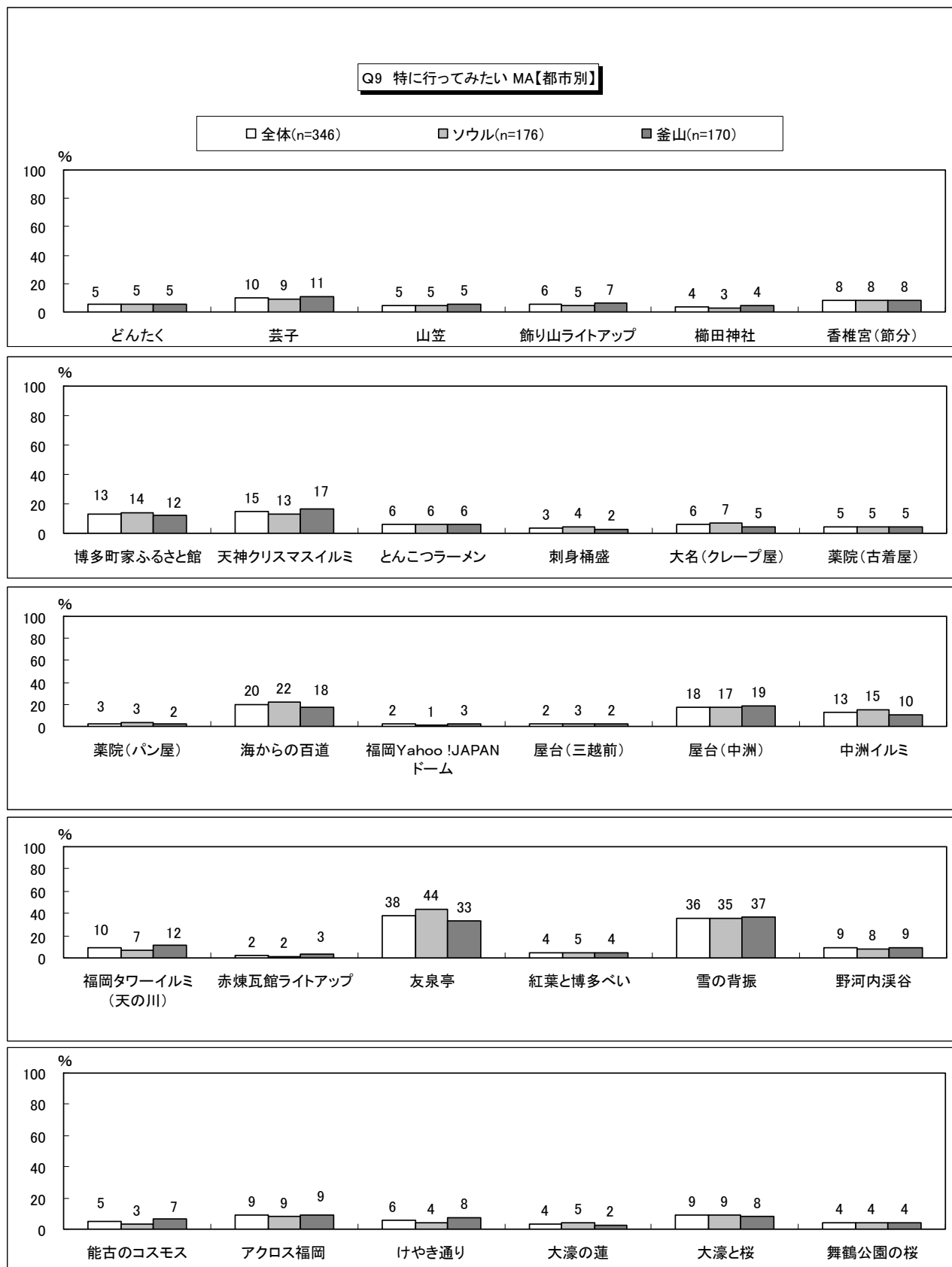
Q8-6 都市のイメージ Group-6 MA【都市別】



3) 特に行ってみたいくなるようなイメージ写真

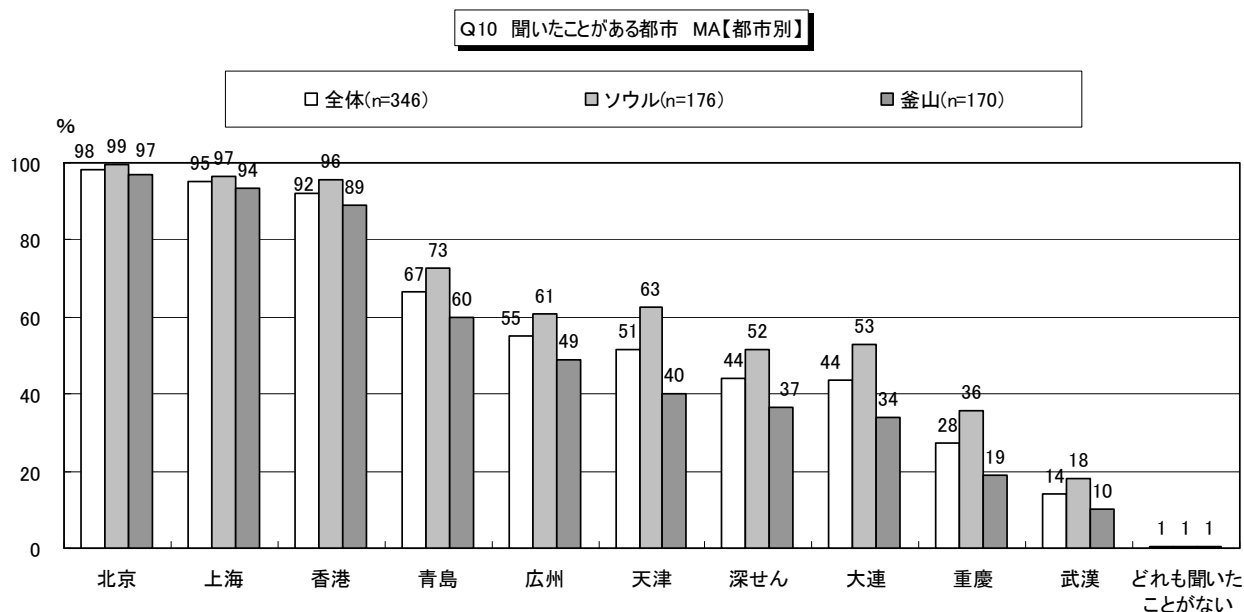
Q9. Q8 であなたが選んだ「そこに行ってみたいくなるようなイメージ」のうち、特に「行ってみたい」と思ったものを3つまで選んで下さい。

【注】WEB画面上にはQ8で選んだ写真のみが現れる。



4) 聞いたことがある中国の都市

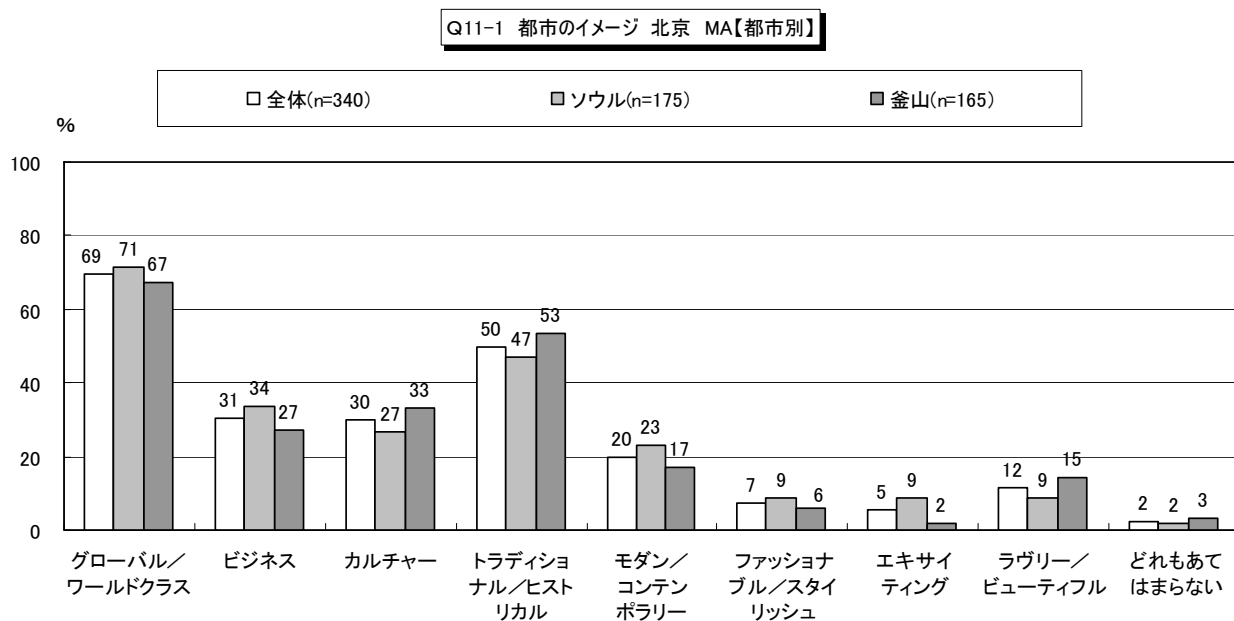
Q10. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるもの総て)



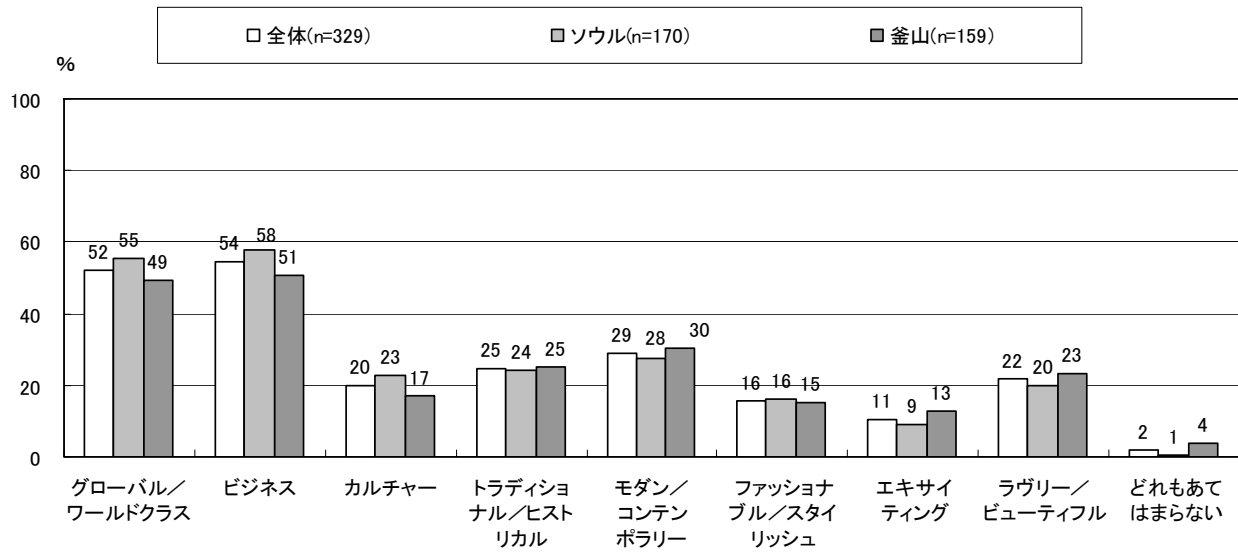
5) 聞いたことがある中国の都市に持っているイメージ

Q11. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

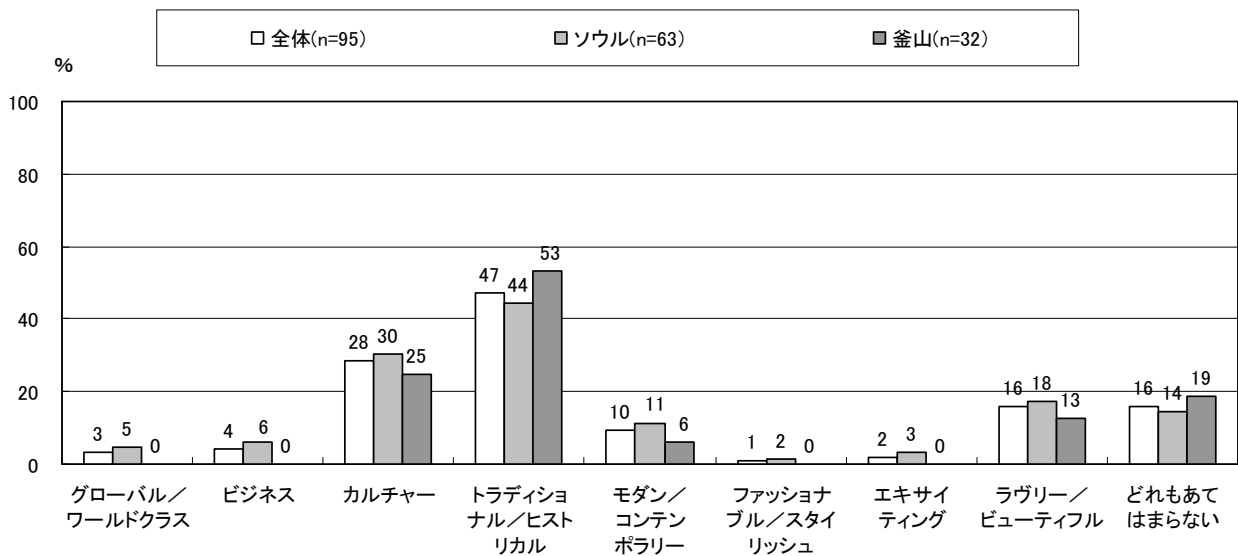
【注】WEB画面上にはQ10で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



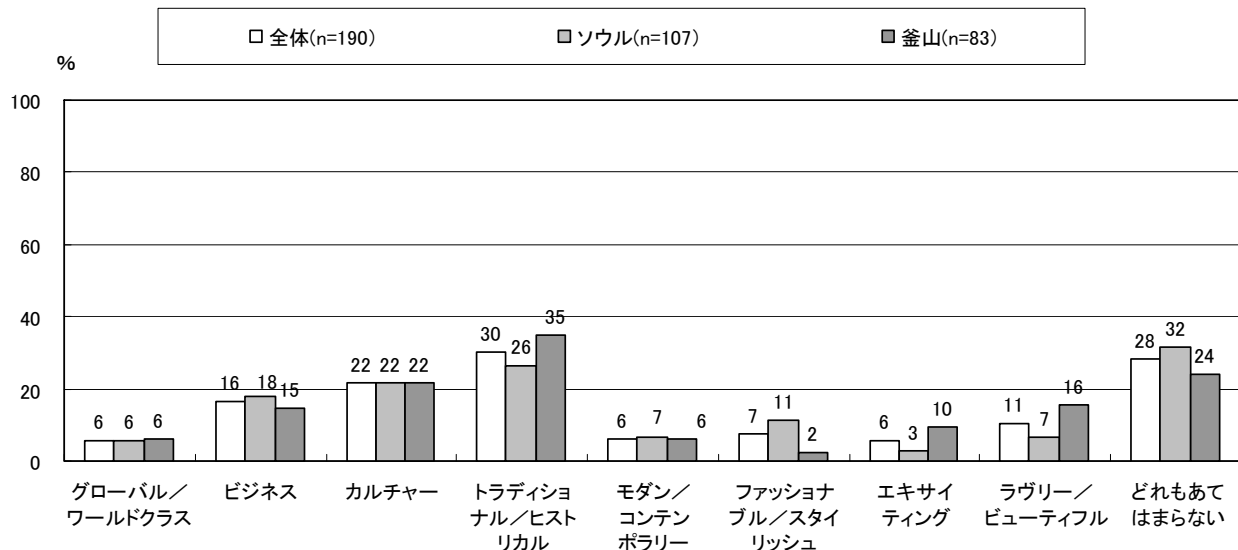
Q11-2 都市のイメージ 上海 MA【都市別】



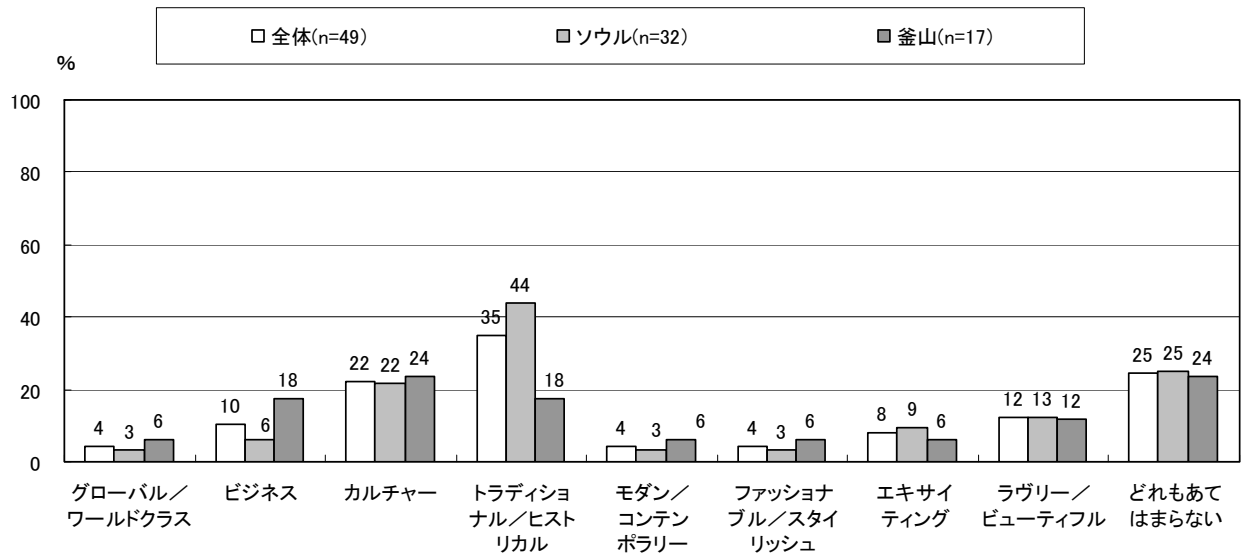
Q11-3 都市のイメージ 重慶 MA【都市別】



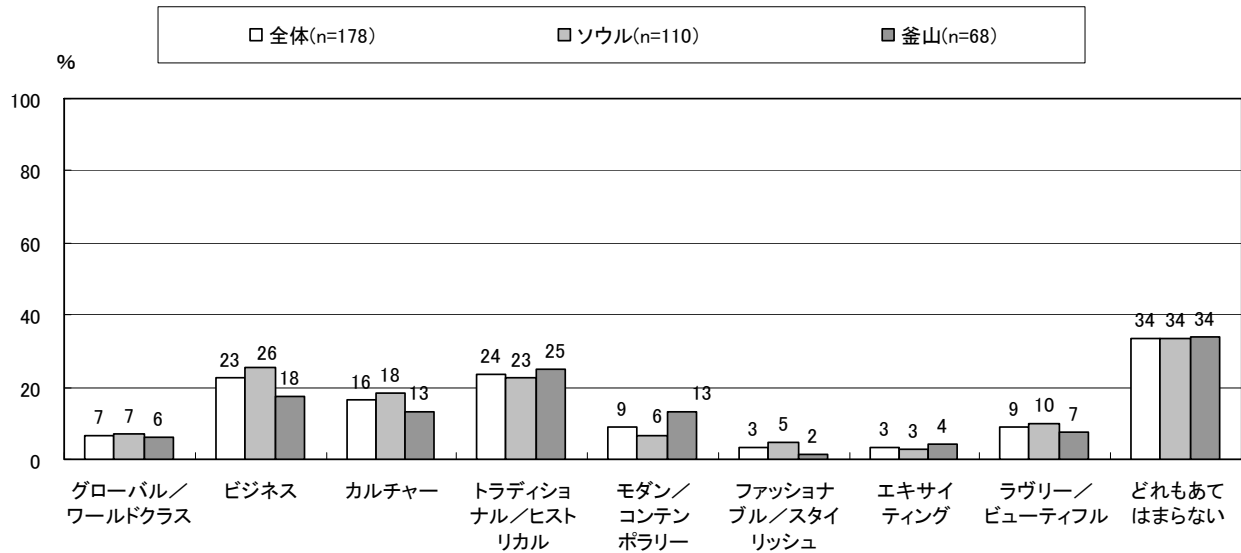
Q11-4 都市のイメージ 広州 MA【都市別】



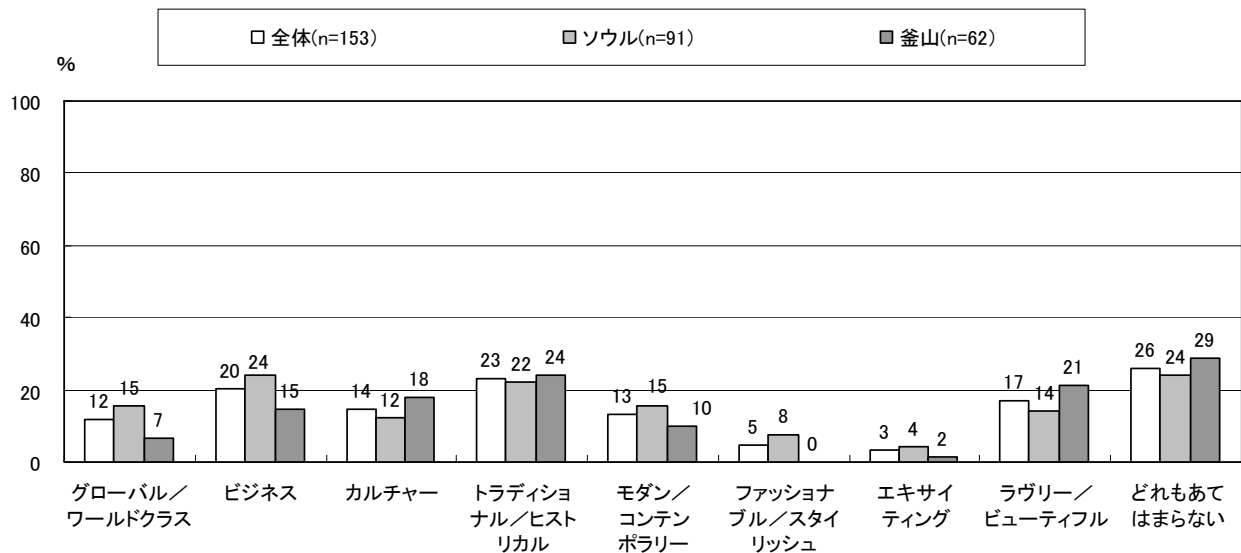
Q11-5 都市のイメージ 武漢 MA【都市別】



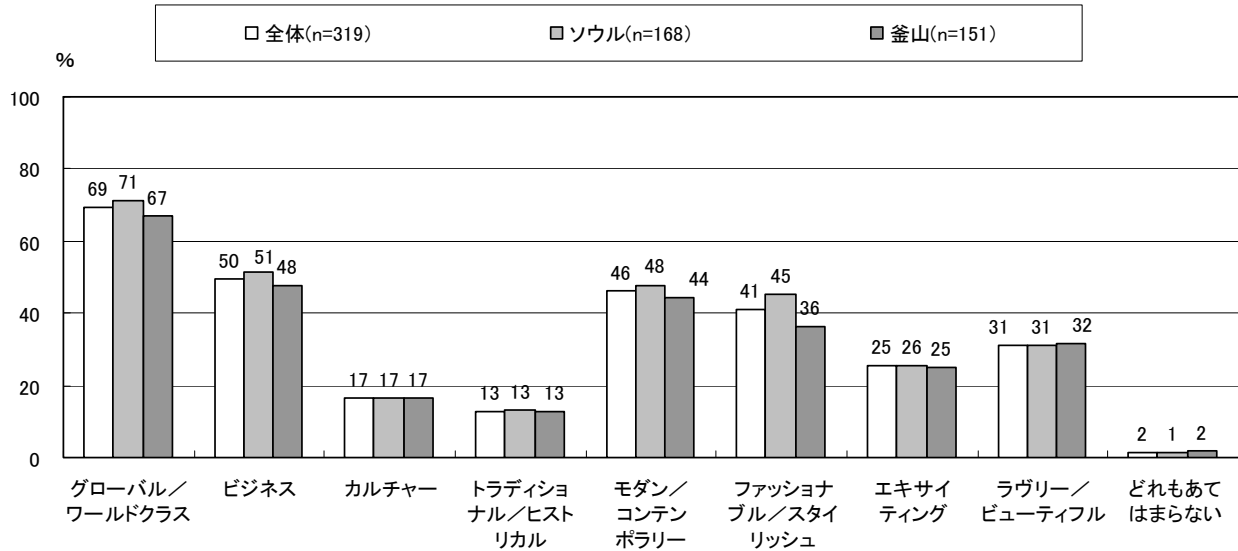
Q11-6 都市のイメージ 天津 MA【都市別】



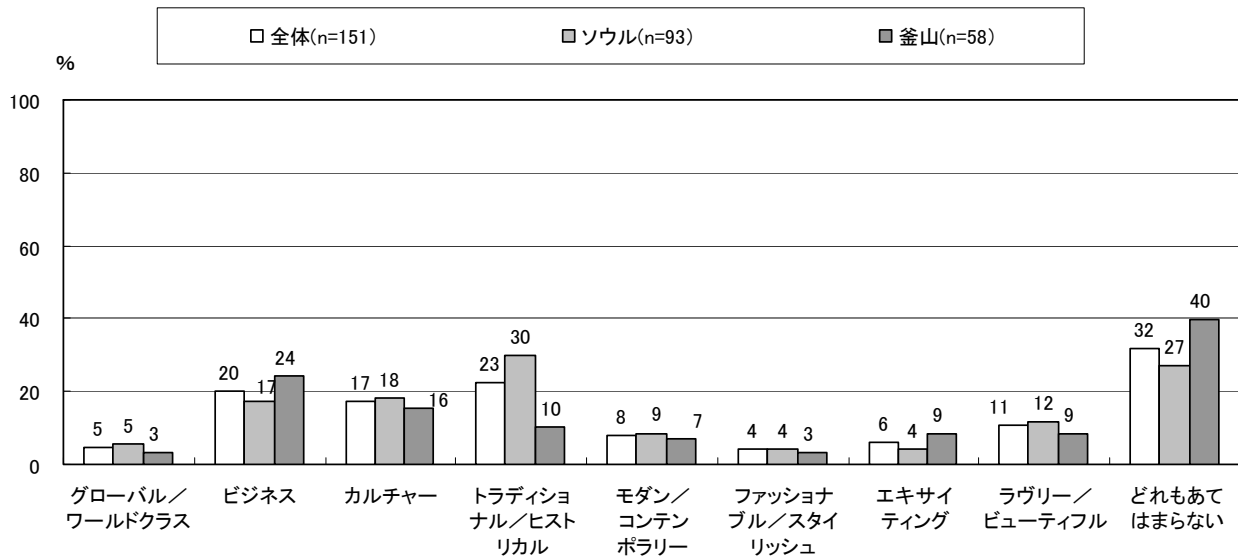
Q11-7 都市のイメージ 深セン MA【都市別】



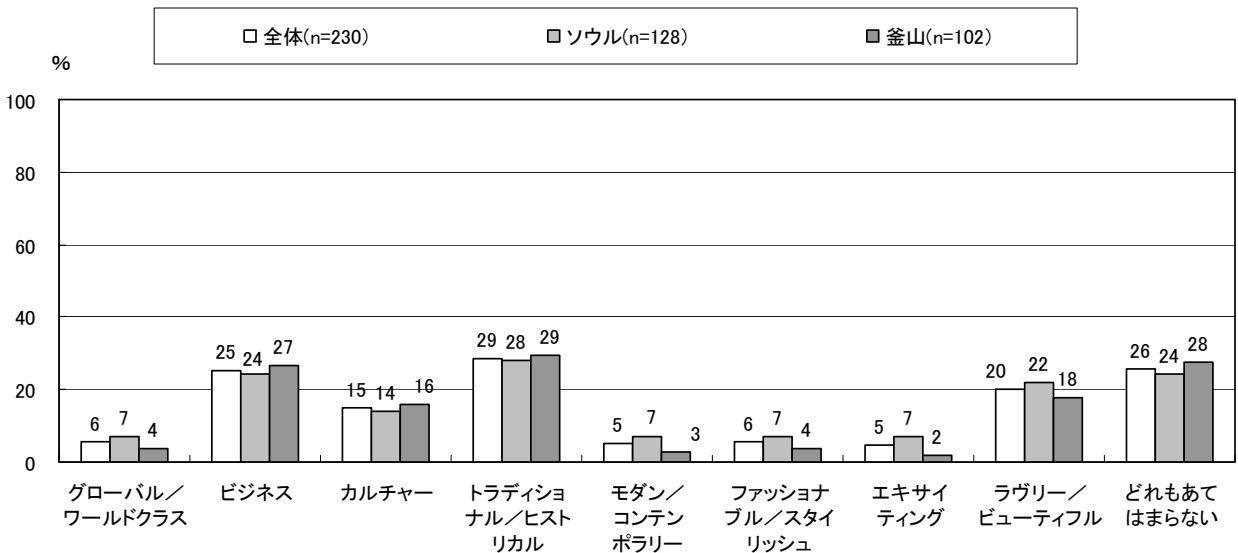
Q11-8 都市のイメージ 香港 MA【都市別】



Q11-9 都市のイメージ 大連 MA【都市別】

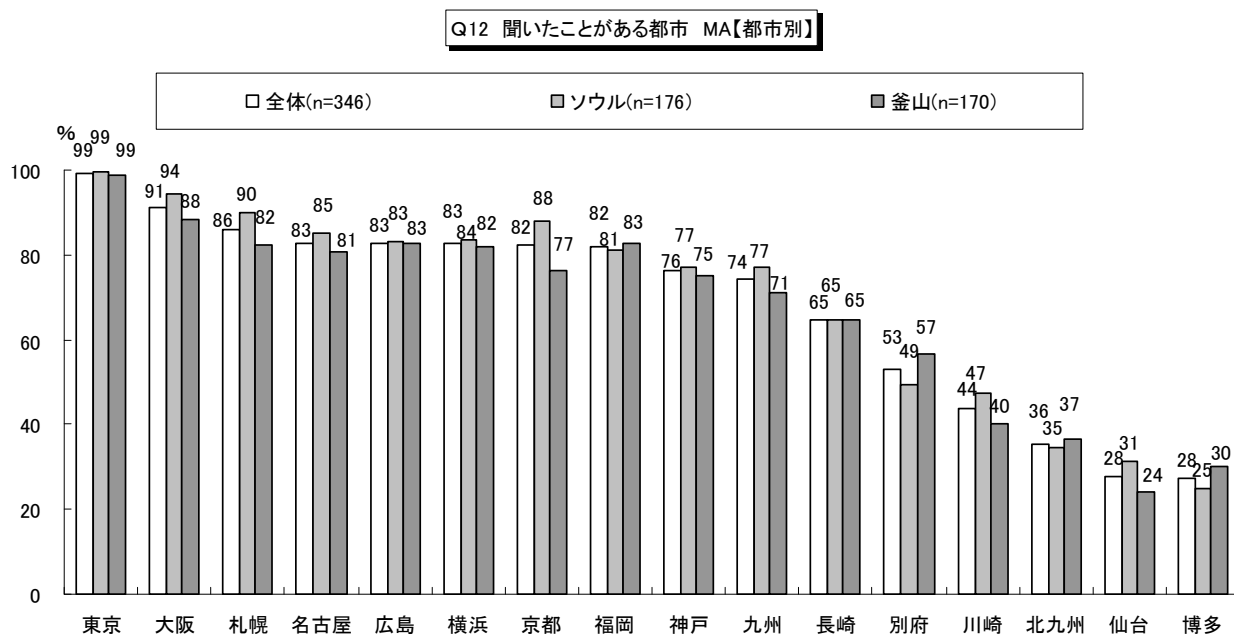


Q11-10 都市のイメージ 青島 MA【都市別】



6) 聞いたことがある日本の都市・地域

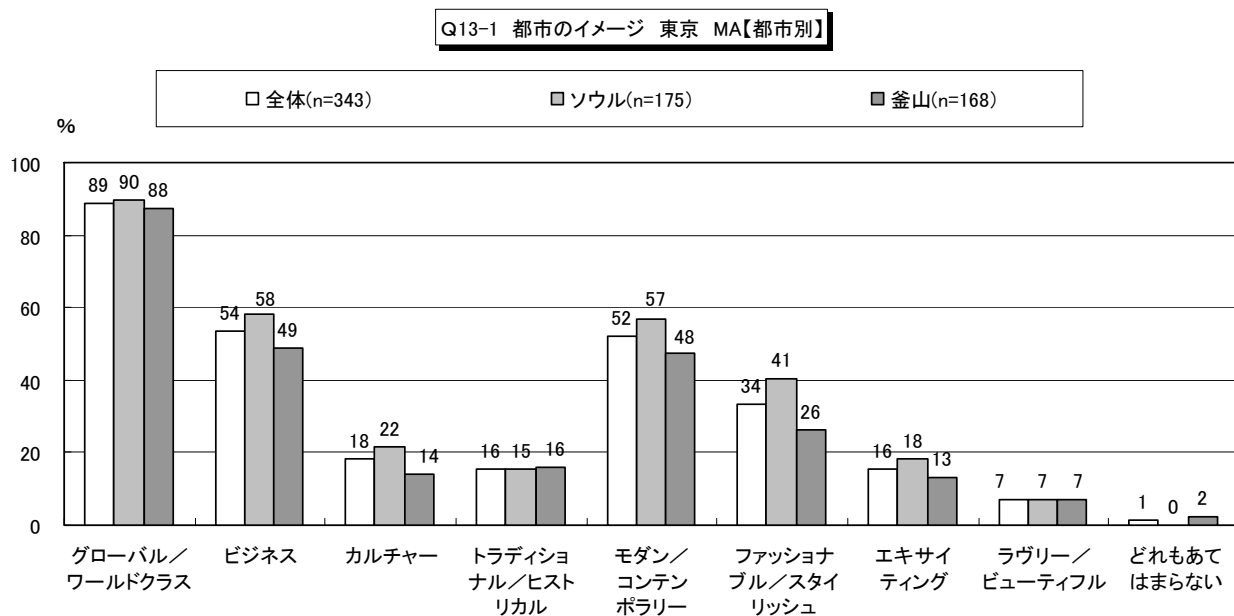
Q12. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるもの総て)



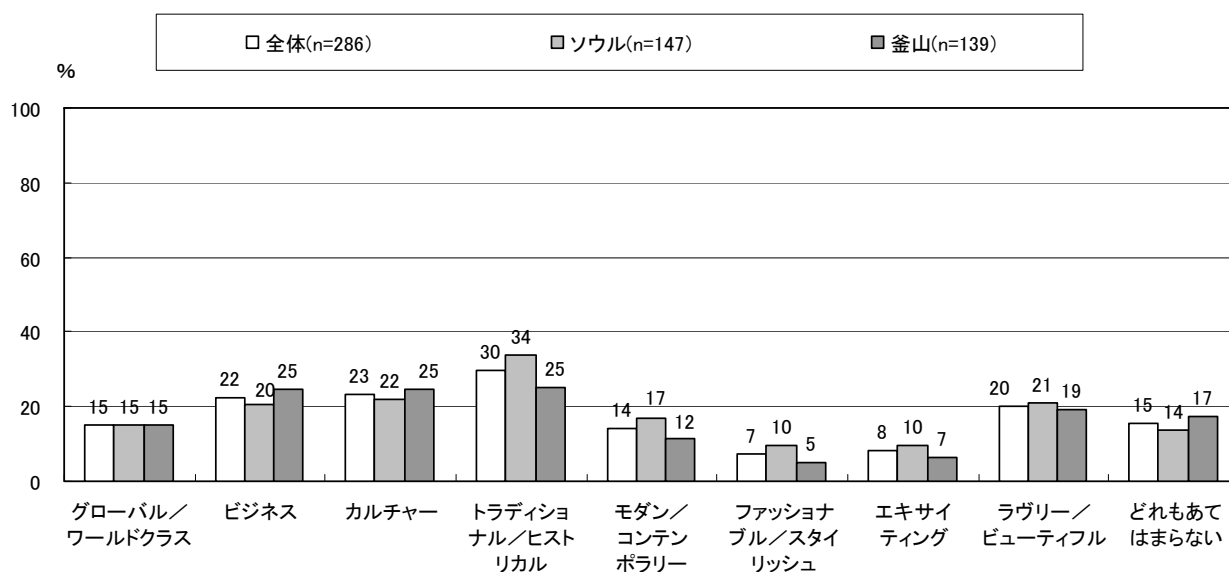
7) 聞いたことがある日本の都市に持っているイメージ

Q13. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

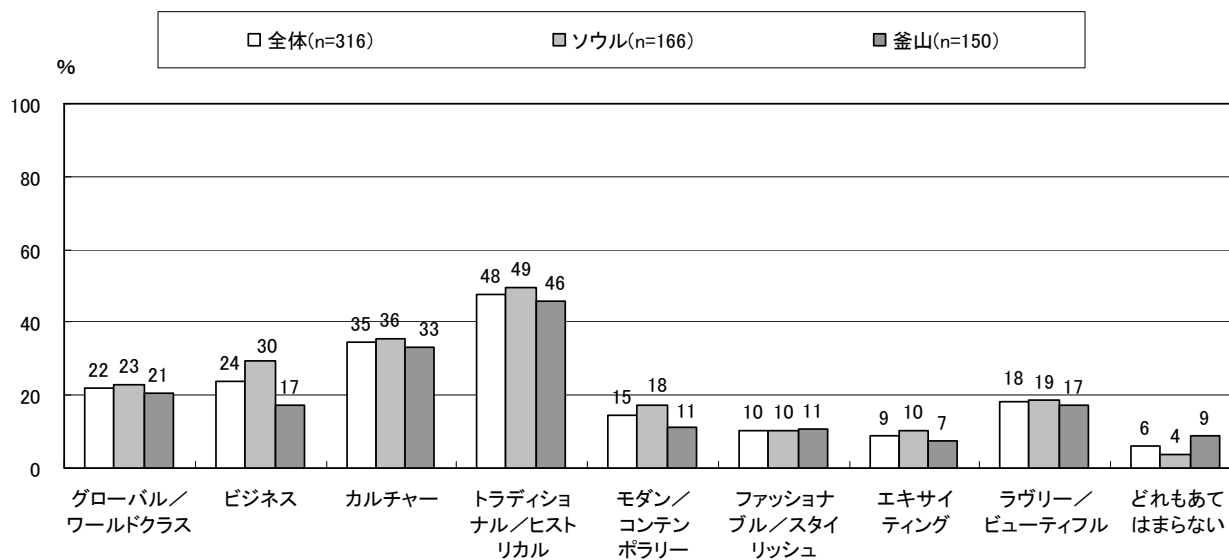
【注】WEB画面上にはQ12で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



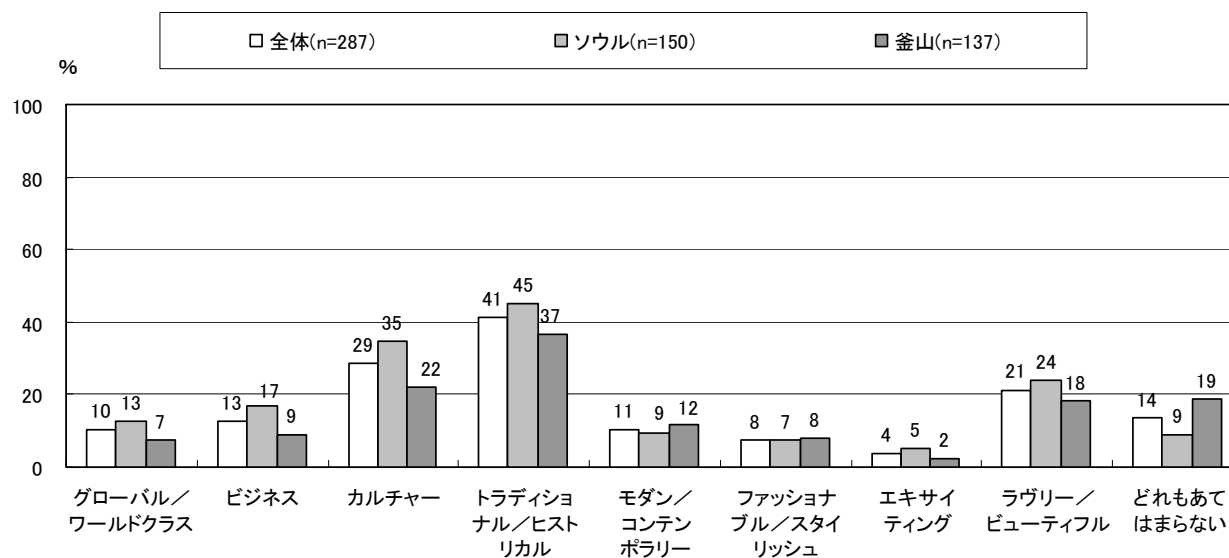
Q13-2 都市のイメージ 横浜 MA【都市別】



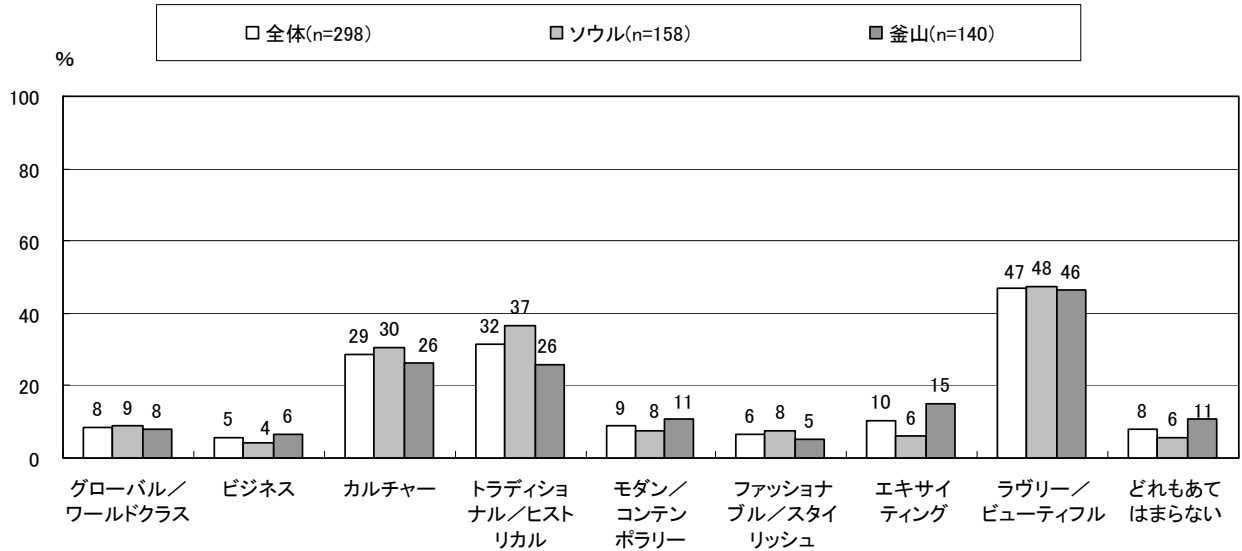
Q13-3 都市のイメージ 大阪 MA【都市別】



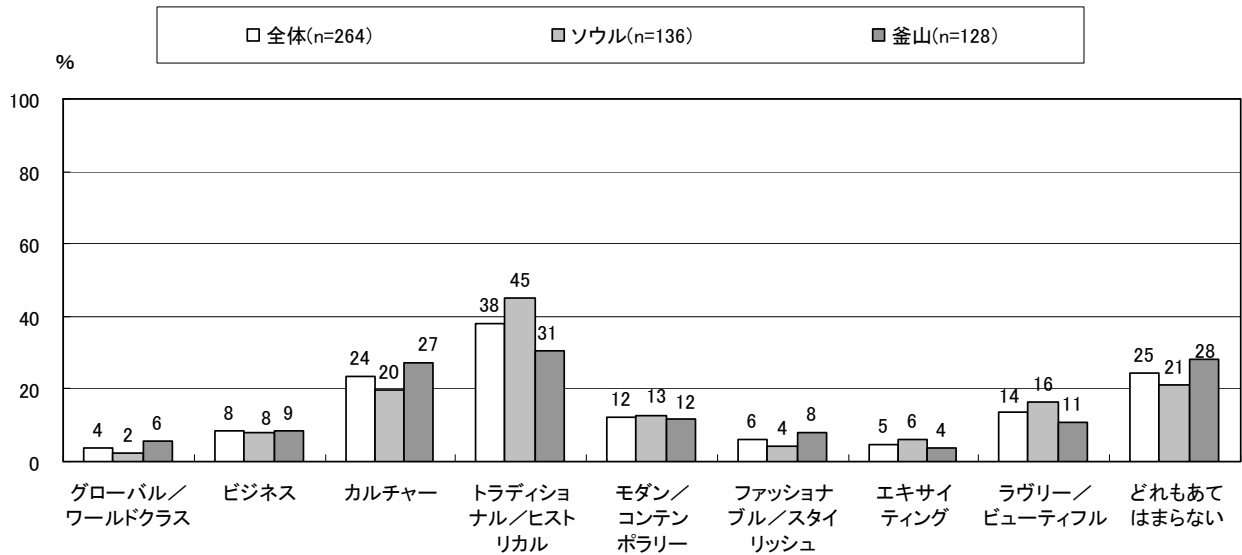
Q13-4 都市のイメージ 名古屋 MA【都市別】



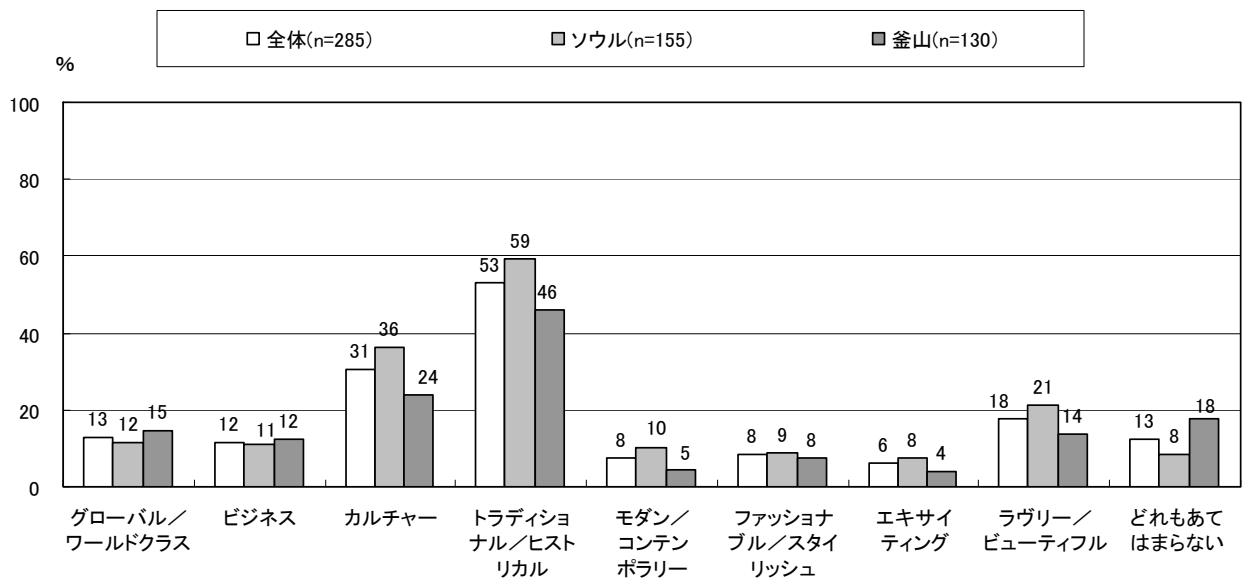
Q13-5 都市のイメージ 札幌 MA【都市別】



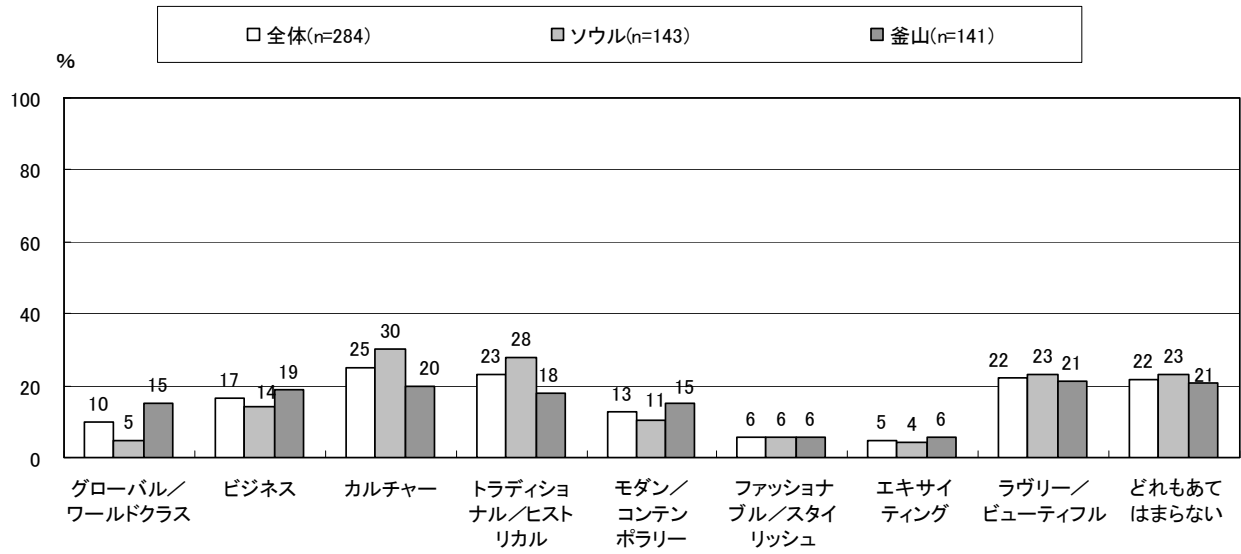
Q13-6 都市のイメージ 神戸 MA【都市別】



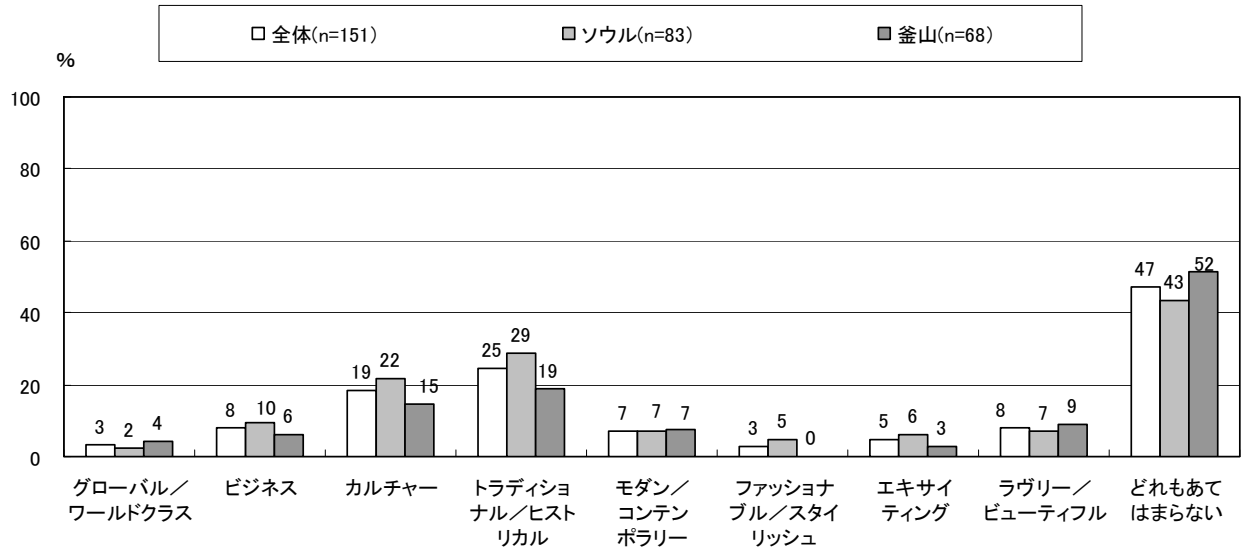
Q13-7 都市のイメージ 京都 MA【都市別】



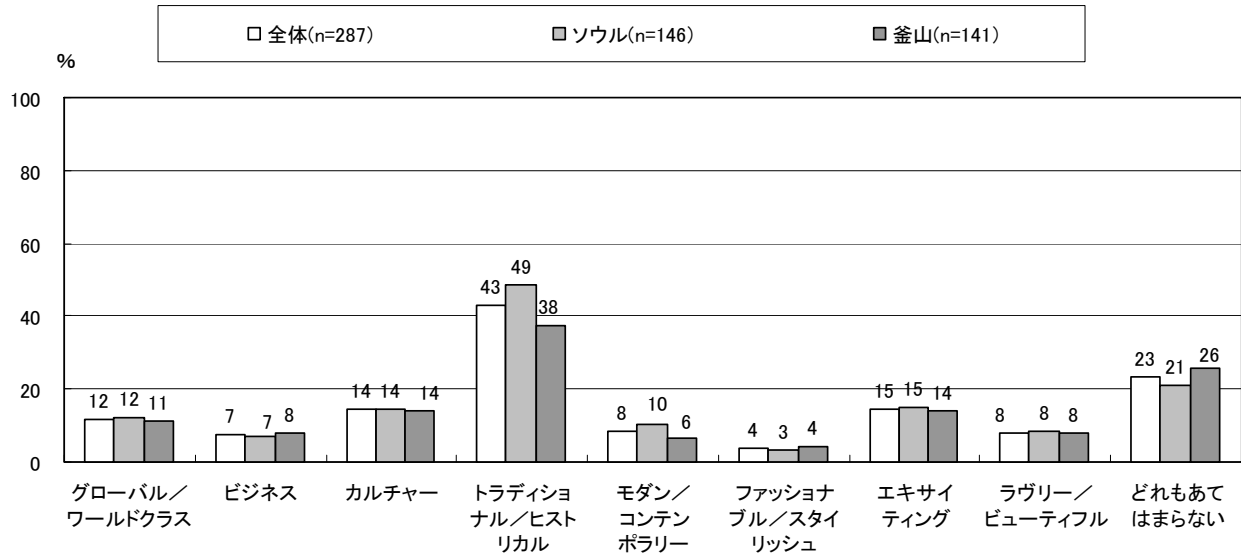
Q13-8 都市のイメージ 福岡 MA【都市別】



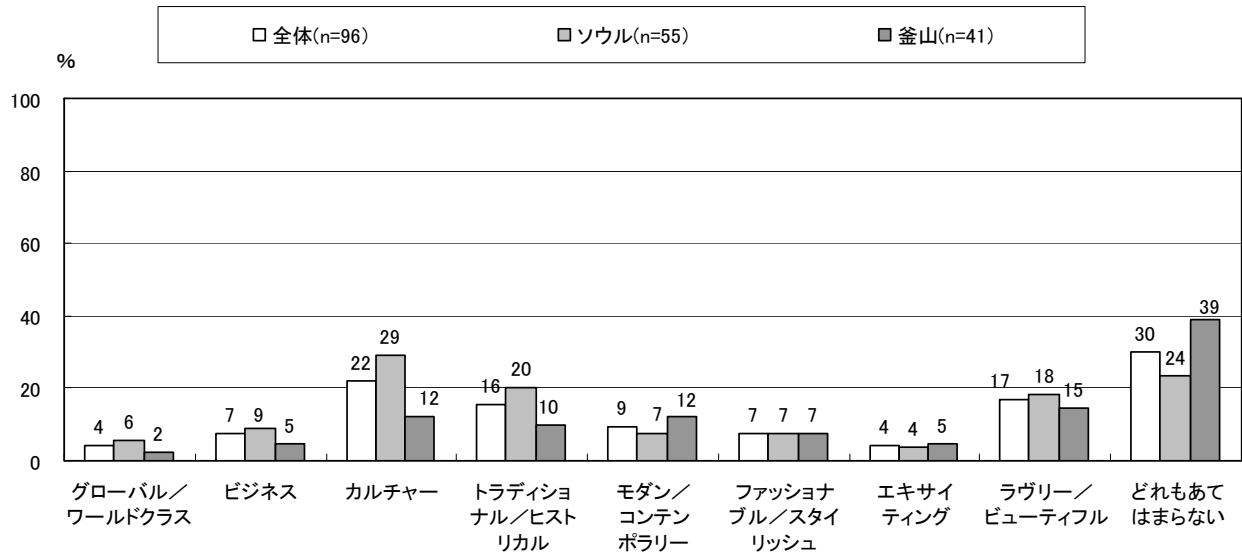
Q13-9 都市のイメージ 川崎 MA【都市別】



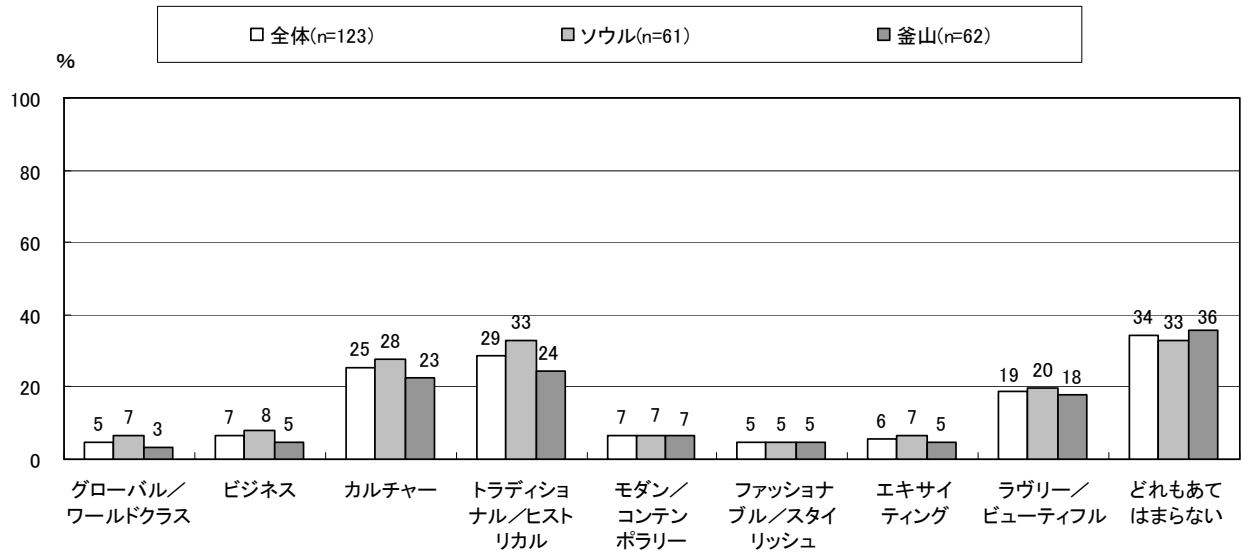
Q13-10 都市のイメージ 広島 MA【都市別】



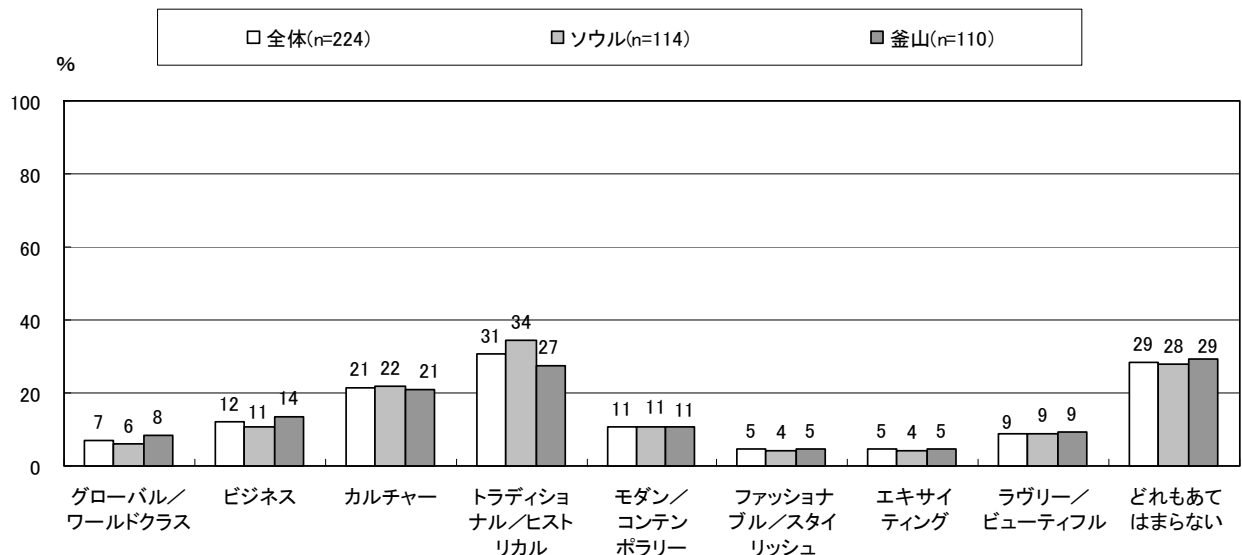
Q13-11 都市のイメージ 仙台 MA【都市別】



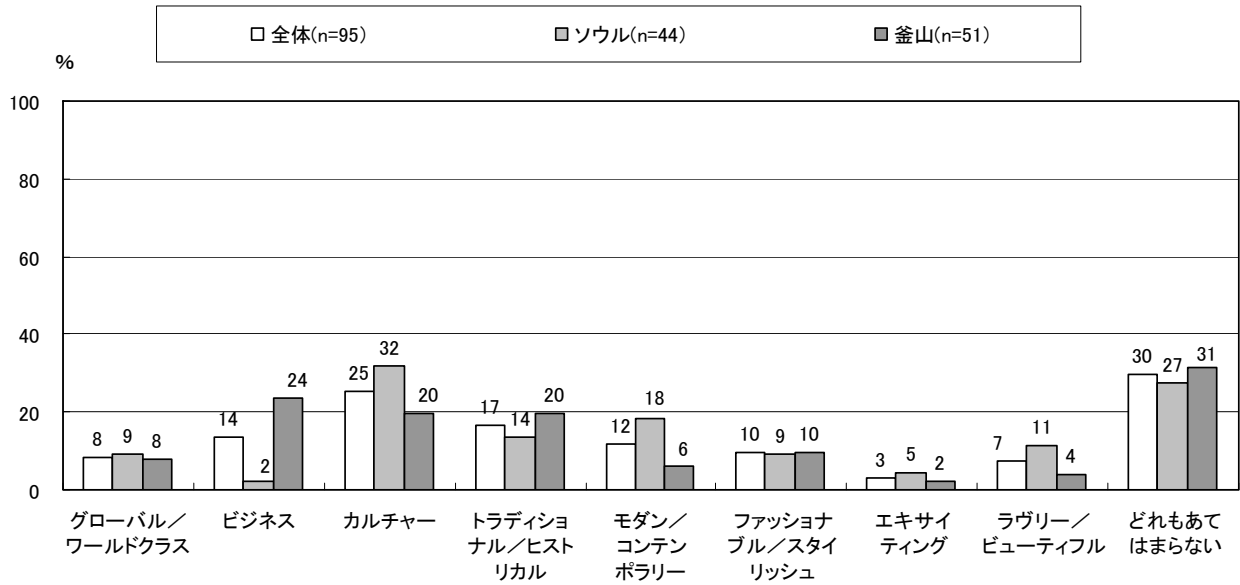
Q13-12 都市のイメージ 北九州 MA【都市別】



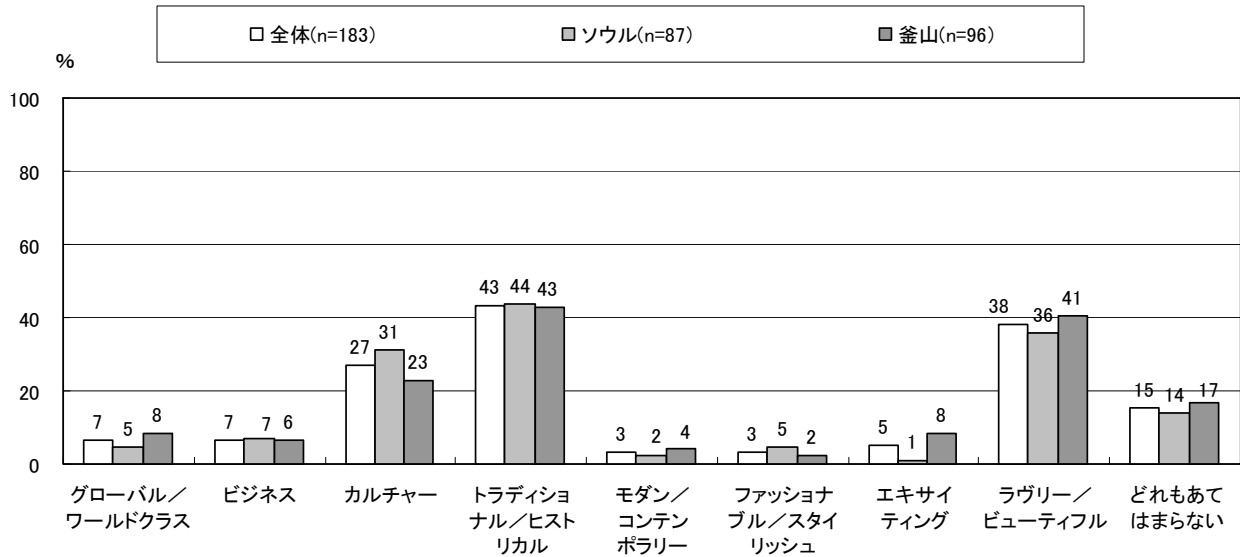
Q13-13 都市のイメージ 長崎 MA【都市別】



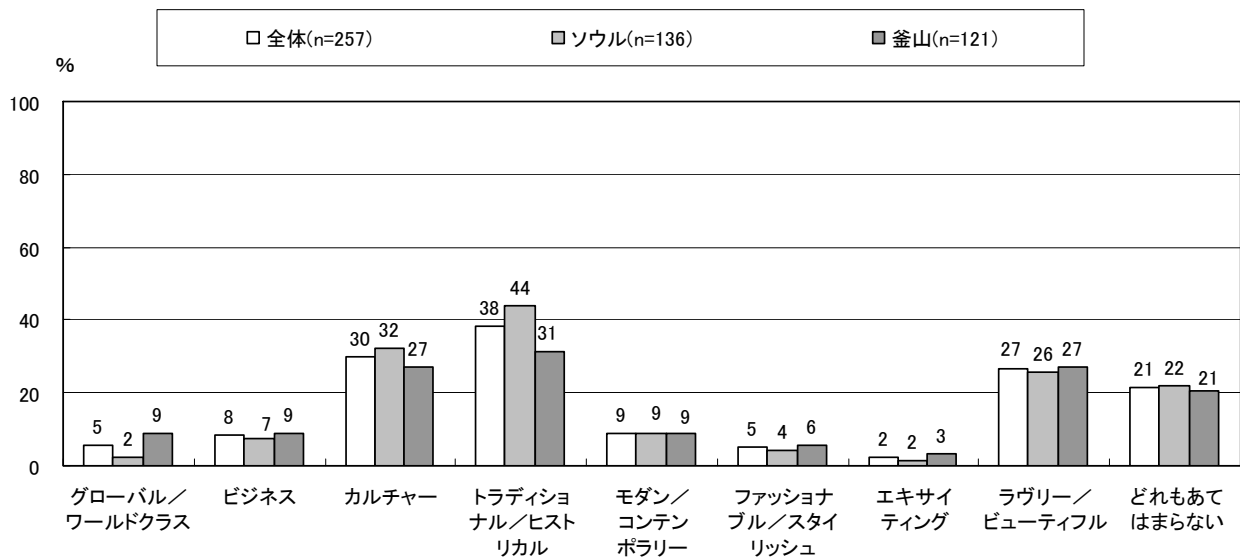
Q13-14 都市のイメージ 博多 MA【都市別】



Q13-15 都市のイメージ 別府 MA【都市別】



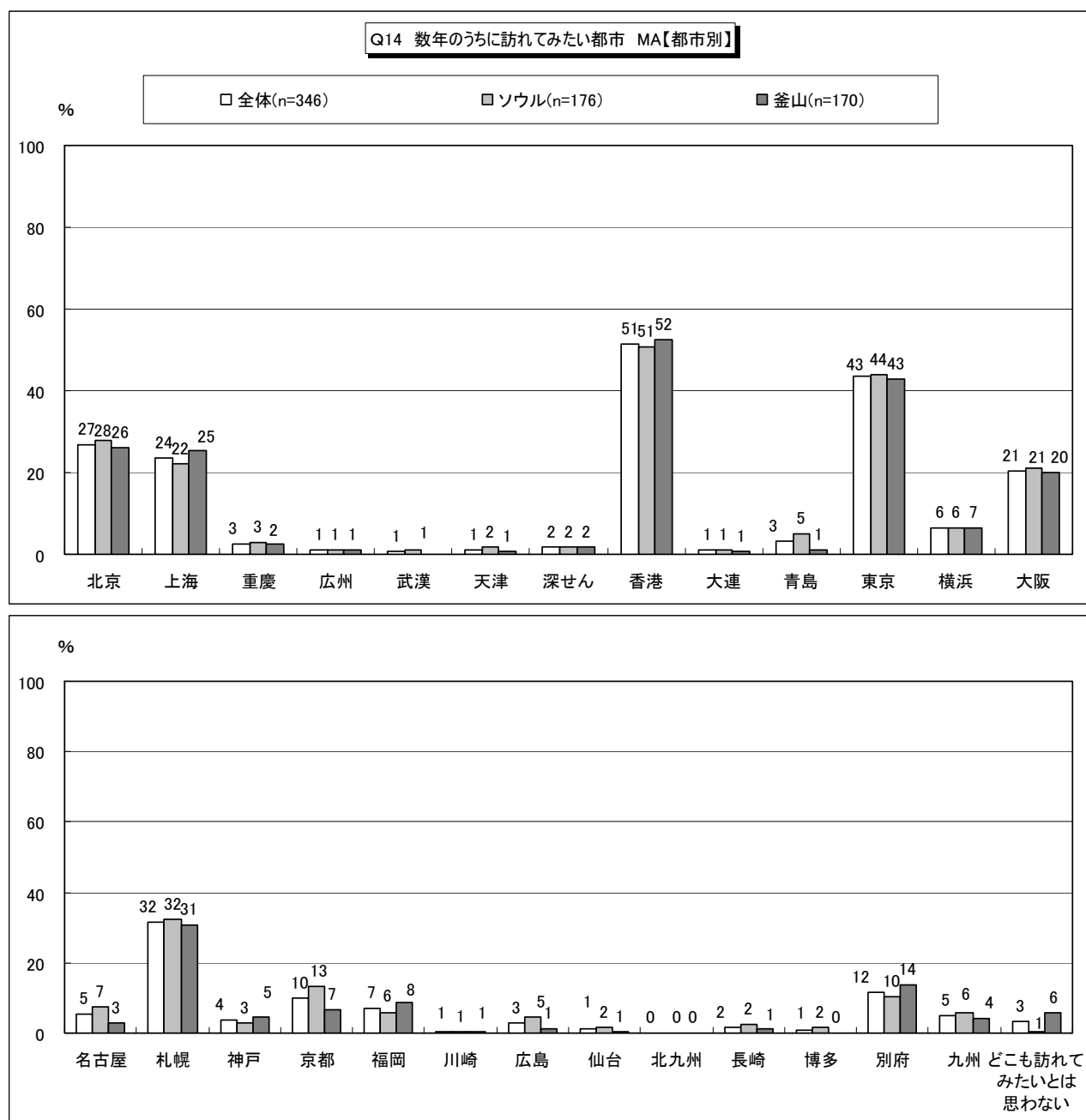
Q13-16 都市のイメージ 九州 MA【都市別】



8) ここ数年の間に訪れてみたい都市（知っている都市に関して）

Q14. 次にあげる都市の中で、あなたがここ数年の間にぜひ訪れてみたい(再訪も含む)都市はありますか。訪れてみたい都市を3つまで選んでください。

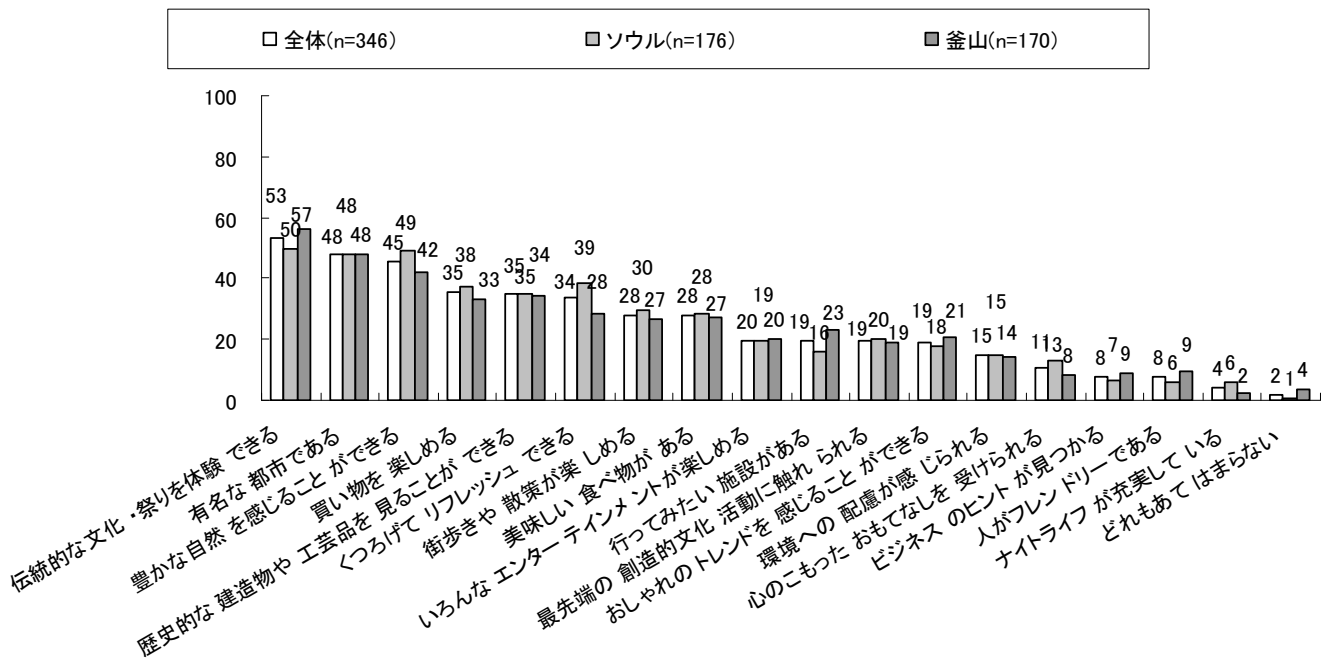
【注】WEB画面上には Q10. Q12 で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



9) 訪れてみたい都市のイメージ

Q15. あなたにとって「訪れてみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

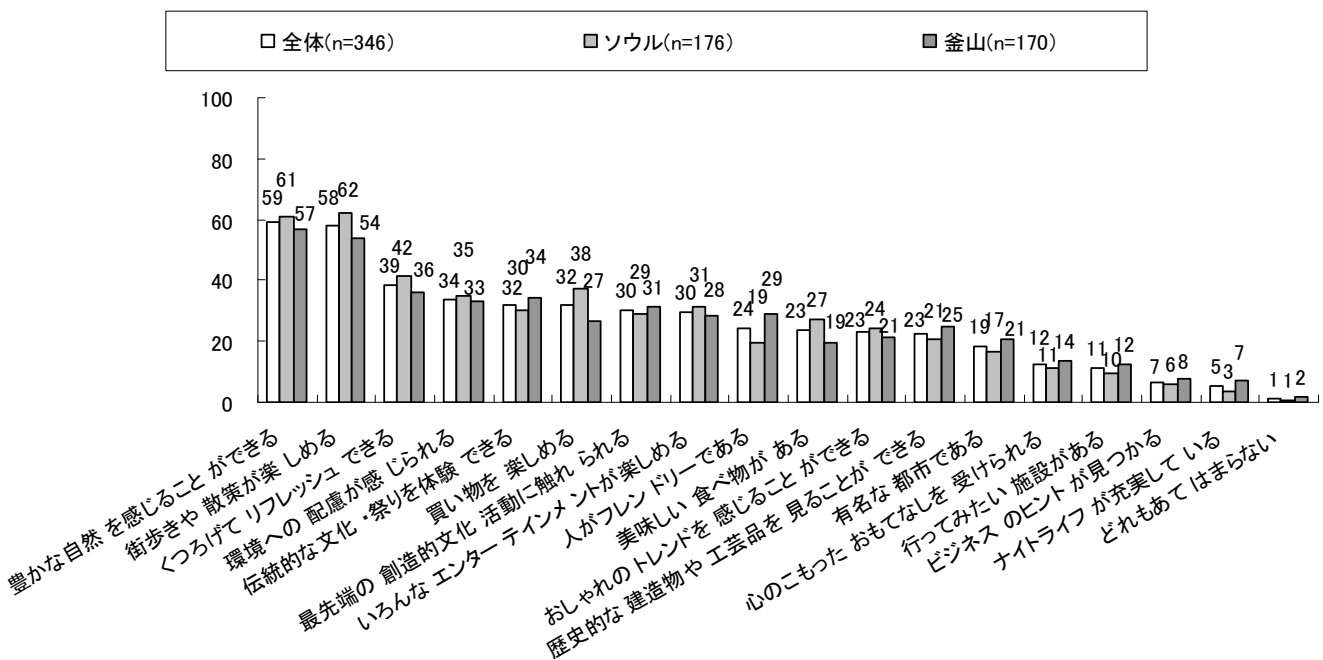
Q15 訪れてみたい都市 MA【都市別】



10) 住んでみたい都市のイメージ

Q16. あなたにとって「住んでみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

Q16 住んでみたい都市 MA【都市別】



11) 福岡市と聞いて連想する言葉（自由記述 282 名が回答）

Q17. 福岡市と聞いて連想する言葉を、キーワードで1つお答えください。

【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

Q17	Q17FAの翻訳
시민들의 친절	人々の親切さ
눈	雪
온천	温泉
싸다	安い
눈	雪
온천	温泉
미래와 전통	未来と伝統
하우스텐보스	ハウステンボス
항구	港
없다	なし
전통	伝統
없다	なし
항구도시	港都市
아는바가 없음	知ってることがない
쇼핑	ショッピング
일본의 한 도시	日本の一つの都市
생각안남	思いつかない
역사적인 문화가 많은 곳	歴史的な文化が多いところ
없음	なし
항구	港
없음	なし
연상되는 단어거 없다	思いあたる言葉がない
전통	伝統
잘모르겠음	よくわからない
섬, 부산, 시모노セ키	島、釜山、下関
시골	田舎
연상이 잘안됨	思いつかない
없음	なし
눈	雪
하카타	博多
역동적인 도시	躍動感ある都市
소프트뱅크 호크스	ソフトバンクホークス
없다	なし
프로야구팀 소프트뱅크스	プロ野球チーム ソフトバンクホークス
지방도시	地方都市
항구도시	港都市
온천	温泉
시골	田舎
명란젓	辛子明太子
다자이후	大宰府
잘모름	よくわからない
일본	日本
연인	恋人
항구도시	港都市
라멘	ラーメン
전통	伝統
일본	日本
음식	食べ物
음식	食べ物
온천	温泉
전통	伝統
일본	日本
온천	温泉
온천	温泉
큐슈	九州
전통	伝統
눈	雪
없음	なし

항구	港
열대	熱帶
전통	伝統
없음	なし
항구	港
없음	なし
경제	經濟
온천	温泉
전통	伝統
비틀호	高速船 ビートル
코비	高速船 コビー
역사	歴史
온천	温泉
배	船
눈	雪
하카다	博多
일반적 도시	普通の都市
라멘	ラーメン
상업	商業
일본	日本
라면	ラーメン
친절	親切
없음	なし
캐널시티	キャナルシティ
모름	わからない
온천	温泉
없음	なし
온천	温泉
눈	雪
눈	雪
온천	温泉
잘모르겠다	よくわからない
섬	島
온천	温泉
부산	釜山
연상되는 단어가 없다	思いつく言葉がない
눈	雪
부산에서 가깝다	釜山から近い
도시적 이미지	都市的なイメージ
없음	なし
자연	自然
모르겠음	わからない
항구	港
바다	海
오사카	大阪
온천	温泉
구경거리	見もの
관광	観光
일본	日本
텐진거리	天神通り
특별한 것이 없다	特別なものはない
축제	祭り
바다	海
생각나는 것이 없다	思いつかない
온천	温泉
졸업여행	卒業旅行
온천	温泉
너구리	タヌキ
관광지	観光地
미즈타기	水炊き
향락	享樂

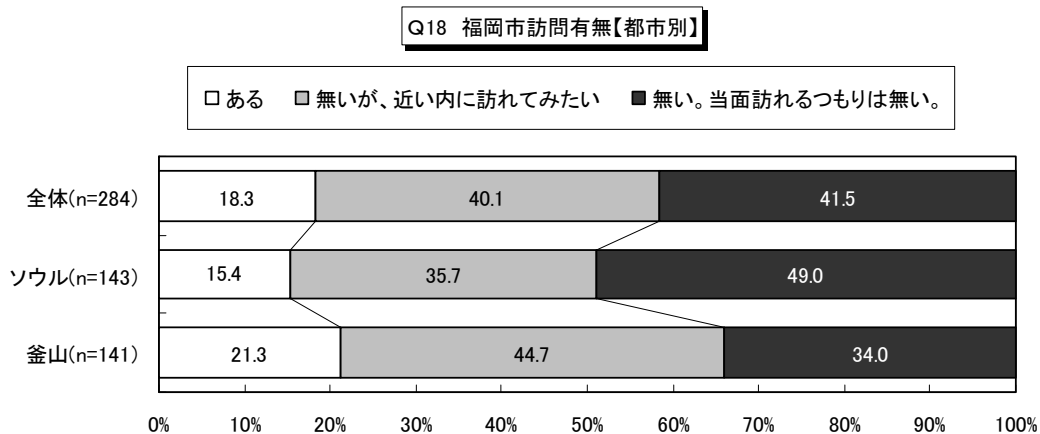
우동	うどん
일본중부지방	日本中部地方
옛고적이나 역사적인 요소가 많은 곳이라고 생각합니다.	古跡や歴史的な要素が多いところだと思う
외진	へんぴな所
예전에는 항구였지만 현재는 지방의 상업·공업·행정·문화의 중심지	以前は港だったが、現在は地方の商業・工業・行政・文化の中心地である
맥주	ビール
일본	日本
일본	日本
문화	文化
교류	交流
음식	食べ物
일본	日本
눈	雪
현대적	現代的
하우스텐보스	ハウステンボス
경제 문화	経済、文化
야구	野球
없음	なし
자연	自然
모르겠다	わからない
항구	港
부산	釜山
벚꽃	桜
전통	伝統
전통	伝統
친한파	親韓派
풍요	豊かさ
가까움	近い
항구	港
야경	夜景
눈	雪
일본	日本
무역	貿易
특별히 연상되는 것이 없다	特に思いつかない
없음	なし
없다	なし
라면	ラーメン
야경	夜景
여행지	旅行地
항구	港
없음	なし
없다	なし
산	山
신칸센 종착역	新幹線の終着駅
온천	温泉
자연	自然
배타고 갈 수 있는곳	船に乗って行けるところ
문화	文化
관광	観光
온천	温泉
지방도시	地方都市
일본의 도시	日本の都市
온천	温泉
일본	日本
케넬시티	キャナルシティ
없음	なし
관광	観光

항구	港
전통	伝統
관광지	観光地
종교	宗教
시골	田舎
잘 모르겠다	よくわからない
하카타	博多
가깝다	近い
일본의 대표적인 발달된 도시	日本の代表的な発達した都市
야구	野球
항구	港
윤동주	尹東柱(ユン・ドンジュ)
특별한 것이 없음	特になし
상업도시	商業都市
별로 없음	特になし
하우스텐보스	ハウステンボス
섬으로 이루어졌으며 관광지로 유명	島で、観光地として有名
음식	食べ物
일본	日本
주민들의 친절	人々の親切さ
바다	海
타워	タワー
배	船
가깝다	近い
없음	なし
온천	温泉
자연	自然
no	なし
전통	伝統
일본	日本
글쎄요	そうですね…
전통축제	伝統的な祭り
관광	観光
후쿠오카타워	福岡タワー
밤의도시	夜の都市
관광도시, 쇼핑	観光都市、ショッピング
아름답다	美しい
돈코츠라면	豚骨ラーメン
한국사람	韓国人
전통문화	伝統文化
그냥 평범	平凡
부관페리	釜関フェリー
후쿠오카돔	福岡ドーム
큰도시	大都市
항구	港
전통	伝統
없음	なし
겨울	冬
축제	祭り
바다	海
우동	うどん
화산	火山
산	山
온천	温泉
편안함	安らかさ
문화	文化
부산	釜山
페리	フェリー
현대적	現代的
없음	なし
한번 가보고 싶은 관광지	一度行ってみたい観光地
일본 친구가 사는곳	日本人の友人が住んでいるところ

일본의 한 도시	日本の一都市
모름	わからない
항구	港
축제	祭り
항구도시	港都市
비즈니스	ビジネス
가장 가까운 일본	最も近い日本
온천	温泉
천연의 자연환경	天然の自然環境
화산	火山
일본	日本
경관	景観
항구	港
부산	釜山
전통	伝統
휴양	休養
바다	海
전통	伝統
온천여행	温泉旅行
해안	海岸
모름	わからない
항구	港
모름	わからない
장인	職人、匠
없음	なし
없음	なし
전통도시	伝統都市
후쿠오카 타워	福岡タワー
온천	温泉
오호리공원	大濠公園
교포가 많이 사는 곳	多くの僑胞が住んでいるところ
부산에서 바로 갈 수 있다	釜山から直接、すぐに行ける
회	刺身
도시	都市
일본	日本
역사	歴史
전통	伝統
잘 모름	よくわからない
부산하고 가까운 도시	釜山から近い都市
기억이 나지 않는다	思いつかない
기억나지 않는다	思いつかない
살기 좋은 도시	住みやすい都市
없음	なし
친구가 사는 곳	友達が住んでいるところ

12) 福岡市の訪問経験

Q18. あなたは福岡市を訪れたことがありますか。【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】



13) 福岡市への訪問回数

Q19. あなたは福岡市をこれまで何回訪れましたか。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

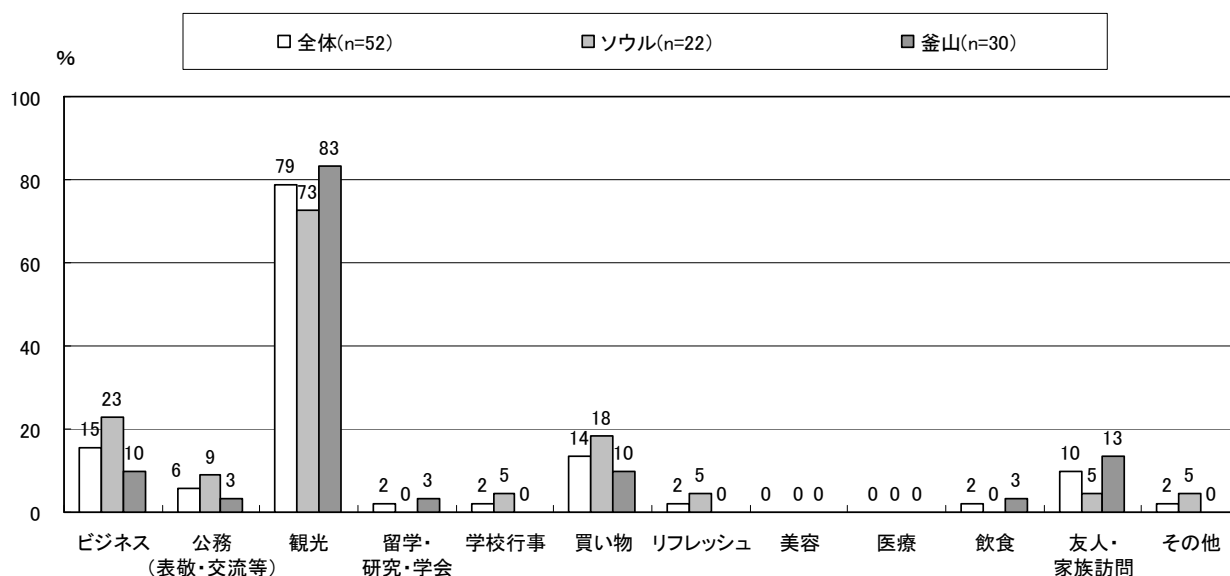
	合計	1回	2回	3回	4回以上
全体(n=52)	52	57.7	21.2	13.5	7.7
ソウル(n=22)	22	63.6	18.2	9.1	9.1
釜山(n=30)	30	53.3	23.3	16.7	6.7

14) 福岡への訪問目的

Q20. あなたは福岡市にどのような目的で訪れたことがありますか。(あてはまるもの総て)

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

Q20 福岡市訪問目的 MA【都市別】

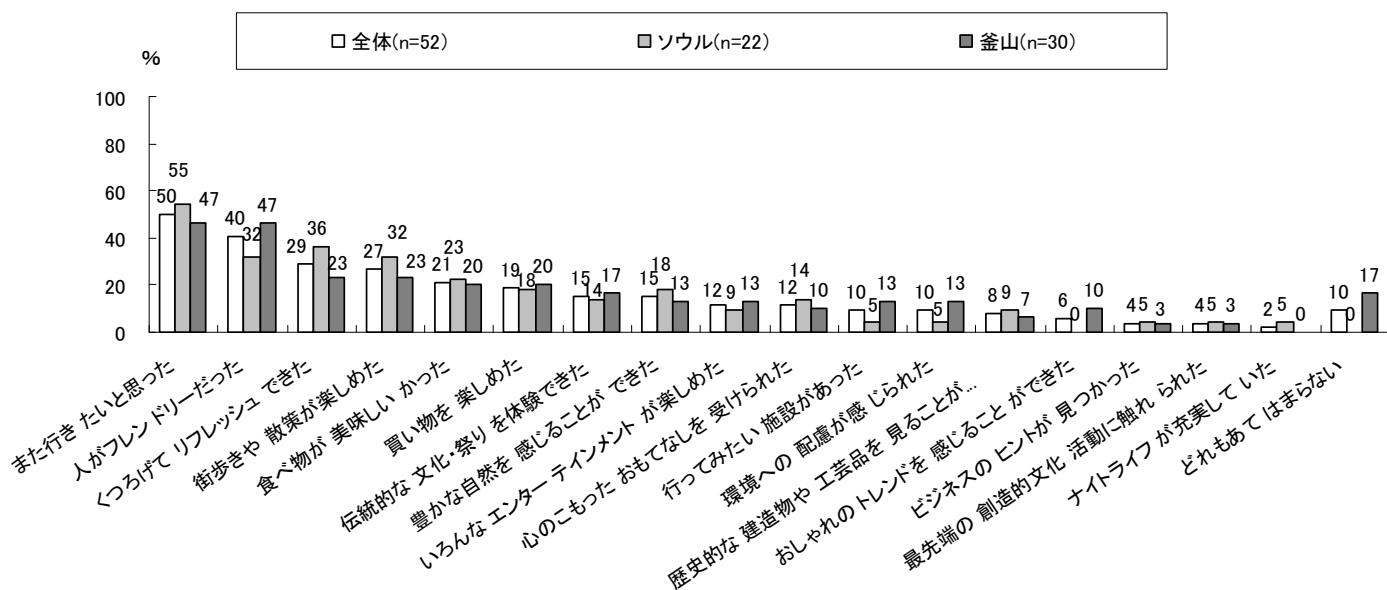


15) 福岡を訪問しての印象

Q21. 福岡市の印象はいかがでしたか。次の中から当てはまるものをすべてお選びください。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

Q21 福岡市の印象 MA【都市別】



16)福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(自由記述 50 名)

Q22. あなたが福岡で出会った最も「好きなもの・よかったこと」は何でしたか。ご自由にお書きください。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

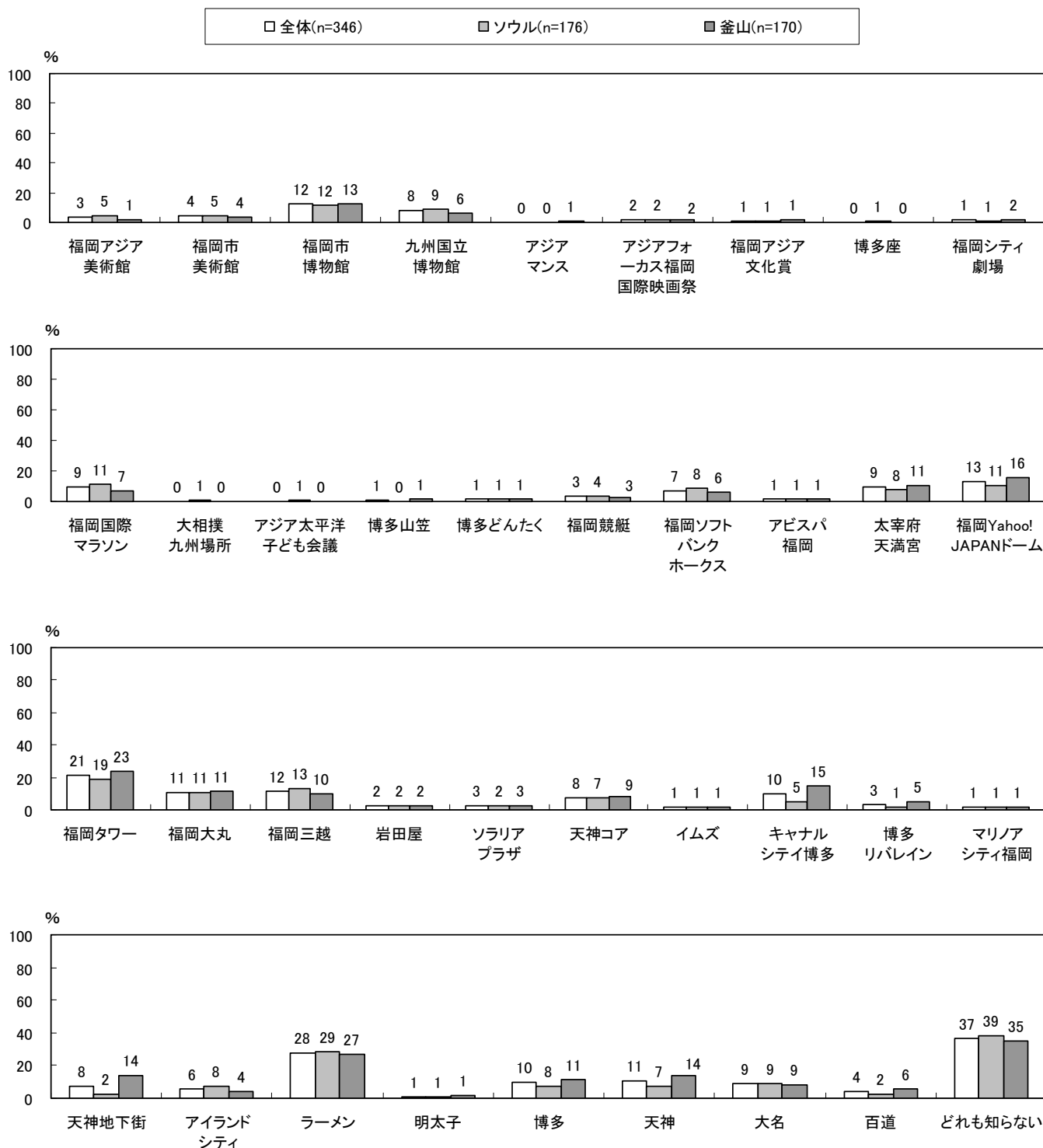
Q22	Q22FAの翻訳
시민들의 친절이 인상깊다	人々の親切さが印象深かった
깨끗한거리	清潔な街
자연경관이 뛰어나다.	自然景観が素晴らしい
조용한 밤거리와 다양한 쇼핑시설	静かな夜の街と様々なショッピング施設
교통이 편리했고, 사람들이 친절했음.	便利な交通、人々が親切だった
가깝지만 먼나라라고 하지만 인정 많고 기분전환도 하며 산책도 가능하고 새로운 트렌드도 느낄수 있는 곳 ㅎ	近くて遠い国と言われているが、人情があって気分転換にもなり、散策もできて、新しいトレンドも感じられるところ
쇼핑을 하기에 거리가 충분히 가까웠고 현대적 건축물과 전통의 건축물이 공존하여 무척 감동을 느꼈습니다.또한 다양한 먹을거리와 쇼핑상품도 많았구요	ショッピングするには十分近く、現代的な建造物と伝統的な建造物が共存しており、とても感動しました。またいろいろな食べ物やショッピング施設、商品も多かった
사진으로만 보던 일본 톨팅열차를 탈수있어서 좋았고 전통신사와 거대한 쇼핑물을 보고 놀라지 않을수 없었다	写真でしかみたことがなかったチンチン電車に乗れてよかったし、伝統的な神社と巨大なショッピングモールを見て驚かざるを得なかった
쇼핑을 좋아한다. 물론 학국에서 볼수 없는 물건을 사는 것도 즐겁고, 사람들이 친절히 대해 주어 좋았다.	ショッピングが好き。もちろん韓国で買えない物を買うことも楽しいし、人々が親切だったのよかった
공원과 도시가 잘 어우러져 현대적인것과 전통적인 것을 같이 느낄 수 있었다.	公園と都市の調和が取れた現代的なものと伝統的なものを一緒に感じることができた
호텔옥상에서의 노천온천	ホテルの屋上の露天温泉
포장마차	屋台
노천에서의 즐거움과 쇼핑의 즐거움등	露天の楽しみとショッピングの楽しみなど
쇼핑시설이 만족스러웠다	ショッピング施設に満足した
큰 쇼핑 센터. 음식점들. 신사.	大きなショッピングセンター、食堂など、神社
편리한 교통	交通が便利
길거리	街、通り
음식	食べ物
라면	ラーメン
다양한 엔터테인먼트	多彩なエンターテインメント
포장마차(야다이)에서 맛있는 야식 캐널시티 하카타주변의 멋진 건물들과 세가 오락실	屋台でおいしい夜食、キャナルシティ博多周辺の素敵な建物とセガゲームセンター
온천이 인상적이다	温泉が印象的だった
료칸	旅館
깨끗한 거리와 곳곳에 조성된 공원이 좋았으며, 텐진 시내 일대에 비꾸비꾸카메라, 요도바시카메라, 베스트전기, 이무즈빌딩, 캐널시티하카타 등 다양한 쇼핑을 즐길 수 있다는 점이 좋음	清潔な街と所々に公園があったのがよかった。天神市内一帯にはビックカメラ、ヨドバシカメラ、ベスト電器、イムズビル、キャナルシティ博多などがあり、いろいろなショッピングを楽しめるところがいい。
한국과 가깝다는거	韓国と近いところ
맛있는 음식,다자이후 텐민구	美味しい食べ物。大宰府天満宮
후쿠오카 타워 관람, 맛있는 음식	福岡タワー観覧。美味しい食べ物
국내 없는 자연환경을 볼 수 있었다.	韓国にはない自然環境を見物できた
온천	温泉
죄송합니다만...가분지 오래 되서...굳이 좋았던 건 사람들이 친절했다는 것..	すみません、長い間行ってないので…あえて言うなら、人々が親切だったところ
사람들이 친절했다. 길이 잘 되어 있어 걸어나다기에 편했다.	人々が親切だった。道路がよく整備されていて歩きやすかった
하우스텐보스 관광. 유럽의 분위기가 났다	ハウステンボスの観光。ヨーロッパの雰囲気があった
강변을 따라 밀집해 있는 포장마차와 손님들의 넉넉한 마음씨	川辺に沿って密集している屋台とお客さんのきさくさ
나이트 투어	ナイトツアー
주민들의 친절. 음식맛	人々の親切さ、味覚
조용하고 친절한 도시	静かで親切な都市
한국 사람이 많아서 편안한 여행이었다.	韓国人が多くて気楽な旅行ができた

오래전이라 많은 기억은 없지만 산에 나무들이 가지런히 같은 종류로 심어져 있어서 신기했다	ずいぶん前のことであまり覚えてないが、山に同じ種類の木がきちんと揃えて植林されていることが不思議だった
후쿠오카 보다는 주변의 나가사키나 벳부가 더 좋았습니다... 하우스텐보스와 온천이 기억에 남네요...	福岡より周辺の長崎や別府がもっとよかった... ハウステンボスと温泉が記憶に残ってますね
깨끗한 거리가 인상깊었고 사람들이 친절했다	きれいな街が印象深く、人々も親切だった
친절함	親切さ
활화산	活火山
경관, 문화시설	景観、文化施設
친절	親切さ
아소팜랜드에서 온천을 즐겼는데, 여유있게 몇 일 묵으면 더 좋겠다는 생각을 했다.	阿蘇ファームランドで温泉を楽しんだが、ゆっくりと何泊もしたいと思った
자연...	自然
아름다운 해안과 건축물	美しい海岸と建造物
후쿠오카를 방문한 목적은 후쿠오카를 기점으로 규슈지역 벳부, 유후인 구마모토등을 방문하기 위한 중간 기점이었습니다. 좋은 점은 다양한 숙박시설과 편리한 교통 강을 따라 발달한 도시 모습 등..하지만 막상 후쿠오카에 머무른 시간은 얼마 되지 않은 듯	福岡を訪問した目的は、福岡を起点に九州地域、別府、湯布院、熊本などを訪ねるための中間起点だったから。良かった点は様々な宿泊施設と交通の便利さ、川に沿って発達した都市の景観など...しかしいざ福岡に泊まる時間はあまりなくて...
식당에서 종업원의 극진한 친절	食堂の従業員の手厚いもてなし
쇼핑몰에서 친구와 함께 window쇼핑했던 경험	ショッピングモールで友達と一緒にウィンドウショッピングしたこと。

17) 福岡に関するキーワードで知っているもの

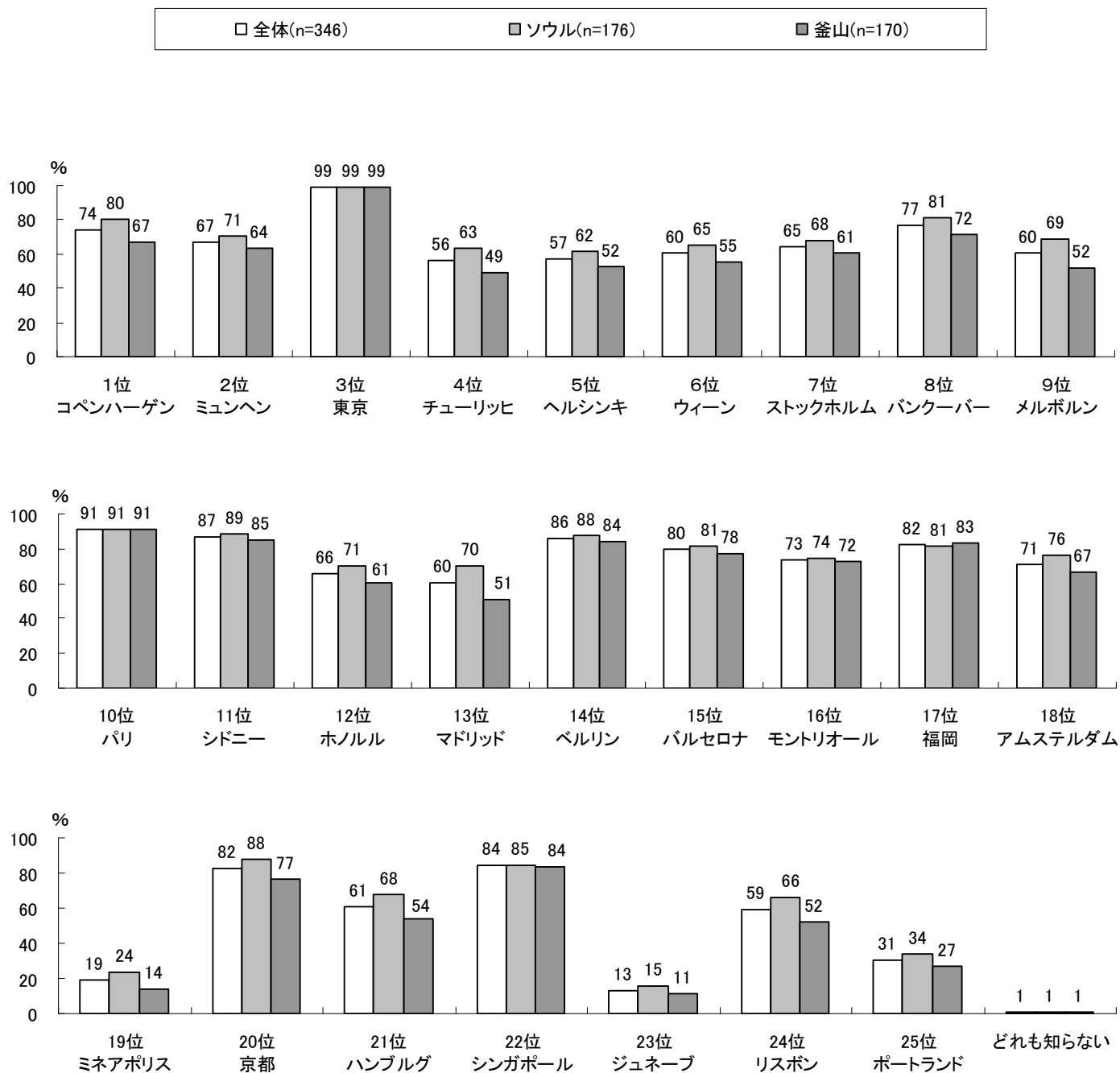
Q23. 福岡に関するキーワードで以下の中からあなたがご存知のものをお答え下さい。(あてはまるもの総て)【注: Q12で(8)福岡を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

Q23 福岡キーワード認知 MA【都市別】



- 18) 聞いたことがある都市（英雑誌モノクル「住みやすい都市 2008」に選出された 25 都市に関して）
 Q24. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。（あてはまるもの総て）
 【Q24 では、日本の 3 都市は除外して尋ねているが、ここでは Q12 における日本都市のデータも加味して表示している。】

Q24 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住み良い都市2008」上位25都市に関して) MA【都市別】



4. 日本 2都市を対象とした都市イメージ調査

1) 回答者属性

Q 1 性・年齢

	男性 20 — 29 歳	男性 30 — 39 歳	男性 40 — 49 歳	男性 50 — 59 歳	女性 20 — 29 歳	女性 30 — 39 歳	女性 40 — 49 歳	女性 50 — 59 歳
合 計								
	423 100.0	51 12.1	52 12.3	55 13.0	51 12.1	52 12.3	53 12.5	54 12.8

N 1 性別

	男性	女性
合 計		
	423 100.0	209 49.4

Q 2 年齢

	20 — 29 歳	30 — 39 歳	40 — 49 歳	50 — 59 歳
合 計				
	423 100.0	103 24.3	105 24.8	109 25.8

Q 2 居住都市

	福岡市	広島市
合 計		
	423 100.0	210 49.6

Q 3 最終学歴

	小学校	中学校	高校・高等専門学校	短大・専門学校	大学・大学院
合 計					
	423 100.0	— —	1 0.2	100 23.6	85 20.1

Q 4 未婚

	未婚	既婚	その他（死別・離別）	答えたくない
合 計				
	423 100.0	162 38.3	244 57.7	17 4.0

Q 5 職業

	外資系会社役員	役員 内資系会社役員・団体	外資系会社社員	内資系会社社員	契約社員、パート、アルバイト	自営業・自由業	学生	専業主婦	年金受給者	無職	その他
合 計											
	423 100.0	— —	11 2.6	1 0.2	143 33.8	75 17.7	38 9.0	22 5.2	78 18.4	1 0.2	19 4.5

Q 6 世帯年収

	300万円未満	300万円以上500万円未満	500万円以上700万円未満	700万円以上1000万円未満	1000万円以上1500万円未満	1500万円以上2000万円未満	2000万円以上2500万円未満	2500万円以上3000万円未満	3000万円以上	わからない・答えたくない
合 計										
	423 100.0	87 20.6	99 23.4	81 19.1	75 17.7	26 6.1	11 2.6	7 1.7	1 0.2	36 8.5

Q 7 海外旅行頻度

	3年に1回未満	3年に1回程度	2年に1回程度	1年に1回程度	半年に1回程度	3ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回以上	と海外旅行には行っていない
合 計								
	423 100.0	192 45.4	24 5.7	25 5.9	44 10.4	17 4.0	5 1.2	6 1.4

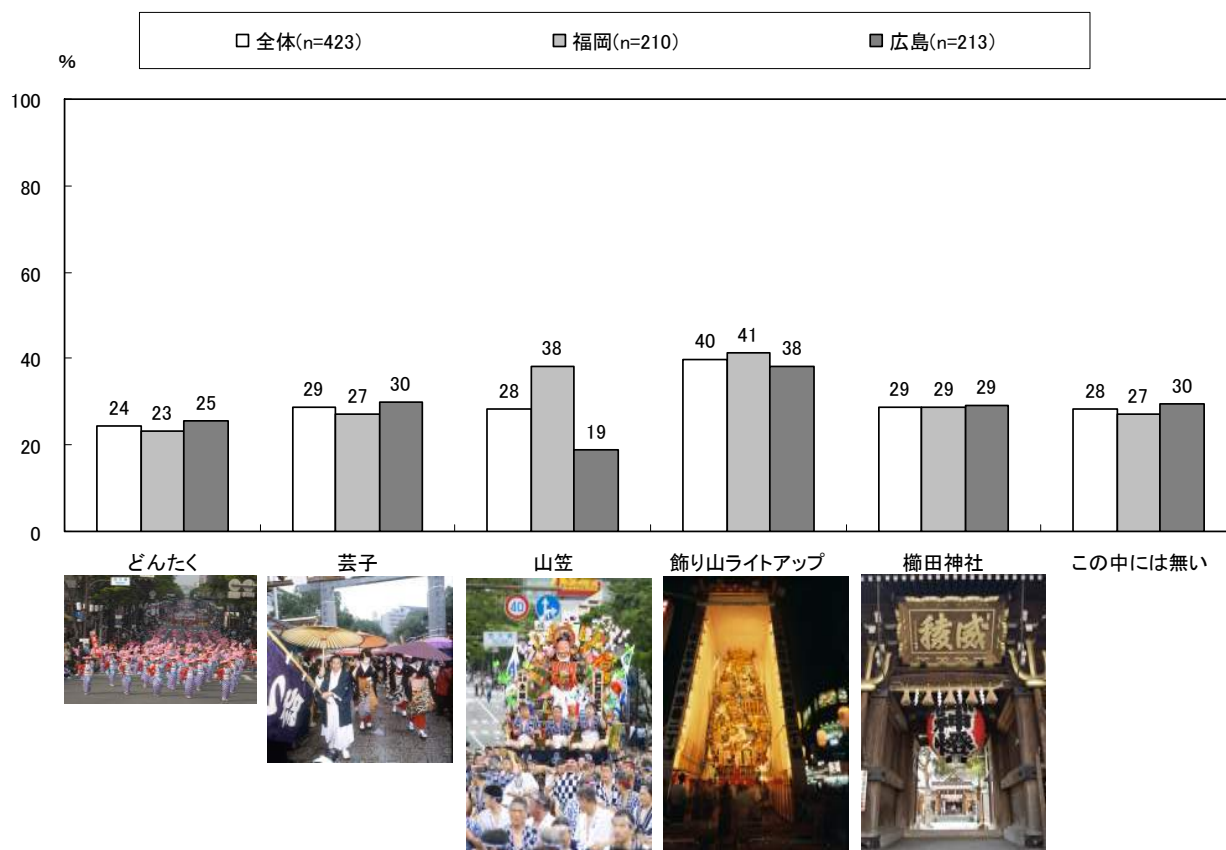
2) 行ってみたくなるイメージ写真

Q8. 次の写真のなかに、「そこに行ってみたくなるようなイメージ」がありますか。

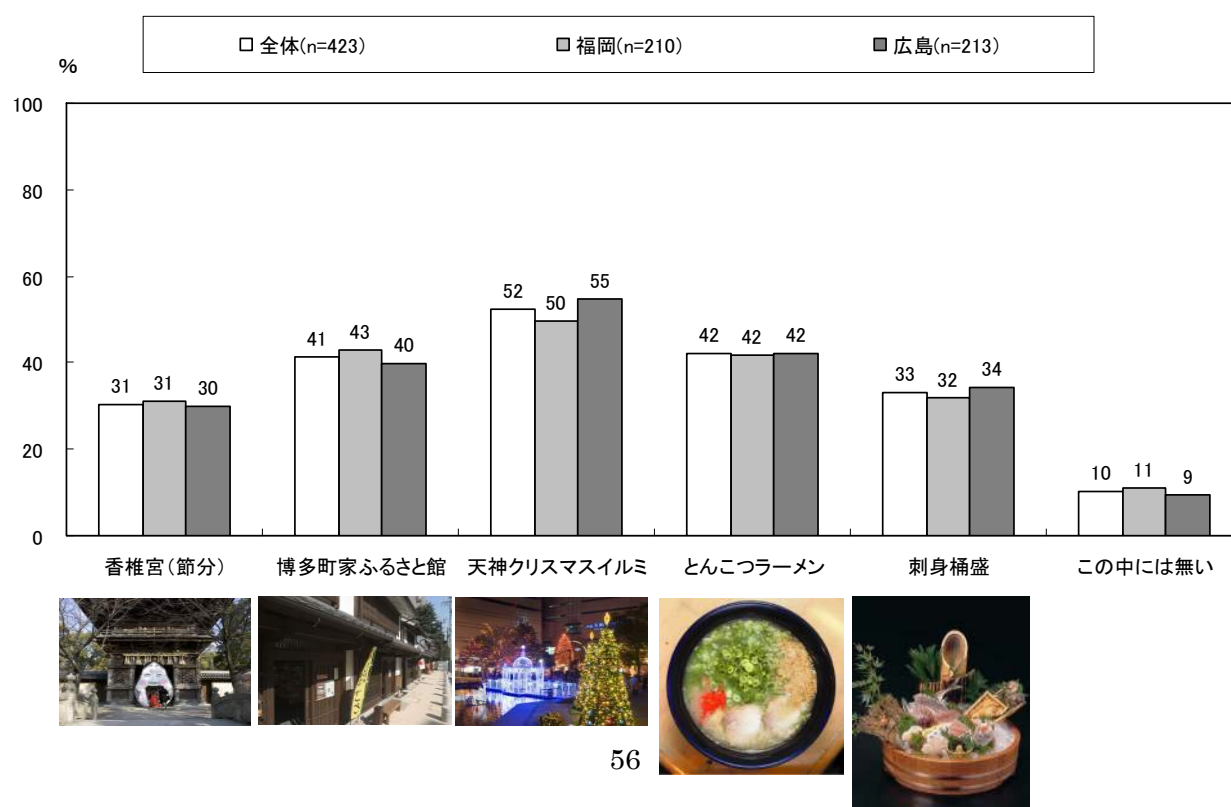
あてはまるもの総てお選び下さい。

【注】調査では写真のみを表示し、適宜順番を入れ替えバイアスの出現を抑えながら実施し、30 枚の写真を6グループに分け、5枚の写真を1グループとし、WEB 画面上に表示し、1 枚ごとにチェックして選んでもらった。

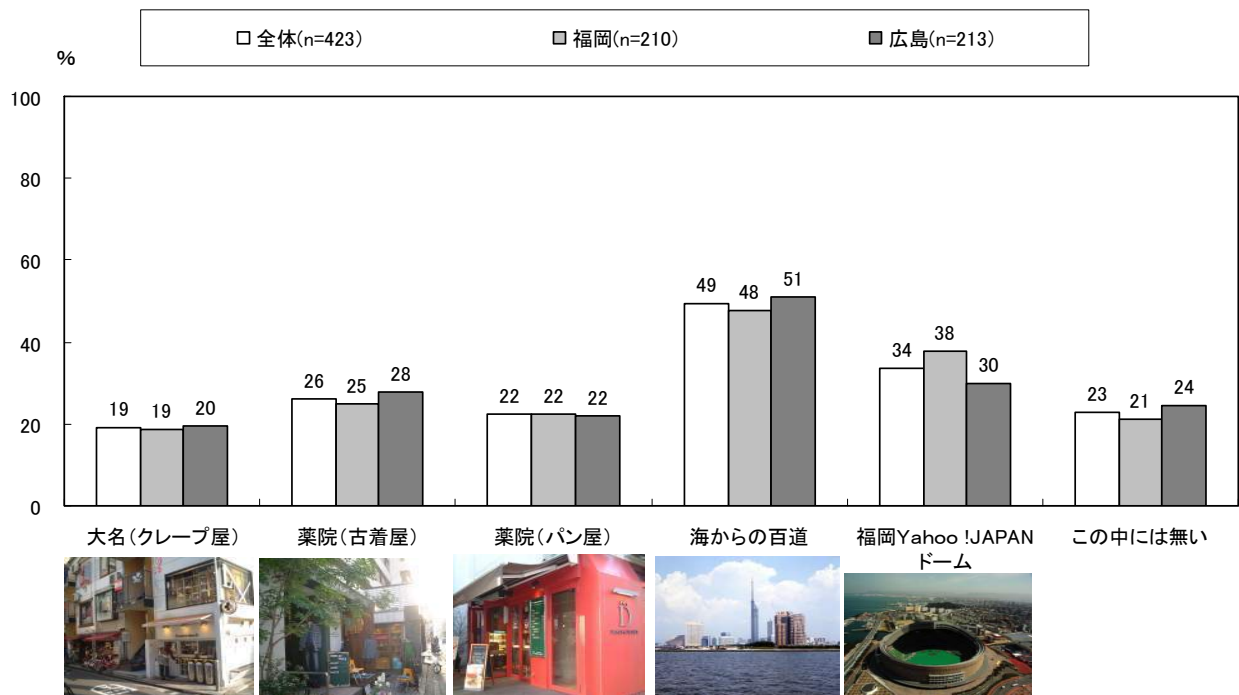
Q8-1 都市のイメージ Group-1 MA【都市別】



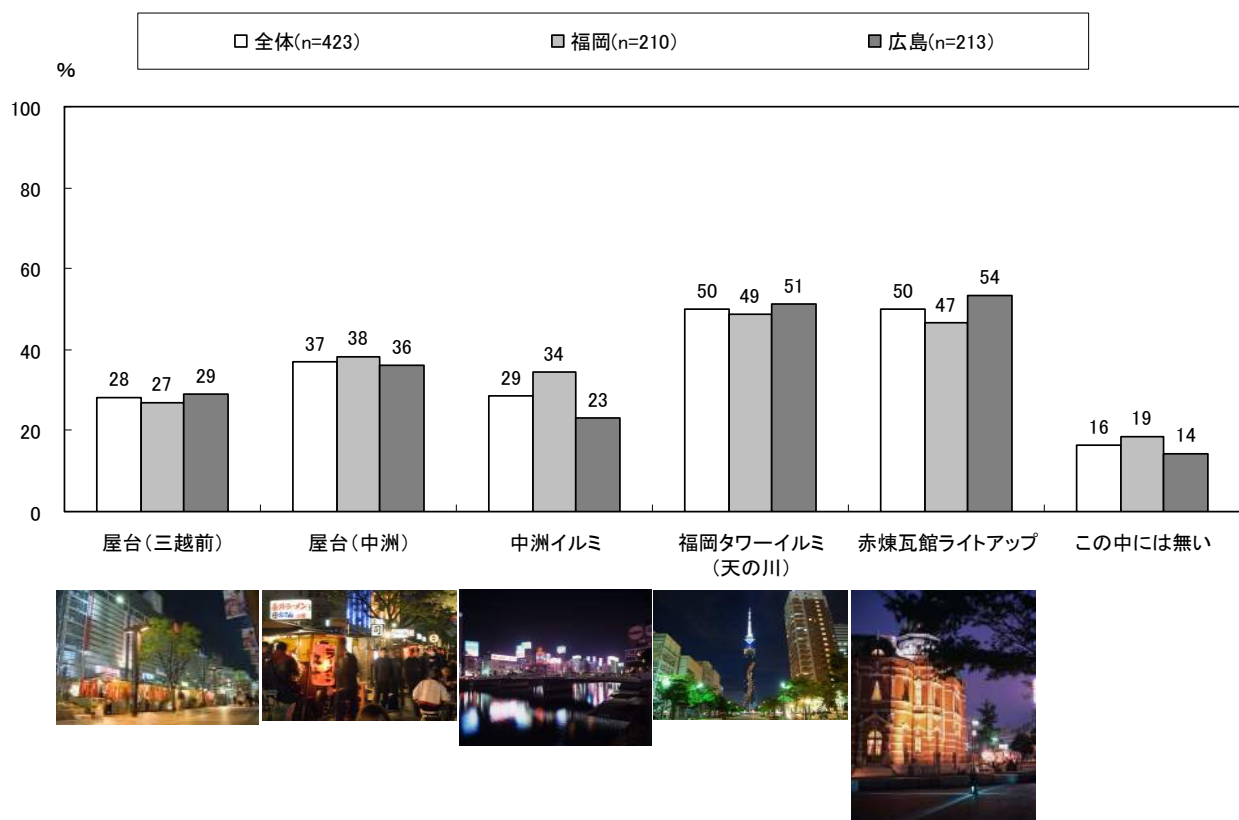
Q8-2 都市のイメージ Group-2 MA【都市別】



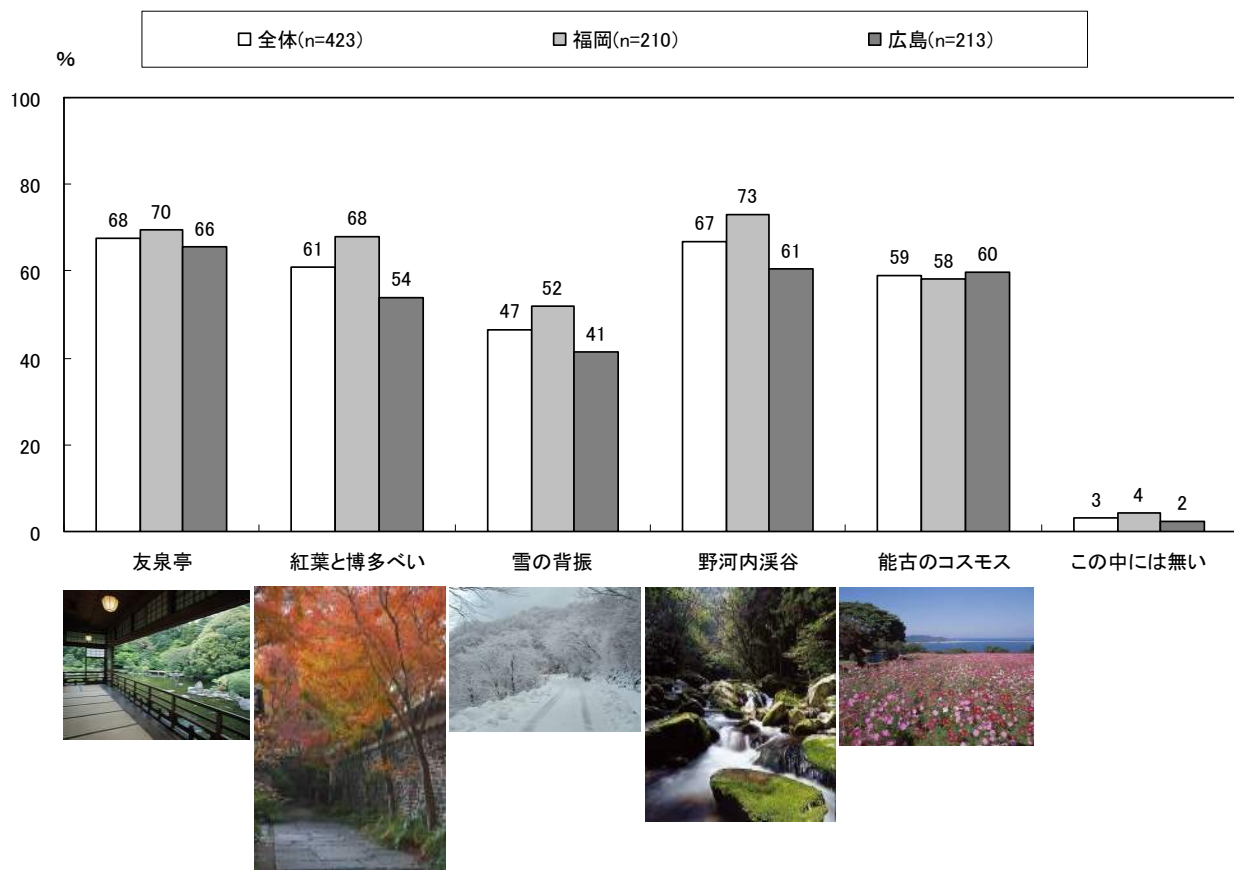
Q8-3 都市のイメージ Group-3 MA【都市別】



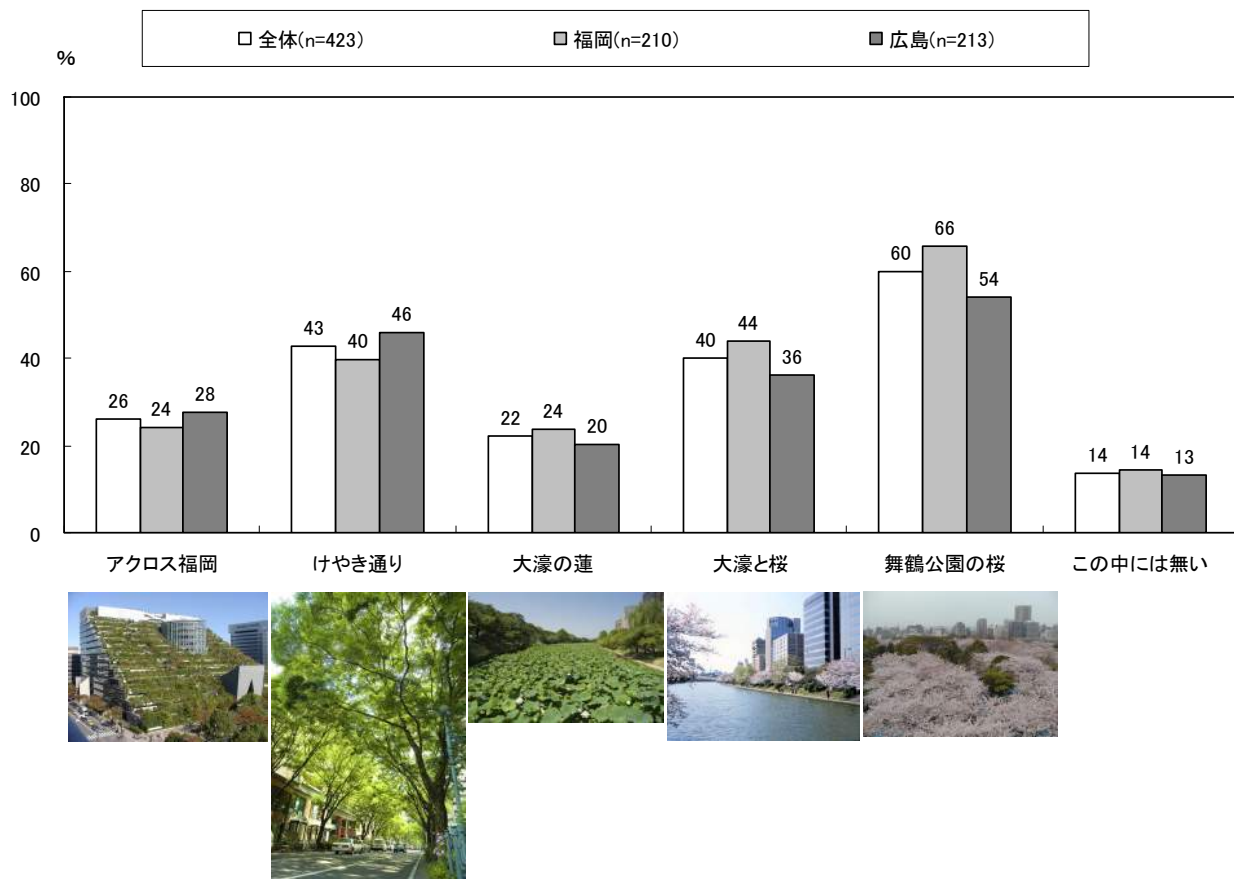
Q8-4 都市のイメージ Group-4 MA【都市別】



Q8-5 都市のイメージ Group-5 MA【都市別】



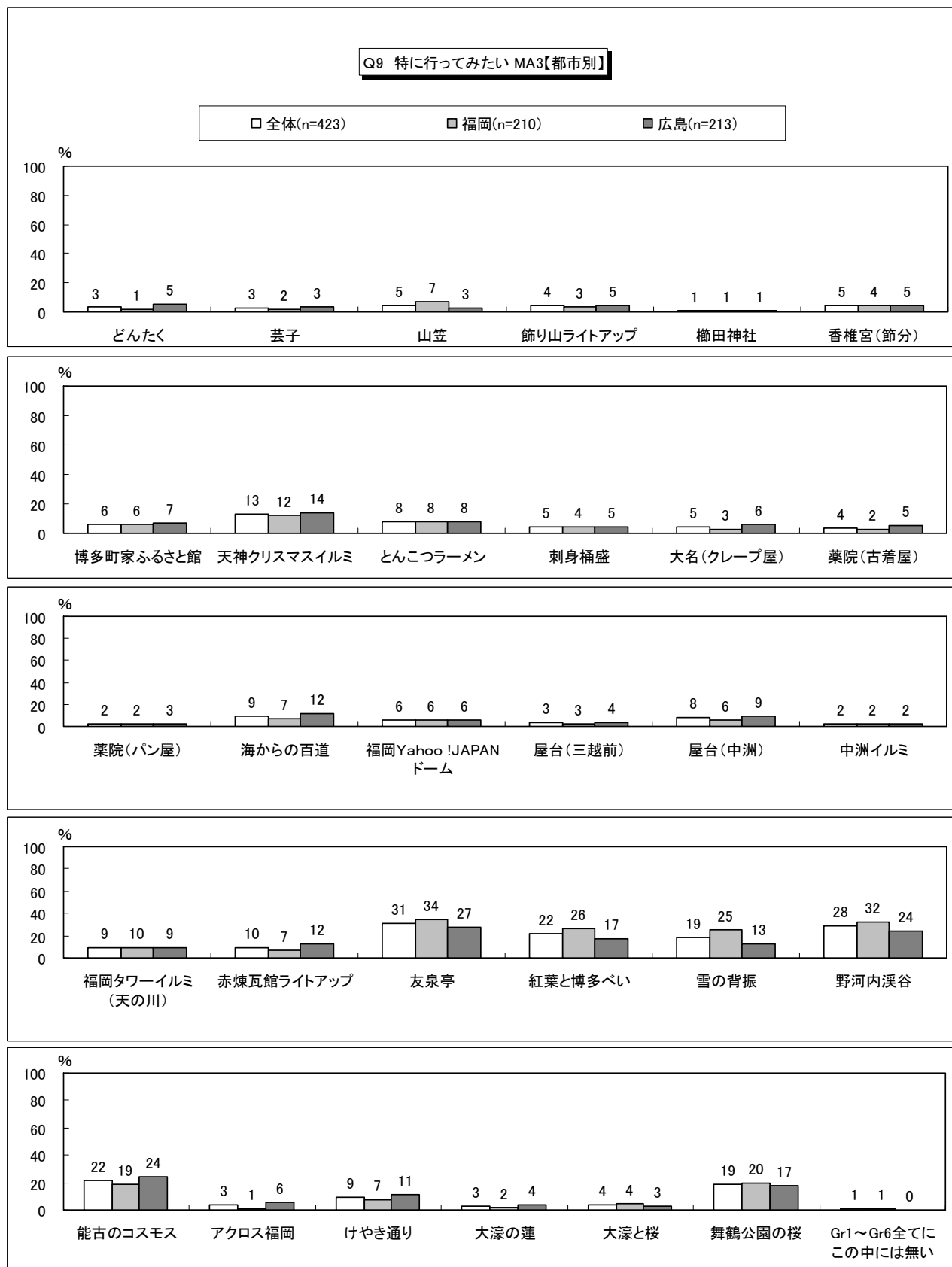
Q8-6 都市のイメージ Group-6 MA【都市別】



3) 特に行ってみたくなるようなイメージ写真

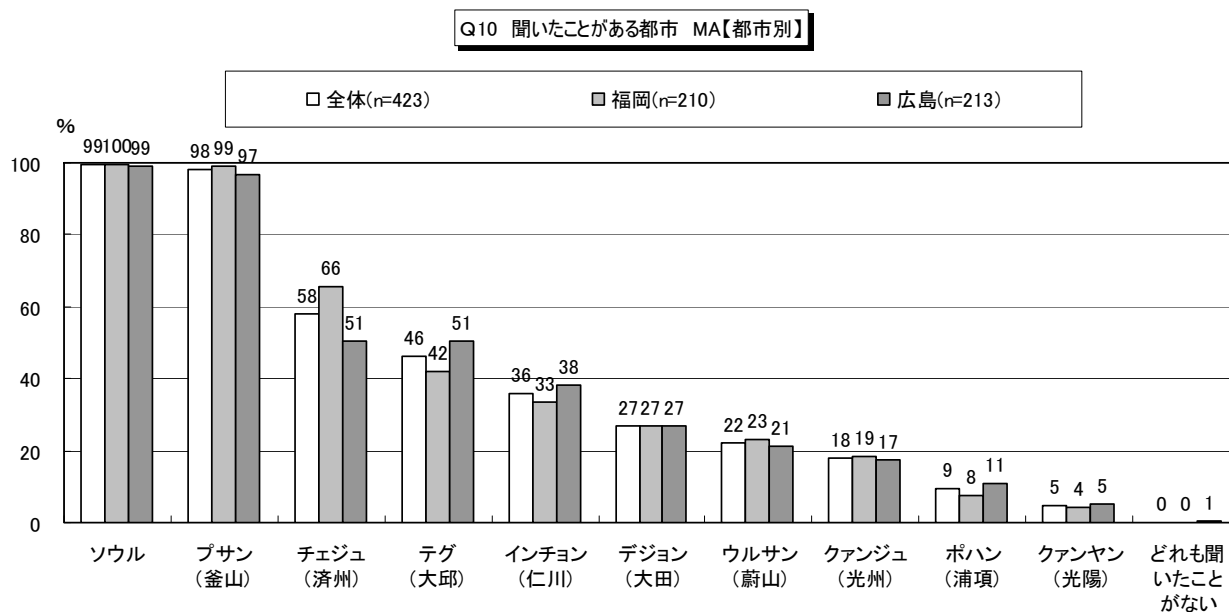
Q9. Q8 であなたが選んだ「そこに行ってみたくなるようなイメージ」のうち、特に「行ってみたい」と思ったものを3つまで選んで下さい。

【注】WEB画面上にはQ8で選んだ写真のみが現れる。



4) 聞いたことがある韓国の都市

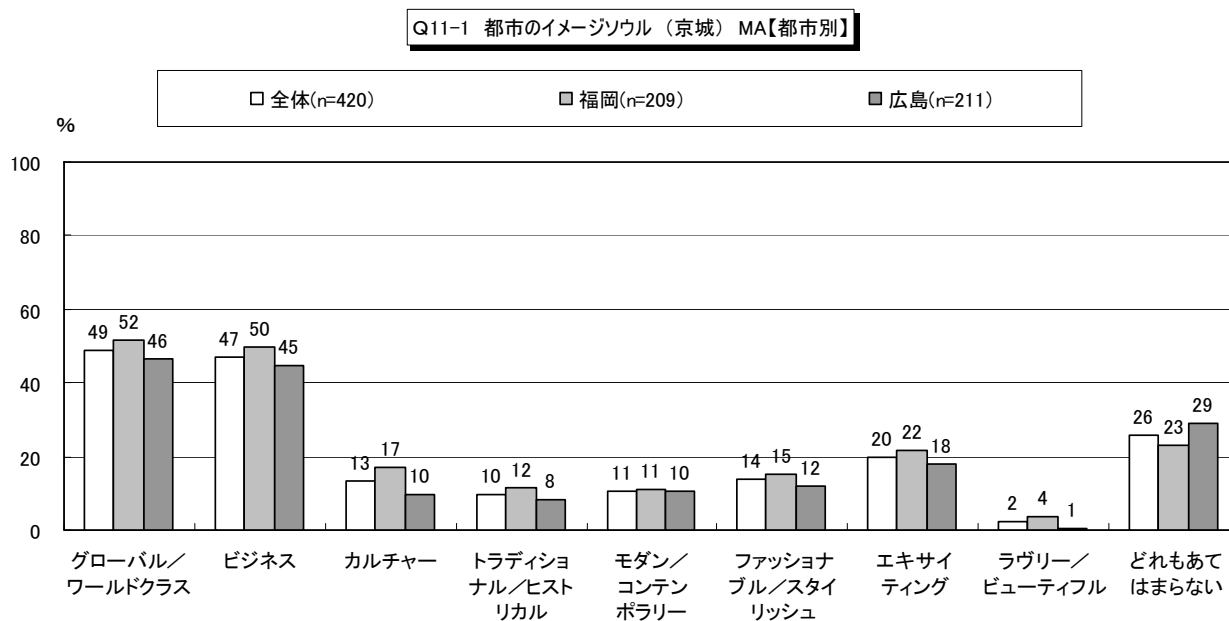
Q10. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるもの総て)



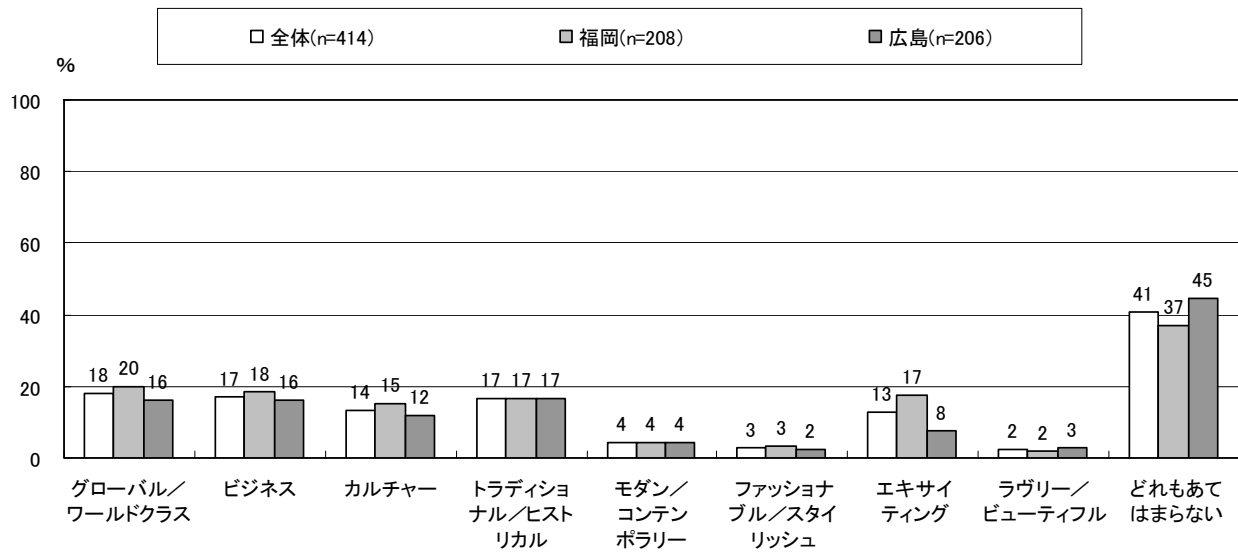
5) 聞いたことがある韓国の都市に持っているイメージ

Q11. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

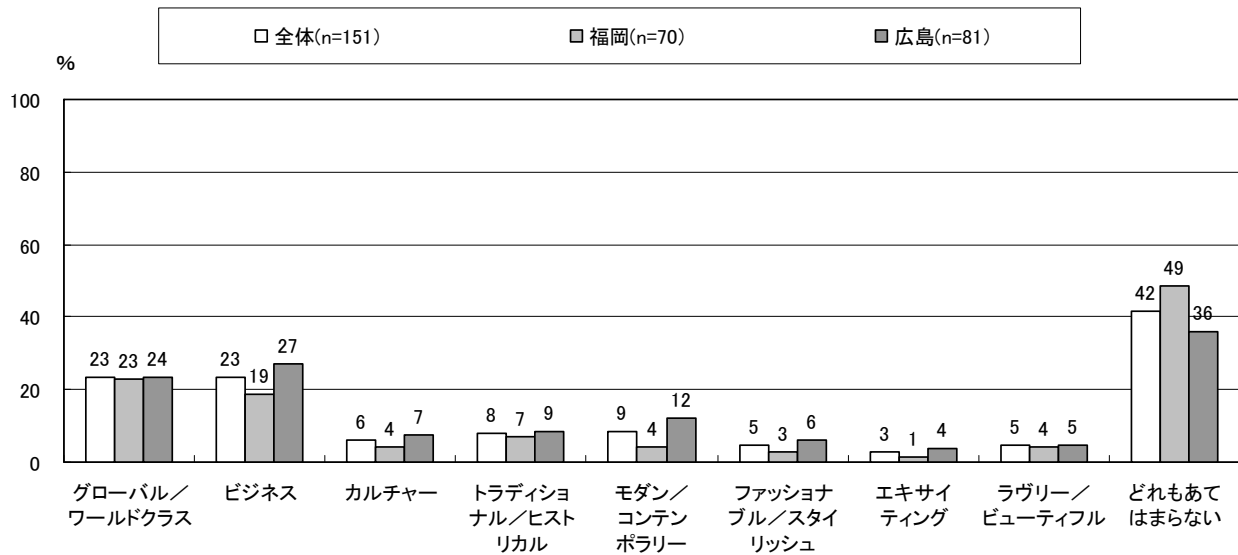
【注】WEB画面上にはQ10で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



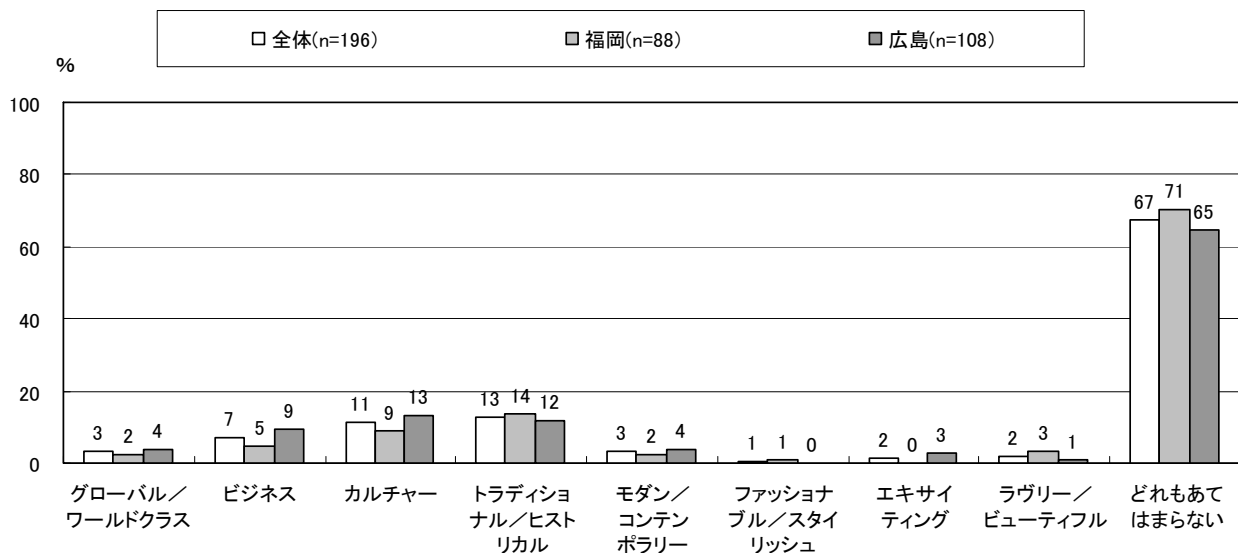
Q11-2 都市のイメージ プサン(釜山) MA【都市別】



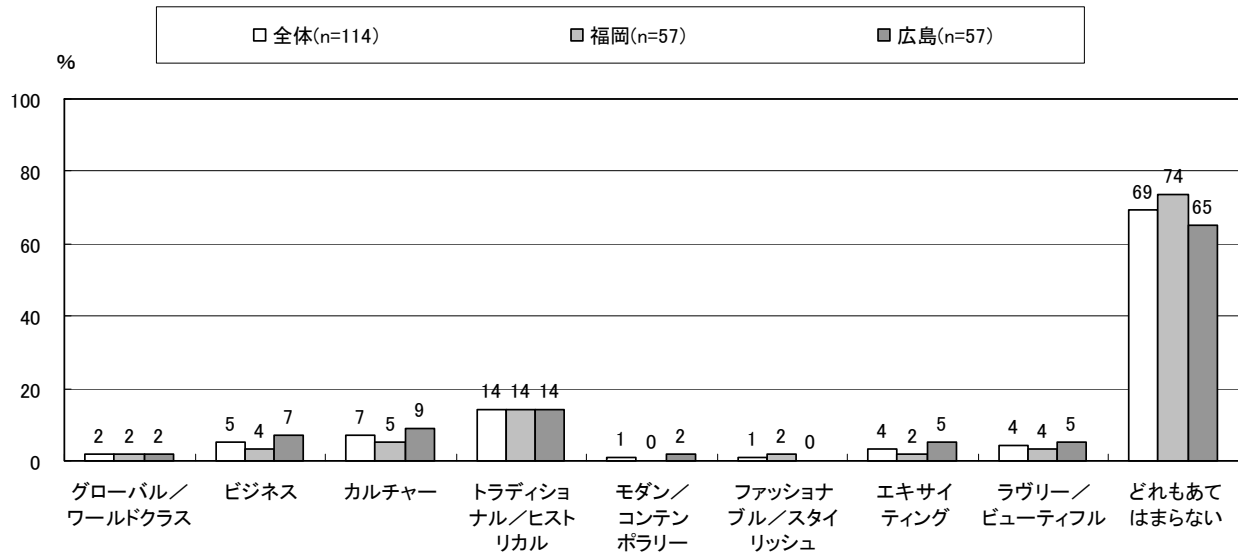
Q11-3 都市のイメージ インチョン(仁川) MA【都市別】



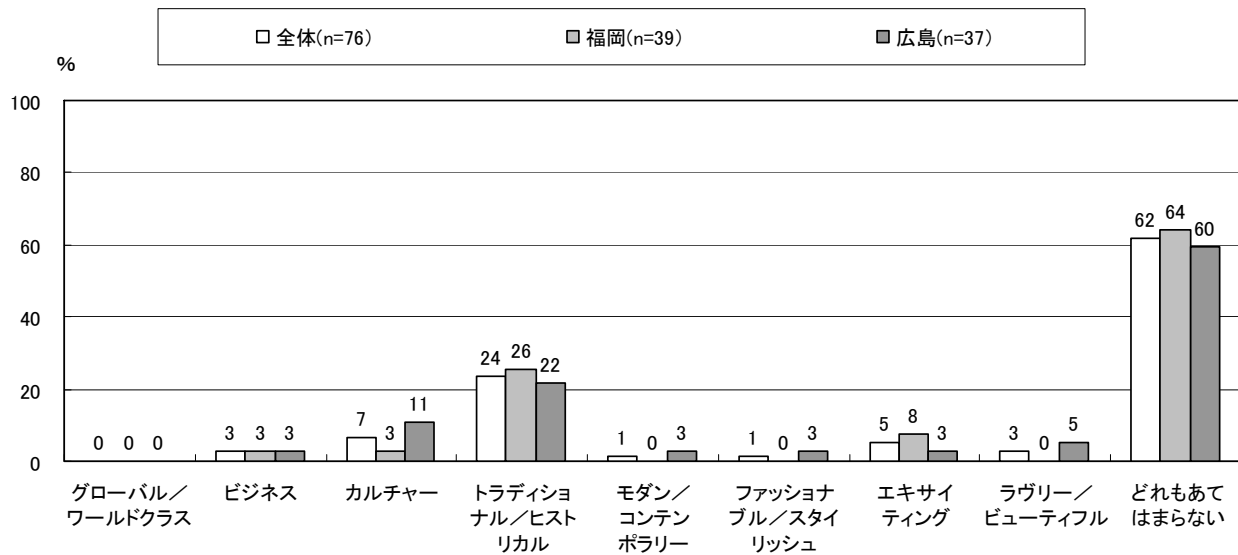
Q11-4 都市のイメージ テグ(大邱) MA【都市別】



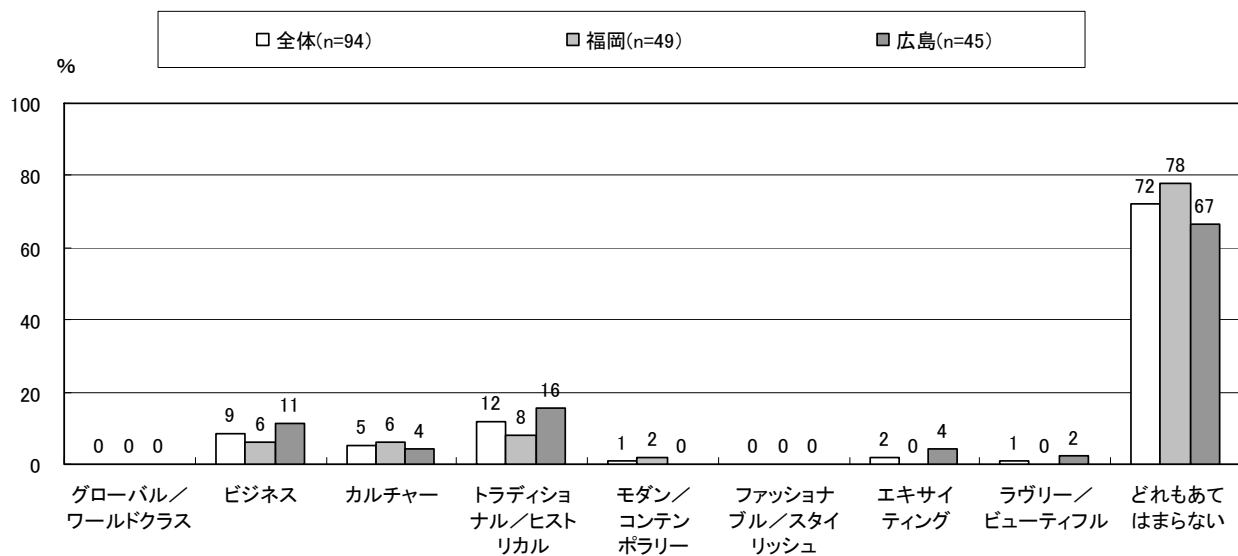
Q11-5 都市のイメージ デジジョン(大田) MA【都市別】



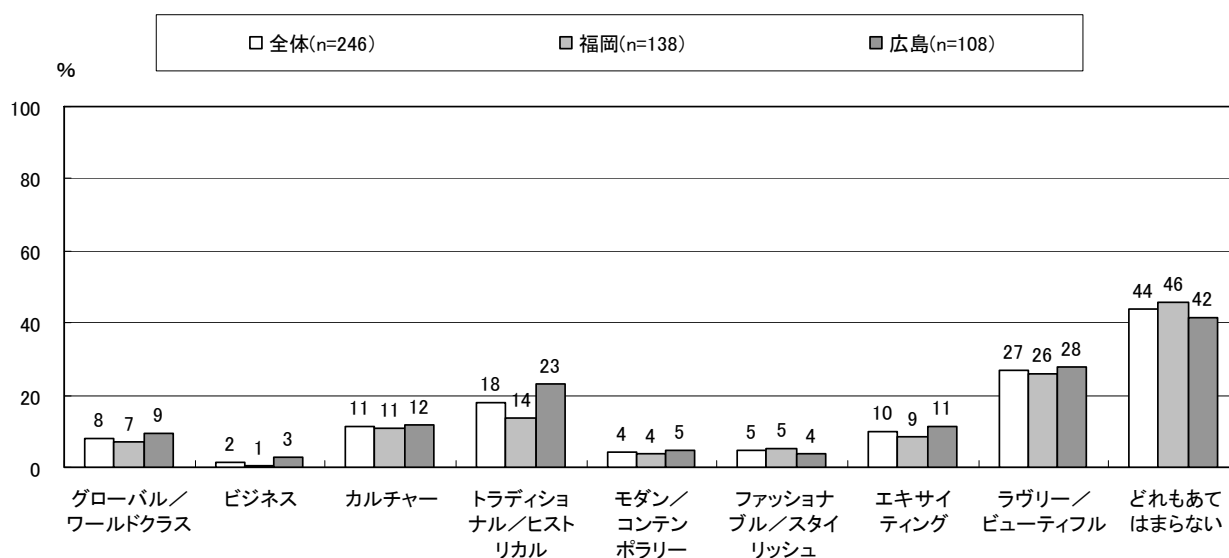
Q11-6 都市のイメージ カンジュ(光州) MA【都市別】



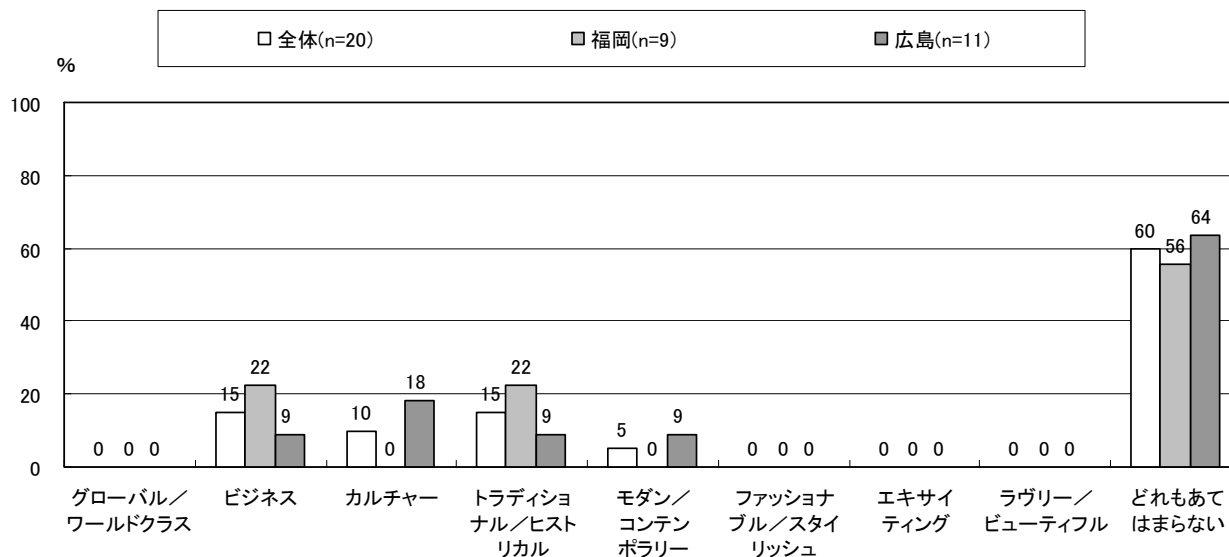
Q11-7 都市のイメージ ウルサン(蔚山) MA【都市別】



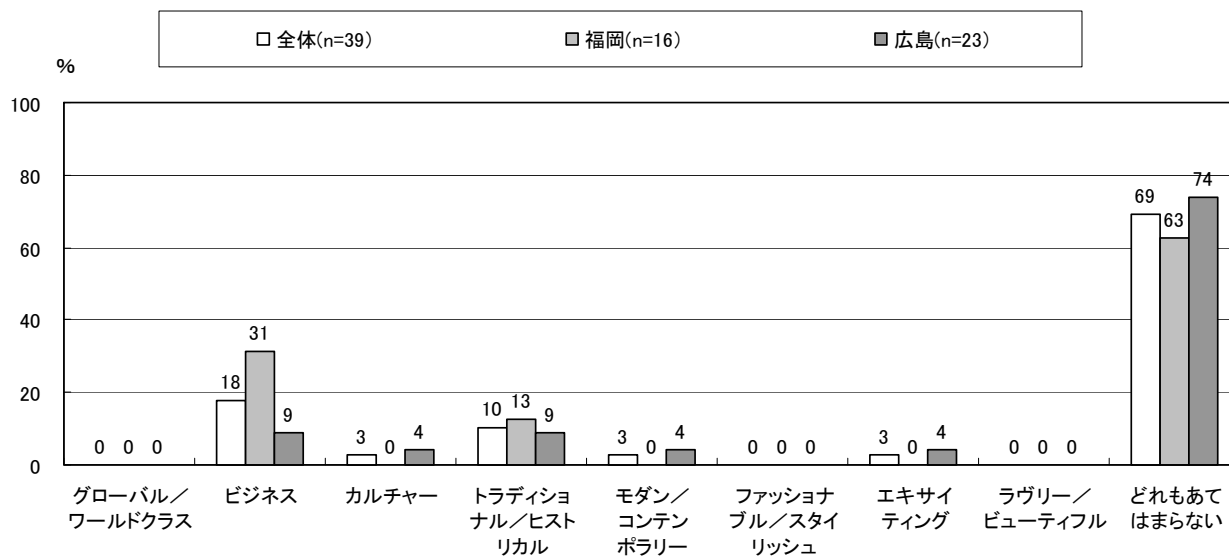
Q11-8 都市のイメージ チェジュ(済州) MA【都市別】



Q11-9 都市のイメージ クアンヤン(光陽) MA【都市別】

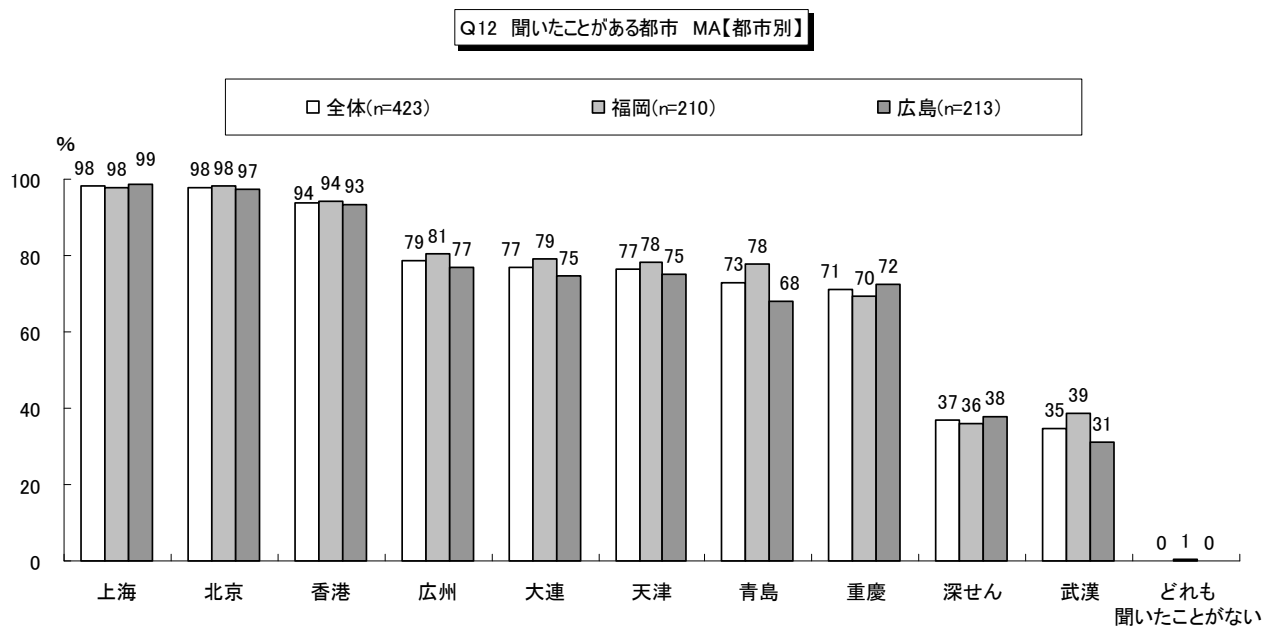


Q11-10 都市のイメージ ポハン(浦項) MA【都市別】



6) 聞いたことがある中国の都市

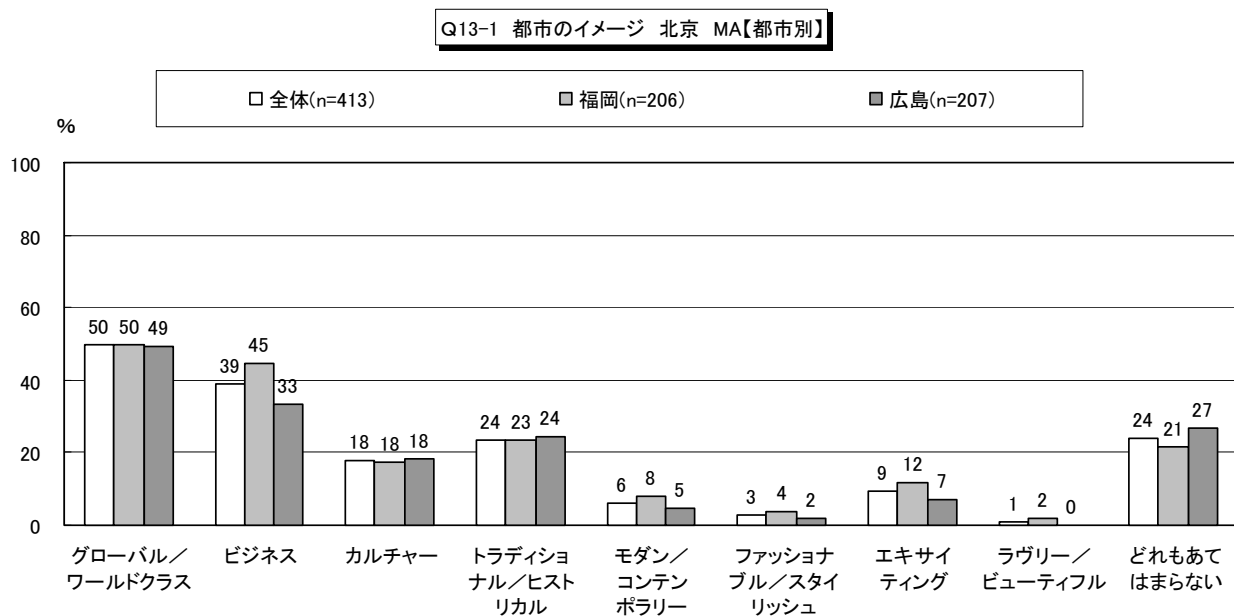
Q12. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。(あてはまるものを総て)



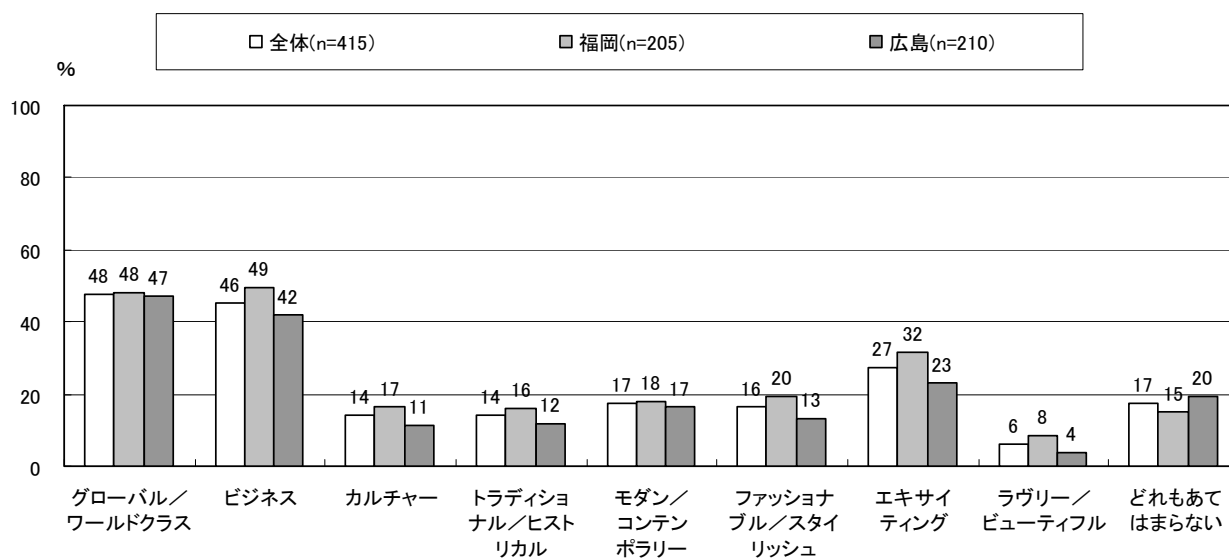
7) 聞いたことがある中国の都市に持っているイメージ

Q13. あなたは、名前を聞いた事がある以下の都市に関して、どのような都市イメージをお持ちですか。当てはまるものを総てお選び下さい。

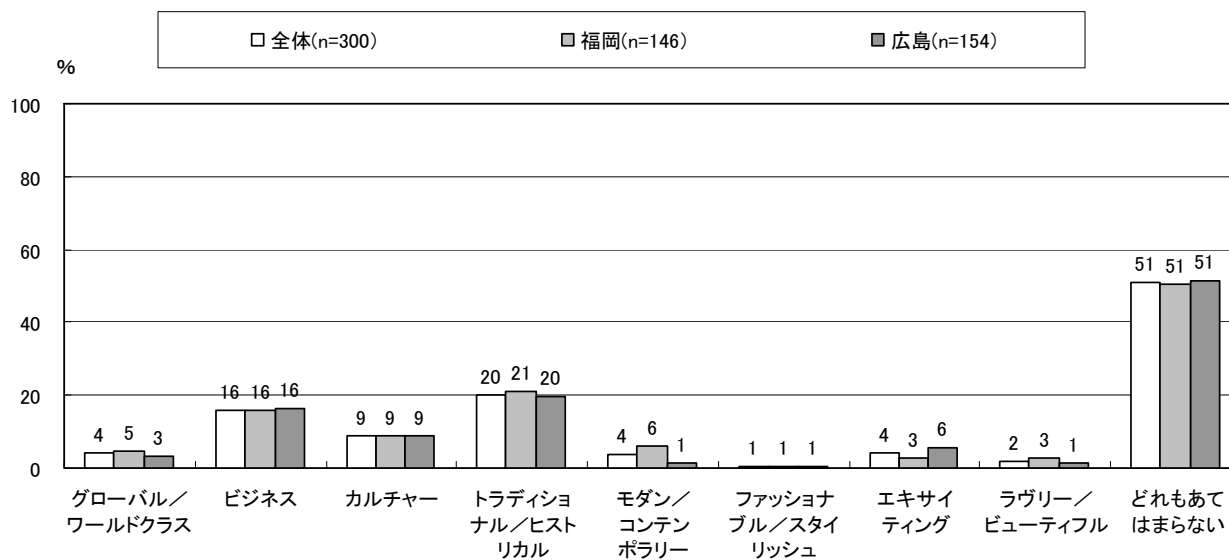
【注】WEB画面上にはQ12で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



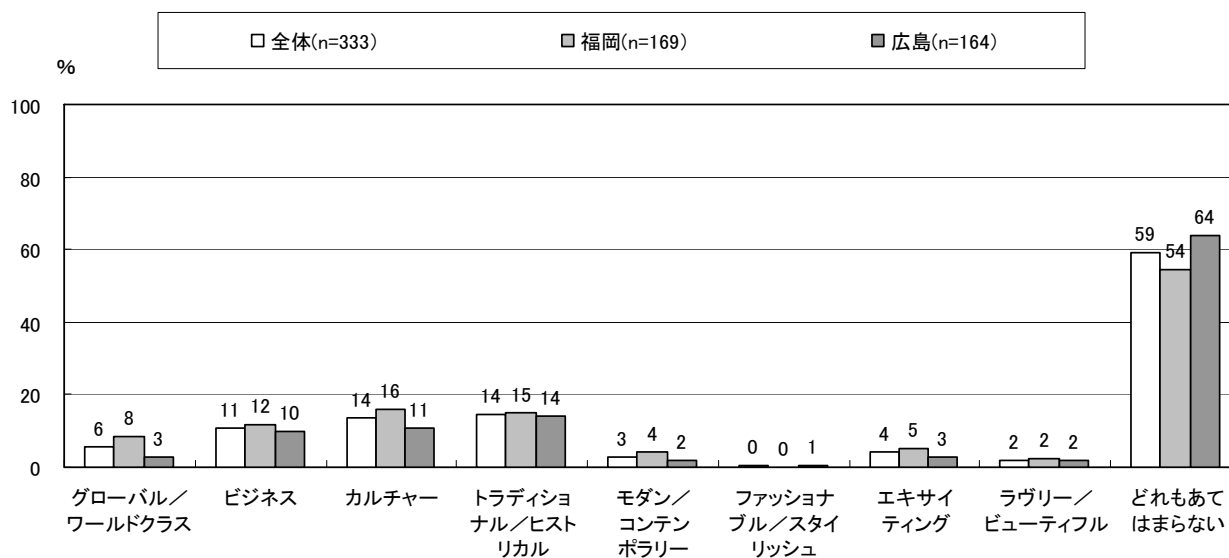
Q13-2 都市のイメージ 上海 MA【都市別】



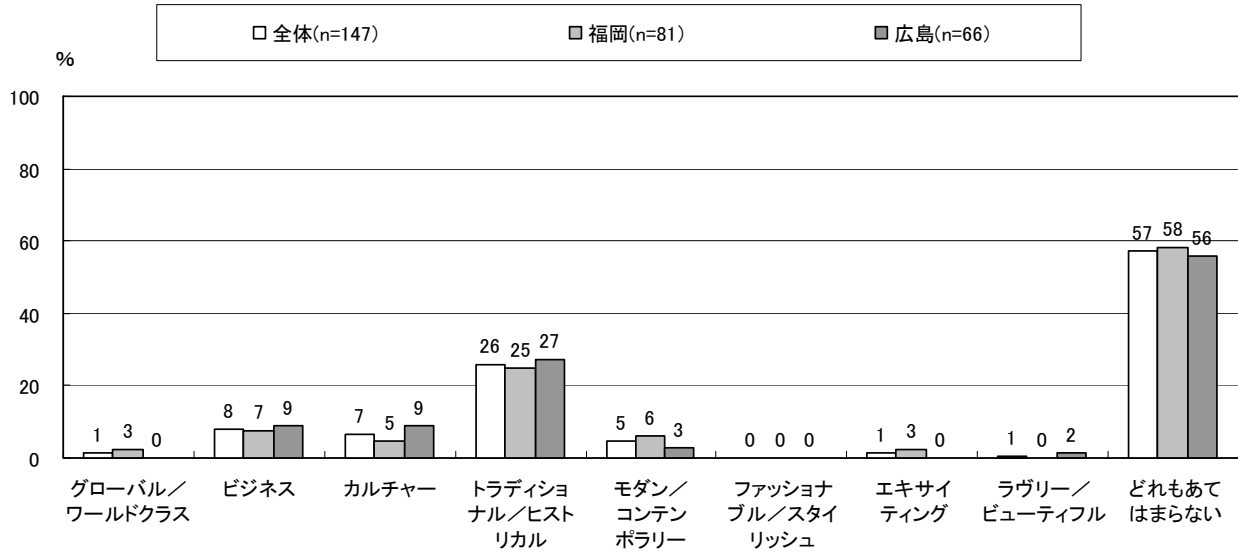
Q13-3 都市のイメージ 重慶 MA【都市別】



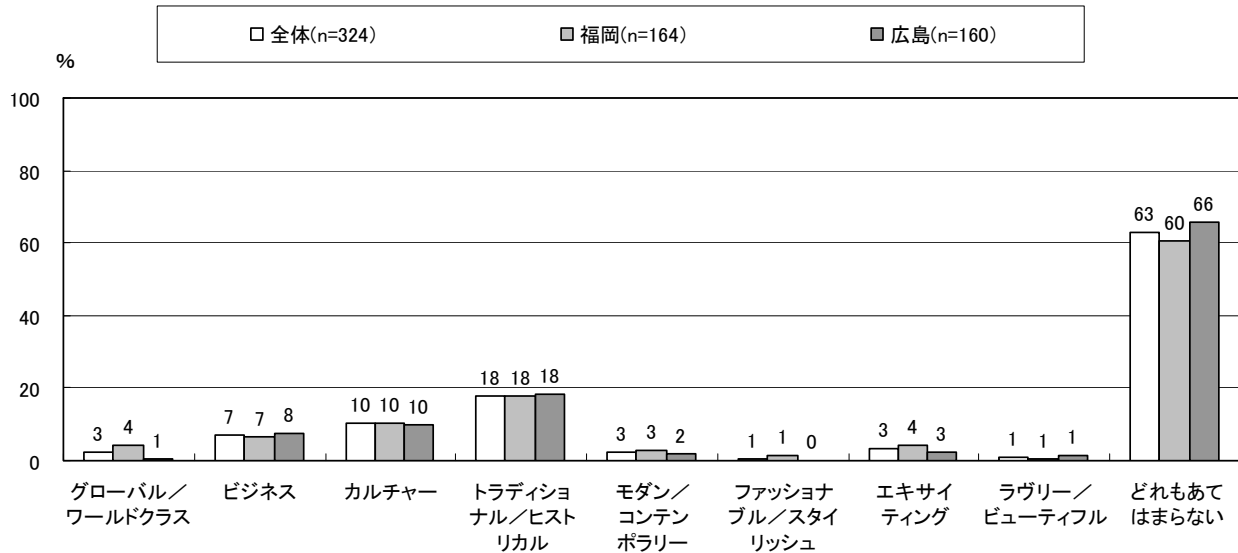
Q13-4 都市のイメージ 広州 MA【都市別】



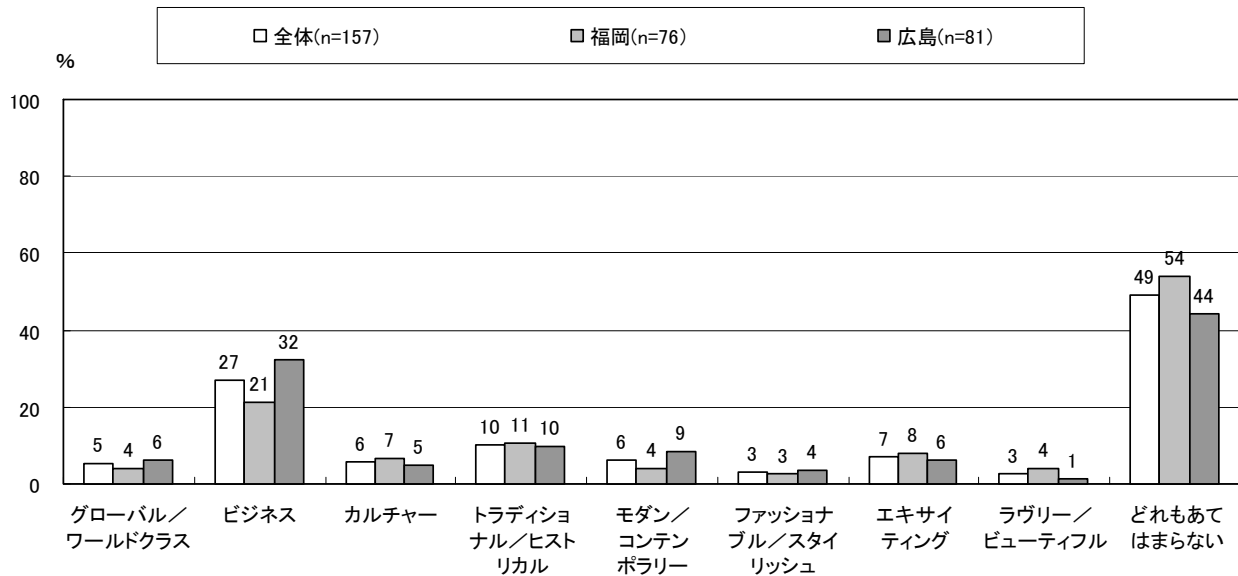
Q13-5 都市のイメージ 武漢 MA【都市別】



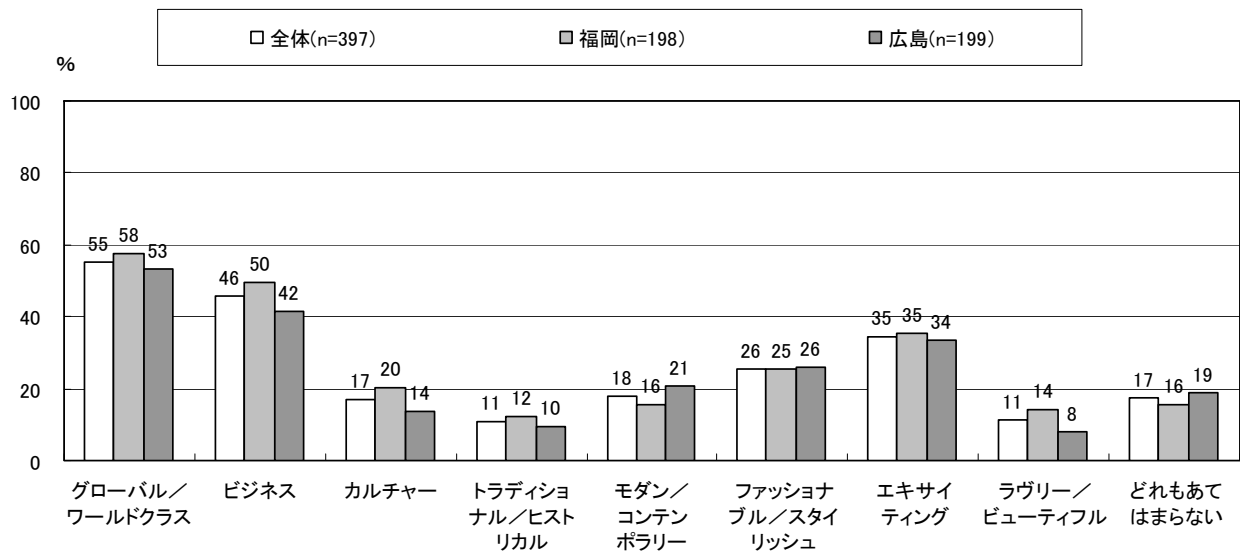
Q13-6 都市のイメージ 天津 MA【都市別】



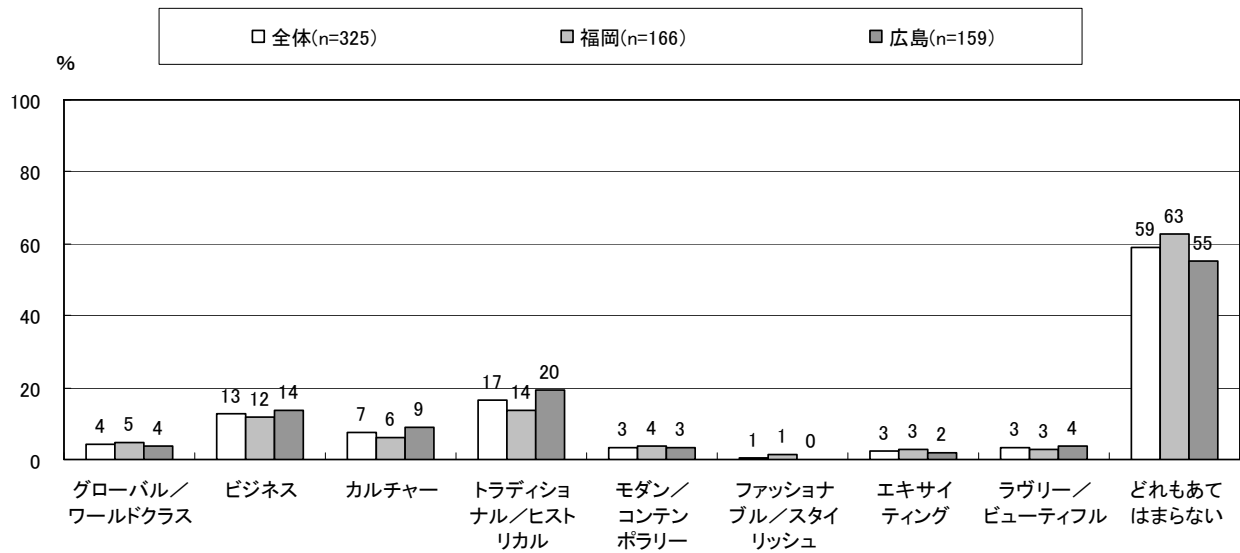
Q13-7 都市のイメージ 深せん MA【都市別】



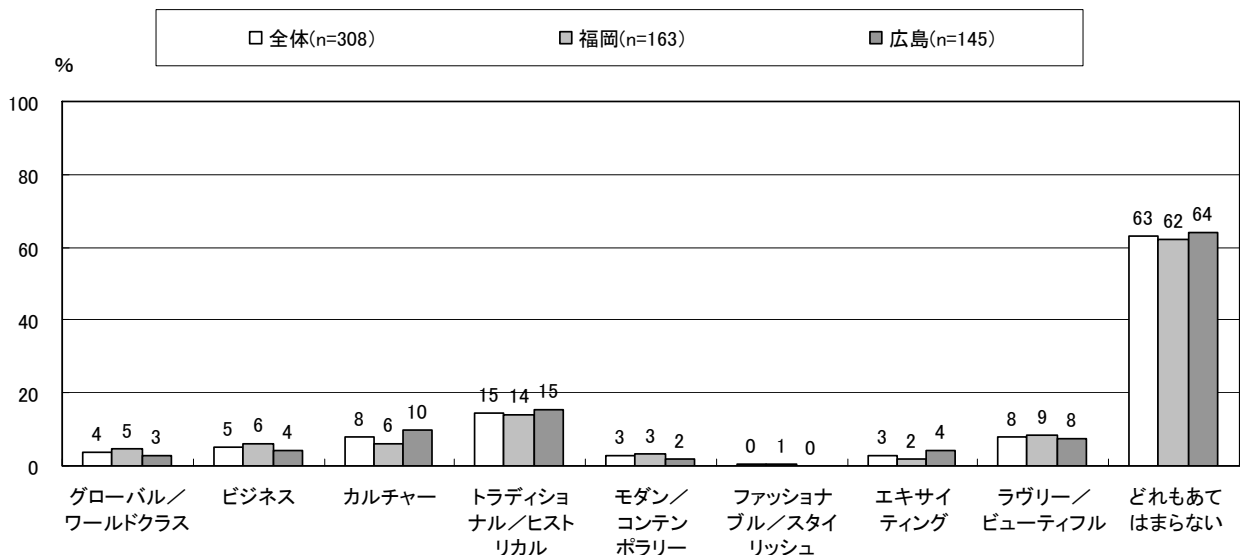
Q13-8 都市のイメージ 香港 MA【都市別】



Q13-9 都市のイメージ 大連 MA【都市別】



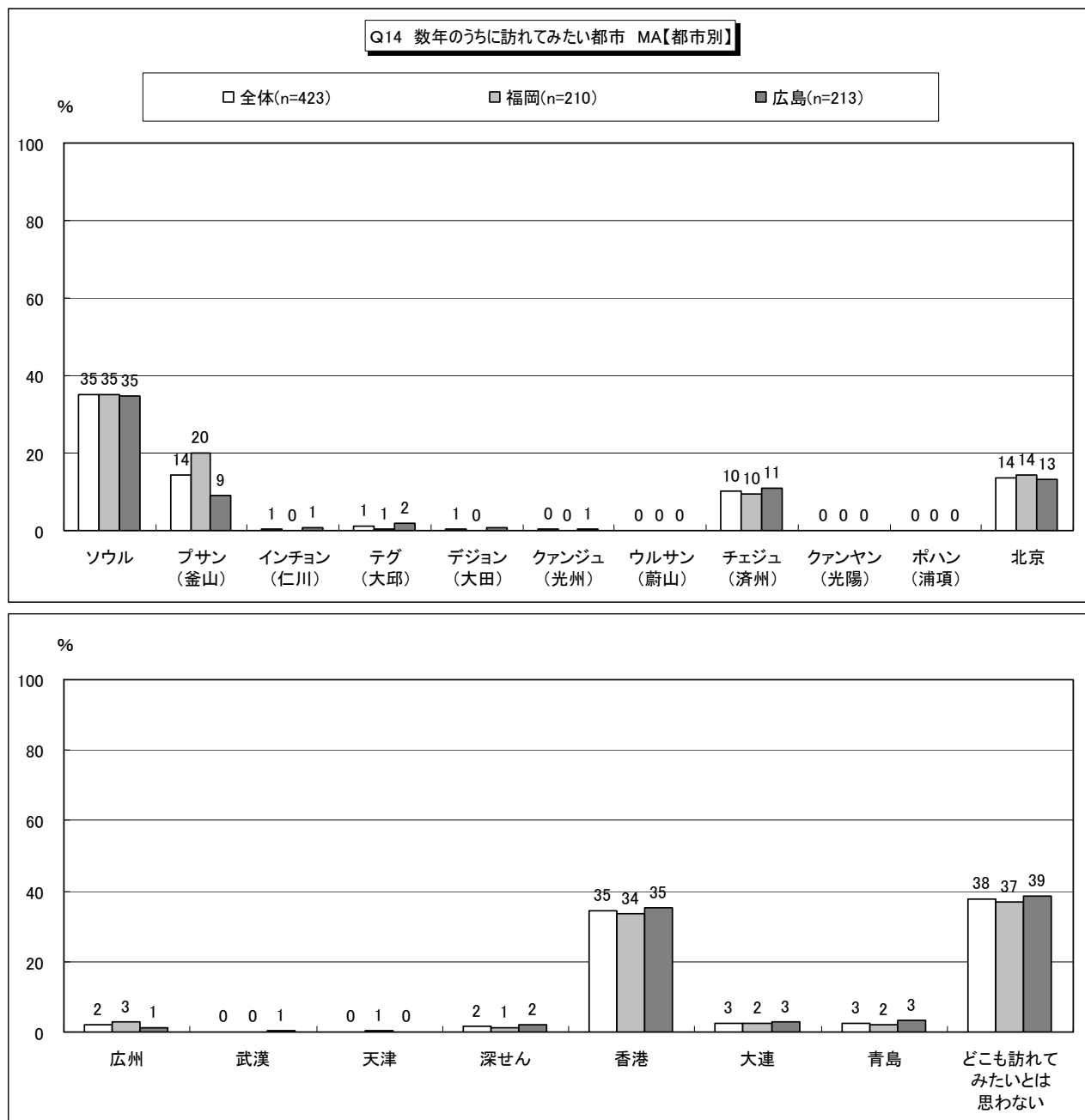
Q13-10 都市のイメージ 青島 MA【都市別】



8) ここ数年の間に訪れてみたい都市（知っている都市に関して）

Q14. 次にあげる都市の中で、あなたがここ数年の間にぜひ訪れてみたい（再訪も含む）都市はありますか。訪れてみたい都市を3つまで選んでください。

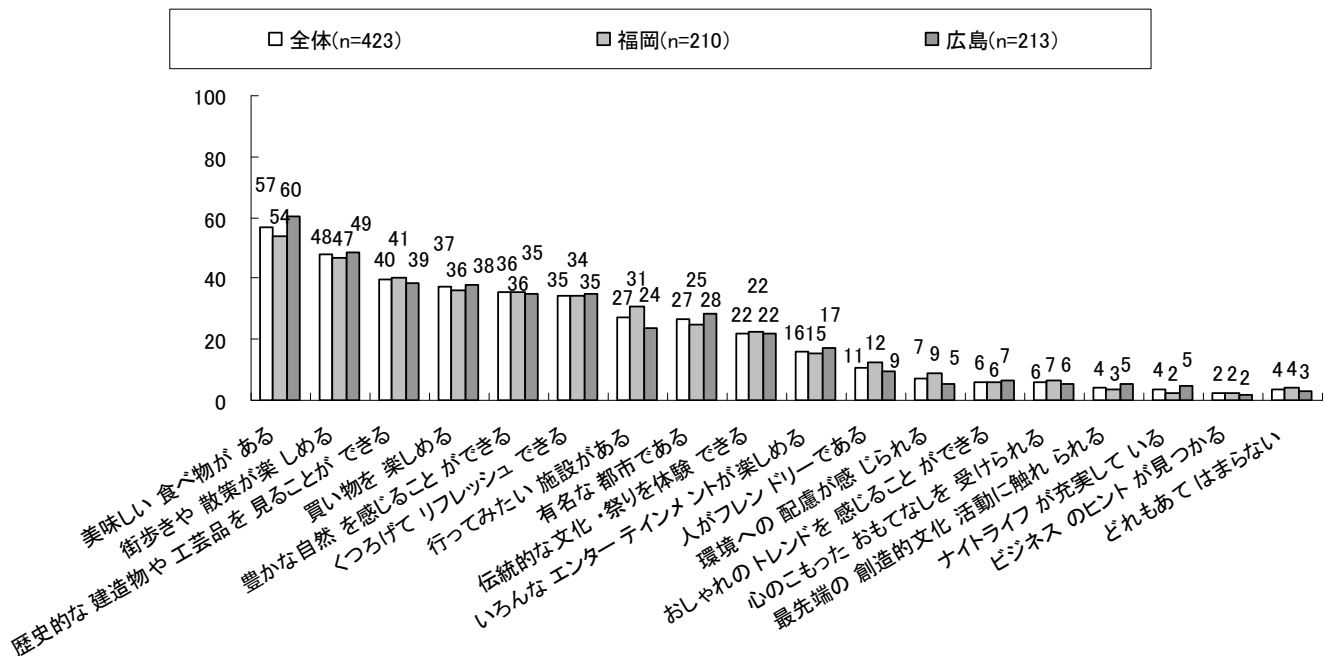
【注】WEB画面上には Q10. Q12 で名前を聞いたことがある都市だけが現れる。



9) 訪れてみたい都市のイメージ

Q15. あなたにとって「訪れてみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

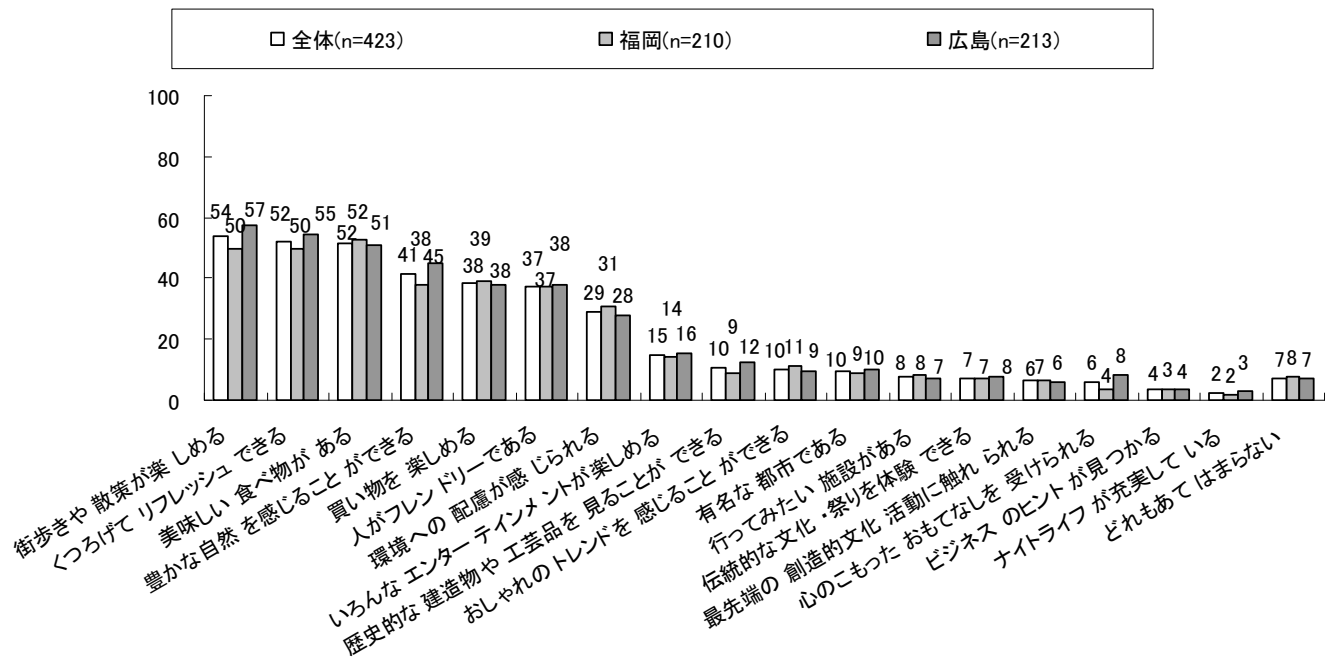
Q15 訪れてみたい都市 MA【都市別】



10) 住んでみたい都市のイメージ

Q16. あなたにとって「住んでみたい都市」とはどのような都市ですか。あてはまるものを5つまで選んでください。

Q16 住んでみたい都市 MA【都市別】



11) 福岡市と聞いて連想する言葉（自由記述 424 名が回答）

Q17. 福岡市と聞いて連想する言葉を、キーワードで1つお答えください。

【注:Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

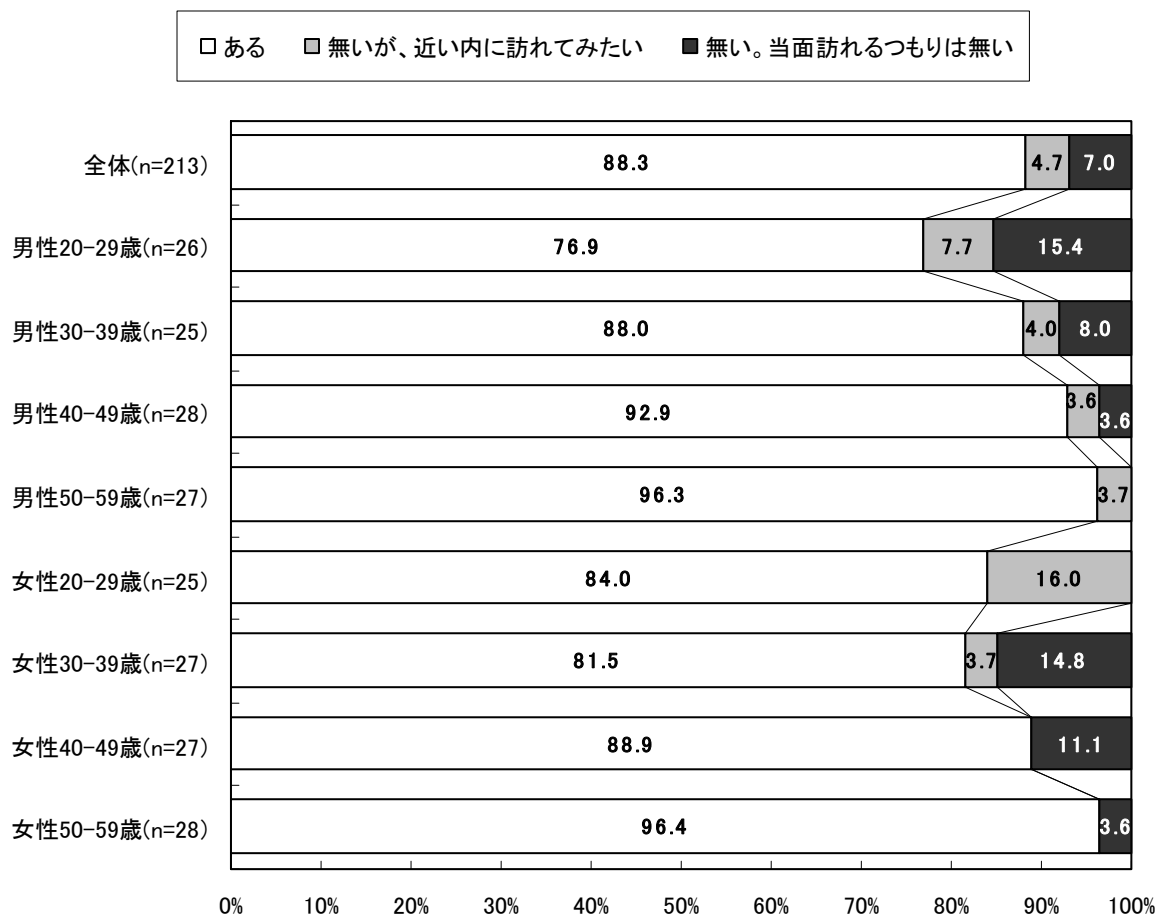
Q17 福岡居住者			
出身有名人が多い	すみよい	ファッショナブル	住みやすい
博多祇園山笠	どんたく	田舎都市	黒田藩
とんこつ	すみやすい	めんたい	博多ラーメン
便利	油山	おいしい食べ物	天神
100万都市	故郷	博多弁	ラーメン
九州で一番元気がある町	ほどよい都会	屋台	天神
強姦率一位	アジアの玄関	福岡タワー	アジアに近い都市
都会のよう田舎	九州の玄関口	らーめん	ラーメン
元気	よかところ	適度に都会で住みやすい	まだまだ田舎
凶悪犯罪都市	めんたいこ	アジアの玄関だ	ホークス
独特	住みやすい	貿易港	ラーメン
天神	博多	博多	step up
活気がある	九州の玄関口	都会	熱い
ソフトバンクホークス	アジア	きれいな街	屋台
雑	ふるさと	田舎都市	地元
屋台	小さくまとまった街	やたい	ホークス
ウエルカム	九州の代表的都市	一極集中	食事がおいしい
九州の玄関	住み易い	博多	とんこつ
生まれ故郷	古今東西	ラーメン	よかろうもん
賑わい	明太子	住みやすい街	ほどほど都会、ほどほど田舎
山笠	博多	住みやすい	
海	住みやすい	洗練	
博多ラーメン	住みやすい	アジアの玄関	
大都市	アジアに近い	調和が取れた	
アジアの窓口	とんこつラーメン	商業都市	
都会	ヤフードーム	アジアの玄関口	
元気	半都会半田舎	地方の大都市	
自然と都会が近い。食べ物 がおいしい。近代と伝統文 化が程よく融合している。	博多	吾が住んでる町	
	ほどほど都会	九州の中心	
	地元	すみやすい	
とんこつ	大都市	人情味がある	
都会と田舎	九州の玄関	博多ラーメン	
博多	ほどほど	便利	
住みやすい	九州第1の都市	住みやすい	
なんでもある街	熱い	アジアの玄関口。	
山笠	アジアの玄関	博多	
とんこつラーメン	屋台	博多	
アジアの玄関	ラーメン	屋台	
税金	先進的	らーめん	
都会と田舎が調和している	九州一大都市	天神	
アジア	九州の窓口	アジアの玄関口	
豚骨ラーメン	芸事が好き	食	
治安が 悪い。	住みやすい	屋台	
豚骨ラーメン	博多	ラーメン	
らーめん	博多	ごちゃごちゃ	
山笠	どんたく	ソフトバンクホークス	
祭	自然豊かな大都市	ソフトバンクホークス	
開放的	住みやすい街。	グローバル	
政令都市	おしゃれな町	もつ鍋	
小アジア	福岡タワー	山笠	
九州の中心地	人情味豊か	asia	
アジアの玄関	情熱	発展してきた町	
まつり	めんたい	博多	
博多弁	如水	住みやすい	
交通渋滞	小都会	海(玄界灘)	
博多	博多	中洲	
アジアの玄関	アジアの玄関	国際都市	
アジアのエントランス	アジアの窓口	熱い	
明るい	アジアへの玄関	ラーメン	
食べ物がおいしい	山笠	ラーメン	
食べものが美味しく	犯罪	博多	
アジア交流	住みやすい	ショッピング	
元気	アンバランス	温かい	
九州の中心	通りすがり	ラーメン	

Q17 広島居住者			
相撲	都会と田舎の混在	博多	ラーメン
西日本の都	中都会	ソフトバンク	屋台
うろん	アジアへの玄関	国際空港	大都市
博多めんたいこ	博多ラーメン	情が厚い	博多
ソフトバンク	屋台	ファッショナブル	特になし
どんたく	ソフトバンクホークス	博多ラーメン	飲酒運転
山笠	博多どんたく	博多	博多どんたく
アジアに開けた大都市	やや都会	博多	長浜ラーメン
繁華街	おしゃれ	明太子、博多ラーメン、	どんたく
犯罪	ラーメン	どんたく	とんこつラーメン
活気のある町	博多	めんたいこ	都会
ドーム	九州	ソフトバンク	どんたく
屋台	博多	生活するに便利	博多
屋台	九州の中心地	都会的で住みやすいところ	明太子
博多 天神 九州 アジア	ホークス	楽しい	屋台
ソフトバンクホークス	ラーメン	食	九州の中心
屋台	おいしいものがたくさん	ラーメン	街
博多どんたく	ダイエーホークス	博多ラーメン	とんこつラーメン
福岡ドーム	めんたいこ	めんたい	ソフトバンクホークス
博多どんたく	九州一のビジネス都市	九州	スペースワールド
いなか	明太子	政令指定都市	活気のある町
ラーメン	トレンド	博多ラーメン	
九州最大の都市	どんたく	華やかだけれど、昔馴染み	
九州の大都市	明太子	もあって、行ってみたい場所	
九州	活動的	の1つ。	
博多ラーメン	九州	ヤフードーム	
博多	ラーメン	屋台	
ラーメン	博多	活気	
女性がきれい	博多っ子	ラーメン	
長浜ラーメン	九州	ラーメン	
九州の中核	らーめん	やまかさ	
博多	都市	明太子	
キャナルシティ	九州第1の都市	ラーメン。	
辛子明太子	キャナルシティー	福岡ドーム	
国際都市	ラーメン	別になし	
文化芸術において力を入れている西日本最大の都市。	福岡弁	ソフトバンクホークス	
博多どんたく	ラーメン	明太子	
日本で5番目ぐらいにおしゃれな街	ラーメン	博多	
キャナルシティ	九州で一番大きな都市	ラーメン	
屋台	福岡ドーム	ラーメン	
博多	ラーメン、中洲	博多	
博多	博多	九州第一の都市	
人が多い	明太子	とんこつラーメン	
明太子	アジアのるつぽ	博多	
都会	山笠とどんたくの祭り	都会	
ソフトバンクホークス	多っこ	アジア都市	
よかとこ	博多	ウォーターフロント	
屋台	博多	魅力的	
大都市だけど、暗いイメージ	九州の玄関口	九州の中心	
どんたく	博多	男性上位	
ラーメン	明太子	中洲の屋台	
国際的	とんこつ	博多ラーメン	
博多	粹な都市	ラーメン	
博多山笠	ラーメン	とんこつラーメン	
明太子	屋台	天神	
ホークス	活動的	屋台	
どんたく	九州	ラーメン	
どんたく	福岡タワー	福岡ソフトバンクホークス	
どんたく	屋台	博多	
どんたく	福岡ドーム	ソフトバンクホークス	
九州最大都市	祭り	大都市だけど、庶民派	
博多ラーメン	工場の町	ヤフードーム	
なじみやすそう	主要大都市	博多どんたく	
文化	福岡ドーム	博多	
	九州最大の都市	九州の東京	

12) 福岡市の訪問経験（広島市居住者）

Q18. あなたは福岡市を訪れたことがありますか。【注: Q12 で「福岡」を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

Q18 福岡市訪問有無【都市×性・年齢別 広島】



13) 福岡市への訪問回数（広島市居住者）

Q19. あなたは福岡市をこれまで何回訪れましたか。

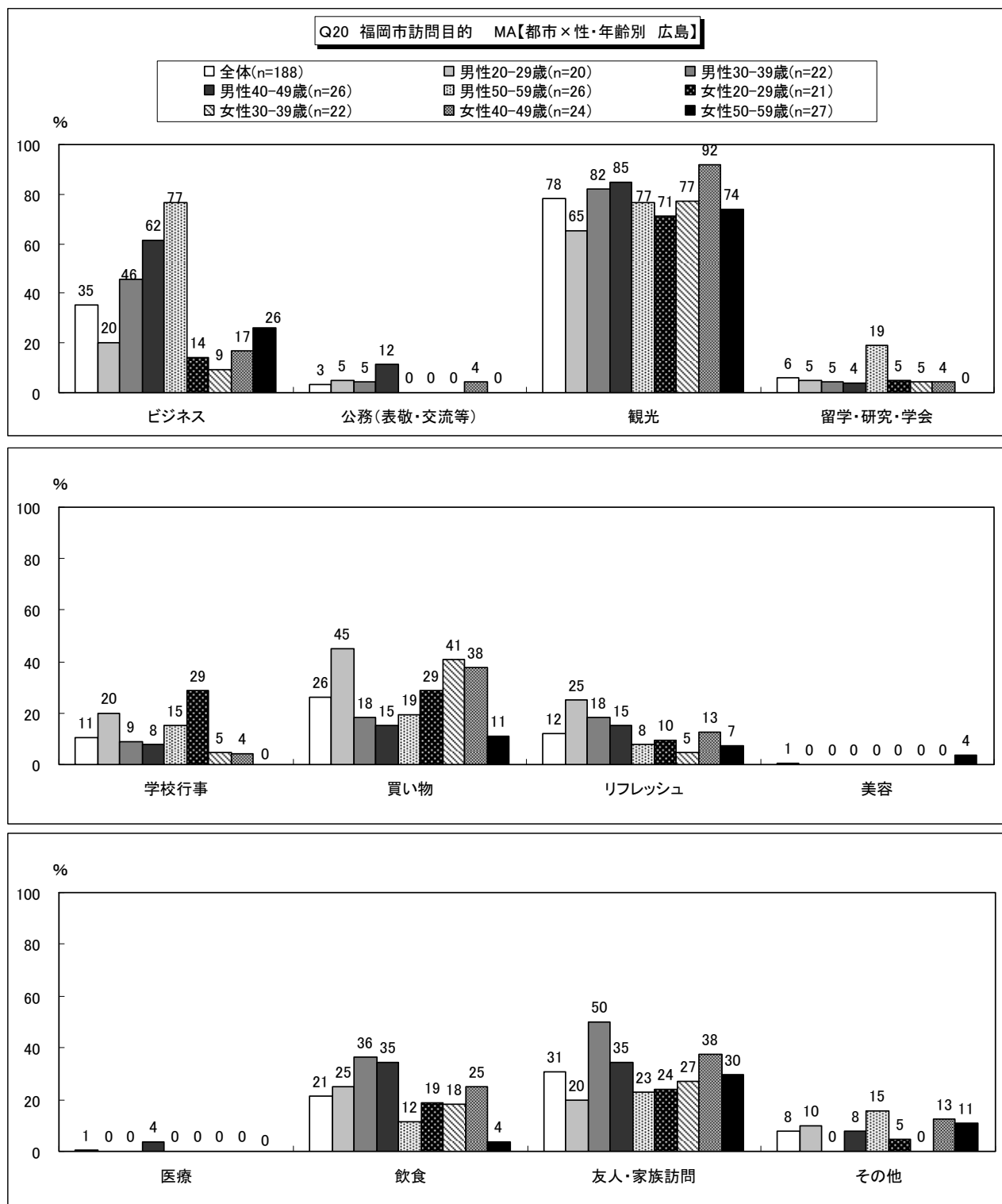
【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

	合計	1回	2回	3回	4回以上
全体(n=188)	188	14.9	17.6	14.9	52.7
男性20-29歳(n=20)	20	20.0	15.0	15.0	50.0
男性30-39歳(n=22)	22	18.2	18.2	4.5	59.1
男性40-49歳(n=26)	26	3.8	11.5	15.4	69.2
男性50-59歳(n=26)	26	—	3.8	15.4	80.8
女性20-29歳(n=21)	21	28.6	23.8	9.5	38.1
女性30-39歳(n=22)	22	22.7	18.2	18.2	40.9
女性40-49歳(n=24)	24	16.7	29.2	4.2	50.0
女性50-59歳(n=27)	27	14.8	22.2	33.3	29.6

14) 福岡への訪問目的（広島市居住者）

Q20. あなたは福岡市にどのような目的で訪れたことがありますか。（あてはまるもの総て）

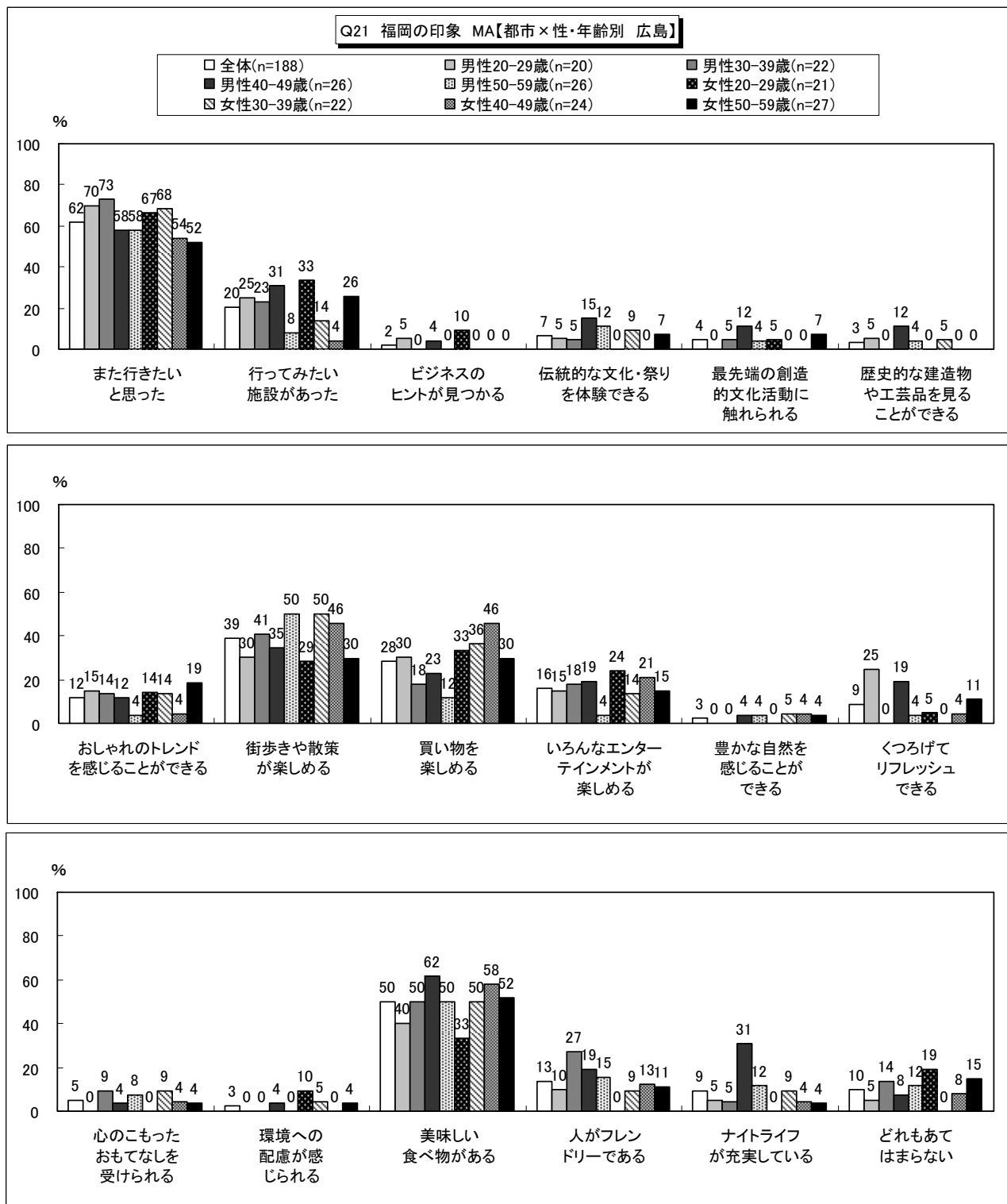
【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】



15) 福岡を訪問しての印象（広島市居住者）

Q21. 福岡市の印象はいかがでしたか。次の中から当てはまるものをすべてお選びください。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】



16) 福岡で出会って最も「好きなもの・よかったこと」(広島市居住者自由記述 186 名)

Q22. あなたが福岡で出会った最も「好きなもの・よかったこと」は何でしたか。ご自由にお書きください。

【注: Q18 福岡に「訪れたことがある」と答えた人のみ】

Q22
ラーメンがおいしかった。自分の住んでいる街(広島)と比べてすべてのスケールが 大きいと思っ た。
ホークス
屋台
近代と歴史がミックスされたおしゃれな街で美味しい物が沢山あり、人情深い
山笠の祭り
博多ラーメンや辛子明太などのたべもの
食べ物がおいしいこと、おいしいものの種類が多い
いろいろ美味しい食べ物があって、その地方ではなければ楽しめないと思った。
いろいろなものに触れることが出来る
食べ物が安くて、おいしい
仕事が忙しく、何も触れ合えなかった。
博多帯を購入したこと
焼きサバ、甘鯛の味噌漬けがおいしかった。
食べ物
食べ物がおいしかった。釜山に行くのに便利である。
スペースワールドが楽しかった。
博多ラーメン。天満宮
アウトレットの中に好みのお店が多い
食べ物
食べ物が、おいしく、言葉が、やさしい
ラーメンがおいしかった
特には
そこそこ都会 空港が中心地から近い
おしゃれな女性が多かった。ショッピングする場所が多く、飽きないと思った。
ラーメンがおいしかった。
天神が程よく集中していいのと、買い物が充実しており、都会としてはちょうどいい。博多祇園山笠 の櫛田神社周辺の博多の歴史と現代的な都市がミックスされていて面白い
キャッツを見たこと。
ラーメンがおいしかった
ラーメン
この島の豊かな自然。おいしいラーメン。
交通が便利
スペースワールドにしか行かなかったことがないが、人の話ではおしゃれな衣料などが破格の値段で買える のだとか。それがとても魅力的です。
ナンのお店がおいしかった。
おいしい食べ物が多く、満喫できた
空港が近い
WITH THE STYLE
屋台で食べたラーメンです。
ほどほどに都会。食べ物もおいしく町全体が、来訪者にとって敷居の低い楽しめる町。賑わいも東京 ほどではなくちょうどいい感じがする。
しいて言うなら、明太子とホークスです。
特に無い
特にない
仕事で短時間滞在しただけなので、あまり思いつかないが、タクシーの運転手さんの対応が良く、車 の走りやすそうな道路も好感が持てた。
山笠を見たこと
球場付近の散策が楽しかった。
ラーメンが美味しい。歴史的・文化的な伝統が感じられる街。
食べ物がうまい。
中州
めんたいこの美味しい店
街の楽しい印象
とんこつラーメンがおいしかった。本場の辛子明太子がお土産で売っていたのがよかった
ない
歴史も感じる

屋台めぐり
ー 蘭のラーメン
博多ラーメンが美味しかった
祭りがよかった
博多ラーメンを食べたこと
長浜ラーメン、博多座の、森光子の公演
いい人が多い。
料理 ショッピング
現地の言葉を聞き、現地にしかないお店で買い物をしたこと。
競艇場まで近い
特にない
ヤフードームでの野球観戦
雑多な活気がある
特になし
長浜ラーメン ガソリンが安い 便利がよい
特になし
空港が中心地から近いので便利。ラーメンがおいしい。
海の中道の自然と、長浜ラーメン
ラーメン屋を探して入った
キャナルシティが大きくて楽しかった
全部
スペースワールド
ラーメン美味しかった
よく覚えていない
旅行のついでに立ち寄ってショッピングや食事ができる気軽な街なので実践している。
子どもの頃暮らした町なので、落ち着けること。久しぶりに訪れても人が温かいところが好きです。
昔のことだからあまり覚えていない
デパートが乱立してて凄かった。
交通網が利用しやすかった
ラーメン
博多ラーメン 山鉾
ー 蘭のラーメン
とんこつラーメンが安くておいしかった
屋台
特にない
いろいろなラーメン店があつて面白かった
博多の夜の街。中州とか。キャナルシティ
街の活気。
安価においしいものが堪能できたこと。
山笠の祭り
好きなもの・博多ラーメン よかったこと・交通の便が良い
ラーメン
美味しい食べ物がいろいろある
ない
ラーメンが美味しかった
特にない
演劇
屋台で食事をしたのが印象的。
特になし
食べ物のおいしいこと
屋台
活気があり刺激を感じた
ラーメン
ラーメンが美味しかった
ラーメンやもつ鍋などの料理が美味しく、天神などに魅力的な施設が林立していて飽きることがない。
ベイサイドプレイス。門司港レトロ。
球場の見学が面白かった ラーメンがおいしい

ラーメンがおいしい
ひと。
ラーメンが美味しかった
ラーメン
ラーメン
博多ラーメン
特にない、
特になし
おいしい物がたくさんある
交通の利便性
人が優しい
食べ物が美味しい。物価が安い。美人が多い。
福岡ドームの周辺施設が、充実してて、楽しかった。ドームも広くて圧倒された。交通の便が良かった。
ラーメン
食べ物がおいしい
長浜ラーメンが美味しかった
屋台
地元ではなかなか楽しめないコンサートが楽しめたこと。
食べ物がおいしかった
キャナルシティが楽しかった。
ライブ
ラーメンがおいしかった
おしゃれな町、名産が豊富
別にありません
屋台
人がら
ホークス。
ラーメン。
特になし
別になし
駅周辺が綺麗
キャナルシティ
明太子あごとし
ラーメンが美味しかった
食べ物がおいしかったこと
特にない。
ラーメン
キャナルシティでやっていた「ラーメンスタジアム」でいろんなラーメンが体験できた。
博多ラーメンを食べたこと
新しい雰囲気があった
街の魅力と食事のおいしさ
人の温かみを感じたこと 美味しい料理
屋台、博多ラーメン、辛子明太子
水炊きがうまい
親戚を訪ねていったので、いつも福岡市内以外に遊びに連れて行かれました。ですので、特に記憶にありません。
食べ物がおいしい。釜山への高速船があるので簡単に海外へ行ける。
ラーメンがおいしかった。
博多ラーメン
屋台で食べるラーメン
友達とあえて、観光地を回ったこと、町に活気が感じられて、楽しくなってきた
買い物する所がたくさんあって良かった。交通の便がとても良い。
からしめんたい。博多駅から空港がとても近くて便利でとてもよかったです
九州国立博物館
博多ラーメンが美味しかったこと
街がきれいで歩きやすかった。

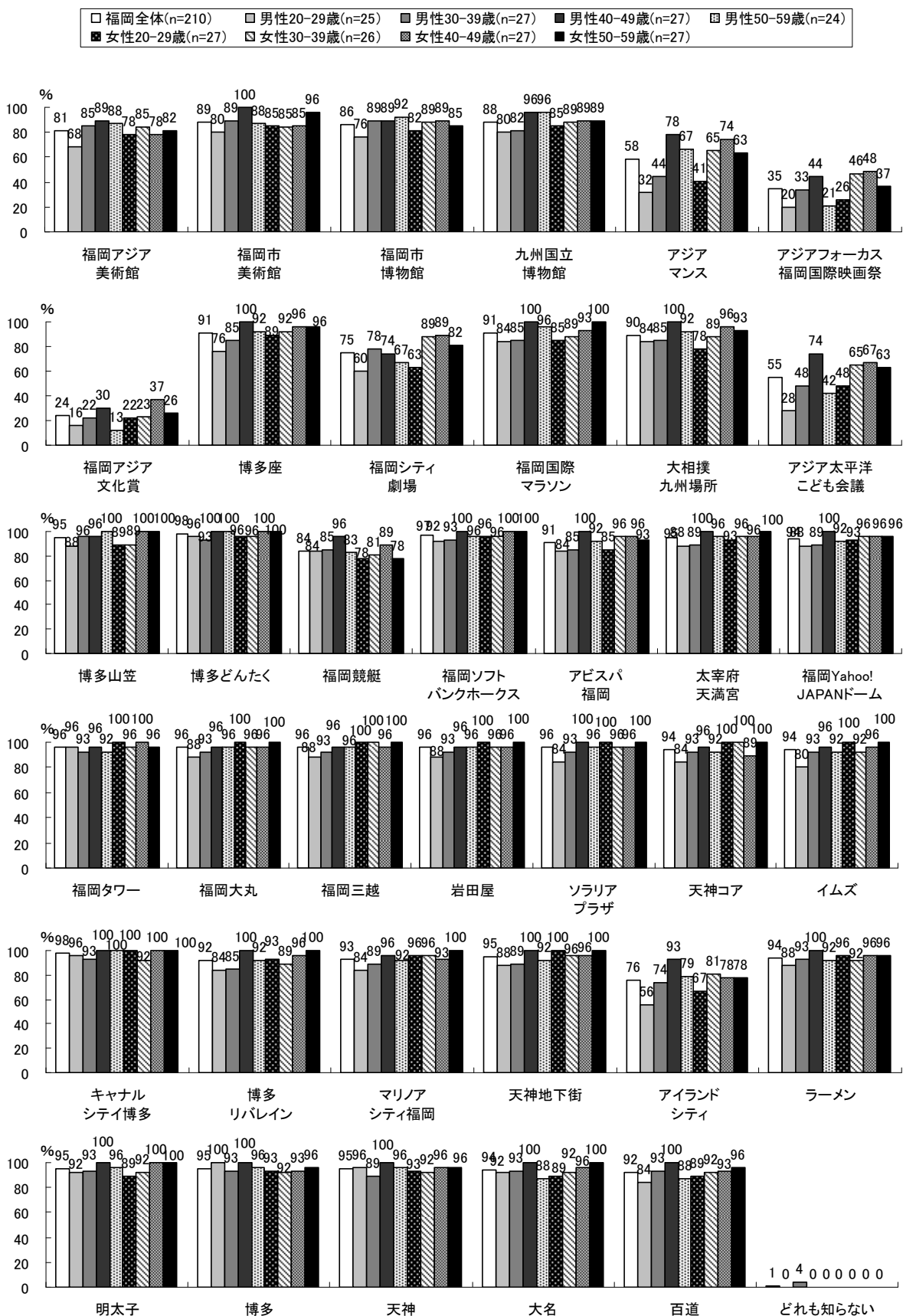
福岡タワーからの眺めが良かった
都会の周囲の自然、九州観光の拠点。
山笠の雰囲気は楽しめた。
博多山笠
明け方から始まる、祇園山笠を興奮の中で体感できたこと。
屋台が美味しかった。ショッピングが楽しめた。
旅行の帰り道で寄っただけでしたが、美味しいものをいっぱい食べれた思い出があります。また行きたいです。
屋台
屋台
ない
屋台のラーメンが美味しい。
福岡で出会った友人たち
町並みがきれいで、地下鉄が便利
自分の住んでる町にはない、都会の風景
ラーメン
活気ある町の風景
乗換えでほんの少し、滞在しただけなので「好きなもの・よかったこと」は特にないが、一度行ってみたい都市である
もつなべ
買い物ができるデパート
アクロス福岡を初めて見た時、建物と緑が一体化しており感動した。
ショッピング街
なし

17) 福岡に関するキーワードで知っているもの

Q23. 福岡に関するキーワードで以下の中からあなたがご存知のものをお答え下さい。(あてはまるもの総て)【注: Q12 で(8)福岡を「聞いたことがある」と答えた人のみ】

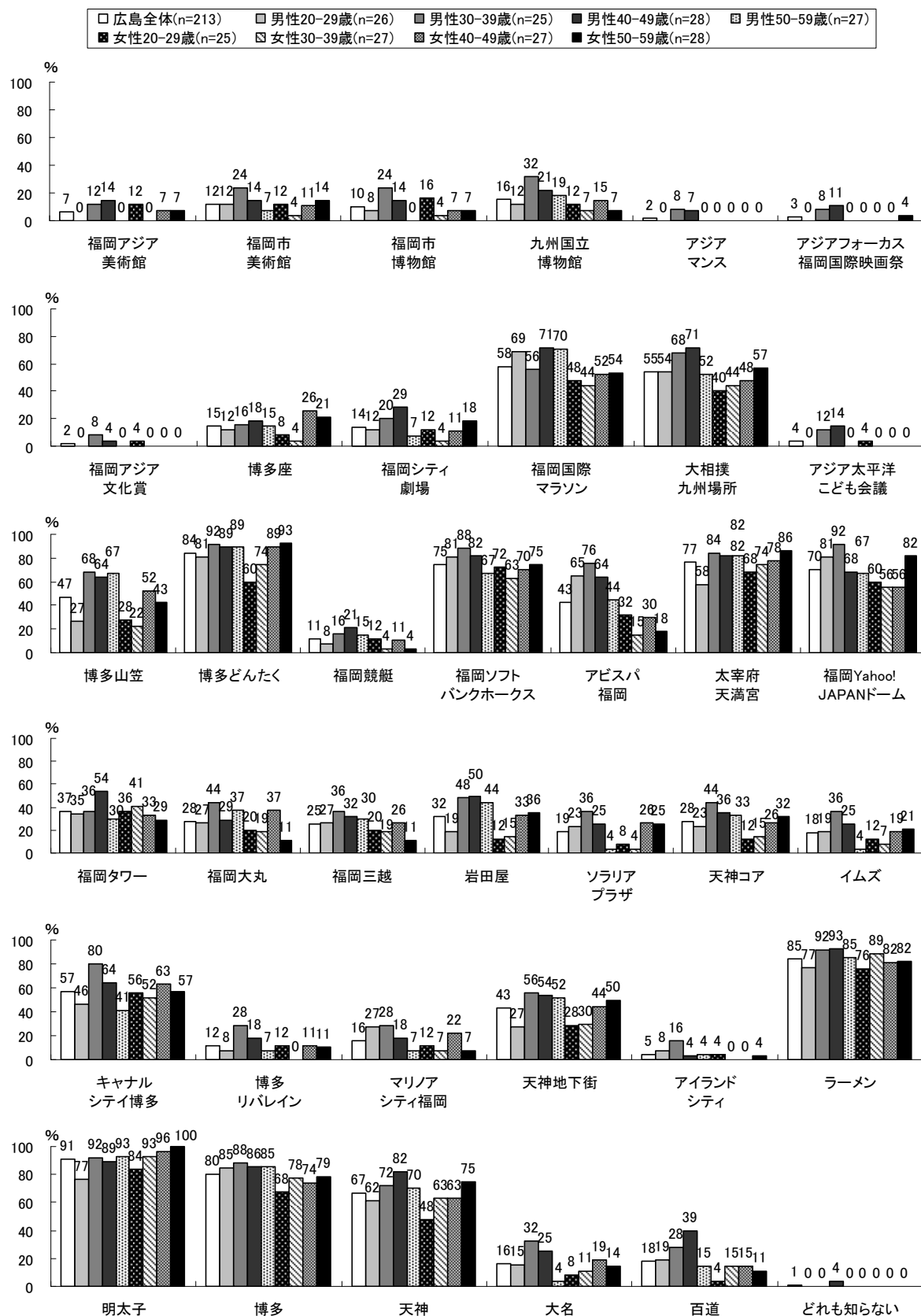
【福岡市民における認知】

Q23 福岡キーワード認知 MA【都市×性・年齢別 福岡】



【広島市民における認知】

Q23 福岡キーワード認知 MA【都市×性・年齢別 広島】

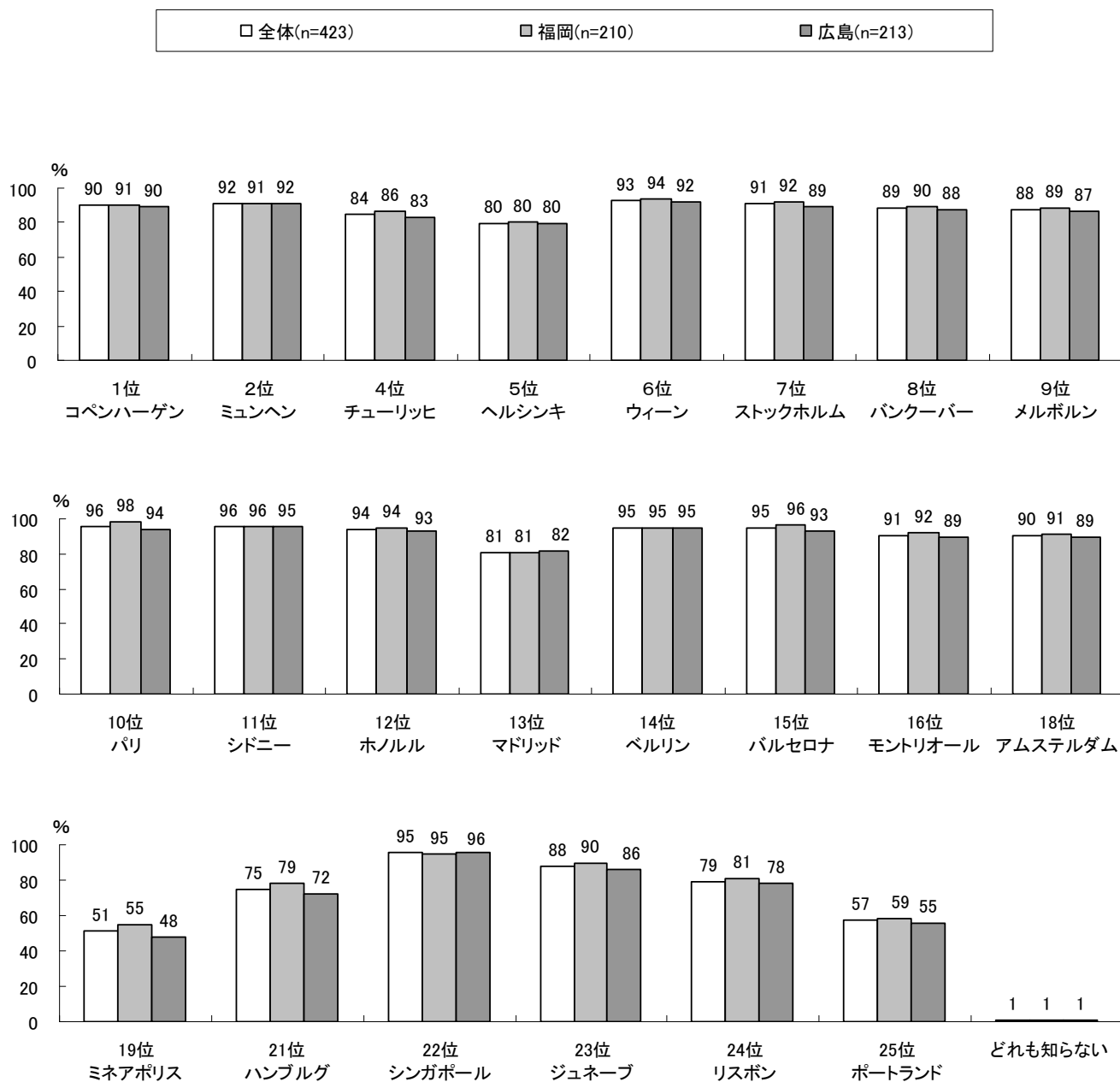


18) 聞いたことがある都市（英雑誌モノクル「住みやすい都市 2008」に選出された 25 都市に関して）

Q24. 次にあげる都市の中で、名前を聞いたことがある都市をお選びください。（あてはまるもの総て）

【Q24 では、日本の 3 都市(3位東京、17位福岡、20 位京都)は除外して尋ねている】

Q24 聞いたことがある都市(英雑誌モノクル「住みやすい都市2008」上位25都市に関して) MA【都市別】



Ⅱ. ヒアリング調査の結果

1. 福岡市ベテラン職員ヒアリング調査

1) 事前に示したヒアリング項目

- これまで福岡市が展開してきた国際・アジア政策で、今日の福岡の発展に寄与したと評価しうるもの（施策・事業・イベント・プログラム・施設）その理由
- 今後、福岡市が積極的に展開していくべき国際・アジア政策の分野
- アジア太平洋都市サミットの活性化方策、サミット活用と連携の方向、サミットへの期待
- 「アジア新時代」における福岡市の都市イメージ、目標像
- 「国際都市・福岡」のイメージ
- 国際都市戦略のアイデア等

2) ヒアリング発言録(一部要約・補足)

注意: 聞き書きによる発言録であり、発言者の発言内容にほぼ忠実に掲載している。そのため、数字や年、固有名称などに関しては、実際の数字や正確な名称とは確認できないものも含まれている可能性がある。

職員 A

- 福岡市は1989年よかトピア開催以来、色々壁にぶち当たりながらアジア政策を展開してきた。しかし、今、福岡市が、福岡都市圏が、などと言ったら駄目だ。福岡市のアジア政策では意味はない。九州や西日本という単位で考えないと明日はない。福岡が九州の役に立つという発想ではなく、WIN-WINの関係のなかで九州を売り込んでいくという姿勢が大切だ。そういう時に福岡にこだわってはいは仕方がない。
- アジア太平洋都市サミット、アジア太平洋子ども会議、アジアフォーカス、アジアマンス、アジア美術館といった1つ1つのアジア政策にはそれぞれ評価すべきものはある。しかし、総合力を発揮してきたかは疑問だ。アジア文化賞はアジアマンスの一環として実施してきたが、例えば、アジア美術館をからめ、次のステップに発展させていこうというメカニズムの構築が見られてこなかったのは残念なことだ。将来的には、総合力が問われてくるので、単発ではなく大きな単位で見ていく必要がある。
- 中国は1つの国と見たらいけない。北京・天津、大連・東北、上海デルタ、広東など7つの国からなる中華連邦のようなものとして捉えたほうが良い。そして、どことどういうお付き合いをしたら良いのかを考え、ターゲットを絞って向き合うべきだ。北京は政府的なので、福岡との付き合いには説得力がない。福岡市と広州とは姉妹都市関係を結んでいるので、関係があると言えばあるが、成果として挙げられるものは残念ながらない。広州にはホンダやトヨタがあるが、福岡の車産業とは関係がない。以前は、広州酒家という飲食店が福岡市内にあったが今はなくなった。実体的な交流は切れてしまい、行政のみが行き来している状態にある。
- 姉妹都市交流に関しては、今改めてやっていく意味があるのかどうか検討してみるべきではないか。きっかけは良いとして、どう展開していくかを明確にせずに進めてきたが、実体はいらないという割り切り方も必要な時期に来ている。都市交流は、最終的には観光を含めて経済交流が必要だと思う。交流にかかるお金がなくなって縁切りというのでは意味がない。経済という機軸が動いてこそ交流の意味がある。経済は食い扶持になる。文化は飯の種にならない。仲良くやっているだけでは心もとない。
- 1989年まではどこもアジアなんて言わなかった。福岡が言い始めて大阪が続き、日本全体に広がった。今では国土計画の中でもシームレスアジア政策などとして取り上げられるまでになった。福岡は言い出しっぺとしての効果はあった。しかし、過去を見て良かったというだけでは良くない。
- 経済の中では観光が分かりやすく手取り早い。しかし、インバンウドを増やすためには、福岡だけで成り立たないし完結できるものではない。例えば、台湾観光客は、福岡のターミナルから入って温泉やハーモニーランドに行つて関西まで足を延ばす。
- 産業に関しては、福岡や九州には本社機能がないので、中国に大きな工場を作るという話もそう

い。やずやの黒酢のように小さな動きを応援していくしかない。博多ジャパンのような博多織の新ブランドの海外展開など、小さな動きを捉えてきちんと海外に展開できる仕掛けを手助けすることが大切だ。日中ブリッジ人材の動きは参考になる。

- 文化は文化だけに終わっているのは寂しい。日本文化は巨大なコングロマリットを形成している。集金システムが必要だ。アジア美術館はそれだけでは売れない。もっとビジネスとして何でもお金に換算して何ぼという風にやっていかなないと、無償では明日を狭める。お金を取ってやってこそ明日あさっての展望が見えてくる。
- アジア美術館は独立しているから使えるのに、アジア政策の横のつながりがないため、アートフェアをやりたいと言っていたのに難しかった。そういうことを行うキーがない。やるのなら福岡アジア都市研究所が胴元になってもよいと思う。失敗してどこが失敗だったのかを深く考え、最終的に採算が取れて儲ける動きになるのか、潤うことができるのかを見極めていくことが必要だ。来館者が何人だったという指標で計るだけではアジア美術館の政策的意味はない。釜山映画祭でまさにやった映画の売り込みを、アジア美術館でレンタルやオークションなどを通じてできるはずだ。
- 国際経済政策は方向転換した。中国重視から欧米重視に転換したように見える。中国政策は徹底的にやればよかったが、間に立った人に恵まれなかった。国際経済部時代に中国からの賓客を数多く迎えたが、彼らの言うことは共通徹底しており、①私たちの地域や国のものを買ってほしい②私たちの地域に投資してください、という2点の単純目標に基づくものだった。明確な目標を定めることは必要だ。あなたの国の人が日本に来るようにしてくださいでも良い。昔は国是として輸入促進があり、それを目標としていれば良かったが、現在はそういうものがない。国際経済が明確に戦略を描いていないのは問題だ。一言で語れるものがないと難しい。新中華街構想は頓挫したが、「中国から投資してください。それによって物流もつくっていく。」という流れを示したことで、組織として明確な目標を持ちえた。アレコレ言うよりも、単純に投資してください、物を買ってください。といった単純な目標を持ってこない意識の統一は図れない。
- アジア戦略担当は、韓国に旅行、インバウンドのプロモーションをやろうとしているが、何をやろうとしているのか明確に見えてきていない。九州として何をしたいのか。目標を定めていないと、場所、ターゲット、やり方も選択できない。九州にどこから何人呼びたいのか考えるべき。韓国でプロモーションしても観光客は増えない。ターゲットは中国だ。12億の市場ということは、10%がお金持ちになれば、日本全員がお金持ちという市場だ。
- アジア太平洋都市サミットは、会員都市にとってどういう価値を、どの位与える事が出来るかを押さえる事が大切だ。都市ネットワークをつくっただけでは意味はない。経済関係の裏づけがあれば意味が出てくる。行政同士のお付き合いだけをしては良いものは出てこない。良い事をやっても良い関係を築けても実体がないと飽きられて捨てられる。
- サミットは維持のために3千万を使っている。メンテナンスが必要だ。分かりやすいのは観光だが、TP0もきついと言っているのだから、あわせて考えてよいのではないかと。APCSのワークショップでシティアマネジメントの街歩きをやっているが、街歩きが魅力の検証の場となって、お互いの街の魅力づくりにつながり、それを観光資源として活用していくような動きになっていけば、TP0でそれを発表し、プロモーションするという物語ができてくる。現在、TP0は今あるものを宣伝するプロモーションの場だが、その前の商品化のマーケティングの過程にURCの街歩きが組み込まれ、それが都市が儲かる仕組みとして回り始めれば、都市の経済的効果も広がっていく。
- 福岡市は釜山と共同プロモーション事業を始めたが、それは取り掛かりに過ぎない。次にはどこを核にしていくべきかを考えるべきだ。TP0という枠の中でどういう展開が出来るのかを考えていくべきだ。
- 福岡には確たる産業がない。大前研一の言葉を借りれば、福岡は貸席経済である。貸席経済と言えはシンガポールが最たるもので、都市を貸して人やモノをそこで出会わせて、ビジネスチャンスを生み出す産業だ。福岡は同じ貸席経済都市なのに、やり方が全然洗練されていない。交流して何かを生み出す仕組みがない。シリコンバレーにはインキュベーターの母と言われる女性がいる。その女性がやっているのはパーティの開催であり、人と人の出会いの場をつくり、情報交換をする機会を生み出すことだ。このような出会いの場を仕組みとして持つことが大切だ。また、福岡の場合、貸席経済でも上海などある程度地域を定めて進めていかねばならない（雀卓経済？）。

- 18 の政策目標を一度に推進していくことは難しい。今期はこれをやりませんという位の裏マスタープランが必要なくらい、あれもこれもやりますと言っているの、ある程度テーマを絞り込んで戦略的に政策を展開していくことが必要だと思われる。

職員B

- 国際都市のイメージは、ワールドワイド、欧米と一緒にやっているイメージ。手段として欧米を使えるようにすることが大切。アジア政策をやっているが欧米を無視してはいけない。評価に関しては、外部評価をしっかりとやって欲しい。
- アジア文化賞の人脈の蓄積はすごい。推薦人を含めたネットワークをどう使えるのか考える必要がある。文化や芸術を大事にしながら経済の発展につなげ、福岡・九州の活性にどう生かしていけるのか考えていかねばならない。
- 現在総務企画部でもアジア戦略プランを作成中である。問題意識を共有し、問題を解決していくためにも、市と福岡アジア都市研究所とは情報交換をしながら進めていく必要があると考えている。
- アジア戦略プランを検討するために有識者会議（アジアアドバイザー会議）を設置しているが、そこでのベクトルは経済重視、高度人材の集積に向いている。知識創造型産業を振興していくためにも IT 開発部隊を強化する必要があるとの認識である。九大学研都市と連携するなどして、福岡は貿易物流と IT、知識創造、でやっていかねばならない。そのためにも、フットルースな開発関係の集積が必要だ。トヨタ九州が研究所を設けたが、そこでやっているのは半導体の設計であり、車産業といっても、IT 産業であり、PC でやる作業が主である。九州大学を絡めながら産学連携で進めていきたいと考えている。
- 今ある物流、貿易、観光、ベストショッピングというものを磨きながら、IT などの産業の実体を高めていく努力をしないと行けない。総務企画部で取り組むアジア政策は自らの実体を高めることを目標としている。高度人材の誘致に関しては、九州大学の中先生などと一緒に、IT だったら韓国、フィリピン、インドから、引っ張ってくるようなことを行っていく。日本人も頑張る必要があるが、海外の人材の誘致や留学生人材の活用など、これまで弱かった実践を高めることを進めて行っている。実体をつくり高めていく活動と言える。
- これからは、調査研究よりもプロジェクトとしてのシティプロモーションに力をいれ、営業を進める姿勢を強くする。福岡市は営業をゴリゴリ進めるような取り組みは、港湾局以外ではほとんど見られなかった。シティプロモーション、シティセールスで、経済の実体を高めていきたいと考える。URC の研究への要望としては、実態の把握である。シーサイドももちの IT 産業の実態を知りたい。皆が知らないだけだが、既に日立超 LSI などをはじめとして、半導体ベンチャーが大手と組んで業務を展開している。外国企業や資本、外国人がどれほどこの IT 産業に入ってきているのか誰も知らない。こういった企業の動向を把握して欲しい。地場企業については、第一施設工業や西部技研などアジアビジネス展開を進める企業の実態をつかんで欲しい。福岡都市圏にある企業のなかで、IT 関連企業や貿易商社などの実態がどうなっているのかきちんとつかんでいただきたい。
- 付き合いばかりじゃだめだ。実体を動かすことが大切だ。まず第 1 に物流と観光という地理的優位性が発揮できる分野に力を入れるべきである。物流に関しては、博多港を中心とした貨物を韓国、大連、上海から持ってくる努力をしていかないと行けない。第 2 に福岡だけでは狭いので、北九州と一緒にあって北部九州を強くする必要がある。第 3 には、韓国に対しては、福岡と釜山の結びつきを強くして北部九州と韓国南部と一体となってローカル外交を展開し、対中戦略を行っていくべきだ。地理的優位性を発揮するために地域連携をおこなう場合、中国は政治的に不安定だが、韓国は同じ民主主義であり価値観が合う。韓国は中国に取り込まれつつあるので、協働して、対中国戦略を行っていくのが良い。ローカル外交とは行政だけでなくビジネスや市民も巻き込んだ、特別な関係作りである。ローカル外交と市民外交が進んでいくことによって、経済の深堀ができるようになる。そのためにも、韓国ファンクラブみたいなものができ、もう少し芯ができてくればよいと思っている。
- 韓国に関しては釜山だけでなくソウルにもアプローチしている。韓国とのローカル外交を強いものにするためだ。一方、中国に対しては、戦略的アプローチは難しいと考えている。アジアアドバイザー会議では物流なら天津、観光に関しては上海のお金持ちや上海の欧米ビジネスマンを狙っては

どうかという話がでていますが、広州との関係には疑問をもっている。広東地域からの観光はあるのかもしれないが、広州と経済的に深め合う関係ができるのかは疑問である。

- プロモーションブースによって営業の仕方を変えていかねばならない。成果をあげる方法について成功事例などを研究して考えていく必要がある。
- 福岡市は成熟した都市として、今あるもの、歴史的なもの、独自の価値観を持ったものをプロモーションしていく。成熟化したクリエイティブシティとして、開発ではなく、九州アジア交流拠点都市として経済的な活力を高め、都市の活力に変えていく。
- アジア文化賞をこのままのやり方ですっとやるのか、功なり名をあげた人よりも若いこれからの人を支援して、長く付き合っていくというやり方もあるのではないかと。アジア太平洋子ども会議はこの点で長く付き合っていける可能性をもっている。文化賞を少し変えてみても良いのではないかと考えている。今までやってき
- たことは評価しつつ、成果を活かしつつもっと福岡の活力につながるやり方にしていっても良いのではないかと。アジア美術館も評価をした上で、改革案を示す時期に来ている。
- 海外とのビジネスに関しては実態がわからない。民間ネットワークの深堀をしてみたい。

職員C

- 福岡市がこれまで取り組んできたイベントや事業の成果や評価を1つ1つ分析しても仕方がないと思う。個々が相互に影響しあって、福岡市の成長を支えてきた。福岡市は「何もしなくて成長した恵まれた都市」と言われるが、20年前に打ち出した「アジア」が成長を支えてきたのは確かである。
- 福岡市はずっと前からアジア交流に熱心だったわけではない。80年代中ごろまで都市づくりのキーワードは「制御機能を持つ西日本の中枢管理都市」。これが大きく変わったのが87年に改定された基本構想である。そこで4つの都市像が掲げられ、その1つが「活力あるアジアの交流拠点都市」だった。西日本からいきなりアジアになったので最初は強い違和感を持った。また、同時に、博覧会開催の計画がその頃始まり、当初は「福岡国際博覧会」という名前準備していたのが、専門セクションができ蓋を開けてみると「アジア太平洋博覧会」になっていたのも、正直言って何をとぼけたことを言っているのかと笑ってしまった。背伸びしすぎて気恥ずかしいと思っていたが、この違和感が消え、それがブランドになっていった。したがって、当時の世界の動き、例えば、85年のプラザ合意、円高、アセアンの成長という動きを見据え、これからはアジアの地位が高まりアジアの時代が来るということにいち早く気づき、それを福岡市政策の柱に据えた人は偉いと思う。そして、それを福岡市の政策の柱にするに当たって、福岡のアジアとの交流の窓口都市としての正当性を地理的、歴史的に整理し、正当性を持ってそれを主張し、周りの共感を得たことが、アジアが一般市民にうまくキーワードとして溶け込み、それ以降のアジア政策における一定の成果、成功につながったのだと考える。その大きなきっかけとなったのが、1989年のアジア太平洋博覧会の開催であり、成功であったと言える。
- 以後90年代は、借金をつくったという批判もあるが、国際級の大規模スポーツ大会、国際コンベンションの誘致を繰り返し、同時にダイエーなど民間資本を呼び込んでドームを建設するなどソフト・ハード面でのインフラ整備を進めた。アジアフォーカスやアジアマンスなどアジア関連のイベント事業を開催することによって、福岡市はアジアの交流都市であるという意識を広め、懐疑的だった人たちの意識を変化させていった。
- 福岡のアジアの交流拠点都市という政策は、90年代までは実に独自性のあるアピール力のあるものだった。東京は世界都市、大阪はビジネス都市を標榜していた時代で、アジアを掲げる都市は他になかった。しかし、今日は、どの都市でもアジアを意識した政策目標を掲げている。半歩先を行っていた福岡は、その先駆性の優位性を失ってきている。
- 福岡には近年自動車産業の進出が相次いでいるが、その中心が車載半導体である。進出したアイシンは福岡は良い人材が取れるということで進出を決定した。福岡は九州の人材を集めることができる都市だ。人が住みたいと思える都市が民間投資を誘引している。福岡はラッキーシティではない。都市のアイデンティティをつくって投資をしてきた結果、人、モノ、カネを呼び込む力を身につけたのだ。そこにあったのは産業振興策ではなく、住みやすさを高める都市の魅力を高める施策だった。

- 2001年に中国がWTOに加盟して以来、局面が変化してきた。生産基地として見られていた中国において富裕層が増してきて、消費市場として見られるようになってきた。現在、日本のどこもかしこもがアジアを標榜しだしているが、そのアジアとは中国とイコールであり中国市場のことだ。ベトナムも注目されているが、あくまでも枝葉であり、中国+1でしかない。
- 福岡市は90年代的やり方を進めてきた結果財政を厳しくした。相対的に独自性や先進性も薄れてきている。福岡は現在、過去の遺産を食い潰しながら生きている。これからの時代はどうか予測・推測しながら、先のことを考えるべき時期に来ている。今ある芽をどうするのか、どうクロスセリトルインするのか。独自性、先進性、生活圏をどう作るのか。
- 福岡は支店経済である。商社の支店は九州でそれなりの卸販売額を上げているが、支店なので戦略的な決定権を持たない。海外との商談会やミッション派遣をしようとしても、出てくる企業は小さい。福岡市内の販売額が大きいので、それなりの街と思って海外から参加してみると、小さな企業しか出てきていないので、がっかりさせてしまう。福岡は海外からの期待に沿うような規模を持ちえていない。
- 生活圏としての九州アジア新時代は、環黄海地域の旅行で考えるべきだ。初めての国への旅行は普通首都を訪れる。韓国人も中国人もフランスに初めて行くならまずパリを訪れる。日本なら東京に行く。しかし、中国から日本への観光の場合、次は週末に2〜3、3〜4泊で日本を訪れる、という週末旅行のスタイルが考えられる。現在、上海では、周南、朱家角などの明の時代の街並みや水郷のある1時間程度でいける癒しの街が週末の旅行先として人気となっている。その週末旅行先の1つに「東だったら福岡」と位置づけてもらえばよいと思う。
- その週末観光も100%観光ではなく勉強もできると良い。ビジネス観光というスタイルであれば、ビザをとりやすい。商務観光にゴルフや温泉を組み入れた商品であれば、中国から数多くの旅行者が見込める。その際に重要なのは、純粋な観光旅行は制約が多いので、国際交流活動として招聘できる仕組みである。そのような仕組みの可能性を探っていきたいと考えている。
- 中国では、大連など東北地方が親日的であり、福岡の名前もある程度知られている。他の地方での福岡の知名度はまだ低いので、集客を進めるとすれば大連辺りからがやりやすい。

職員D

- 現在、総務企画局のアジア戦略担当が、「今までの20年を総括し、どういうベクトルを目指すべきか」ということを明らかにすることを目的として横断的なアジア戦略会議を設置し、アジア政策を議論している。しかし、ソウルへのシティプロモーションなど、ちょっと目的とは違う方向に行っているような気がして見ていた。
- アジア政策に直接携わったという経験はほとんどないが、関連というところでは、企業誘致促進制度をつくった経験がある。それまでITや物流など企業業種ごとに交付金を出していた制度に、アジアビジネスという概念を導入し、30年ぶりぐらいで制度を作り変えた。その背景には、経済交流が中心で海外の企業誘致がまだまだであるという反省もあって、ゲートウェイとして福岡をアジアのビジネス交流拠点として、特に北東アジアの統括拠点として売り込んでいこうという意図があった。
- 企業誘致の柱は次の2つからなっていた。1つは、①国内、欧米の企業の北東アジアの拠点誘致を行う。当時は中国ビジネスに対して、ビジネス慣行や都市環境等への疑問もあり、国内企業と欧米企業にターゲットを絞った。これには、すでに東京等に拠点を置く事務所の移転なども含まれていた。2つ目は②アジアから日本への進出のファーストステップを促すというもの。地価の安さや、ごみごみしていないところ、オープンマインドな福岡の住み良さ、働き良さを強調した。しかし、この制度に関しては、制度はつくったがうまく行かなかった。①に関しては、北東アジアにはダイレクトに進出する企業が多いという現実、また②に関しては多少の事例はあるものの、定着したとは言い難い結果である。その要因としてベンチャー企業技術の目利き人材の不足の視点があげられる。
- 福岡は何を売っていくのか明確にしなければならない。業態としてのアジアビジネスは厳しい。福岡らしいというセールストークがない。半導体、IT、自動車など業種で集めていって、たまたま国内の企業が国外の企業かというときの外国版、アジア資本が集積した、というやり方しかないと思う。

- 業態では厳しい。国際経済部は体制を整え、外国企業誘致にシフトした。ビジネスの上で物流はあると思う。アイランドシティの港湾施設で、中国・上海港に延べ床面積 25 万㎡の物流施設を保有するニューシティコーポレーションへの分譲が決まった。同社は、2011 年春を目途に、博多と上海を結ぶ“快速ネットワーク物流”を形成し、両都市間での貨物の搬入や搬出時間を大幅に短縮した物流ネットワークを構築していく予定である。このように上海の物流センターとネットワーク化した物流ビジネスの可能性はある。
- 福岡がアジアと言いだしたのは、よかトピアの頃からだが、当時アジアと言っている都市はそうなかった。大阪ぐらいだろう。福岡市はアジアに目を向けた先駆けだが、それ以降は、一般化していき、日本全体に広がった。アジアと言えば福岡、福岡といえばアジアという印象が薄れている。今後どう施策展開していくかが課題となってきたが、これまでの文化的な取り組みが次のレベルまで、つまりビジネスまで結びついていない。例えば、アジア太平洋子ども会議でできたパイプや蓄積を活かしていかないといけないと思う。交流開始から 20 年経ち、子どもレベルの交流から大人になったときの交流に引き継いでいかないといけない時期になった。アジア文化賞も同様のことが言える。文化的な蓄積をビジネスレベルで活用していくべき時期に来ている。
- 新産業に関しては、福岡県が提唱するシリコンシーベルト (SSB) 福岡プロジェクトをともに進めている。これは、東アジア地域(韓国京畿道、日本九州、中国上海・香港、台湾新竹シンガポール等を結ぶ半導体生産のベルト地帯(世界の 50%を生産、60%を消費する))における先端的なシステム LSI 開発拠点を福岡に構築するプロジェクトである。このプロジェクトの推進のために国際経済部は、企業誘致の対象を半導体の研究開発に絞り込んだ活動を、インドシナや台湾で展開している。
- ゲーム産業に関しては、人材確保のために福岡をゲームの拠点にしたいという戦略を企業も持っている。GFF の産学官の連携は、世界的な関心をもたれている。GFF の取り組みについて福岡市の職員がオランダに招待され、発表を行った。
- ロボット産業に関しては、ロボスクエアを訪れるアジア系の人が増えてきている。存在が知られてきていると考えている。
- 福岡市産学連携交流センターを設置して、ナノテク産業を推進している。
- 産学連携は、技術の分かる職員の蓄積が必要であり、研究者との信頼関係の構築が必要。福岡県は試験場を持っているので、研究職にあった人が商工部に行って、大学との連携を構築したりできるが、福岡市には人材がいない。また県は知事が熱心なので、産学連携のプロジェクトには予算がしっかり付いている。産業技術に関しては、LSI センターのように、県との連携で県を利用しながら得意な分野を増やしていきたいと考えている。
- 福岡市はないものねだりをして仕方がない。産業は、学をマグネットにして製造はともかくとして研究開発を呼び込もうという方針である。先生の意向を最大に活かしながら LSI のような装置が要らないものを集積させていきたい。ただし、ナノテクは科学なので装置が必要だ。福岡市は暮らしやすさだけではアジアに近いという優位性を発揮できない。学の力を借りて示していかないと注目されない。正興電機のような専門的人材の養成や留学生の活用に向き企業を増やしていくことも大切だ。

職員E

- 福岡アジア都市研究所はアジア太平洋センター (APC) と福岡都市科学研究所 (URC) が統合したものだが、APC のほうが、海外と大学とのネットワークを構築するという点では、市には役立っていたのではないかと。
- 昭和 62 年の基本構想、63 年の基本計画で、福岡市はアジアを掲げた。このマスタープランは大変立派なものだった。この計画を作る前に、古来からの福岡のアジアとの交流及び発展のレポートを作り、それを根拠として福岡市はアジアとの交流拠点という方向性を打ち出した。誰もアジアと言っていない時代に、何がアジアなのか、何がアジアでできるのか、そういうことが見えない時代に、いち早く福岡がアジアを打ち出したのは凄いことだと思う。
- それから 20 年後に ASIaweek 誌の住みよい都市に選ばれた。選ばれた理由は明快だ、初めて福岡を調査したからだ。この調査のきっかけは、ADB ではないかと考えている。取材に来た記者が、面白そうだと思って調査してくれたのが、ランキングにつながった。当初予定されていたのは東京、大阪、

仙台の3都市だったと言う。それから2006年にはNEWSWEEK誌のホット10に選ばれ、2008年にはモノクル誌の住みよい都市17位に選ばれ、ベストリテイルシティに選ばれた。モノクルの場合は、オリンピック誘致活動が効いたのではないかと考えている。要するに調査してみようと思ってもらったことが重要であり、世界の都市（ミュンヘンやバルセロナ等）が仲間に入れていいかも、と思ってもらえることが大切だと考える。内側の評価と外側の評価は違うので、今回の調査でも福岡のアメリカ総領事などに話を聞いてみると良いのではないかと。首都ではないがきらりと光るところに福岡の可能性があると思う。

- 福岡市はこの20年間でアジアの都市の仲間入りをした。これからは世界の福岡市になりつつある。しかし、そのためには足りないものが沢山ある。福岡市は、魚も美味しく、通勤しやすく、自然に恵まれ、歌舞伎も相撲もあり、空港も近く便利で、良い街だが、これがあるというプラスαがない。バルセロナにはカタロニアという独自の文化がある。ミュンヘンにはバイエルンなど世界的企業がある。福岡市は、世界にないものを持つ必要がある。それがないのであればこれから創らないと一流都市になれないと思う。その場合、キーワードとなるのはアジアである。
- アジアを掲げてから20年の間、福岡市は、アジア太平洋博覧会、ユニバーシアード、世界水泳、ADB総会、サミット蔵相会議、医師会総会など定期的に世界的な大規模イベントを行ってきた。世界的な知名度を上げるには定期的なコンベンションを行っていかねばならないが、スポーツ大会はお金がかかるので、今後は、世界的著名人が集まる会議の誘致を重点的に進めていく必要があるだろう。影響力のある人が福岡市を良かったと言ってくれば、その発言力でアピールにつながる。
- アジア関連の事業の蓄積の活用も大切である。アジア太平洋子ども会議は子どもの会議では世界的であり、誰も他ではやられていないものである。このようなイベントを継続的に20年やってきたことは大きく評価されている。アジアフォーカスの取り組みは図書館に集積しているし、アジアの美術はアジア美術館に集積している。人材に関してはAPCの学術ネットワークに加え、アジア文化賞の受賞者及び推薦ネットワークがあるのに、切れてしまっているのが残念だ。APCと文化賞の人的財産を結びつけて活用していくことは重要だ。これらの財産をセクションが保有していて、福岡市として持っていないところに問題があり、今後これを福岡市の財産として活用していくことが課題である。
- 発信する独特の文化がない都市は一流の都市とは言えない。福岡市はアジア文化の蓄積を独自のものとして発信しアピールしていくべきだと思う。
- アジアフォーカスの貴重なフィルムは図書館に眠ったままになっている。例えば、リバレインの一角にでもミニシアターをつくり100円で公開し、ついでにアジアの物産を販売するなどの活用の仕方もあるのではないかと。リバレインだけではなく博多部、天神、キャナルシティなどに設置して繋いで、徒歩圏にアジア文化を集積させ、アイランドシティや百道と連携しながらアジア文化を発信していても良いのではないだろうか。
- これからのアジア政策には2つの方向がある。1つは、今あるものを整理しあらためて発信しアピールしていくこと。イベントやコンベンションの実績をアピールして、更なるコンベンションの誘致を進める。一方で、アジア太平洋子ども会議等これまで築いてきた人のネットワークを活用し、発信していくこと。もう1つは、人づくりを進めること。その場合、英語がベースになるので、英語でビジネスや文化を語れる人材を育てていく必要がある。まずは、庁内に英語しかない空間をつくるなどして、若手を中心にディベートして英語力を磨くような取り組みを進めていくべきと考える。
- アジア太平洋都市サミットは、ある意味福岡の国際化を展開した施策である。サミットは、それまで1対1だった交流に都市間ネットワークという概念を持ち込み、福岡を機軸とした国際都市グループを形成しようという取り組みだった。交流から貢献という発想の転換である。アジアに対して我々が持っている技術で貢献しようという考えだったが、福岡の場合、技術に関しては北九州に劣る。しかし、福岡市には都市づくりのノウハウがある。そういったもので貢献していこうという考えで、当初はハビタットや福大とともに福岡方式を海外に移転するといった取り組みも行っていた。しかし、回を重ねるたびにマンネリ化していった感はぬぐえない。これからは、貢献も大事だが、都市間におけるWIN-WIN関係の構築が重要課題となってきた。財政的な面からもこのようなネットワークを維持する為には、各都市から負担金を取るような仕組みでないとやっていけないので

はないか。そうするには、分かり易いメリット、つまり経済波及効果が見えるようにしなければならないだろう。その点、TPOは観光産業の振興による経済効果というメリットが分かり易いので、参加しやすい。

- アジア太平洋都市サミットは、ここしばらく、福岡市で開催されていないので求心力を失ってきている。福岡市で開催すれば、過去行ったようにアジア太平洋こども会議等と連携もできる。アジア太平洋都市サミットの開催に合わせれば、国際経済部が関与する国際ベンチマーク協議会の誘致、同時期の開催と連携も、可能性としてないこともない。
- 国際経済部では、国別に企業誘致と貿易の振興を行っている。企業誘致に関しては、IT、半導体、車、物流など、福岡の強みを活かせる分野で相手に興味を持ってもらえる分野に焦点を絞って推進している。ターゲットとしているのは欧米やインドなど、地理的に遠い地域である。遠い地域に対しては向こうにメリットがないと興味を持ってもらえないので、業種を絞り戦略的に進めている。上海や韓国など地理的に近いところに対しては、物流を中心に誘致をしている。福岡の場合、人の時間距離よりも貨物の時間距離削減にメリットがある。物流に関しては、面的に攻める戦略を持っており、まずは上海、蘇州などのグレーター上海、今後は瀋陽や長春など東北部に広げていくつもりだ。台湾の場合は、ITもあるが食品が中心となる。一方で、中国の場合、食品は難しいと考えている。
- 貿易に関しては、貿易会と組んで貿易人材の育成と情報発信を行っている。
- 長期的な戦略としては、釜山と地方広域経済圏づくりに取組んでいく。10月中旬に市長と商工会議所も参加する経済協力会議を開催し、今後1つの経済圏を形成し、将来的にEUのようなアジアにおける1つの経済圏域AUが形成される事を目指し、福岡と釜山からその第1歩が始まったと言われるような動きをつくっていく考えである。この取り組みは財界も前向きな態度を示している。短期的なプログラムとして、福岡のnimocaと釜山のハナカードの共有化などを進める予定である。また釜山における漢字表記の拡大もプログラムの1つとして挙げられている。ただし、福岡が出来ることから地道にやっという態度であるのに対し、釜山は大きなものを造るのが好きという気質なので、今後の調整が必要である。
- 企業ヒアリングに関しては、大手商社では唯一の九州本社を持つ住友商事に話を聞いてみるのが良いだろう。またITでは研究部門を持つサンマイクロシステム、地場企業では麻生、正興電機、昭和鉄工、第一施設工業などが国際ビジネスに積極的な企業として挙げられる。
- 外資系ではドイツのエダックジャパンが自動車関係の設計で進出してきた例として面白いのではないか。エダックのように外から来た人たちに話を聞くべきだと思う。アメリカ首席領事、日仏学館の人など、世界的な目で福岡を見られる人に話を聞いて欲しい。外から見て評価されている部分もあるが、されていない部分を把握する事が大切だ。
- 中小企業に対する情報提供や人材育成の支援なども業務の一つであるが、経済振興に関する市の主要な業務は基盤整備である。

職員 F

- 福岡市は、87年に策定された第6次総合計画において「海に開かれたアジアの交流拠点都市」を掲げ、民間を中心としたアジア太平洋博覧会を89年に開催して以来20年間、アジアを戦略的にターゲットとした政策を展開してきた。アジアフォーカス、アジアマンス、アジア文化賞、トリエンナーレ、アジア美術館などがその施策である。しかし、その前身となる事業としてアジアシンポジウムを開催していた。山口昌男を中心として草柳大蔵などの文化人と共に、何か揺さぶりをかけようという気持ちで新たな文化交流を考えたときに着目したのがアジアだった。
- アジアの歴史の中での日本の立場を過去から学んで、アジアの歴史の中でいち早く近代化を進めてきた日本が、これから成長が予測されるアジアの中において、アジアにおける日本文化の違いを見つけ、アジアに対してどのようなアプローチをしていったらよいのかを検討した。日本はアジアの個性を見極めて、初めて、アジアの中の日本の立場を明らかにする事が出来る。
- 20年経過し、韓国や台湾はテイクオフし、日本と同一所得水準までになった。中国は格差があるとしても止めようもない経済成長を続けている。観光や経済政策は実体的な政策なので、相手に熟度がないと成立しない。

- 観光においては韓国や台湾はすでに数多くの観光客を日本に送り出すようになっている。中国も今は目線は欧米に向いているが、今後は近い九州にも目がいくのではないかと考えている。
- アジアゲートウェイ構想を進めるに当たって、ヴィジターズ・インダストリー（VI）推進協議会が今最重点ターゲットとしているのは、釜山であり、福岡釜山を1つの観光圏として交流を深め、この観光圏を足場として、まだ未成熟であるが、大連、天津、広州などの北東アジア、環黄海地域にプロモーションしていこうと考えている。クルーズの誘致などはこの考え方によっている。福岡釜山をベースとして突破口としていこうという施策は戦術的な取り組みである。
- 韓国の新政権は超広域経済圏を打ち出して、釜山と福岡の経済圏構築に前向きに取り組み始めたが、観光はこの動きよりも早い時期に行動を開始している。福岡と釜山を1つの観光圏として売りましようという考え方は、危なさをはらんでいたが、今は言える時代になった。福岡市が釜山市と組んで、ソウルや東京に対抗していこうという考えは、釜山市にも同様の考えがあり、すぐに合意できた。これから4年間のプログラムを作って推進していくことになっている。地元の政財界で形成する釜山福岡フォーラムにおいても、合意形成は出来ている。
- アジアとの関係は、20年前は文化交流から始まったが、経済の状況において、日本が下がり、アジアが上がるという変化によって、実体的交流が出来るようになった。アジアゲートウェイ構想では、観光だけをやるつもりはない。そこには、エコ、カルチャー、スポーツ、ライフの4つの切り口を持って進める。ライフに関しては、韓国とはもう1便増えれば、日帰り可能な生活圏を形成できる。韓国とは隣り合わせの生活圏として、日常生活圏としてやっていく。1週に1度韓国日本を行き来しているような交流の事例を今探しているが、そういう行き来をする人は増えてきている。韓国、釜山との事例は、大連、天津などとの関係に応用可能だ。日常生活圏のライフスタイルが面白いね、と言われるようにしていきたい。4年後には、釜山福岡を世界マーケットにおける1つのデスティネーションにしたいと考えている。
- アジア太平洋都市サミットについては、やり続けることは大切であると思うが、経費負担のないやり方は間違いだと思う。TP0は釜山に事務局があり、何千万もその維持運営にかけている。かなりの経費負担を釜山市は感じており、会長職を持ち回りにしたいとの考えを示している。年間3～4千万円かかるので、会長を回していけるのは、福岡、釜山、上海、広州ぐらいだろう。また、会費の値上げも検討している。
- TP0自体は、観光プロモーションを目的としたアジアの横の組織は他にないということもあって、役に立つ存在であるし期待されているものも大きい。したがって、韓国の東南部の都市を中心として、加入都市は増えている。このくらいの規模のネットワークがあれば、航空機キャリアも注目してくれる。しかし、お金を出して運営を支えてくれるほどではない。現在は釜山の資金力に負うところが多く、釜山市がかわいそうな状態にある。釜山市はハワイからプロデューサーを呼ぶなど運営の努力を続けている。もし釜山市が続けられないという状況になったら、福岡市も支援していかないとはいけないと思うが、資金的な補助は難しい。経費を落として、横の連絡組織として活用する方向にしていかなければならないかもしれない。民間キャリアの関心をもっと集めるためには、インバウンド、アウトバウンド双方を増やしていかないとはいけない。TP0は民間の期待を大きく集めるほどにはまだなっていないが、将来的には可能性がある。観光は、東南アジアが先行し、成熟した市場を形成している。北東アジアの観光はこれからの市場であり、人口も交流人口も北東の方が大きいことから、今後北東アジアから集客したいと考える東南アジアやハワイなどの観光都市は横連携組織であるTP0に積極的に参加するようになってきている。
- 大連市が、釜山福岡によるゲートウェイキャンペーンにアプローチしてきているが、歓迎するけれども時期が難しい。まず2都市でキャンペーンツールを共同開発するなど具体的なプログラムを推進し、モデルを確立してから動かないと、何をしているのか分からなくなってしまう。大連との連携については、福岡釜山両市で協議している。大連市は中国の中では一番馴染みがある都市だと思う。満州鉄道があった事もあって街並みも親しみやすい。九州の福岡、韓国の東南部、中国の東北地域は、1つの塊として戦略的にやり易い。
- 姜尚中氏の言葉だが、福岡から東アジアコモンハウスをつくっていききたいと思う。EUはその前身でヨーロッパ共同の家を目指した。文化的な共同の価値観や平和の意識をアジアに形成していく為に、共同の家づくりを北東アジアから進め、将来的にはEUのような統一経済圏を目指していく。この20

年の間に、アジア地域は大きく変った。戦争の経験もあって、日本からこういうことは長い間言えなかったが、そろそろ言える時代になってきたと思う。

職員 G

- アジア太平洋こども会議は20周年を迎え、一旦総括し、今後の新たな方向性を打ち出す動きを見せている。始めた当初は、ホームステイ先探しに苦労するなど困難もあったが、今では応募も増え、安定してホームステイを確保できるまでになってきた。福岡市としてもAPCCは成功した好い事業と考えている。これまで福岡市は助成金支援および、記念式典に置ける皇族等賓客の招待支援を行うのみで、運営には特に口を出さないで、JCが中心となったNPOに任せてきた。ただ、資金提供者として、市民を巻き込み将来に向けて種を巻いていってほしいということは事務局及びJCに対してはずっとお願いしてきた。
- APCCは、これからの計画において、OBOGネットワークを今後はビジネス交流に繋げていく方針を改めて掲げた。20周年記念イベントにおいても、吉田市長も感動的で前向きなプレゼンテーションを行い、事務局も市長も、20年の財産を今後は海外にアピールしていくべきだという考えで一致した。今後は、ビジネス交流やアピールについて、国際経済部などとの連携も視野に入れていくことになるかもしれない。
- こども未来局としても、市のグランドデザインにおいて示された「子ども、アジア、環境」の3つのキーワードの2つに重なる事業として、しっかり進めていかねばならないと考えている。その為にまずは地域の子育て支援をしっかりと子育てしやすい環境を実体的に進めていく必要がある。国際的なことに関しては、子育て情報の提供が日本語のみになっているので、多言語化の検討を進めていく事を検討していくべきだろう。
- アジア政策に関しては、子育てし易さも住み良さの大きな指標になるので、まずは子ども総合計画で掲げた子育て満足度の目標60%の達成に向けて取組んでいきたいと考えている。

職員 H

- 東京から見ると福岡はアジアだ、とよく言われる。福岡、九州はアジアの一部という見方で語られ、アジアとの交流も簡単じゃないか、福岡の多くの方は韓国語が話せるんじゃないか、などと思われている。しかし、実態はというと、西鉄がようやくハングル表示を始めたばかりだし、つい最近まで、地下街はフランス語のアナウンスしかやっていなかった。東京から福岡はアジアだと見られているにも関わらず、福岡市民は東京を見ているし、アジア人を受け入れているわけではなく、中国・韓国人観光客に対しても胡散臭いというような目で見えており、街全体でおもてなししようという雰囲気ではない。行政が市民に理解を求め説明していく必要がある。そういった場合に文化の力は大きい。文化は国境や民族の壁をいっぺんに取り払う力を持っている。全く韓国に関心を持っていなかった人が、韓流ドラマを見てはまり、一気に言葉も学んでみようかという変化を見せる。理屈では分からなかった人が、映画や音楽に接し、仲良くするのは当たり前だというふうになる。理屈ではなく感性に触れることが大事であり、伝統音楽など理屈が必要なものではなく、分かり易くて見て面白いものを介して国際交流していくことが大切である。
- 演劇やミュージカルも分かり易いエンターテインメントだが、言葉がやはりネックだ。劇団四季が最近ソウルに劇場を設置した。韓国にはあまり常設の劇場がなく、韓国人は生のお芝居を見る機会が余りないので、需要はあるかもしれない。博多座に、電光掲示板にハングル字幕を入れる事を提案したことがあるが、団体需要がよく分からないし、翻訳などのソフトに経費がかかるので、なかなか導入まで至らないでいる。
- 文化・芸術のアーティストは東京を向いている人が多い。福岡で芽が出た人は皆東京に行ってしまう。そういう状況では福岡はミニ東京でしかおれない。街もミニ東京のようになってしまう。福岡は、東京を意識しつつも、東京に背中を向けアジアを見ていくようにしていきたい。地理的精神的にアジアな福岡の特性を活かして、距離が近いアジアの方を向いて、創造的なことをやるとアジアの人もこちらを見てくれる。
- 西洋人は、東京・京都に行って日本文化やアートに触れるが、福岡ではアジアのアートを感じる。そういう風になっていく事が大切だ。他の都市とのプランの違いを示し、どこの都市もやれないこ

とを福岡はやらねばならない。それがアジアの文化芸術だと思う。

- タレントを使うのは東京にまかせ、福岡はどの分野で違いを示していくべきかを考えるべきだろう。その1つの可能性がゲーム産業にあると思う。ゲームにはアートや音楽への広がりがある。今、九州大学芸術工学研究院の教授と、現代音楽とゲーム音楽を結び付けられないかという話をしている。対東京を考えると、ゲーム系はクリエイターが福岡に住んで開発しているので、ゲーム系アートは産業としての可能性がある。その他のアートの分野を考えると、福岡には文学系の作家は住んでいるが、美術家や音楽家はいない。経済原理で難しい面はあるが、アーティストが定住してくれる街になってほしいと思う。芸術系大学が欲しい。大学があると研究も進むがアーティストが食べていける環境ができ、定住につながる。そのために、行政に何ができるのかを考えなければならないと思う。
- 釜山には映画学科が6～7つある。以前、映画を専攻する学生同士の交流を釜山の大学から持ちかけられたことがあるが、福岡には映画を学ぶ学科はないといって断った経験がある。映画の力は釜山が上だ。国の一点投資もあったが、釜山は映画ではじめて、釜山は映画というイメージを確立した。釜山映画の賑わいも凄いが、釜山の街の戦略も凄い。映画祭期間以外も映画を感じるイベントや雰囲気が漂っている。
- アジアフォーカスはアジアに特化した映画祭であり、先駆的な取り組みであった。釜山の映画関係者と話したが、釜山はアジアフォーカスへの関心はないが、アーカイブには大変興味を持っている。映画を学ぶ学生や研究者にとって研究資料となるからだ。
- 天神やリバレインなど観光客や市民が気軽に利用できる場所で上映して欲しいとの要請もあるが、貴重な芸術作品なので、きちんとした上映環境が必要であるし、多くが学術的には高い価値はあるが、娯楽的要素の薄い作品なので、図書館に行ってゆっくり見てもらったほうが良いのではないかと。リストを作って積極的に研究者や学生を受け入れているわけではないが、これまで海外から来て一週間ほど滞在し、研究のために鑑賞するという例はある。しかし、積極的にアピールしているわけではない。
- 日本の若手研究者にもっと活用して欲しいが、福岡に映画製作者はいない。テレビ局も映画を作らなくなった。8ミリやビデオで作る学生グループがわずかにいるのみである。映画をつくる人が福岡にいないので、字幕の製作も含めてすべての映画産業が東京にしかない。タレントも使えない。
- アジアフォーカスのスタンスは、東京映画祭のアジア部門や釜山映画祭と基本的に異なる。アジアフォーカスは配給にならないようなアジアの良作をディレクターが探してきて、字幕をつけて上映する。どかんと集客するような映画祭にはしたくない。現状では、本当に好きな人が、国内から来ている。
- 本気でアジアから観に来てもらいたいのなら現在日英のテロップに他のアジアの言語も加えるべきだろう。しかし、どちらかというと、日本の旬の映画で、配給したけど1ヶ月ぐらいで上映が終わってしまった作品を福岡に集めて、英語やハングルのテロップを付けて、アジアの人に日本の今を見せる方向でディレクターと話している。ビデオでも配給にならないような日本の良い映画作品を通じて、日本の文化に触れるシーンをアジアの人たちにつくっていききたい。その日本の作品については公募も検討している、2、3本でも集まれば良いと思っている。字幕をつけてあげた事をきっかけとして、海外に進出する作品や監督が出てくると面白いと思う。

職員 I

- アジア政策は福岡市の競争力の源である。地勢的優位性は立証されており、その優位性が生かされているとき都市は元気になる。日本が鎖国する前までは、博多は富が集中する日本一の貿易港だった。関ヶ原における勝利の第一の立役者だった黒田長政が、博多をもらった理由は、博多を取れば天下を取れると思ったからだ。しかし、鎖国によって博多は一地方都市になった。そして港が再び開いた時、昔の地位を取り戻せたかと言えばそうではなかった。鎖国中に長崎が第一の港となり九州随一の都市になっていた。また、博多港の水深は5m程度しかなく、地位を回復できる港としての能力がなかった。よって、新政府が九州に行政の拠点を設置したのは、九州の中心にあるという理由で熊本だった。
- それで、どうしてここまで福岡が成長できたのか。その大きな理由の1つとして挙げられるのは、

九州帝国大学の設置である。しかし、もっと大きなきっかけは、1940年に本土決戦を見据えた軍司令部が、韓国中国からの防衛を考えて、西部方面司令部を福岡に置いたことにある。続いて、朝鮮動乱の際に、米軍が福岡空港を接收し、基幹空港として整備、活用したこと。さらに、1975年に新幹線が博多まで通じたことが大きな飛躍のきっかけとなったと言える。

- つまり、一度は一地方都市になった福岡が九州一の地位に返り咲いたのは1970年代のことであり、その背景には、国際的な地勢があった。進藤、桑原両市長は、その辺を意識していた。だからこそ、1987年の総合計画で、海に開かれたアジアの交流拠点都市という方向性を打ち出した。地勢を活かして元々あったものを競争力として活かしていこうという発想である。しかしながら、その当時アジアと呼べるような内実ではなかった。1978年に外貿コンテナが開設し、1985年にコンベンション誘致担当ができ、1986-87年にコンベンションビューローが設置されたばかりのころで、国際会議・コンベンションの数は、福岡国際マラソンを入れても3、4件しかなかった。それが、いまや日本で3番目の開催件数を数えるようになり、貿易額は3兆2千万円を超え、20年で10倍まで拡大した。ようやく、地勢を活かした国際施策に内実が伴うようになった。
- 1987年に出した構想は大きいものだったが、ちょうどバブルに乗って結果的には成功しすぎるぐらいに成功した。福岡が元気都市と言われるようになった核心にある。元々体質的に持っていたものに気づき条件を整えて始めたから良かったのだ。
- アジア美術館の前身には福岡市美術館会館記念の企画展、アジア美術展があった。最初の企画の段階では、アメリカのモダンアート展でもしようかという感じだったが、ある日今更アメリカ展でもなかろう、という市長の指示によって、アジアの現代アートを通じてアジアの今を見せようということになった。国家レベルの団体を集め、人や作品の選定を行った。このプロセスを通じて、国際施策の可能性を知ることができた。美術での交流は一步先に行っていた。教育委員会の管轄である美術館、博物館、図書館は、市民の教育向上を目的としていたが、アジア美術館は、その設置条例の冒頭に、アジアの人々との交流を通じて、という文言が記載されていた。
- 市場だけ考えるとアジアのモダンアートは小さい。アートの市場において、モダンは1/10、アジアも1/10程度の規模しかない。それを考えるとアジアモダンアートの美術館は福岡には過ぎた施設であるし、市民の親しみも今1つであるが、世界で唯一の美術館ということで外国や専門家からは高い評価を受けている。この外部評価には大きな意味があると思う。10年間の蓄積は大きい。よくやってきている。しかし、自分も最近までアジア美術館が世界一であることを全く知らなかった。
- アジア美術館はトリエンナーレがあるから存在価値がある。トリエンナーレがあるから常に美術動向を調べておく必要があるし、ネットワークを使うという作業を行える。イベントの効用というよりもネットワークの効用がアジア美術館にとって大きい。
- アジア美術館はモノクルにも紹介されたように、海外でも知る人ぞ知る美術館である。来館者のうち外国人の割合は8.3%だが、英語じゃない言葉を話している人が多い。調べたところドイツの旅行ガイドに小さな案内が出ているので、ドイツ人が来ているのだろうと推測している。
- アジア美術館には外国向けのメーリングリストが400件ぐらいある。美術愛好家は途上国ではハイレベルの人々なので、そういったネットワークを通じてビジネス面でも利用していける可能性はある。
- 福岡市は無理もしてきたが、大きな成果を上げてきたと思う。今から何をしたら良いかということを見ると、アジア交流の成果をコアコンピタンスとして出していくしかない。そのときに今までやってきたことの成果の整理が必要だ。今までの成果を資源として意識化して共有化して使えるようにしていくことが大切である。基本的なインフラに関しては少なくとも国際水準に乗せないと同じ土俵に上がれない。港湾は着々と整備を進めているが、空港は一定の整備が必要な状態にある。
- 福岡は外国から来やすいし国内の繋ぎも良い。それをベースにソフト面の蓄積が必要である。意識化共有化してそれをベースに発展させようと皆で思う必要がある。福岡だけではなく西日本の拠点として、福岡の機能を使ってくださいということが大切である。
- 上海とのRORO船は地理的優位性を活かした仕組みだ。荷が集まってくれば、最終的にデイリー運行ができるようになり、航空便とかわらないスピードで物を運べるようになる。
- 1995年に立ち上がった国際見本市は、当初は出展してくれる会社も少なく運営を任せられる会社もいなくて市が補助金を出して出る人が損をしないような仕組みで運営を始めた。回を重ね、それな

りに格好が付き始めてから、最初は運営を断った東京のビジネスガイド社に運営を任せた。市役所が種をまいて育ててプロに引渡し、より良いものに育てていった例である。

職員 J

- 昭和 40 年に釜山観光協会と福岡観光協会が、観光協会同士で締結した。これは新しい日韓時代の幕開けだった。観光協会では、その後シンガポール、ボルドーとも提携したが、これは行政にくっついて行っただけで、戦略的ポイントを選んで関係を構築しているわけではなかった。姉妹都市になって良いことがあるのか？これは、付いて回る疑問である。
- 何で今国際政策を見直す時期に来ているのか。これまでの国際交流は友好交流であり、平和が基調であり、戦争で迷惑をかけた中国には保護という気持ちがあった。なるべく中国に教えてあげようという気持ちが強かった。台湾に対しても亜東関係協会などを通じて技術協力などを行ってきた。
- 最近では中国を中心として経済力が向上してきて、恩恵的交流はもう良いよという態度に中国側が変わってきた。10 年前ぐらいからそういう風に変換し始め、もうそういう時代ではないと分かっていたのだが、これまで大幅な見直しをしてこなかった。
- 観光とコンベンションの誘致に関して言えば、ワールドワイドに、韓日で組んで誘致していくことを考えるべきだろう。組む相手は中国北部でも良い。一緒に稼ごうぜ、というノリで韓国と中国と協議しながら、大手マーケットのゲートウェイになっていったらよいと思う。
- 福岡市が参考にすべきは、モナコだ。モナコは 95%の人口減を経験し、周りの欧州になかったもので経済を進めていかねばならなかった。そこで選んだのが美と健康をテーマとした長期滞在型のリゾートである。コンベンションホールはソウルにも広州にも立派な施設があるが、それ以外の楽しみがない。モナコでのコンベンションにはそれがある。コンベンションの主催者事務局は偉い人が多い参加者に対して問題ない運営を行う事を心掛けている。ハード以外の楽しみをいかに提供するかを気にかけている。コンベンションを誘致するには、受入環境の整備と外国語の表示だけでなく、楽しみの部分、祭や街並みなど無形の財産に集中投資して行く事が大切だ。
- アジアマーケットを考えると、色んなものにお金を使うより、1 つに絞ってお金をつぎ込んだほうが良い。例えば「美」である。街の美しさである。福岡はきれいだと言われるので、さらに美しい建物にしてしまう。都市景観が美しい街にする。そのためには日本家屋の美をアピールすべきだ。「ブランドオーケストラ」を作るのも 1 つの手だ。九州交響楽団をアジアに育てる。ブランドオーケストラに育てるのは簡単だ。お金次第で才能が集まってくる。「健康」も良いテーマだ。福岡には周辺に沢山の温泉がある。博多港から九州に来て福岡だけを訪れる人はほとんどない。九州に入るから博多港を利用している。やっぱり京都や四国に行きたいという客が増えれば博多港はいらなくなる。アジアのマーケットを考えた場合、九州全体で健康を売ることは大切だ。
- ブランド品はアジアのどこにでもあるが、福岡や日本には常に品揃えがあることが、アジアのほかの都市との差異になって魅力となっている。
- いかにもな日本の良さをどんどんアピールすべきだ。北京では古い建物を作って再オープンする動きが出てきている。上海でも豫園などでそのような動きが見られる。福岡はそういう方向でインバウンドできる。国内的には福岡における韓国中国との交流の歴史のイメージで集客できる。昭和 52 年に福岡でアンケートした時に唐仁町がオールドジャパニーズツアーの可能性があるとという結果が出た。だからちゃんと街並みを残していけば良いという指摘があったのに、それが出来なかった。結果を見過ぎた。今になって町屋保存というような動きが出ているが、真似でもいいから徹底的にやれば良いと思う。他がやってこなかったところをやるべきだ。博多バサミなど作って売れるようなところをつくっていけば良い。町並み力がなかったのに、福岡は観光客が増えた。なぜ増えたのかを、なぜ今繁盛しているのかを調べて継続していけるような方向性を探らないといけない。
- 古い低層の建物が造り替えないのにお金が入る方法として容積率の転売の可能性について研究している。これができればお寺の切り売りなどを防げる。警固神社や水鏡天満宮などでやっていけば、低い建物を守りながら残していける。モナコでは低い建物をそのままで維持できている。美しい街にしていくための手法として考えている。土地利用制度で街の風景は変わる。福岡でも文化財の保護が出来る。昭和 49 年に文芸春秋に書かれたことだが、博多は古都であり、日本でも最も古い継続性のある都市だ。博多の町はいつから始まったか分からない。この点で奈良や京都とは違う。

- 福岡の街をアピールしていくためには、集中と選択が必要だと思う。例えば福岡国際マラソンを市民スポーツの振興ではなく、福岡のPR装置として捉えるべきだ。2時間にわたって世界にテレビ中継されるマラソンは、2時間に渡る福岡の街並み紹介番組だ。だから、テレビに映るコースはテレビに映る側だけでも緑化をもっと進めるなどしても良いと思う。そういう知恵を発揮して行けばもっと福岡を世界にアピールできると思う。そのための職員の養成が必要だ。福岡を売るために職員に観光マスターの資格を取らせたり、観光立案政策士みたいな資格を作って取らせたりするような事をしていくと良い。趣味の良い職員を育てていくべきだ。趣味の悪さは贅沢をさせれば治る。職員の中には下水道は必要だけど美はなくても死なない、なんて思っている人もいるが、美に対する投資は福岡にとって必要だ。
- アジアはリッチになった。富裕層は東京だけでなく福岡にも来ている。距離的優位性を儲けもんと思って、だからこそ古い博多の再現をして博多の独自性を出していくべきだ。例えば、松原に着目する。千代の松原、箱崎松原には、茶会で千利休が松の枝に小釜を掛けて豊臣秀吉に茶を点てたという歴史がある。独自の茶の文化、日本の文化の発祥の地としての歴史的厚みを発信していく。独自性を強調し絞り込んで、東アジアから観光客を呼び込んでいく。名前や地名、距離、地名が出る航路などが浸透すれば、東アジアの観光地になれる。
- これまでマスタープランと予算は独立していた。マスタープランに載っていないのに何かを造るような事をやめて、モナコのようにきちんと計算して街を整備していくべきだ。

職員 K

- 市の職員になって32年目だが、都市計画に3年、企画に3年いた以外は港湾局で過ごし、半分はアイランドシティ関係の仕事をし、その他は再開発など港湾計画に携わってきた。
- アジア政策を振り返ると、昭和62年に、桑原市長が海、アジアに着目し、市政の柱に据えたことに遡る事が出来る。以来、港湾計画や都市計画など個々の計画に反映されていった。海やアジアに意識した方向は間違いなかったと思う。20年前は日本にはアジアの視点がなかった。昭和63年に都心部のウォーターフロント開発に携わった際に、唯一アジアの視点を持っていたのは大阪だけだった。当時、須崎にレポート構想を検討中で、アジア太平洋トレードセンターを造ろうという話をしていたが、結果、その名称は大阪に持っていかれてしまった。しかし、その後の展開を見ると、ハードソフト面で強くアジアを打ち出し続けた福岡は先見の明があった。20~30年の間に経済、物流、人流はアジアで活発化し、東アジアから今やインドまで広がっていつている。アジア戦略は間違っていなかった。
- 昨年、これからの30年を見据えた港湾計画に着手した。通常10年から15年のタームで計画を策定するが、今回は3年かけて30年後を展望する計画をつくる予定だ。そのために委員会を立ち上げ福岡アジア都市研究所の理事長にも委員に入っている。理事長とは20年前に須崎の再開発計画を策定した時からの付き合いである。
- 現在もだがこれからの事を考えると、物流も人流もアジア抜きに語ることは出来ない。現在博多港は35航路有しているが、そのうち3航路は大型定期航路だが、その他の航路はアジアが中心である。日本の港湾の競争力は近年大きく落ち込んでいる。20年前は神戸港の取り扱いの世界の3、4位に位置していたが、今では最も多い東京でも300万TEU程度で20位以内に入っていない。博多港は75万TEU程度である。
- 博多港には2つの優位的物流機能がある。①アジア発欧米とアジア域内物流である。①に関しては、20年前NIESには港はなかった。いったん神戸に持ってきて神戸から運ぶという形が中心だった。アジアのなかでは、北米や欧州には日本からの航路しかなかった。だが、その後アジアでは港湾整備が進み、釜山、高雄、シンガポール、上海、深センなどの港から、直接海外に出す事が出来るようになり、神戸の競争力が急激に落ちていった。そういった中で、たまたま博多は日本の中にあってアジアの一角に位置していたので、これから東アジアが中心になるといえるとき、日本では博多港だけがアドバンテージを持つことになった。だから東京にできない事が出来る。そう自覚して生き残りをしっかり考えた。②に関しては、アジア域内の物流は進展している。東アジアでは準国内輸送化している。博多港はブリヂストン、トヨタ、ホンダなど世界的企業の輸出を支える港である。博多港はこういった荷物の集積によって、港湾管理者の仕掛けでなく民間がビジネスとして始めた物

流によって、機能を充実させてきた。博多からだ和上海に1日で行き来できるという地の利が上海スーパーエクスプレス（SSE）による RORO 船ビジネスの事業化につながった。大阪なら倍、東京ならもっと時間を要する。博多にはそういった地の利がある。

- 人流に関しては、福岡空港にも強みがあるが、博多港にも強みがある。釜山線に加え、クルーズ船寄港などによる観光客誘致の仕掛けも進めている。
- 港にとって、海図に載る事は非常に大事なことだ。海図には特定重要港湾に指定されないと掲載されない。博多港は平成2年に指定され、海図に掲載された。それまでは、九州では門司港(北九州港)だけが指定を受けていた。それまで、貨物のコンテナ化が進む中で博多港はコンテナ船受入れの為のインフラ整備を続けていた。昭和52年に博多船溜埋立工事竣工後、北米航路コンテナ輸入港の指定を受け、コンテナ船母船の寄港を実現させた。これが昭和59年北米定期航路開設につながった。コンテナ大型船舶の寄港は、北米から欧州に向けての荷を有するブリヂストンがあったから実現した。正確に言うと、ブリヂストンからの要請が強く働いたからである。
- 博多港からの貨物の行き先は北米や欧州から中国にシフトしてきている。中国北部では、北京、大連、天津、青島、南部へは上海への荷物が増えている。このうち上海は SSE による高速輸送サービスが既に始まっており、上海と等距離にある天津や青島でも高速輸送の可能性が出てきている。荷物があるところにビジネスがあるので、どんな荷物があるのかを探る経済ミッションとポートセールスと一緒に行っていきたいと考えている。
- 博多港の優位性や目指す方向を考えると、博多港は現在九州・山口地域の市民生活を支える港という性格を持っているが、将来についてはもう少し考えるべきだと思う。釜山や上海などの大規模なハブを目指すのか、九州・山口地域を背景として東アジアをターゲットにした港の1部を目指すという方向性が考えられる。しかし、韓国や中国は国策として一点集中整備を行ってきた。釜山や上海のような規模を目指すのは物理的に無理だ。釜山は今上海と熾烈な競争に苦しんでいる。博多は九州・山口を背景としてアジアに持って行く港であり、他所から貨物を集めて持ち出す港ではなかった。あくまでも背後企業のための港であったが、東京のように背後に経済圏がない博多は知恵を絞らないと荷物を増やせない。そこで新たな取り組みとして始めたのが、東アジア域内の荷物を国内に届ける機能の強化である。
- 企業は物流を時間とコストで考える。これまでは、速く届けなければいけないもの、付加価値が高いものは飛行機輸送、量が大きく時間はかかっても良いものは船で運んでいた。しかし、安いに越したことはないが速く運びたいと企業は考えている。そこで、博多港を基点に速く大量を可能にする物流の仕組みを考えた。この仕組みをつかった北関東のアパレル業者は、上海から成田に飛行機で運び東京に輸送していた荷物を、博多まで RORO 線で運ぶことによって、プラス1日の行程で1/4の価格を実現した。企業にとって、選択できるサービスがあることは大きなメリットである。ハードを整え手続きを簡素化するなど、民間ビジネスとして成立つような整備をすれば、アジアに一番近い港のメリットを活かせる。
- 北九州港と博多港は競争にならない。2つの大きな理由がある。1つは都市人口経済の面から、もう1つは北九州港はばらばらの港から形成されているからだ。港は都市人口の経済動向に左右される。福岡市は伸びている都市だが、北九州市は停滞する都市である。北九州といえば門司港だが、特定港湾には門司と下関を合わせて、関門港として指定されている。北九州港は門司港、小倉港、響灘であり、関門港とは別の港である。これに対して、福岡は1つの港から形成されている。また、博多港は六大港では後発の港であるため、労組分離を実現している。そのため、24時間化など、国民労が一体となって国に要望できるという条件に恵まれた。また、知恵を絞ってイーツシステムを完成させ、通関手続きのための時間短縮を行えるようにした。それによって、周辺道路の渋滞解消につながった。水深の整備だけではなく、こういった交通のソフトインフラを同時に行うことによって、スムーズな荷物の集荷、通関、がトータルで行えることになったから、民間企業の信頼を得、荷物を出してもらえらる所以になった。
- 昭和52年に北米航路コンテナ輸入港指定を受け、昭和59年に北米定期航路が開設された。これは、荷物を持つブリヂストンが「船を着ける」といったから出来たことである。北米の船は、釜山から日本海を通り、津軽海峡を通過して太平洋を出る航路がもっとも速いルートである。このルートの優位性が高いので、釜山港の能力が高まるにつれ、神戸や大阪の港は使われなくなっていく。今後

生き残っていけるのは、荷物がある東京や名古屋ぐらいである。釜山港がひっくり返ると、日本の港がひっくり返る。現在博多港の荷物の40%を釜山経由で他地域に出している。もし、釜山が上海との競争に大きく負け荷物を集められなくなったら、大変なことになる。釜山と博多港はコンテナ船で6時間の距離である。今、博多港に大型コンテナ船が来てくれているのは、釜山まで来ているからである。釜山が上海や深せんとの競争に負け、コンテナ船航路から外れたら、博多へのついで寄りもなくなってしまう可能性がある。

- 人流も港の重要な要素である。博多、中央、須崎、那の津の港が、都心とどう繋がっていくのか、これから更新していく都心空間とどう連動しながら、港町を形成していくのかは大きな課題である。港湾局では、これから20年の港湾計画の策定に取り組んでおり、その中に専門委員会として、港町委員会も設けた。都心部と埠頭のこれからについて検討している。

職員 L

- 桑原元市長は、当初、海に開かれたアジアの都市と言ってアジアという言葉を使い始めたのだが、交流都市、交流拠点都市と、いつの間にか段々と、政策のスケールが小さくなっていったという印象を持っている。
- 国際政策のような政策は、短い期間でころころと方向性が変わるようなものであってはならない。五味文彦は、「港湾都市・博多は、自主的に形成されてきた都市であり、都市が異文化の接触と交換の場として発展を見た日本の都市の原型である」と、言っている。福岡市民はお茶やうどんの発祥の地ということは断片的に知っているが、博多は2000年、少なくとも1500年は日本の玄関だった。そのことを市の職員は忘れているし、市民は知らない、この価値を七社会も気づいていない。
- 今日の博多港があるのは、明治から大正にかけて商人や玄洋社の民間人たちが私財を投入して整備してくれたおかげだ。博多港史には、港の偉人たちの話が沢山記載されている。
- 海外都市との距離を見ると、目は飛行機に行きがちだが、今日本人が使っている海外の輸入品を量ベースで見ると99%が船で輸入されている。船の場合、東京北京の距離は1,500海里、福岡北京は700海里であり、福岡から北京は40分ぐらい速く到着する。飛行機で考えると中国と日本との距離は近いが、機材や航空運賃などいろいろな費用を考えると、航空機輸送に関してベトナムに比べると日本は有力ではなくなる。
- 飛行機で1時間かかるところは船で1日かかる。船で距離を出すことによりその近さに具体的な意味が出てくる。果物は3、4日、工業製品 CPU の場合、毎日値段が変わるので日で値段が違う。上海と結んだ高速 RORO 線は、そこに商機があった。例えば、上海アイリスという会社は、下着、生産コストがKgあたり18万~20万円なのに、急いで運ぶ必要があるときには上海から関西空港まで飛行機輸送をしなければならなかった。その場合のコストは、生産コストと同じ18万円かかっていた。しかし、RORO 船を使うことで、コストを大幅に削減し、1日到着が延びるだけで商品を受け取ることができるようになった。飛行機輸送はシリコンチップならコスト的に支えられるが、単価や生産コストが安いものには向かない。
- RORO 船が就航する前は、船便と飛行機便の輸送からしか選べなかった。そこに、飛行機より1日遅いだけで、価格は破格に安いと言う輸送方法を提案したことで、企業には大きな選択肢を与えることができた。RORO 船の運航は、博多港の取り扱いを増加させただけでなく、事業参加したJR貨物にも別のメリットを生んだ。国際業務が追加したことで、採用応募者が飛躍的に増えたそうである。
- 台北市民向け食品を一手に引き受ける台北市農林水産局と大同青果が提携した。台北農林水産局は当初果物を商社経由で日本から輸入していたが、日本各地のJAが営業をかけ、各特産品の売込みを近年図るようになり、JAから直接輸入するようになっていた。例えば、JA鳥取は梨の売り込みに成功し、鳥取梨は台北で人気の商品になった。しかし、取引をし始めて、日本の産地の旬は移動するため、鳥取梨だけでは、長い期間安定供給できないことが、農林水産局のほうでも分かってきた。そこで、福岡市港湾局が仲介して、大同青果を台北農林水産局に紹介した。市場であれば、旬ごとに産地を変えて出荷調整できるので、品物の質と量を一定に保つことができる。大同青果が、独占契約を結んだことで、全国のJAが大同詣でに来るようになった。この契約によって、博多港から台湾への果物の安定輸出が確保され、港の取り扱い荷物も増加した。また、地場企業である大同青果の海外進出の支援ができただけでなく、台北市民にも喜ばれる仕組みを作った。博多港活性化のみ

ならず、市の国際政策はこのような関係の構築を目指すべきと考える。

- この町の特性はアジアとの近さである。そして、近さは海運で活かせる。したがって海運あつての福岡である。アイランドシティはそのために造られた。そのことを時の人たちがちゃんと伝えてこなかった。市役所も七社会にきちんと説明してこなかった。ましては市民に伝えてこなかった。アイランドシティは50年後、アジアの中でアジアを切口にして生き残る装置である。ちゃんと市民に理解してもらうようにもっと努力すべきだと考える。

職員 M

- 産業振興部では、伝統産業振興の一環で海外 PR、アジアファッション産業の振興を行っている。中小企業がどうしたら東アジアの市場に出て行けるのか。体力がないところは束ねて海外進出できるのかということを検討したりしている。このようなことは、本当は商工会議所がやるべきところだが、福岡市では行政がリードして支援している。七社会を中心として、商工会ミッションを出すので、相手を揃えてほしいといった頼みを受けることもあるが、市の職員が現地に行ってやれるようにならないとできない。経験を積んで現地の顔になって繋ぐ人材が政府レベルでも必要になってきている。
- これからは国際交流都市ではないと生き残れない。しかし、行政は、空港、港湾、駅など公共インフラの整備だけして、企業に協力はするが、余計な手出しはしないというスタンスであるべきだ。博多港整備は九州の企業のためのインフラ整備である。コンテナが置けない状況になっていた博多港を拡充しないと、荷物が他港に奪われてしまうし、企業が北九州や大分に出て行ってしまう可能性が出てきていた。しかし、博多港とは九州経済のインフラであるということを港湾局に行くまで全く認識したことはなかった。
- 福岡にとって港湾は命綱である。港を使った経済政策が足りないと思う。港を使って中小企業が海外に行けるようなミッションをやっていかないといけない。「港を整備しましたが、どうですか」では駄目だ。中小企業対策で考えると、自主独立して港湾のソフトを使えるようにしないといけない。中小企業を下請けとして関わらせるだけでは、中小企業が埋立やアイランドシティを利用したり、事業に協力してくれたりということは望めない。
- 伝統産業振興の部署に行くまで、福岡の伝統工芸品のことを知らなかった。博多人形は土産売り場にあるようなものしか見たことがなかったので、素晴らしい価値があるものを見て本当に驚いた。福岡というブランドをつくっていく為には、伝統工芸品の存在は欠かせないと思う。もっと、伝統工芸の素晴らしさを市民に情報発信していかなければならないと強く感じた。
- 中国人には博多織など地味な物は受けない。博多人形も今のままでは厳しいので、中国人観光客に受けるような土産物の開発も必要だと考えている。

職員 N

- よかトピアの後、アジアという言葉は良く聞くようになった。アジアマンスは、アジアという言葉に慣れ親しむと言う点で成果を挙げてきた。教育では世界唯一のアジア美術館がある。アジア関連の政策はソフト面の事業として評価できる。もっと残してもっとやっていかねばならないと思っている。アジア太平洋子ども会議は、20年して定着している。最初の頃に参加した子どもたちは成長して大人になった。交流を長い目で捉えていくと言うことは大切なことである。これもずっとやっていくべきだ。
- アジアなくして港湾はないし、福岡もない。基盤整備をきちんとしないといけない。観光客に関しては国際ターミナルの利用もいっぱいになった。人流は人目に見えるので分かりやすい。クルーズ船も寄港するようになり年間2～3万人がやってくるようになった。
- 港湾では、コンテナ貨物が増えてきている。それを受けるハードの整備もできてきている。後背地は、外資系の投資を誘致する一方で、まちづくりは、ビジネスや住宅中心でやってきている。
- 中華街構想に委員会に関わっていたとき、中国の人は投資するなら10～20%の利回りがないとけないというような話を聞いた。アイランドシティは土地代が高いのでインセンティブが少ないので、アジアビジネスゾーンでの商売は難しい。都心での展開は可能だが、土地を買ってまでは難しいと言う反応だった。アイランドシティでは、アジアの高齢化プラットフォーム構想の検討が進んでい

る。中国韓国でも高齢化が進んでいるので、高齢化先進地の日本において高齢者福祉中心の大学院ができないかなど検討している。

- 福岡市がインセンティブ、やる気、をどこまで考えていけるかが鍵である。公共がどこまでやる気を出すかにかかっている。民間主導でやっていくのなら良いが、アイランドシティでは、民間は駄目だ。ビジネスゾーンは難しい。一方で、地道な住宅は進んでいる。既に1000戸ぐらいは供給しており、4000戸ぐらいできる予定である。現在は、照葉のまちづくりが緊急課題となってくる。そのうち、学校もすぐに足りなくなる。
- アジアからのお客を取り込むためには、環境は良いのだから、鉄道系の交通網をきちんとしなければならぬし、センターとなる施設が必要だ。観光の点で言うと、鴻臚館は拠点の1つになると思う。思い切って福岡城の再建なども考えてみたほうが良いのではないかな。

職員 O

- 1987年の総合計画策定の際は職員部会に参加した。進藤市長は、玄洋社縁の人物だったため、小さい頃からアジアというものを大変意識し、アジア主義的考え方を持っていた。福岡市美術館をつくった時、近代現代美術をコレクションして行こうというときにアジアに焦点を当てたのは、市長のそういう思いがあったからだと聞いている。これからは欧米ではなくアジアの時代である。これからはアジアだ、と言うマスタープランが議会に通り、皆で盛り上げて行こうと団結できたのは、市長と与党が当時一致していたからだ。だからこそ、当時では大胆な方針が市の基本政策の中核となった。
- アジアを打ち出した1987年の総合計画策定の頃、総務企画課から職員部会に参加し、一緒に福岡市の将来を真剣に考えた。その結果が総合計画に反映しており、職員も自ら盛り立てて行こうという気になった。現在の若手職員には考える余裕がなくなっている。今、将来を見据えてやらなければいけない時期に来ているのに、総務企画局は企画として働いていないのではないかなと思う。
- 1987年時の総合計画の検討は、まず職員として考え、考えたものをオーソライズする為に有識者に諮った。マスタープランの中身は総務企画課が引っ張った。企画課が自ら出向いて大学で講演会などを開催し、理解と協力も呼びかけていった。博覧会開催の2年前ぐらいは、地ならしの期間だった。アジアに向かう都市づくりに、中枢に向かっていっている感覚があった。マスタープランを大学の中にも入れようとした。西南大学に筑紫哲也を呼んで学校で対話を企画した。今の総務企画局は、企画よりも調整の部分が強くなって、若手職員たちが将来を見据えて考え企画する機会も少なくなり、自分たちのまとめた考えを大学に持って行って講演するなどして、オーソライズしていくなどと言うことなど考えもできない状況になった。20年前は皆が夢をもって、仕事をしていた。今一度、若い人の力が活かせるような、若い人が夢を持てるようなシステムを作っていくべきだ。
- 今は基本路線の中で10~20の柱を立てて計画を進めているが、多すぎて同時にはできない状況になっている。以前は、大きな柱の作り方をしていた。そのうちの1本がアジアであり、一点突破で進んできた。柱が今よりもっと太かった。
- 都市間交流で経済的利益を生むということはないのではないかな。姉妹都市間で利益を生むような交流は以前はできなかった。相手の都市から何かを学ぶことが重要であり、アジアの都市の場合、福岡市が情報を提供するという役割を担っていた。アジアの姉妹都市が発展した今日、福岡市としては、今までの交流のやり方を見直していかなければならない時期に来ている。
- 広州との提携は30年を迎えるが、広州は日本から学ぶと言う目的で、福岡市と交流してきた。広州が発展した今でも、分野によっては日本から学ぶ部分はあるが、福岡市からしか学べないという部分は福岡市は築いてこなかったのではないかなと考える。福岡でなくても日本の他の都市で学べるというものでは、福岡の優位性はない。広州市には職員の派遣を長年やってきたが、行政の出入り口だけで関係を終わらせてしまってきた。行政の交流に留めずに、学生のインターンシップの窓口となったりするなど、コーディネート機能を高めていくべきと考える。
- アジア文化賞は受賞者の活用を考える必要がある。受賞者との関係は、アテンドする市の担当者に留まってしまっている。福岡の同じ研究分野の人と仲介するなどして、今後、交流のカウンターパートになるような人との出会いを作って、ネットワークを形成していくような取り組みをしていくべきだと思う。福岡アジア美術館にアーティストレジデンスで来るアーティストにも同じことが言

える。ボランティアとは仲良くなるが、他の市民やアーティストとの関係作りには至っていない。九州全域に範囲を広げて、関心のある人達と繋げて、長く交流が続くようにしていく必要がある。そのためには、アジアネットワークマネジメントと言えるような機能が必要と考えている。本来必要となることを繋げていかねばならない。ある局はある局と繋がっているが、繋がっていないところもある。アジア戦略の横のネットワークは、今のままでは強くならない。回線自体を強くしていかなければならない。

- 国際部の業務が変わってきた。以前は、国際部の仕事は部内で完結していた。しかし、それでは収まらないことが多くなってきた。国際部に求められていることの内容が変わってきた。仲介を求められることが多くなり、どこどこを繋げなければならないということを分かっているという機能が果たせなくなってきた。国際部自体が繋がる目的や対象ではなくなった。それは、儀礼としての関係ではなく、具体的な関係を作りたいという海外都市が増えたことを意味する。仲介者としては、色んな情報を収集する努力をして、自分自身が繋がりを広げていかねばならない。
- 今までのプロモーションはちぐはぐだった。そこで、これまでポートセールスや観光セールスは脈絡なく行われていたので、それを横につなげて一緒にしようという動きに今はなっている。ばらばらでは知ってもらえないので、市を挙げて取り組んでいかねばならないと思っている。ゲリラ的ニッチな戦略の推進方法でやってきたが、イメージとしての戦略推進も必要だ。
- 国際戦略は経済戦略というが、ビジネスが主流になってくると、それこそ情報に企業情報が入ってくるので、情報の共有は難しくなってくると思う。福岡市では港湾も国際戦略の1つである。福岡市の港湾は実体で動いているから強い。独自で走っており、臨機応変に動いているが、港湾はもっと国際部を取り込んでいくべきだと考えている。

職員 P

- オリンピック招致の失敗で、国際スポーツ大会誘致に関してはなんとなく風当たりが強い状況が続いている。しかし、北京オリンピックを見た市民の気持ちも少し変わって、やっても良いのではという感じになってきている気がする。ワールドワイドな大会は財政面で難しい。しかし、人と施設はあるので受け入れはやぶさかではないという雰囲気になってきているのではないかな。福岡は今更アジアや東アジアレベルの大会という感じではないということは、皆思っていることではないかな。
- 北京オリンピックでは直前合宿地としてスウェーデンの全チームとオランダの陸上チームに利用してもらった。宿泊施設も練習場もアスリートの評判は上々だった。チームドクターが九大や福大と交流するなどして、地域にとっても良い機会ができた。スウェーデンが合宿地に選んだ決め手は①施設が充実している、②飛行機が毎日北京に飛んでいる、③都市高速の移動がスムーズで選手に負担が少ない(空港→シーホーク→競技場)、④ストックホルムの自然環境に似ている(シーホークが海に面している、博多の森が森に囲まれている)。スウェーデンチームは、合宿候補として、中国・韓国・日本の10都市ぐらいを事前調査したが、JOCの紹介を受け、日本では長野、大阪、福岡を調査したという。調査チームが最初に来たのは平成17年の2月であり、会長、専務理事、スポーツ部長、各協議のヘッドコーチらがチームで視察に来た。通常は開催の1年前ぐらいに決定するが、スウェーデンのようにお金があり力があるところは早くから調査を開始する。オランダの調査委員が来たのは平成18年の4月であった。世界陸上競技大会の際にオランダチームは合宿をした。そのときはベルギーも一緒に来た。
- 福岡市のスポーツコミッションとしては、国際マラソン、国際新体操、国際テニス、国際クロスカントリーを中心に進めていくことになっている。以前は、国際女子柔道があったが、なくなってしまった。しかし、その代わりに新体操を開催することになった。
- 世界水泳大会や国際マラソンを通じて福岡はスポーツ界で知られている。特に国際マラソンは、フィンランドなどでは国営テレビで放映されてきたので、ヨーロッパのファンの中ではよく知られている。しかし、マラソンは日本ではメジャースポーツであるが、世界での裾野は広くない。東南アジアなどでは活発ではない。
- これら国際スポーツ大会の支援を福岡市は行っており、マラソン以外は共催をしており負担金を出している。マラソンには補助金を出している。一般施策としては国際テニスに700万円出している。2008年は伊達効果で注目を集めたが(伊達からはコートが悪いと言われた)、国際テニスの開催はあ

まり知られていない。市民にアピールすることは、市が努力すると言うよりも競技団体が努力して集客してほしいと思っている。国際スポーツ大会の費用は主催団体だけではまかなえない。福岡国際マラソン大会には 810 万円、国際クロスカントリー大会には 610 万円、アジアバレーボール大会には 810 万円出している。アジアバレーボール大会は、アジア地区の競技レベルの向上を目的とした人材育成事業として開催している。

- 福岡の国際スポーツの潜在力は大きい。国より資金力のある東京は別格として、他都市と比べると、福岡は大阪や横浜と互角のレベルにある。なお、札幌と長野は冬の競技では抜き出ている。
- 色んなスポーツのなかで、続けているものをどれだけ持っているのかが、都市の強みであり、シティーセールスやコンベンション誘致の売りにもなる。マラソンに関しては、市の媒体で広報したり、体育指導員を派遣して沿道警備の支援をしたりしている。
- 北京オリンピックに関しては、福岡市出身選手の市民向け PR ができていなかったことが反省点として残った。谷選手や上野選手、ヨットのチームなどについて、問い合わせがあっても、情報を提供ができなかった。スポーツ都市としては、もっと出身選手の PR にも力を入れていかねばならないと思う。調査はしていないが、福岡はメダルをとった選手が多い都市である。そういったこともちゃんと把握していけば、中国やアジアに対して、スポーツの中心都市としてアピールしていくことができるのではないかな。
- ラグビーのワールドカップ開催の話がある。福岡にはラグビーのトップリーグチームが複数あり、競技人口も多い。しかし、世界大会の誘致に関しては、まず日本国内でのエントリーで取れるかどうかは課題となる。新たな施設負担は難しいなかで、国内のエントリーの部分で勝てるかどうかかわからない。当面事前合宿の誘致には力を入れていきたいと言っている。
- 本当の国際交流は自治体交流ではなく市民交流である。行政の交流としては経済交流に発展させたいと言う思惑もあるが、スポーツ交流が経済交流に発展というのはなかなか難しい。
- 福岡には多くのスポーツチームや大会がある。プロ野球チーム、サッカーチーム、バスケットボールチームなどあり、大相撲も開かれる。大都市のエンターテインメントとしてスポーツは大変重要な要素である。海外向けに福岡をプロモーションしていくためには、持っているコンテンツで有力なものは何かを見極め、それを打ち出していくことが必要だ。そういった意味では、福岡の国際スポーツ力は、有望なコンテンツとなり得るのではないかと考えている。

職員 Q

- 福岡方式は昭和 41 年に福大で開発され、昭和 48 年に 3 年間かけて市、大学、厚生労働省と協力して準好気性埋め立て技術として完成し、日本のゴミ処理法の基準になった技術である。この現地調達で自立しやすく割安な技術は、アジアに広がっていくよいツールとなった。
- エコアジアでは福岡方式の実績に高い評価を受けた。エコアジアは毎年環境相が開催するが、開催には都市が手を上げる。福岡での開催は、2 代にわたる市長の要請で決まった。2007 年の洞爺湖サミットの前哨会議として重要な役割を持った会議だったが、ここで福岡のゴミ回収の仕組みを紹介した。また福岡方式がスタンダード化されてアジアに広まっていることもアピールできた。また吉田市長の「エコアジアをやるならせっかくだから場所貸しではなく市民の取り組みを集大成する会にしたらどうか」と言う提案に基づき、エコアジアでは講演会の開催を行った。
- 福岡市の世界における環境に関する取り組みは、92 年のローマクラブ福岡の開催から本格的に始まった。この会議も、リオ会議の前哨会議として大変重要な意味を持った会議だった。ローマクラブ会議の精神を受け継ぎ、92 年に福岡市は市民宣言、環境基本計画を策定した。グランドデザインでは 3 つの核のうちの 1 つに設定されたこともあり、福岡市は今後も環境には力を入れていくことになっている。
- 市内では 4 分別でゴミを収集し、回収後さらに 9 分別して燃やし、埋める方式をとっている。市民にもっと分別させる自治体もあるが、利便性とシステムを考えた場合、4 分別で十分ではないかと考えている。
- 政令指定都市では唯一、ゴミの収集を民間委託ではなく職員がやっている。だから街角にゴミがない。カラスがいない。景観が美しい、渋滞がない。1950 年代より 1 日千台がゴミを収集しており、犯罪や火災の発見なども実績があり、安全にも貢献できている。4 工場で焼却している。サーマル

リサイクルを採用しており、発電し九電にも売っている。

- ラブアースは福岡市が自慢できる市民の環境活動である。これまで17回実施し、北海道や釜山にも活動は広まった。エコアジアでは、ラオスの大臣が感動してホテルから降りて見学していた。このように市民は環境活動に一生懸命取り組んでいるが、取り組みの横のつながりがないのが残念だ。10月に開催する環境フェスティバルは市民情報の収集に役立てたいと思っている。
- 現在は、福岡方式の研修については、国やJICA、ハビタットの要請に応じて行っている。日常業務をこなしながらの対応になるため、積極的にはできない。リーダーを受け入れて戻ってやってもらうのが理想だ。福岡方式の技術移転に関しては、要請があっても、長期に職員を派遣していくのは難しい。市長は職員OBの活用できる仕組みができないかと言っている。福岡方式と言う名称がついていることは大変良いことだが、技術移転は、他の都市もできるのだから他でやってもらっても良いという考えを持っている。

職員 R

- 総務企画局にアジア戦略のセクションができた背景には、政策推進プランを形にしようという流れの中で、アジア政策が第2ステップに入ったという共通認識があったからだ。全体のアジア政策を見直すべしという指示のもと、庁内的な話では港湾局、経済産業局、市民局などアジアに関する政策を行う部署が横断的に協議する場を設け、戦略推進会議を開催しているところだ。また、アジア文化政策に関しては、アジアマンスを変えていく宿題が与えられた。
- アジア戦略担当は、戦略的な指針をつくることを使命としている。それも長期計画は陳腐化するので、毎年更新するような軽めの指針でありつつ、皆が共通認識を持ってぶれないような指針を作ることを目標としている。
- 経済活性化などのテーマをきめ、民間企業の経験者などをアドバイザーに呼び議論する会を開催している。毎回テーマごとに出席者は変えていくことになっており、経済活性化の会には経済の部長以上と市長が参加した。これまでのテーマ別の会議で共通して出てきたものの1つに人材育成の必要性がある。アドバイザーは市職員の資質向上を重要課題に挙げている。商社系の経験者はエキスパートを育てる必要性を強調し、外国語で企業誘致できるような人材を育てるべきと言っている。
- 対外的プロモーションに関しては、プロモーションが総花的になってしまっているのではないかという危惧があった。観光、ポートセールス、投資などのプロモーションがあるが、観光は釜山には一生懸命行っているが、これまでソウルには手がついていなかった。旅行代理店の本社はソウルにあるので、ソウルで観光プロモーションする意味は大きい。企業誘致や投資に関しては、アイランドシティの訴訟の余波がある。こちらからもっと良い情報を積極的に出していかねばならないと考えている。
- 研究では、福岡の強みは何ですかと言うことを明らかにして欲しい。アジア各国地域との近接性という強みを活かすためには文化、観光集客、物流、投資面での交流の活発化が必要である。
- 福岡と韓国の経済界がもっと親密にならねばならぬと思っている。ネットワーク作りが大切だ。フォーラムを形成して取り組んできているが、表面上は観光プロモーションに終わっている。経済政策では、できることは限られているので、人材ネットワークを作り、人とのつながりを活かした展開を行っていく必要がある。しかし、役所がどこまでできるかは疑問である。そういった意味でも、アジア太平洋センターが築いてきた人脈は重要だと思う。そのほか、民間などにあるネットワークの蓄積も重要だ。例えば、オイスカにこれまでやってきている3000人の研修生ネットワークも大きい。福岡には、行政のみならず多くの民間に、人材ネットワークが沢山形成されている。しかし、それを活かしていないことは残念だ。
- インフラ整備、都市イメージの効果的発信、人材ネットワークの整備とその活用、これらが整えば、海外ビジネスの展開を容易に行えるようになると考えている。

職員 S

- オリンピックに手を挙げて、シティセールスの必要性を感じた。市長直属ではないと意見がまとまらない。そのためには、福岡の統一イメージが必要である。福岡の都市イメージはこれだと言うものを外部に示せるものがない。キャッチフレーズ、カラー、マークを作る必要があるが、ファンタ

スティック福岡（FF）を 300～400 万円かけて作ってまだ 1 年しかたっていないので、表立って更新できない。そもそも FF を都市イメージツールとして使うなら全員の名刺に入れるぐらいに徹底させるべきだったが、庁内でも浸透しないまま、集客交流促進のツールとして一人歩きしてしまった。2011 年には新幹線が全線開通するので、刷新する必要があると考えている。きちんとした都市イメージが必要である。国内外を問わず一目見て福岡と分かるものがほしい。

- 福岡市には対外的な広報をやるセクションがない。現状の広報課は市民向けに広報を行うセクションである。市長は今どう思っているかなど市長の発するメッセージを広めるのが主な仕事である。福岡市はこれまで売りに出ることにはなかったからだ。観光客などに対して福岡市はシティセールスをしてこなかった。これまでセールスを担ってきたのは、シティ情報ふくおか、福岡地所、西鉄、JR 九州、などの民間企業だったが、地場企業に財政的余裕がなくなり、これまで自治体がやらねばならなかったことを民間におんぶに抱っこしていたつげが回ってきた。民間企業に力がなくなった今、本来、市が作成し民間に対して提供すべきだった広報ツールが福岡市にはないことが今問題となっている。
- 解決の手始めとして、広報課では、庁内用の写真統一やデータ・マップの共有を進めている。FF 的なものをお金かけてつくるよりも、PDF で自らプリントアウトできるようなキットのほうが広く使われるのではないかと考え、そのようなものを検討している。とにもかくにも、市の方針としてやるという市長のトップメッセージが必要だ。市の職員はもっと勉強してほしい。韓国語や中国語がしゃべれる人を増やしていく必要がある。サインのチェックなどの需要は増えている。本来親切なはずのものがそうになっていないので、そういうことの改善を進めることも大切である。
- アジア政策に関して言うと、1987 年の総合計画づくりではワークショップを行った。100 人委員会と言う、地場企業の人が加わったワークは素晴しかった。今、100 人の面白い人が集められるのかは疑問だ。職員が主導してワークショップを何回もやった結果生まれたのが、アジアを標榜した総合計画なのである。
- アジア太平洋子ども会議は、市民と関わる事業だったので蓄積が大きい。しかし、アジアフォーカス、アジア文化賞、アジア美術館は、これまでほとんど市民と関わってこなかったもので、蓄積と広がりはいささか小さい。フォーカスは、これまで映画は文化財と言う信念で取り組んできたので、映画監督や研究者の評価や認知度は高い。一方、一般受けする作品選びを行ってきたわけではないので、市民の関心はそこまで広がらなかった。近年は、プロデューサーが変わり方針が修正され、メジャー路線も視野に入れるようになったので、少しは変わってきている。

職員 T

- 報道課は、マスコミを通じて福岡市の重要施策や情報を市民に発信する部署であり、広報課は市の予算を使って、市政だよりや HP など自前の媒体を通じて情報を発信し、事業推進に向けての市民の理解を得ていくことを目的とした部署である。報道課の業務の中心は市政記者に対する情報の投げ込みと、新聞紙面の買取による企業や市民向の広告であり、年間 1500 万円で 30 数本の実績がある。
- 海外に向けての情報発信については、報道課がフォーリンプレスセンターの窓口になっているが、積極的にはほとんどやってきていなかった。

2) その他のヒアリング調査(掲載略)

企業ヒアリング等その他のヒアリング結果に関しては、個別にお尋ねください。

Ⅲ. シビックプライド勉強会の概要

2. シビックプライド勉強会の案内チラシ

第1回シビックプライド勉強会 in 福岡 ご案内

都市のコミュニケーションをデザインする「シビックプライド」を学んで

福岡のコミュニケーション・デザインを
一緒に考えてみませんか？



話題の本「シビックプライド」の著者「シビックプライド研究会」の主要著者陣を福岡に迎え勉強会・交流会を開催します。

- ①「先進都市のコミュニケーションデザイン」の取り組みについて学び
- ②「シビックプライド」の考え方をいかした、福岡のまちづくりについて考え
- ③「福岡らしいシビックプライドの展開によるまちづくり」について、「シビックプライド研究会」と「福岡市（官民協働）」とのコラボの可能性について意見交換してみませんか。

【ゲスト】

- ・ 伊藤香織 東京理科大学准教授
- ・ 紫牟田伸子 日本デザインセンタープロデュース室チーフプロデューサー
- ・ 松田朋春 スパイラル チーフプランナー
- ・ 榎本元 読売広告社都市生活局局长

3月16日（月）

■シビックプライドに関する「勉強会・意見交換会」

***16時～18時 会場：天神ビル11階 10号会議室**

住所：福岡市中央区天神2丁目12番1号 TEL 0120-323-920

■シビックプライドに関する「交流会・懇親会」

***18時半～ 会場：コマンタレヴー（西鉄イン福岡1F）**

***会費制 3500円**

（20時までフリードリンクフリーフード、以降1ドリンク500円）

住所：福岡市中央区天神1丁目16番1号 TEL 092-714-3308



申込み 下記アドレスあてにメールにて、①参加者のお名前、②所属、③電話・メールアドレス、④どの会への参加が（勉強会/交流会）をご記入の上、お申込みください。「交流会」の場所の確保もありますので、お早めに、

3月6日までにご希望をお知らせいただければ幸いです。なお、「交流会」のみでも参加可能です。「交流会」会場については、決まり次第ご連絡いたします。

主催・問合せ：（財）福岡アジア都市研究所 山下、山本（公）
TEL 092-733-5686 FAX 092-733-5680
yamashita@urc.or.jp

参考（詳細内容・企画主旨）

1) 企画主旨

これまで、自主研究アジア政策研究の一環として、「福岡市が外に発信していくべき魅力とは何か」ということを探求してきていたが、数々の調査から、「市民が誇りをもって創造的街づくりを行っていること」が1つの重要な魅力ファクターではないかという仮説を抱くにいたり、さらに、これらの形のない魅力を可視化しアピールしていくことは、今後福岡にとって必要なことだと考えるようになった。その具体的な「アピールの手法・ツールの開発」のためのヒントを与えてくれる「シビックプライド」という概念、コミュニケーションデザインの手法を学ぶことによって、これからの福岡市のアジア・国際政策を推進していくためのヒントとしたいと考え、本勉強会を企画した。

本勉強会を開催するに当たって、メンバーの皆様に、より福岡のことを知っていただく機会を提供するために、まず3月中に福岡プライドツアーを実施し、その成果を踏まえた上で、ステークホルダーを交えた勉強会を開催したいと考える。

2) 目的

本勉強会の目的は次の3つに集約される。

①「シビックプライド」の著者「シビックプライド研究会」の面々をお招きし、現在先進ヨーロッパ都市で積極的にすすめられている「都市のコミュニケーションデザイン」の取り組みについて学ぶ。②また、福岡の参加者（市職員、まちづくりに取り組み市民・民間組織）を交えた質疑応答意見交換を通じて、今後、福岡において「シビックプライド」の考え方をいかした、都市づくりを進めていくことの必要性、可能性、方向性を検討する。③さらに、意見交換の発展的展開の可能性が認められた場合には、福岡市における「福岡らしいシビックプライドの展開（仮説：市民一人ひとりの誇りをもった創造的活動＜創造・表現・教育＞が、まちの魅力を構成し、福岡市として誇れる存在となっている）」と「福岡らしいコミュニケーションデザインの開発」につなげていくための検討の場にしたい。

勉強会の成果を持って、平成21年度のアジア政策研究の具体的なモデル事業展開の設計を進めていきたい。また、民間まちづくり団体やNPOの方々とのコラボレーションの可能性、福岡市広報課との連携スキームを考えていくための、検討機会としたいと考えている。

3) 参加呼びかけ予定者

博多まちづくり推進協議会、WELOVE天神協議会、天神明治通り街づくり協議会、VI都市塾、まちづくりNPO団体（福岡市NPO・ボランティア交流センター、NPOグリーンパード福岡）、民間アート関連団体（オハツ企画 & ART BASE 88、工房まる、紺屋2023、FPAP、コデックス、ブックオカ、アートサポートふくおか等）のキーパーソン等、九州大学、地元メディア、市役所（国際部、市長室広報課、福岡市広報計画委員会、アジア政策研究協力者、企画調整課、経済振興局、市民局、福岡アジア美術館、福岡ビジネス創造センター他）その他まちづくりに興味のある個人団体、以上順不同

2. 参加者の感想

シビックプライド勉強会に参加した出席者に対し、後日Eメールを使ったアンケート調査を行ったところ、24名からの回答を得られた。その結果を次ページ以降に示す。

なお、質問は次の4問である。

- Q1. シビックプライドの考えを十分理解できましたか？福岡にとって有意義なことだと思いますか？それはなぜですか？
- Q2. 福岡でシビックプライドに関する活動をこれから進めていくとしたら、どのようなやり方、体制、分野で進めていくことが望ましいと思いますか。
- Q3. 来年度、私たちは福岡のコミュニケーションをデザインするシビックプライド・ワークショップの開催を検討しています。あなたは、ワークショップに参加して、一緒にデザインを考えていきたいと思いますか。
- Q4. 次回勉強会にアドバイスがあればお願いします。

SN	属性	Q1. シビックプライドの考えを十分理解できましたか？福岡にとって有意義なことだと思いますか？それはなぜですか？	Q2. 福岡でシビックプライドに関する活動をこれから進めていくとしたら、どのようなやり方、体制、分野で進めていくことが望ましいと思いますか？	Q3. 来年度、私たちは福岡のコミュニケーションをデザインするシビックプライド・ワークショップの開催を検討しています。あなたは、ワークショップに参加して、一緒にデザインを考えていきたいと思いますか？	Q4. 次回勉強会にアドバイスがあればお願いします。
1	広告代理業	何となく理解できましたというレベルです。正直、分からないことは多いですが、考えるきっかけになりました。有意義でないということは、ないと思います。有意義だとは断定はできない。なぜか、福岡市は市民が既にプライドを有している。今までにない気付きを与えられると思うが、今さら感をもたれるかも。田舎がとか現在進行形で衰退している都市・町はいいかもしれせんね。	市長を口説き落として市長に全責任をもってやらせよう。日本の場合はこれしかないでしょう。分野は、見た目でわかり易いのは建築や構造物ですが、教育も面白いと思います。あと、にっちもさっちもいかないアイランドシティを実験的に使えば面白いでしょう。	参加し、考えていきたいです。	今回の勉強会&意見交換会は、「考えるきっかけとして」はOKだと思います。変に道筋をつけなかったこともよかったと思います。考える人間は、次回まで考え続けるでしょう。次回もしくは3回目位までには、ある程度道筋を見せる必要があると思います。結局は意識を共有するために、「言葉で定義する」しかないのではないのでしょうか。
2	市役所	人の意識をまちに向けて→まちづくりを自分の問題としてとらえる→まちをもっと好きになる→もっと積極的にまちづくりに関わる→どんどんまちが好きになる・・・というようなすてきなサイクルを生み出すための戦略＝コミュニケーションデザインという風にイメージしましたが、おおよそ合っていますでしょうか？福岡でも取り組むことが出来たら素晴らしいと思います。また、意見交換会でも出ましたように、福岡はもとも「福岡大好き」な人が多い土地柄ですので、ちょっとした仕掛けで、いい循環が生まれる可能性はあるように思います。	(自分が市職員ですので)パルセロナのような、市役所が仕掛けを作りながら、市民や様々な人たちがそこに乗っていける形が良いと感じました。	参加してみたいと思います。	・次回も懇親会があるのであれば、参加しやすい曜日だと嬉しいです。(今回は仕事に戻らなければならなかったのですが、勉強会の余韻が後を引いて仕事が手に付きませんでした(言い訳？)。できれば、勉強会のあとは他の参加者のみなさんとお話しをしながら、いろいろ考えを深めていけたらいいと思いました。)・次回勉強会も楽しみにしています。
3	市役所	何となく理解できました。パルセロナやアムステルダムのような展開が、全市を挙げて行われるならば、それはそれでおもしろいだろうな、と思います。ただ、日本や福岡では、ヨーロッパとは土壌が違うのかもしれないな、とも感じます。	ん～。とても難しい質問です。全市的に進めていかなければ意味がないと思うので、それが出来る部署でしょうが、それがどこなのかは、とても難しいと思います。また、全市的に盛り上げることができるかどうか、もポイントかなと思います。(否定的ですみません。)	おもしろそうだと思うので、機会があれば参加してみたいです。	参加者募集時に、「シビックプライド」とはどういうことなのか、それがどんな効果をもたらすのかを、分かりやすい資料をつけてPRしてはどうでしょう。参加者が増えるかどうかよりも、なんかおもしろそうなことしてるな、ということがPRできるかも。(無責任なことと言ってすみません。)
4	市役所	まちの人格化、市民の参加、参加を促すコミュニケーション・デザイン、などいくつかのキーワードをもとに、シビックプライドの考えは少しつかめたかなという気がします。福岡市は、全国の中でも住民の手によるまちづくりが最も盛んな地域の一つだと思っています。逆に言えば、行政が主導してまちづくりをやる余地が他の都市と比べて、少ないのではないかと思います。ただ、課題としては、①まちづくりに参加している顔ぶれはいつも同じ②局所的に行われているまちづくりをまとめるもの(アイデンティティとでもいうのでしょうか)がないというあたりにあるのではないかと思います。140万という程よい都市の規模、行政主導ではなく市民の手によるまちづくりが盛んなこと、若者が多いことなど魅力的なまちづくりを目指す素地はありますので、①、②をクリアすれば、福岡はもっと素敵なまちになるのではないかと、そしてその際に重要になるものが、シビックプライドではないかと思います。個人的には、シビックプライドという題材で、あれだけのまちづくりメンバーが一堂に会したという点が、今回の最も大きな成果だと思っています。(数多くの線が面になるきっかけとなったというイメージでしょうか。)	誰かが意見を押し付けるのではなく、時間はかかっても、シビックプライド活動に参加する人たち一人ひとりが参加意識を持てるようにする必要があります。そういう点では、ファシリテーターの存在はものすごく重要だと思います。あとは、市役所の広報課がある程度関与することが必要のような気がします。	機会があれば、是非参加させていただきたいと思っています。	

5	市役所	本も読ませていただいたので考え方は理解できたと思っています。その精神は福岡市にはそもそも備わっていると思います。今後はそれを共有して形にしていけることが必要でないかと。	福岡市役所が声をあげて必要性を訴えることが必要。実体制としては、企画調整部とURCを事務局として事務局を立ち上げ、ワークショップや勉強会などにより市民、民間を巻き込んでいく。まずは、共感、次に実践。下準備に時間をかけて良いと思います。	可能であれば是非参加させてください。	まずは講師の話で知識を注入して、その後ワークショップを行うと良いのでは。
6	市役所	まだ、十分は理解できていないかもしれませんが、当日の討論で、福岡は「何となく成長して大きくなった街」という意見があり、市民のマインドの方向性をつけるという点からすると有意義だと思います。福岡は元来支店経済で成長した都市なので、それだけであると東京のコピーであり特色に乏しい街であるので、例えばアジア政策などで今まで都市としての特色を見いだして来たわけですが、そこに都市の要素の一つとしてシビックプライドを導入するのは意味があると思います。	いわゆるハードウェア的な「都市計画」とは違うものではないでしょうか。それは、たとえば「朝カフェ」のようなものであったり、メディアを活用したり、…。なかなか日本人というか、九州人というか、福岡人は「参加するには手を挙げてください」といっても参加しない民族のような気がしますので、わざわざ参加しようとしなくても参加できるような仕組み作りが必要だと思います。	私で力が及ぶかは分かりませんが、もし参加させていただけるのであれば是非させていただきます。	
7	銀行/まちづくり団体	・皆さんのお話を聞いて、なんとなく理解できたように思います。 ・有意義なことだと思います。福岡・博多では規模のあまり大きくないまちづくり活動組織は多くあるように思いますが、お話を伺った、バルセロナやアムステルダムのような規模での活動がないため大きな力にはなっていないような気がします。コミュニティの内向きにも、また来街者等を対象とした外向きにも、まちの魅力向上には大きな役割を担えるような気がします。	「We Love 天神」や「博多まちづくり推進協議会」等の比較的大きなまちづくり団体および行政等が連携し進めていくことが良いのではと、全体の牽引役は行政が適していると思いますし、そうすると、行政トップの「理解」と「思い」が必要だと思います。	現在、「博多まちづくり推進協議会」に参加させていただいておりますので、時間があれば、参加させていただきたいと思います。	
8	製造・サービス業	理解できたかと問われれば、ほとんど全く理解できていません。「シビックプライド」という言葉は今回初めて知りました。郷土の誇り、などと近いのですが、違う点としては、地域間競争を意識した、プロアクティブ（前向き）な情報発信を前提とした概念なのだろうと感じています。「フロム福岡」の考え方が広がっていく今日、福岡にとってこの考えを広く知ってもらうことは有意義なことだと思います。	しばらくの間は、今回のような勉強会形式で進めていくのがよいと思います。こういう活動は、10名程度のコアメンバーが世話人となって、それぞれが企画を持ち込むような形で進めるのが、無理なく、長続きする秘訣だと思います。その際に事務局機能が不可欠なので、その役割を引き続きお願いできれば、皆が助かると思います。要は世話人です。会場手配と企画のアレンジと案内発出。今回の勉強会に参加されていたメンバーはとても魅力的な方が多かったので、次回も参加を希望されるのではないのでしょうか。	そもそも、「福岡のコミュニケーションをデザインする」という定義がまだ理解できていません。そういえば、今回の勉強会のご案内も当初はワークショップでした。誰に対して何のメッセージをまとめるのでしょうか？ 貴組織が持っている課題を問いつけるのでしょうか。ワークショップという形式は、なんらかのアウトプットを想定して行われるもので、今回参加されたような多分野の人々が納得する形にまとめ上げるのは、相当困難であると予想されます。予定調和的な結論を得るのは無理です。逆に拡散的に幅広い意見を出してもらうには最適でしょう。テーマの設定がしっかりとできれば有意義なものになるでしょうが、主催者側の負担が大きくなります。テーマによっては自分も参加を躊躇するかもしれません。（主催者の想定する結論に違和感を持つかもと先回りして考えるので）また、テーマが漠然としているので、議論の時間が長くなり、最低2時間の議論と発表に1時間の3時間が最低必要になります。参加者の満足度はファシリテーターの腕にもよるかもしれません。	私は自分が楽しめる勉強会にあちこち顔を出すようになって20年になります。勉強会は楽しくて大好きですが、こちらは何のために企画しておられるのでしょうか。貴組織のためですか。参加者のためですか。福岡市のためですか。世の中のためですか。自分のためですか。私は自分の学びと出会いのために参加しています。目的を明確にすることが最も重要だと思います。

9	ディベ ロッ パー/ま ちづくり 団体	勉強会は、ゆるーい感じが良かった です。宣伝会議の本を予習してき たので理解しやすかったですが、そ うでない人はどうだったんでしょう か。福岡には「お山の大将」がたくさ ん居るので、戦略的にコミュニケー ションをデザインしていくという考え 方は重要です。市職員は役所の隠 蔽体質を改善して市民と対話する、 こういう仕事をすべきでしょう。福岡 の良い失敗例は、何と言ってもオリ ンピック誘致活動でしょう。全ての市 民を敵に回しては、都市戦略の飛 躍はできません。子供病院の移転 も然りです。福岡がどうやってこれ から生きていくかをきちんと伝えて、 その上で、どう投資配分するのかを 納得させないと民意は誘導できま せん。単なる住民エゴを民意の代 弁だと思っている人達の教養を高 める必要があります。	福岡の場合は、民活の風土が多少 とも根付いてきた副作用で、役所に 対して信用がありませんから、行政 主導のプログラムは失敗するの ではないかと思います。とはいえ、特 定の団体が仕切るのは、他のお山 の大将がしらけますので、これも難 しいでしょう。 わたしは開発屋なので、若い人達 が将来の福岡のまちづくりに関わる 土壌をつくる作業として進めてはど うかと思います。それを、市長の肝 煎りプロジェクトとして手柄を市長に 渡したほうが、政治のスキームとし て理解しやすいし、ダメだった場合 の巻き直しも簡単です。なるべく具 体的なスタディのフィールドがあっ たほうが良いです。例えば、須崎埠 頭の再開発を念頭に置いて、ベイ サイドプレイス周辺やコンベンション エリアも含めた都心部湾岸エリアの 将来像を描いてみると、前提や対 比として隣接する天神や博多駅周 辺の課題が浮き彫りにされます。当 然、競艇場や長浜も議論の対象に なるでしょう。既存の天神や博多駅 のために、湾岸を考えるということ です。新・福岡都心構想が宙ぶらり んな位置付けなので、それも何とかし たいという思いがあります。	内容によっては参加希望します。	読売広告社にずっぽりハマって もらう方が面白いと思います。その ときは儲かってもらわないと質が低 くなりますが。
10		「シビックプライド」を知りたくて参加 したつもりが、その中身を理解する ことなく「福岡のシビックプライドって 何？」という問いに、戸惑った方々 がいたようです。理解が深まったと は言い難いかもしれませんが、興味 そそられる内容であったことに間違 いはないと思います。	発想チーム(社会人3年生～10年 生)と調整チーム(同10年～20年) に分かれて事を進めていくと良いと 思います。We Love 天神協議会の 「ロゴ」。良いものだと思っています が、全く浸透していない。これは、 もったいない…。何とかせねば、と 改めて感じました。	もちろん。是非。	
11	不動産 業	十分に理解できたかという、難し いのですが、自分がその都市の一 員であることに誇りを持ち自分から もその都市の街づくりに貢献できる ことから貢献していけることがとても 必要だなと思いました。福岡市にと てもそれは有意義なことであると思 います。会議中にもありましたが、 福岡は根からの生まれ育ち以外の 人々も多くクロスする街であり、その 都市に生活している人々がまた、都 市環境を構築もしているのです、そこ に暮らす人が誇りをもって過ごせる 環境というのはとてもかえがたいも のだと思いました。	人を中心に動くことが必要ですが、 そこにはやはり旗を振る人も必要だ と思いますので行政からのメッセー ジを広く多くの人に投げかけるとも に、そこに賛同できる体制を気づい ていき市民が自ら参加できる体制 がとれれば理想だと思います。	まだまだ 勉強していかないとい けないと思いますが ぜひ機会があり ましたら参加させていただきたいと 思います。宜しくお願いします。	
12	市役所	考え方は理解できたがこれが福岡 に有意義がどうかは、どのように活 用していけるのか、具体的にイメー ジするに至ってないのでプロセスが 全く見えず分からない。	わからない。ただ、様々な分野にお いてもこの考えについてどう継続さ せていくかが課題。	Q1のイメージにつながっていくよう なものであれば参加したい。	いつの段階か分かりませんが具体 のテーマを絞った議論ができれば と思う。
13	輸送業 /まちづ くり団体	シビックプライドには様々な考え方 があり、固定されているものではな いことが分かりました。福岡ならでは のまちづくりの考え方が出来れば良 いと思いますし、更に素敵なまちに するためにも必要だと思います。	まだよく分かりませんが、今回のよう な形式を数回重ねていくことが今は 大事なのではないでしょうか。	デザインに関して詳しくはありませ んが、屋外における景観形成という 意味でのWSであれば興味がありま す。	

14	広告代理業	私自身がシビックプライドを理解できたかという点、まだまだ入り口のような気がしますが、福岡のことを考える人たちが、業種を超えて集まったという点で、非常に有意義でした。見識者だけでは、実行になかなか移せないことが多い中で、異業種の人たち同士だからこそ、シナジー効果をあげて、できることがあるような気がします。	企業体や有識者の、こういった集まりは結構あるので、デザインワークや文化面で活躍、もしくは活躍していくであろう若手を中心に、クリエイティブを核にしたプロジェクトを構成し、アウトプット力のあるマスコミやIT関連もオブザーバーで入れ、福岡らしい、若い元気のある「シビックプライドチーム」を構成したらどうでしょうか。ただし、若いクリエイターはお金がないのも事実。活動拠点となる場所は、市役所内。市役所が若手育成のつもりで、助成しながら、活動支援をするというのが理想的な気がします。	考えてみたいです。	頑張ってください。応援しています。
15	市役所	シビックプライドについては、まだ形が定まっていないように思います。そういう意味ではどこまでがシビックプライドなのつかめていません。属する範囲・どのくらいの規模(自治体、町、九州、アジア圏?)しかし、郷土愛ではない新たな都市への愛着。またその愛着を通じて都市の抱える様々な課題を解決する原動力であることが良くわかり、福岡市にとって有意義だと思いました。	行政主体ではなく、市民のみなさんの力が基盤ですので、個人やNPOはもちろん「企業」も引き込めたらよいと思います。	できるだけ参加したいです。	シビックプライドセンターの方々の活動を具体的に伺いたいです。
16	デザイン業／デザイン系NPO	まちづくりの究極的な目標は、市民や地域住民のまちへの愛着や誇りを育てることになると思います。先日の議論でも出ていましたように、いわゆる「郷土愛」とは少し違うものの必要性を感じていました。福岡や博多、天神が好きだという人はたくさんいると思いますが、博多→山笠への参加ばかりではチャネルが少ないと思いますし、やはり単純にまちとのコミュニケーション(おもしろいものがあるよとか)やまちとの関わり、参加などを増やしていかないといけないかなと思っています。そういうことから福岡にとっても非常に意義のある話だと思っています。	既存の活動やイベントは非常に豊富にあるように思っています。(ミュージックシティや博多の灯明やWLTのイベント等)ただ、よく連携していないと言われるので、その通りと思いますが、これを一体的な動きにするのはものすごく大変なことだと思います。そこで、少なくともメディアや情報発信の分野で、運動した動きができないかなと思っています。さらに、これらのイベントにボランティアで参加してみたいという人の窓口を、ひとつつくってみるのか。	はい。ぜひ一緒に考えていきたいです。	ものすごくいろいろな人が、いろいろな活動をされているので、活動見取り図のようなものがあるといいかなと思います。このイベントの事務局はどことか、誰に聞けばわかるとか(みんな頭にはあるのしょうけど)。そのような活動関係図みたいなものもコンパクトな福岡らしいし、人がまちを動かしている実感みたいなのが見えるかなと思いました。
17	メディア	ある程度は理解できたと思う。ただ、「シビックプライド」と「コミュニケーションデザイン」の話が混じって、整理できなかったように思いました。また、福岡にとって有意義だと思っています。「福岡が好き」という福岡人が多いからです。ただ「福岡が好き」で終わらせるのではなく、それを発展させてビジネスなどにつなげれば、福岡の活性化につながると思います。	漠然としてはいますが、官のみが主導で動くのではなく、官民(さらに学も?)と一緒に協力して進めることが大事だと思う。官民共同の中心的な組織を作り、進めると良いのでは?	時間と地理的な問題が満たせるのであれば、参加したいと思います。	今回は、あまり福岡の具体的な話がなかったので、次回は福岡ではどのように適用できるか、といった話ができれば面白いと思います。(今回は、その土台作りの段階だったとは思いますが・・・)
18	市役所	シビックプライドという言葉の意味すらよくわからないまま、何となく面白そうだと思い参加させていただきました。最終的に十分な理解はできていないと思いますが、よりよい福岡を考えるうえでは、とても大切で面白い考え方だと感じました。	時間はかかるかもしれませんが、このような勉強会・交流会を地道に続けることは必要。	機会があれば参加したい。	グループでの意見交換の時間がもう少しあると良いと思った。

19	不動産業/NPO	今回、シビックプライドという初めてのお話を全く不勉強の状態に参加させて頂きました。私は、福岡の残すべき価値がある(かもしれない)古い建物を残していこうという活動をやっておりますが、その根柢に清川育ちで天神などの町中で遊んでいた自分のふるさと体験の大きな要素に建物があり、自分たちのまちの風景を変えてほしくないという精神状態が根っこあることは自覚していました。(小学校の時の遊び場は岩田屋の屋上でした)一方で、以前から、まちづくり活動する人に、福岡外の出身者の方が多いことは現実を知っていたわけですが、その理由は考えたことがありませんでした。私の活動にはフルサト感覚でやる理由付けができるわけですが、それ以外の方はなぜ福岡に頑張っているのか?そこに今回のテーマがあるように思えました。つまり、人が流動化する現代のまちの中で、まちのことを考えるための根柢をフルサトに求めるのではなく、シビックプライド?に活動の根柢がありますよ。という気持ちの整理と、まちづくりへの普遍的な動機付けがどちらにしても必要であることがわかりました。勉強不足で違うことを書いているかもしれませんが、今後このことは自分の中で意識しないといけませんと思います。	これも違っているかもしれませんが、Q1のことから、組織づくりには地元の人と、地元外の人が同時に参加する必要があると思います。また、まちづくり系NPOや組織を統合する動きが必要になると思います。そこでは、お山の大将を作らない、学びあいの場として設定する必要があると思います。そして、その組織が新たなまちづくりのオピニオンリーダーを出現させ育成する組織であると良いなあと思います。	その節には勉強させてください。	市政だよりや新聞で広報されたものと思いますが、初めてのことはのせいか私の中で情報を見つけることができておりませんでした。わかりやすい広報がなされると良いのかなと思いました。
20	福祉アート系NPO	十分に理解できたかはまだわかりません。	福岡市がしっかりと意図と戦略をもって力強く推進しなくてはならないと思います。	都合が合えばぜひ。	
21	メディア	自己採点で理解度60%。いろんな人と議論すれば、もっと理解度が上がるような気がします。そんな段階なので、シビックプライドが有意義かどうかはまだ語れません。たぶんシビックプライドは、福岡の中にいる人、外にいる人の両方に対して、福岡の魅力を分かりやすく伝達する新しいツールになるだろうと想像しています。今治市以外、国内では未踏の都市戦略に先んじて挑戦する。それだけでも、新しもん好きの福岡らしくて、意義アリだと思います。	当面、前回集まった人を中心に勉強会を重ねませんか。あえて専門家集団にしない方がいいと思います。いずれはデザインやコピーに優れた人の参加を望みます。	ぜひ、喜んで。	なぜ福岡にシビックプライドが必要か、なぜそこに着目するのか。「そもそも論」を語り合う場になるといいです。
22	アート系財団	十分ではないがこういう概念があるということを知ったことに意義があった。福岡はとても魅力的な土地柄・人柄を持つが、「郷土愛」に偏りがちであるのは何故だろうかとか常々考えていた。「シビックプライド」という概念が、それを解決してくれるように思う。	簡単ではないことだと思うが、行政的なジャンル分けや目の前の(企業的)利益のみにとらわれないこと。広い視野 長い目で先を見据えた変革構造。確固たる理念とリーダーシップが必要。	思います。	会議室という閉ざされた空間ではなく、オープンな場所に出て行ってみるというのはどうでしょうか・・・

23	子ども系NPO	本を読まれている参加者が多い、という前提で「シビックプライドとは」という定義づけのお話が聞けなかったのが残念でした。本を読んでいたとしても、やはり先生方からいろんな表現、言葉で「シビックプライド」という言葉の意味、定義、概念についてお話が聞ければ、その後の事例を聞くうえでも理解が深まったと思います。福岡にとってのシビックプライド、これが明確になるというのは有意義だと思います。福岡には福岡を誇りに思う、郷土愛の強い人が多いので、福岡の魅力を100万人の市民が同じ言葉で発信できるようになると、とてもインパクトがあるし市の魅力のアップにつながると思います。都市の魅力のアイデンティティが持てるというか再認識できるというか…。企業や団体でのそれぞれの活動にも組み入れられる可能性も出てくるし、そうすると大きなムーブメントになりますね。ただ本当に難しいのは、皆が持っているイメージを貫通するような、いろんな活動体に受け入れてもらえる共通項となりうる様な「シビックプライド」を描き出せるかどうかこれはとても難しいだろうな、とも思いました。	いろんなセクターを代表して立場、活動分野が異なる人たちをできるだけ交えた方がいいかと思います。が、上述しましたが、その中から皆が共有できるコンセプトワードを生み出せるかどうか難しさも出てくると思います。		もう一度、シビックプライドとは何か、という概念の勉強と、それができあがった時の成功イメージ、を共有してもいいのではないかと思います。(何のためにシビックプライドを描き出そうとしているのか、その目的を明らかにするために)
24	NPO/まちづくり	考え方は、自分なりの理解をしました。福岡にとって有意義な面があると感じています。自治体が関連するまちづくりに関わってきた立場からコメントします。福岡に、建築やまちづくり、デザインの分野(この場合、主に空間とします)で意図を持って福岡の街に貢献している専門家は多くいらしゃると思います。多くの市民の目に触れ公共性が高いにも関わらず専門家やその分野に関心にある人の中でのデザインの解釈などに留まっているように感じています。誰々がどうつくったという点だけでなく、なぜ、この場所にこうした空間やデザインがあるのかなど市民やその空間を利用する人へのメッセージを知り、体験することが街を楽しみ、誇りを持つ契機になると考えています。市民の方が、「この場所にはこういう意図でこれがある」など説明できることが自分が住む街への関心を持っていること、誇りを持つことに繋がるのではないのでしょうか。そのためには、「情報」と「学習」が必要です。これからのまちづくりの専門家や行政の役割としてそのようなデザイン的な意図を市民の方々に理解や共感を得るような情報の共有＝デリバリー、双方向のコミュニケーションの楽しく、面白い手法を開発をしたいと思いました。	部分的ではありますが、以下の様なことを考えました。すでに取り組みがあるかもしれませんが、身近なもので、行政、デザイナーなどの専門家、市民が連携して取り組めるものをイメージしています。・〇〇賞などの建築物など(新しい建築物、文化財的な建築物など)の説明付きツアーの実施(バスかな?)・福岡市内の美術館や博物館などの文化的施設のアウトリーチ活動と連携してのツアー、ワークショップ(子ども向け含む)	はい、関心はあります。	「シビックプライド」は、政策です。紹介いただきました事例についても、どの分野・テーマで(開発エリアか、既存市街地かまたは、市民のアイデンティティそのものか)展開するのかを決定することにポイントがあり、地域的な特徴、市民、デザイナーなどの活動の積み上げや政策レベルのリーダーシップなどの複数の要因が背景があると感じました。福岡の市民に支持される分野・テーマは何でしょうか? 開発エリア型のまちづくりセンターのような取組は、現時点では、福岡では展開できそうにありません。そのため、ボトムアップ型ともなりますが、勉強会で集まった方々で、福岡らしいと思うものに、まずは実験的に「Q2」のように市民の方の参加を得ながら取り組み分野・テーマは何かがふさわしいか検証しながら進めてみるのもよいのではないかと考えています。

研究主担当 研究主査 山下永子
研究副担当 交流推進係長 山本公平
研究副担当 主任研究員 唐 寅

別冊: 資料編

福岡市におけるアジア政策の過去・現在・未来 1

—福岡市のアジア政策の成果を検証し「国際都市・福岡」に向けた方向性・アプローチを探る—
【中間報告: 基礎調査—過去と現在—】

2009 年 3 月

財団法人 福岡アジア都市研究所
〒810-0001 福岡市中央区天神 1 丁目 10-1
電話 092-733-5686
URL www.urc.or.jp

